



HPE ProLiant DL20 Gen11 ユーザーガイド

HPE ProLiant DL20 Gen11 ユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。Hewlett Packard Enterprise では、読者がコンピューター機器の保守の資格を持ち、高電圧製品の危険性について理解し、ラック設置時の重量および安定性に関する注意事項に精通していることを前提としています。

部品番号: 30-1A938BDF-007a-ja-JP

発行: 2026 年 4 月

版数: 7a

© Copyright 2023-2026 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスは、それらに付属する明示的な保証規定によってのみ保証されます。本書が追加の保証を構成するものではありません。本書中の技術的あるいは編集上の誤りや欠落について、Hewlett Packard Enterprise では一切責任を負いません。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から有効な使用許諾を取得する必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外部に移動します。Hewlett Packard Enterprise では、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト外の情報については管理しておらず、責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Intel® および Intel® Virtual RAID on CPU (Intel® VROC) は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。

Linux® は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、および Windows Server® は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

VMware® は、米国およびその他の管轄区域における VMware Inc. またはその子会社の登録商標または商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

コンポーネントの識別.....	9
フロントパネルのコンポーネント.....	9
iLO サービスポート.....	12
フロントパネルの LED とボタン.....	13
サーバーの UID LED.....	14
サーバーヘルスサマリーの表示.....	14
フロントパネル LED の電源障害コード.....	15
リアパネルのコンポーネント.....	16
モニターのセットアップ.....	17
リアパネルの LED.....	18
コンポーネントのタッチポイント.....	19
システムボードのコンポーネント.....	20
システムメンテナンススイッチ.....	23
DIMM ラベルの識別.....	24
DIMM スロットの番号.....	25
ライザーボードのコンポーネント.....	27
OCP スロットの取り付けルール.....	28
PCIe5 スロットの説明.....	29
HPE のベーシックドライブの LED の定義.....	30
ドライブベイの番号.....	32
ドライブバックプレーンの命名.....	34
iLO-M.2 シリアルモジュールコンポーネント.....	35
ファン番号.....	36
ファンモードの動作.....	36
Trusted Platform Module2.0.....	37
Trusted Platform Module2.0 のガイドライン.....	38
BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン.....	38
HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント.....	39
HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義.....	40
セットアップ.....	41
システムの初期インストール.....	41
HPE インストレーションサービス.....	42
Intel VROC のサポート.....	42
サーバーのセットアップ.....	43

動作要件.....	45
空間および通気要件.....	46
温度要件.....	47
電源要件.....	47
アース要件.....	48
ラックに関する警告と注意事項.....	49
サーバーに関する警告と注意事項.....	51
静電気対策.....	52
操作.....	53
フロントベゼルを取り外す.....	53
サーバーの電源を切る.....	55
ラックからサーバーを引き出す.....	55
サーバーをラックから取り外す.....	57
アクセスパネルを取り外す.....	61
ライザーケージを取り外す.....	62
ライザーケージを取り付ける.....	64
アクセスパネルを取り付ける.....	65
サーバーをラックに取り付ける.....	66
サーバーの電源を入れる.....	69
ハードウェアオプションを取り付ける.....	69
サーバーデータバックアップ.....	70
ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン.....	71
Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs.....	72
ラックマウントオプション.....	72
レール識別マーカー.....	73
ラックマウントインターフェイス.....	75
ラックレールのオプション.....	75
フリクションラックレールの取り付け.....	75
サーバーをラックに取り付ける：フリクションラックレール.....	80
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け.....	83
ケーブルマネジメントアームの取り付け.....	84
フロントベゼルオプションの取り付け.....	92
ドライブオプション.....	93
ドライブの取り付けのガイドライン.....	94
ノンホットプラグ LFF（3.5 型）ドライブの取り付け.....	94
ホットプラグ対応 LFF（3.5 型）/SFF（2.5 型）ドライブの取り付け.....	98
電源装置オプション.....	100
ホットプラグ対応電源装置に関する計算.....	101

電源装置に関する警告と注意事項.....	102
DC 電源装置に関する警告と注意事項.....	103
DC 電源装置のワイヤーの色.....	104
AC 電源装置の取り付け.....	104
DC 電源装置の取り付け.....	107
DC 電源ケーブルの DC 電源への接続.....	117
トランシーバーオプション.....	119
トランシーバーに関する警告および注意事項.....	120
トランシーバーの取り付け.....	120
パススルーボードオプション.....	122
パススルーボード (PTB) の取り付け.....	122
2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブケージオプションの取り付け.....	128
オプティカルドライブオプション.....	134
LFF (3.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け...	134
SFF (2.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け...	141
メモリオプション.....	147
DIMM の取り付け情報.....	148
DIMM の取り付けに関するガイドライン.....	149
DIMM の取り付け.....	149
PCIe ライザーオプション.....	154
ライザーの取り付け.....	154
ストレージコントローラーオプション.....	156
ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備.....	156
タイプ o ストレージコントローラーの取り付け.....	157
タイプ p コントローラーの取り付け.....	165
Energy Pack オプション.....	168
HPE Smart ストレージバッテリー.....	168
Energy Pack の取り付け.....	169
拡張カードオプション.....	173
拡張カードの取り付け.....	173
HPE NS204i-u ブートデバイスオプション.....	176
HPE NS204i-u ブートデバイスの取り付け.....	176
OCN NIC 3.0 オプション.....	183
OCN NIC 3.0 アダプターの取り付け.....	183
iLO-M.2 シリアルモジュールオプション.....	187
iLO-M.2 シリアルモジュールの取り付け.....	187
M.2 SSD オプション.....	195
iLO-M.2 シリアルモジュールへの M.2 SSD の取り付け.....	195

シャーシ侵入検知スイッチのオプション.....	201
シャーシ侵入検知スイッチの取り付け.....	201
内部 USB デバイスのオプション.....	206
内蔵 USB デバイスの取り付け.....	206
ケーブル接続.....	207
ケーブル接続のガイドライン.....	208
ケーブル配線図.....	210
内部ケーブル管理.....	213
ストレージのケーブル接続.....	213
ストレージコントローラーのケーブル接続.....	214
2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブのケーブル接続.....	214
2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続.....	215
4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続.....	218
4+2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続...	221
ドライブ電源のケーブル接続.....	224
Energy Pack のケーブル接続.....	228
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続.....	228
オプティカルドライブのケーブル接続.....	230
HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続.....	236
外部 OCP 有効化のケーブル接続.....	237
ファンのケーブル接続.....	238
PCIe ファンの前でのケーブル配線.....	239
シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続.....	240
シリアルポートのケーブル接続.....	241
フロント I/O のケーブル接続.....	241
システム電源ケーブルの接続.....	242
ノンホットプラグ電源装置のケーブル接続.....	244
構成関連情報.....	244
ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート.....	245
サーバーの構成.....	246
ストレージコントローラーの構成.....	248
オペレーティングシステムの展開.....	250
セキュリティの構成.....	251
サーバー管理.....	251
Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理.....	252
トラブルシューティング.....	252
NMI 機能.....	253
トラブルシューティングの資料.....	253

システムバッテリーの情報.....	254
安全、保証および規制に関する情報.....	254
規定に関する情報.....	254
Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)	255
Turkey RoHS material content declaration.....	256
Ukraine RoHS material content declaration.....	256
保証情報.....	257
仕様.....	257
環境仕様.....	257
機械仕様.....	258
電源装置の仕様.....	259
ATX 290W ノンホットプラグパワーサプライ (ATX 290W Non-hot-plug Power Supply) (92%の変換効率)	259
ATX 290W Platinum ノンホットプラグパワーサプライ (ATX 290W Platinum Non-hot-plug Power Supply) (94%の変換効率)	260
HPE 500 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 500 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)	261
HPE 800 W FS Titanium LH パワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Titanium Hot-plug Low Halogen Power Supply)	262
HPE 800 W FS DC-48V LH パワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Low Halogen Power Supply).....	263
HPE 1000 W FS Titanium パワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)	265
Web サイト.....	265
サポートと他のリソース.....	266
Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	266
HPE 製品登録.....	267
アップデートへのアクセス.....	267
カスタマーセルフリペア (CSR)	268
リモートサポート.....	268
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	269

コンポーネントの識別

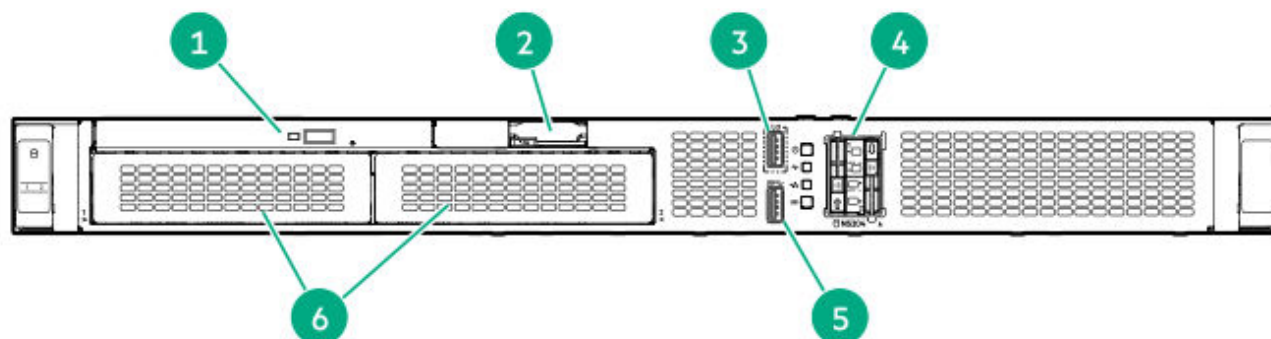
この章では、外付および内蔵のサーバーの機能とコンポーネントについて説明します。

サブトピック

- [フロントパネルのコンポーネント](#)
- [フロントパネルの LED とボタン](#)
- [リアパネルのコンポーネント](#)
- [リアパネルの LED](#)
- [コンポーネントのタッチポイント](#)
- [システムボードのコンポーネント](#)
- [ライザーボードのコンポーネント](#)
- [OCP スロットの取り付けルール](#)
- [PCIe5 スロットの説明](#)
- [HPE のベーシックドライブの LED の定義](#)
- [ドライブベイの番号](#)
- [ドライブバックプレーンの命名](#)
- [iLO-M.2 シリアルモジュールコンポーネント](#)
- [ファン番号](#)
- [ファンモードの動作](#)
- [Trusted Platform Module 2.0](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント](#)
- [HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義](#)

フロントパネルのコンポーネント

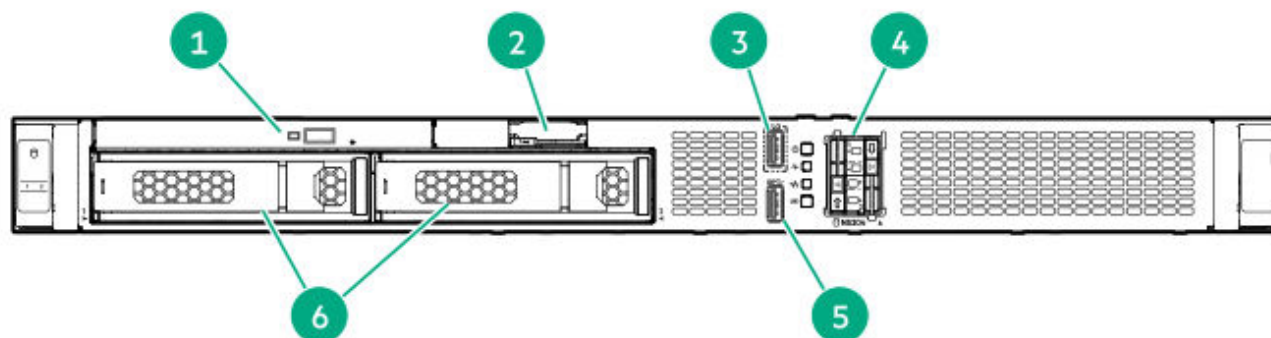
2 LFF (3.5 型) ホットプラグ非対応ドライブモデル



番号	説明
1	オプティカルドライブ（オプション）
2	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
3	iLO サービスポート
4	HPE NS204i-u ブートデバイス（オプション）
5	USB 3.2 Gen1 ポート
6	2 ベイ LFF（3.5 型）ノンホットプラグドライブケース ²

- ¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。
- ² 2 ベイ LFF（3.5 型）ノンホットプラグドライブケースは SATA ドライブをサポートします。

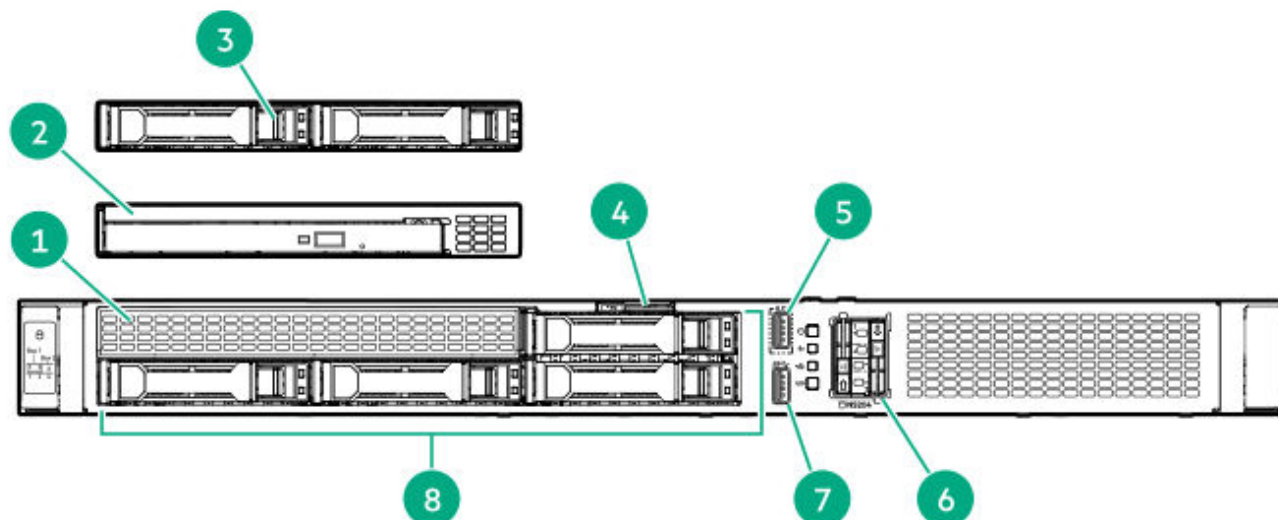
2 LFF（3.5 型）ホットプラグ対応ドライブモデル



番号	説明
1	オプティカルドライブ（オプション）
2	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ¹
3	iLO サービスポート
4	HPE NS204i-u ブートデバイス（オプション）
5	USB 3.2 Gen1 ポート
6	2 ベイ LFF（3.5 型）ホットプラグ対応ドライブ ²

- ¹ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。
- ² 2 ベイ LFF（3.5 型）ドライブベイは SAS または SATA ドライブをサポートします。

4+2 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブモデル



番号	説明
1	メディアベイ ¹
2	オプティカルドライブ (オプション)
3	2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブケージ (オプション) ²
4	シリアル番号/iLO 情報プルタブ ³
5	iLO サービスポート
6	HPE NS204i-u ブートデバイス (オプション)
7	USB 3.2 Gen1 ポート
8	4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ ⁴

¹ メディアベイは、オプティカルドライブケージまたは 2 SFF (2.5 型) ドライブケージオプションをサポートします。

² 2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブケージは SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートします。

³ シリアル番号/iLO 情報プルタブは両面仕様です。片側には、サーバーのシリアル番号とお客様の資産タグラベルが記載されています。反対の面には、デフォルト iLO アカウント情報が記載されています。

⁴ 4 ベイ SFF (2.5 型) ドライブベイは SAS または SATA ドライブをサポートします。

サブトピック

iLO サービスポート

iLO サービスポート

サービスポートは、サポートされているサーバーおよびコンピュータモジュールで iLO のラベルが付けられている USB ポートです。

お使いのサーバーまたはコンピュータモジュールがこの機能に対応しているか調べるには、次の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サービスポートは、サーバーの前面にある、iLO のラベルが付けられている USB ポートです。

お使いのサーバーがこの機能に対応しているか調べるには、次の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にあるサーバーの仕様ドキュメントを参照してください。

サーバーに物理的にアクセスできる場合、サービスポートを使用して次のことができます。

- ・ サポートされている USB フラッシュドライブに Active Health System ログをダウンロードします。

この機能を使用する場合、接続されている USB フラッシュドライブにホストオペレーティングシステムはアクセスできません。

- ・ サポートされる USB イーサネットアダプターにクライアント（ノートパソコンなど）を接続して以下にアクセスします。

- iLO の Web インターフェイス
- リモートコンソール
- iLO RESTful API
- CLI

Hewlett Packard Enterprise は、HPE USB イーサネットアダプター（部品番号 Q7Y55A）を使用することをお勧めします。

iLO サービスポートを使用すると、次のようになります。

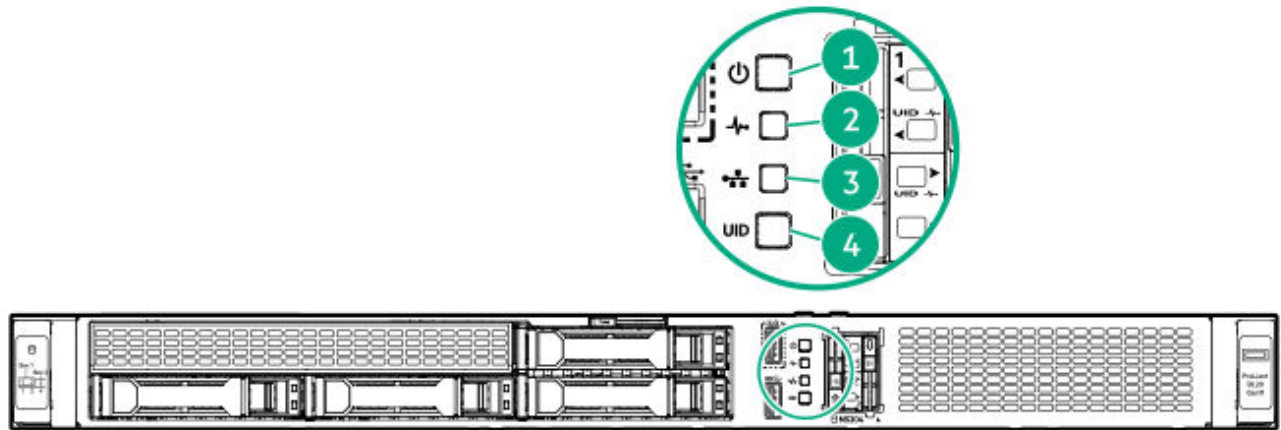
- ・ 操作が iLO イベントログに記録されます。
- ・ サービスポートのステータスを示すようにサーバーの UID が点滅します。

REST クライアントと iLO RESTful API を使用してサービスポートのステータスを取得することもできます。

- ・ サービスポートを使用してサーバー内のデバイスまたはサーバー自体を起動することはできません。
- ・ サービスポートに接続してサーバーにアクセスすることはできません。
- ・ 接続されているデバイスにサーバーからアクセスすることはできません。

iLO サービスポートについて詳しくは、<https://www.hpe.com/support/ilo6> の Web サイトの iLO ユーザーガイドを参照してください。

フロントパネルの LED とボタン



番号	LED	ステータス	定義
1	電源ボタンおよびシステム電源 LED ¹	緑色で点灯	システムの電源はオンです
		緑色で点滅	電源投入手順を実行中です
		オレンジ色で点灯	システムはスタンバイ状態です
		消灯	電源が供給されていません ²
2	ヘルス LED ¹	緑色で点灯	通常
		緑色で点滅	iLO が再起動中です
		オレンジ色で点滅	システムの劣化 ³
		赤色で点滅	システムに重大な障害が発生しています ³
3	NIC のステータス LED ¹	緑色で点灯	ネットワークにリンクされています
		緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
4	UID ボタン/LED ¹	青色で点灯	有効化済み
		青色で点滅	毎秒 1 回点滅 = リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です

番号	LED	ステータス	定義
			・ 毎秒 4 回点滅 = iLO の手動再起動シーケンスが開始されました ・ 毎秒 8 回点滅 = iLO の手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	動作していません

- 1 すべての LED が同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。詳しくは、[フロントパネル LED の電源障害コード](#)を参照してください。
- 2 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、または電源装置に障害が発生しています。
- 3 ヘルス LED が劣化状態またはクリティカル状態を示している場合は、システムのインテグレートッドマネジメントログ (IML) を確認するか、または HPE iLO を使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

サブトピック

[サーバーの UID LED](#)

[サーバーヘルスサマリーの表示](#)

[フロントパネル LED の電源障害コード](#)

サーバーの UID LED

UID LED を使用すると、特定のサーバーが他の機器と共に高密度のラックに展開されている場合に、オンサイト担当のサポート技術者がその識別や場所の特定をすばやく行うのに役立ちます。また、リモート管理、ファームウェアのアップグレード、または再起動シーケンスが進行中かどうかを識別するためにも使用できます。

サーバーヘルスサマリーの表示

前提条件

- ・ 外部モニターが接続されています。
- ・ iLO Web インターフェイスの [アクセス設定ページ](#) で、外部モニターにサーバーヘルスを表示機能が有効になっています。

このタスクについて

サーバーの電源が入っていない場合は、UID ボタンを使用すると、iLO のサーバーヘルスサマリー画面を外部モニターに表示できます。この機能は、サーバーの電源がオンまたはオフのときに使用できます。

詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)にある iLO トラブルシューティングガイドを参照してください。

手順

- UID ボタンを押して放します。



注意

UID ボタンを押して放してください。UID ボタンを 5 秒以上押し続けると、正常な iLO の再起動またはハードウェア iLO の再起動を開始します。ハードウェア iLO 再起動中にデータの損失や NVRAM の破損が発生する可能性があります。

外部モニターにサーバーヘルスサマリー画面が表示されます。

- 再度 UID ボタンを押して、サーバーヘルスサマリー画面を閉じます。

フロントパネル LED の電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

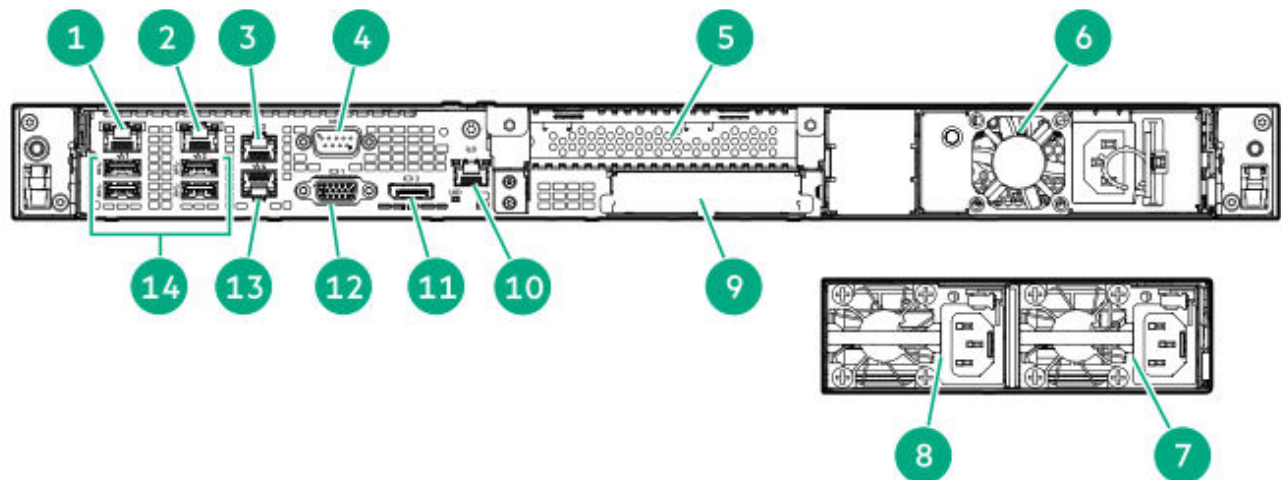
サブシステム	LED の動作
システムボード	1 回点滅
プロセッサ	2 回点滅
メモリ	3 回点滅
ライザーボードの PCIe スロット	4 回点滅
FlexibleLOM	5 回点滅
ストレージコントローラー	6 回点滅
システムボードの PCIe スロット	7 回点滅
電源バックプレーン	8 回点滅
ストレージバックプレーン	9 回点滅
電源装置	10 回点滅

サブシステム

LED の動作

ライザーボードに取り付けられた PCIe 拡張カード	11 回点滅
シャーシ	12 回点滅
GPU カード	13 回点滅

リアパネルのコンポーネント



番号	説明
1	NIC 1/iLO 共有ポート (1 GbE)
2	NIC ポート 2 (1 GbE)
3	NIC ポート 3 (1 GbE)
4	シリアルポート (オプション)
5	スロット 1 PCIe5 x16 (16、8、4、1)
6	ATX ノンホットプラグ電源装置
7	Flexible スロット電源装置 1
8	Flexible スロット電源装置 2 (オプション)
9	OCP 15 PCIe5 x4
10	iLO 専用ネットワークポート (オプション)
11	<u>DisplayPort 1.1a</u>
12	<u>VGA ポート</u>

番号	説明
13	NIC ポート 4 (1 GbE)
14	USB 3.2 Gen1 ポート (4) ¹

- ¹ サーバーがスタンバイモードの場合、これらの USB ポートには電源が供給されません。接続されたデバイスは充電できず、サーバーをスタンバイモードから復帰させることもできません。

サブトピック

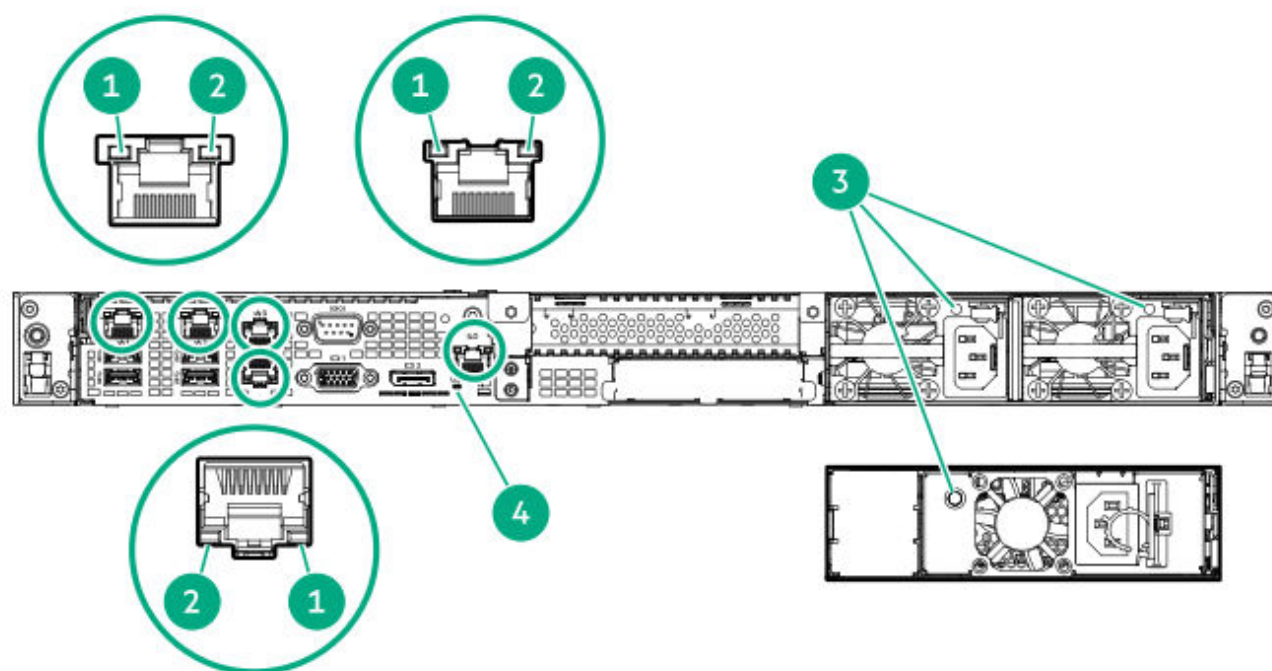
モニターのセットアップ

モニターのセットアップ

モニターを接続する前に、以下を確認してください。

- ・ このサーバーでは、VGA ポートと DisplayPort 1.1a の両方がサポートされています。
- ・ VGA ポートと DisplayPort の両方を使用して 2 台のディスプレイデバイスをサーバーに接続すると、同じ画像が両方のデバイスにミラーリングされます。
- ・ iLO チップセットの内蔵ビデオコントローラーは、デュアルディスプレイモードや画面拡張モードをサポートしていません。デュアルディスプレイを有効にするには、互換性のあるグラフィックスカードを取り付けます。
- ・ DisplayPort 用に HDMI または DVI アダプターを使用する場合は、アクティブタイプのアダプターを使用してください。DP++の記号でマークされたパッシブタイプのアダプターはサポートされていません。
- ・ 可能な限り、同じディスプレイ接続のタイプを使用してください。例えば、モニターに VGA ポートしかない場合は、サーバーの VGA ポートを使用します。他のアダプター、変換ケーブル、または dongle を使用すると、表示品質が低下したり、接続の遅延が発生したりする可能性があります。

リアパネルの LED



番号	LED	ステータス	定義
1	NIC/iLO リンク	緑色で点灯	ネットワークリンク速度は 1000 Mb/s です。
		オレンジ色で点灯	ネットワークリンク速度は 10/100 Mb/s です。
		消灯	ネットワークにリンクされていません
2	NIC/iLO 動作	緑色で点滅	ネットワークは動作中です
		消灯	ネットワークが動作していません
3	電源装置	緑色で点灯	電源装置は正常に動作しています
		消灯	以下に示す 1 つ以上の状態が発生しています。 ・ 電源が供給されていない ・ 電源装置で障害が発生している ・ 電源装置がスタンバイモードに入っている ・ 電源装置のエラー
4	UID	青色で点灯	有効化済み

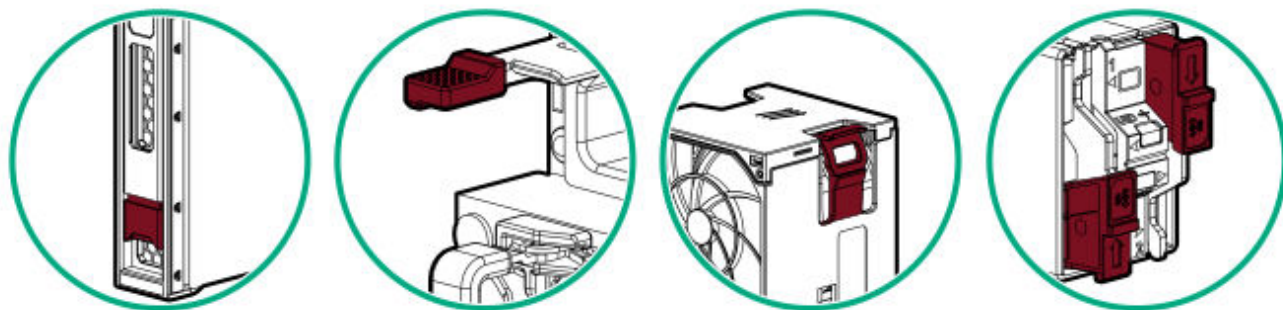
番号	LED	ステータス	定義
		青色で点滅	・ 毎秒 1 回点滅 - リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です ・ 毎秒 4 回点滅 - iLO の手動再起動シーケンスが開始されました ・ 毎秒 8 回点滅 - iLO の手動再起動シーケンスが進行中です
		消灯	動作していません

コンポーネントのタッチポイント

特定のコンポーネントは色分けされています。これらの色は、取り外しプロセスで触れることが推奨される部分を表し、コンポーネントを取り外す前にシステムのシャットダウンが必要かどうかを示します。

以下の図に参考例を示します。

HPE ホットプラグレッド



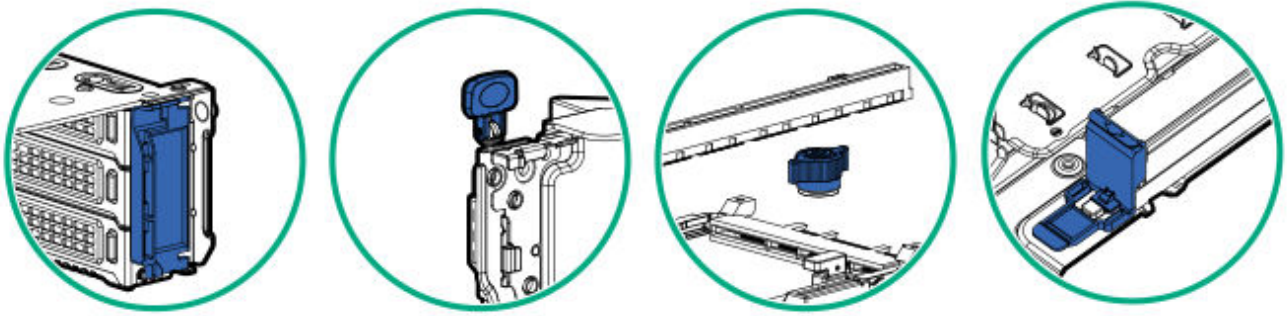
ホットプラグレッドは、ホットプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントは、システムの実行中に取り外したり取り付けたりすることができ、そうしてもシステムがシャットダウンすることはありません。

コンポーネントの例：

- ・ 冗長電源構成の電源装置
- ・ ホットプラグ対応ファン
- ・ ホットプラグ対応ドライブ

- ・ ホットプラグ対応ブートデバイス内の M.2 SSD

HPE タッチポイントブルー



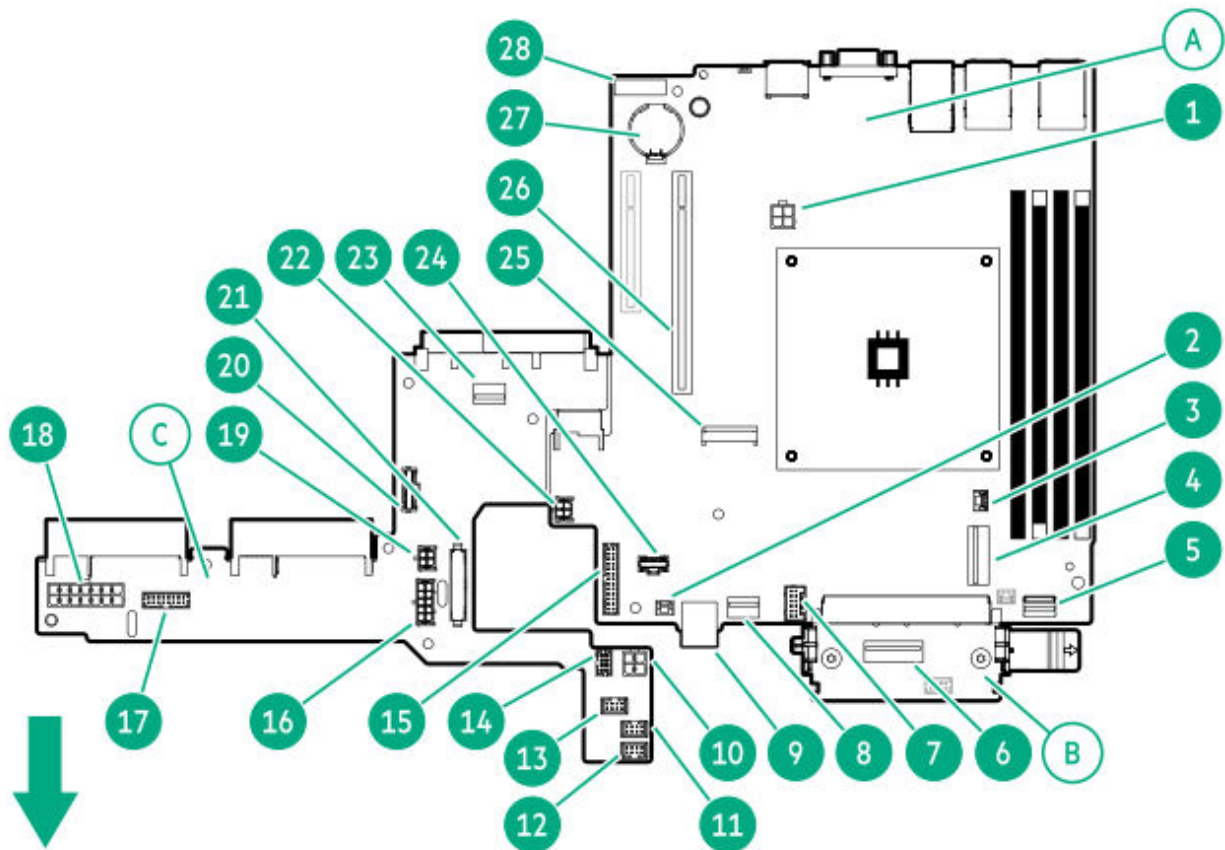
タッチポイントブルーは、コールドプラグ対応のコンポーネントを示します。これらのコンポーネントではシステムのシャットダウンが必要です。これを怠ると、システム障害やデータ損失が発生する可能性があります。コールドプラグ対応のコンポーネントは、非電気コンポーネントのタッチポイントを示す場合もあります。

コンポーネントの例：

- ・ ストレージデバイス
- ・ ファンケージ
- ・ システムボード
- ・ Energy Pack

システムボードのコンポーネント

矢印は、サーバーの前面方向を示します。



システムボードは、3つの個別のプリント回路アセンブリ（PCA）で構成されています。

番号	ボード
A	メインボード
B	パススルーボード（PTB） ¹
C	分電盤（PDB）

¹ PTB はスロット 14 の内部 OCP PCIe4 x4 に接続されています。スロット 15 の外部 OCP PCIe4 x4 にはリアパネルからアクセスできます。

番号	説明
1	プロセッサの 4 ピン電源コネクタ
2	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクタ
3	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
4	SlimSAS x8 ポート 1
5	フロント I/O および USB 3.2 Gen 1 ならびに iLO サービスポートコネクタ

番号	説明
6	SlimSAS x8 ポート 3 ¹
7	Energy Pack コネクター
8	SlimSAS x4 ポート 2
9	スタックした内部デュアル USB 3.2 Gen 2 ポート
10	プロセッサの 4 ピン電源コネクター
11	システムファンコネクター
12	プロセッサファンコネクター
13	PCIe ファンコネクター
14	NS204i-u 電源コネクター
15	メインボード：電源装置側波帯コネクター
16	ドライブバックプレーン電源コネクター
17	ATX 側波帯コネクター
18	14 ピン ATX 電源装置コネクター
19	PDB：システム電源コネクター
20	PTB：スロット 15 外部 OCP 側波帯コネクター
21	PDB：電源装置側波帯コネクター
22	メインボード：システム電源コネクター
23	SlimSAS x4 ポート
24	メインボード：スロット 15 外部 OCP 側波帯コネクター
25	M.2 スロット 1 ²
26	スロット 1 PCIe5 x16
27	システムバッテリー
28	システムメンテナンススイッチ

¹ SATA デバイスの場合

² この M.2 スロットでは、SSD を直接取り付けることはサポートしていません。このスロットは代わりに、NVMe SSD をサポートする iLO-M.2 シリアルモジュールオプションをサポートします。

サブトピック

[システムメンテナンススイッチ](#)

[DIMM ラベルの識別](#)

[DIMM スロットの番号](#)

システムメンテナンススイッチ

システムメンテナンススイッチは、システムボード上の DIP スイッチであり、サービス、トラブルシューティング、または他のシステム構成に使用されます。各スイッチはデフォルトで OFF になっており、それぞれの ON 位置が特定の機能を有効にします。

サーバー上のシステムメンテナンススイッチの場所を確認するには、システムボードのコンポーネントを参照してください。

位置	デフォルト	機能
S1 ¹ —	オフ	・ オフ - iL0 6 セキュリティは有効です。 ・ オン - iL0 6 セキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹ —	オフ	・ オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 ・ オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1, 2, 3} — — —	オフ	・ オフ - 動作していません ・ オン - 製造時のデフォルト設定を復元します
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

¹ 冗長 ROM にアクセスするには、S1、S5、および S6 をオンに設定します。

² システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。

³ システムメンテナンススイッチの S6 をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

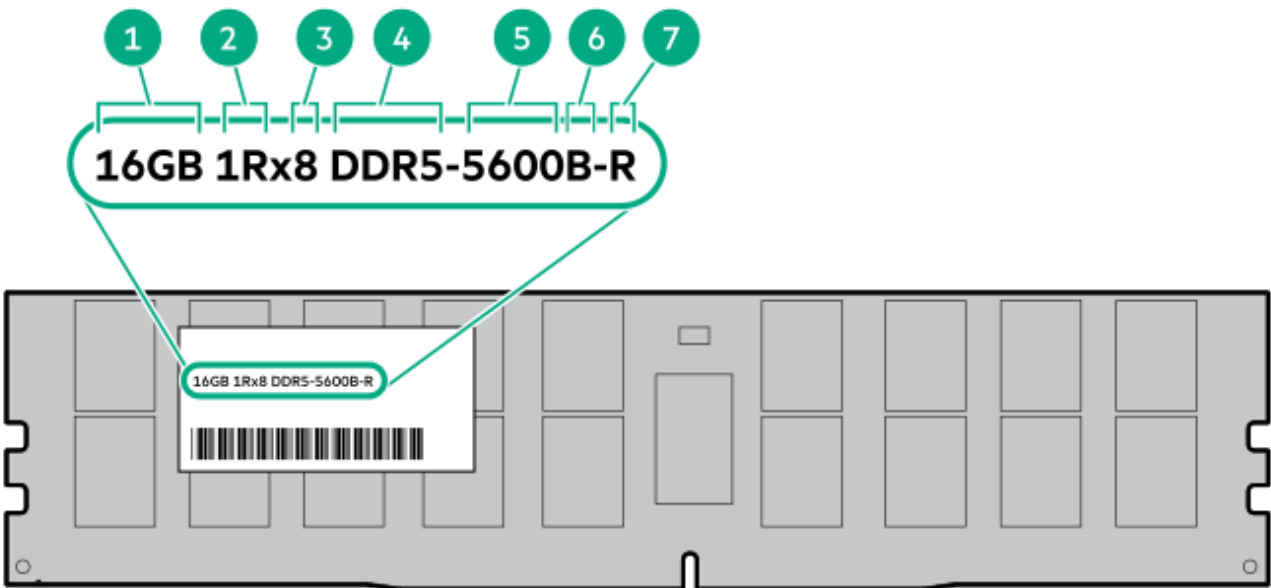
DIMM ラベルの識別

ラベルには、DIMM に関する情報が記載されています。次のような DIMM に関するその他の情報については、

- ・ メモリ速度やサーバー固有の DIMM 取り付けルール
- ・ 製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性

次の Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



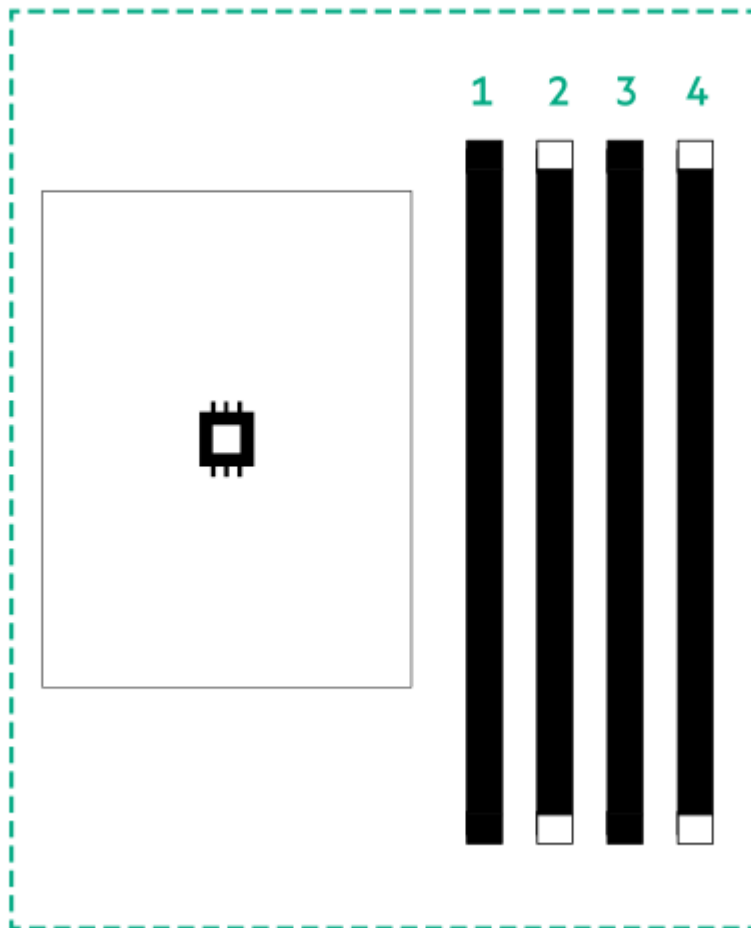
番号	説明	例
1	容量 ¹	16 GB 32 GB 64 GB 96 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R – シングルランク 2R – デュアルランク 4R – クアッドランク

番号	説明	例
		8R - オクタルランク
3	DRAM 上のデータ幅	x4 - 4 ビット x8 - 8 ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度 ¹	4800 MT/s 5600 MT/s 6400 MT/s
6	CAS レイテンシ	B - 42-42-42 B - 50-42-42 (128 GB および 256 GB 容量の場合)
7	DIMM タイプ	E - UDIMM (バッファなし、ECC 付き) R - RDIMM (レジスター付き)

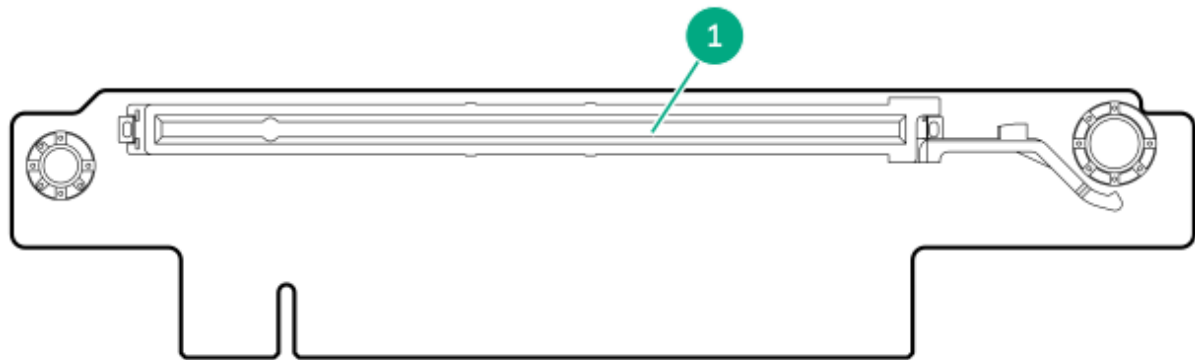
¹ メモリの最大速度および容量は、メモリの種類、メモリ構成、およびプロセッサモデルの総合的な組み合わせによって決まります。

DIMM スロットの番号

矢印は、サーバーの正面側を指しています。

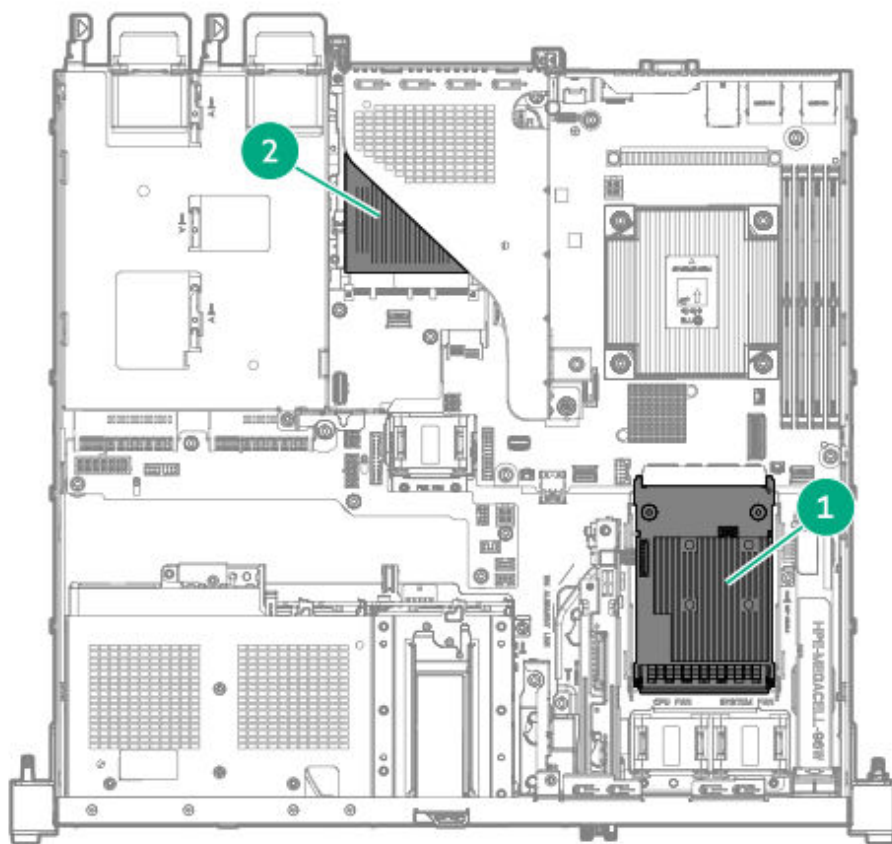


ライザーボードのコンポーネント



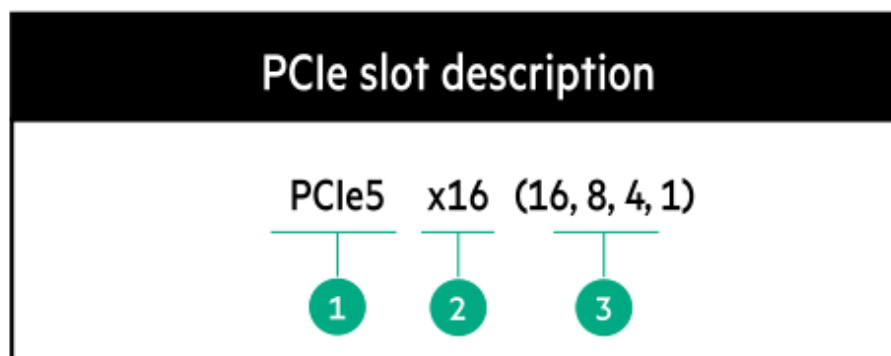
スロット番号	スロットタイプ	スロット電力	サポートされるフォームファクター
1	PCIe5 x16 (16、8、4、1)	75 W	・ フルハイト、ハーフレングス ・ ハーフハイト、ハーフレングス (ロープロファイル)

OCP スロットの取り付けルール



番号	スロット番号と説明	サポートされている拡張オプション
1	スロット 14 OCP PCIe5 x4 (内部 OC タイプ o ストレージコントローラー P)	
2	スロット 15 OCP PCIe5 x4 (外部 OC OCP NIC 3.0 アダプター P)	

PCIe5 スロットの説明



番号	説明	定義
1	PCI Express のバージョン	PCIe の各バージョンは、プロセッサと周辺機器間の特定のデータ転送速度に対応しています。一般に、バージョンをアップデートすると、転送速度は向上します。 ・ PCIe 1. x ・ PCIe 2. x ・ PCIe 3. x ・ PCIe 4. x ・ PCIe 5. x PCIe テクノロジーは、現在も開発が進められています。最新情報については、PCI SIG の Web サイトを参照してください。
2	物理コネクタのリンク幅	PCIe デバイスは、インターコネクトまたはリンクと呼ばれる論理接続を介して通信します。物理レベルでは、リンクは1つまたは複数のレーンで構成されます。レーンの数には、x というプレフィックスが付いており、通常の使用では x16 が最大サイズになります。 ・ x1 ・ x2 ・ x4 ・ x8

番号	説明	定義
		・ x16
3	ネゴシエーション可能なリンク幅	これらの番号は、スロットでサポートされる最大リンク帯域幅に対応します。

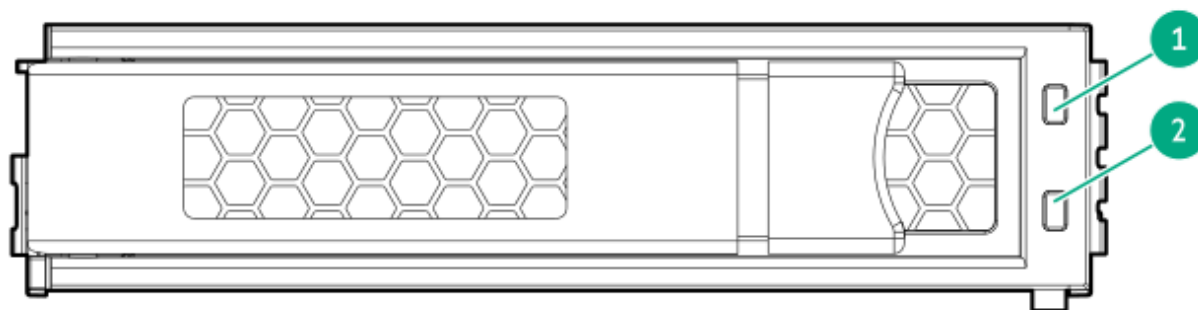
HPE のベーシックドライブの LED の定義

HPE のベーシックドライブキャリアには、次の LED があります。

- ・ オレンジ色/青色の LED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- ・ 緑色の LED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

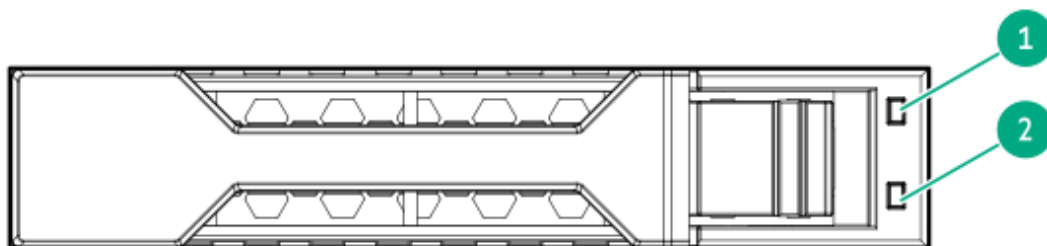
LFF (3.5 型) ロープロファイルドライブキャリア

LFF (3.5 型) ロープロファイルドライブキャリアはホットプラグ SAS または SATA ドライブをサポートしています。



SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリア

SFF (2.5 型) ベーシックドライブキャリアはホットプラグ SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 - RAID の再構築または実行 - ストリップサイズの移行の実行 - 容量拡張の実行 - 論理ドライブの拡張の実行 - 消去 - スペア部品のアクティブ化操作

番号	LED	状態	定義
		緑色で点滅(毎秒 4 回点滅)	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAID コントローラーで構成されていない、またはスペアドライブです。

ドライブベイの番号

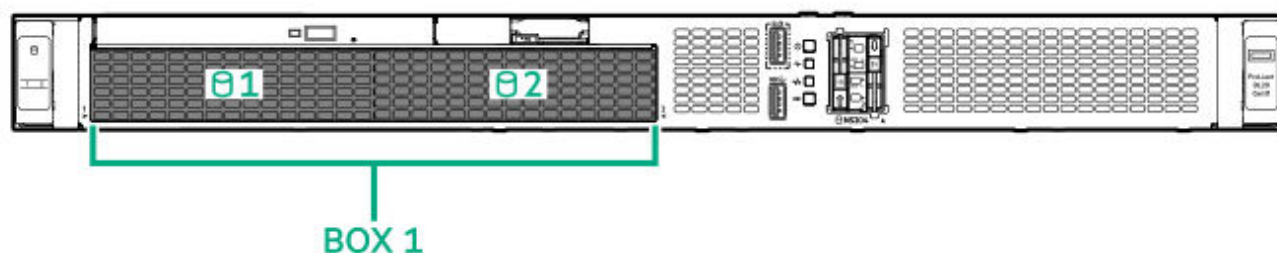


注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブのベイ番号

- ・ SATA ドライブがサポートされています。
- ・ Intel VROC SATA RAID のオンボード接続は SlimSAS x4 ポート 2 でサポートされています。



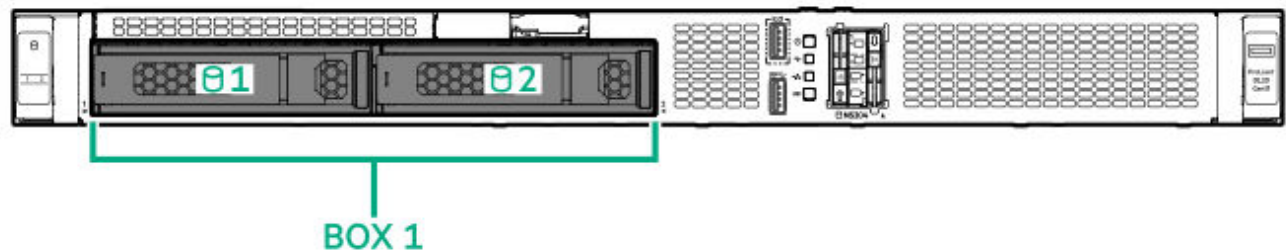
2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブのベイ番号

- ・ 2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブボックスは、2 LFF (3.5 型) 12G x1 SAS UBM3 LP BP ドライブバックプレーンを使用します。

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名](#)を参照してください。

- ・ SAS または SATA ドライブがサポートされています。

- ・ Intel VROC SATA RAID のオンボード接続は SlimSAS x4 ポート 2 でサポートされています。



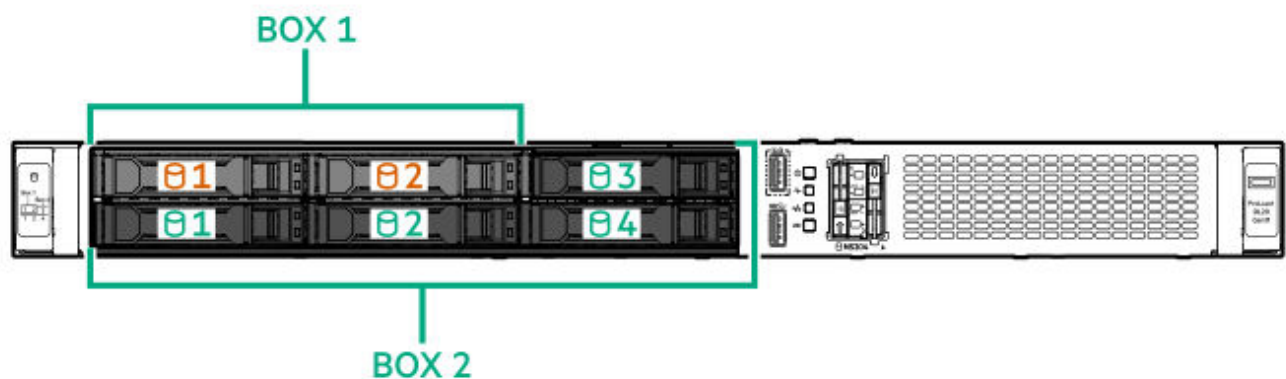
4+2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのベイ番号

- ・ 次のドライブバックプレーンが、4+2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成でサポートされています。

- ボックス 1 : 2 SFF (2.5 型) 24G x4 NVMe/SAS UBM3 BC BP
- ボックス 2 : 4 SFF (2.5 型) 12G x1 SAS UBM3 BC BP

ドライブバックプレーンの説明について詳しくは、[ドライブバックプレーンの命名を参照](#)してください。

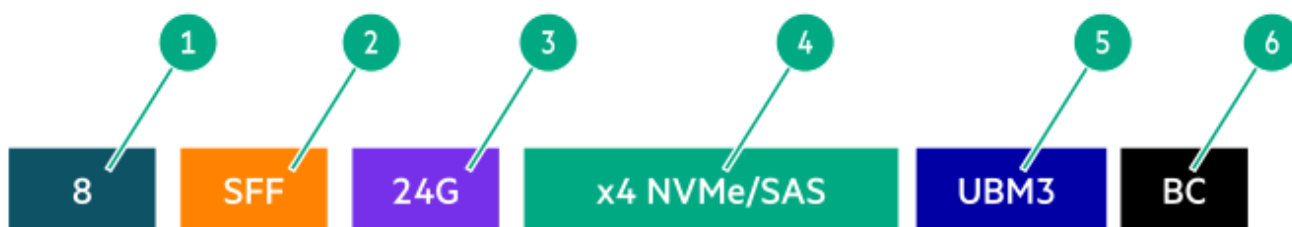
- ・ ボックス 1 は SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートします。
- ・ Intel VROC SATA RAID のボックス 1 は、SlimSAS x8 ポート 3 でサポートされています。
- ・ ボックス 2 は SAS または SATA ドライブをサポートします。
- ・ Intel VROC SATA RAID のボックス 2 は、SlimSAS x4 ポート 2 でサポートされています。



ドライブバックプレーンの命名

このトピックでは、ドライブバックプレーンの命名で示されている機能について説明します。この命名規則は、HPE Gen11 サーバーリリースから採用されています。サーバーは、このトピックに記載されているすべての機能をサポートしているとは限りません。サーバー固有のサポート情報については、サーバーのガイドを参照してください。

- ・ ドライブバックプレーンのサポートについては、ドライブベイの番号を参照してください。
- ・ ドライブバックプレーンのケーブル接続については、ストレージのケーブル接続を参照してください。

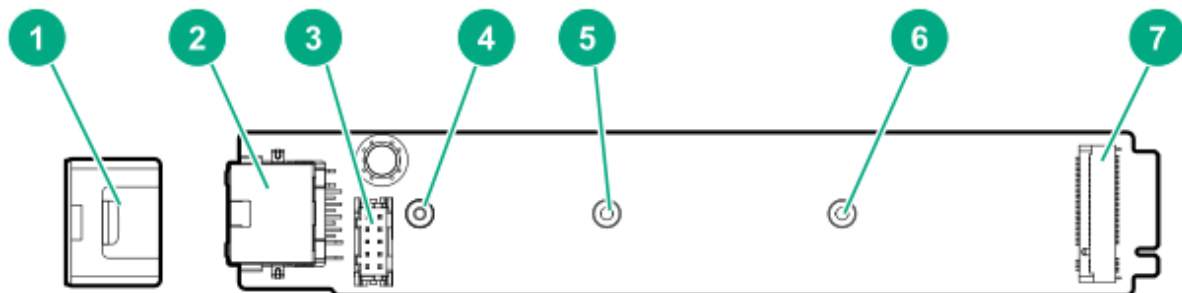


番号	説明	値
1	ドライブベイの数	バックプレーンでサポートされているドライブベイの数。
2	ドライブのフォームファクター	LFF (3.5 型) – ラージフォームファクター SFF (2.5 型) – スモールフォームファクター E3.S – Enterprise and Datacenter Standard Form Factor (EDSFF E3.S)
3	レーンあたりの最大リンク速度 (GT/s)	12G 16G 24G 32G
4	ポートリンク幅とインターフェイス	x1 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、または SATA ¹ x4 NVMe/SAS – U.3 NVMe、SAS、または SATA ² x4 NVMe – NVMe ³ x4 NVMe – E3.S
5	Universal Backplane Manager (UBM) モデル	UBM モデルは、バックプレーンで使用する UBM ファームウェアを定義します。

番号	説明	値
		UBM モデルの例 : UBM2、UBM3 など。
6	ドライブキャリアのタイプ	BC - ベーシックキャリア (SFF (2.5 型)) LP - ロープロファイルキャリア (LFF (3.5 型)) EC - E3.S キャリア

- ¹ x1 U.3 NVMe、SAS、および SATA ドライブに対するトライモードコントローラーのサポート。システムボード接続は、SATA ドライブのみをサポートします。
- ² x4 U.3 NVMe、x2 (スプリッターケーブル経由) U.3 NVMe、または x1 SAS および SATA ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。
- ³ x4 NVMe ドライブに対する CPU 直接接続またはトライモードコントローラーのサポート。

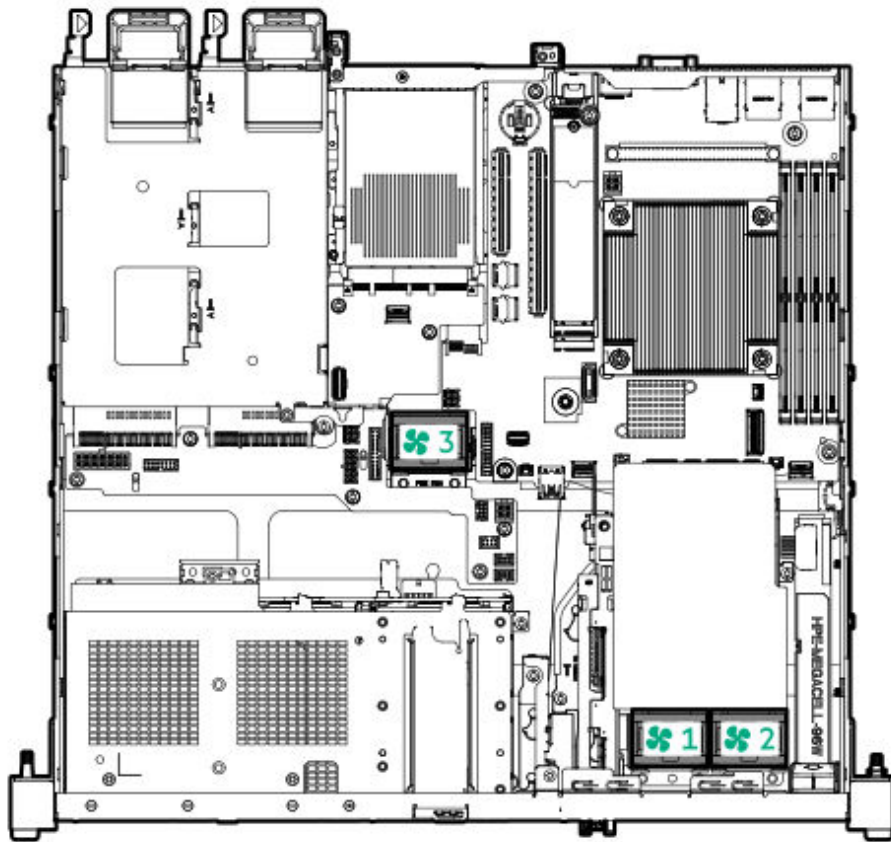
iLO-M.2 シリアルモジュールコンポーネント



番号	説明
1	モジュール固定脚
2	iLO 専用ネットワークポート
3	シリアルポートケーブルコネクタ
4	M.2 22110 SSD 用突起
5	M.2 2280 SSD 用突起
6	M.2 2242 SSD 用突起 ¹
7	M.2 スロット

1 このサーバーでは未使用

ファン番号



ファン番号	説明
1	プロセッサーファン
2	システムファン
3	PCIe ファン

ファンモードの動作

サーバーは非冗長ファンモードをサポートします。ファンに障害が発生するか、見つからない場合、以下のシステムの動作が発生します。

- ・ ヘルス LED が赤く点滅します。
- ・ オペレーティングシステムが、適切なシャットダウンを実行します。

Trusted Platform Module2.0

Trusted Platform Module2.0 (TPM) は、プラットフォームの認証に使用されるアーティファクトを安全に保存するハードウェアベースのシステムセキュリティ機能です。これらのアーティファクトには、パスワード、証明書、暗号鍵などが含まれます。

TPM 2.0 はサーバーのシステムボードに組み込まれています。

TPM 2.0 は、特定のオペレーティングシステムサポート (Microsoft Windows Server 2012 R2 以降など) でサポートされます。オペレーティングシステムサポートについては、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) にある製品の QuickSpecs を参照してください。Microsoft Windows の BitLocker ドライブ暗号化機能については、Microsoft の Web サイト (<https://www.microsoft.com>) を参照してください。

サブトピック

Trusted Platform Module2.0 のガイドライン

BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

Trusted Platform Module2.0 のガイドライン



注意

- ・ 必ず、このセクションに記載されている TPM のガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- ・ サーバーの変更や OS での TPM のサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPM を使用している OS ですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア（システムボードやドライブなど）の交換、TPM の OS 設定の変更が含まれます。
- ・ OS のインストール後に TPM モードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

- ・ TPM を構成するには、UEFI システムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Module オプションを選択します。詳しくは、UEFI ユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/hpeuefisisystemutilities-quicklinks>

- ・ Microsoft Windows BitLocker ドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性を BitLocker が検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- ・ HPE は、TPM の不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

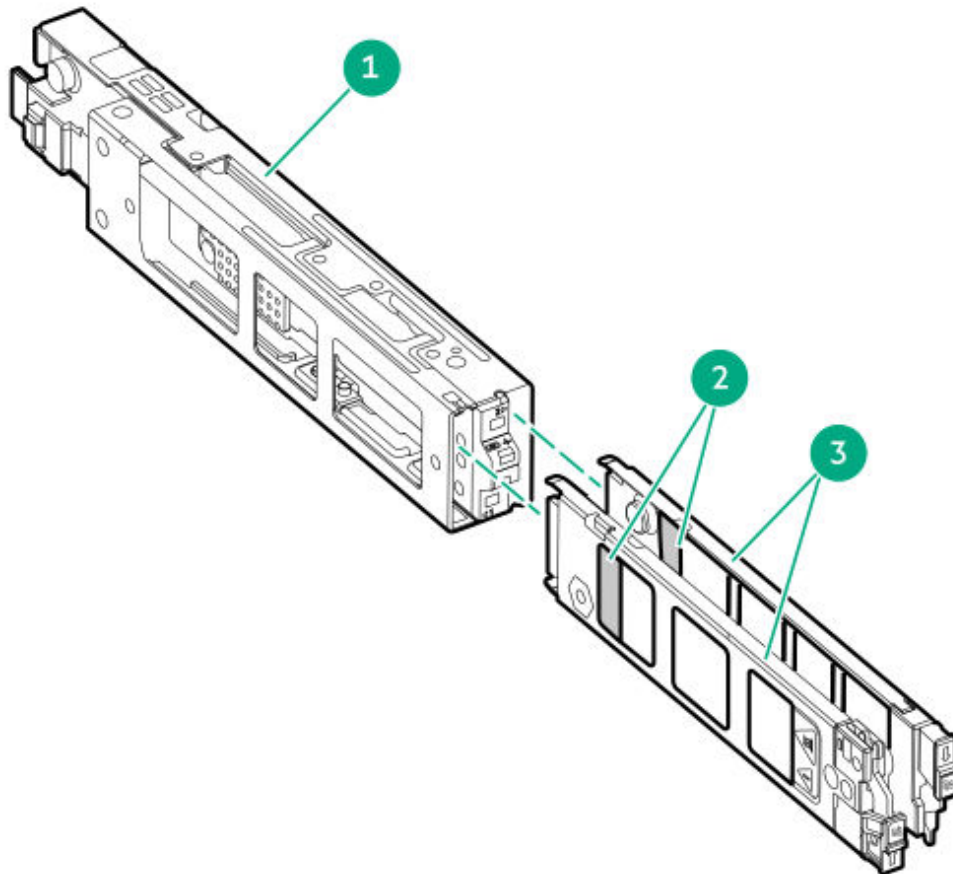
BitLocker リカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

リカバリキー/パスワードは、BitLocker のセットアップ時に生成され、BitLocker を有効にした後に保存および印刷できます。BitLocker を使用する際は、常に、リカバリキー/パスワードを保管してください。システム整合性が侵害された可能性を BitLocker が検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキー/パスワードが必要です。

最大限のセキュリティを確保できるように、リカバリキー/パスワードを保管する際は、次のガイドラインに従ってください。

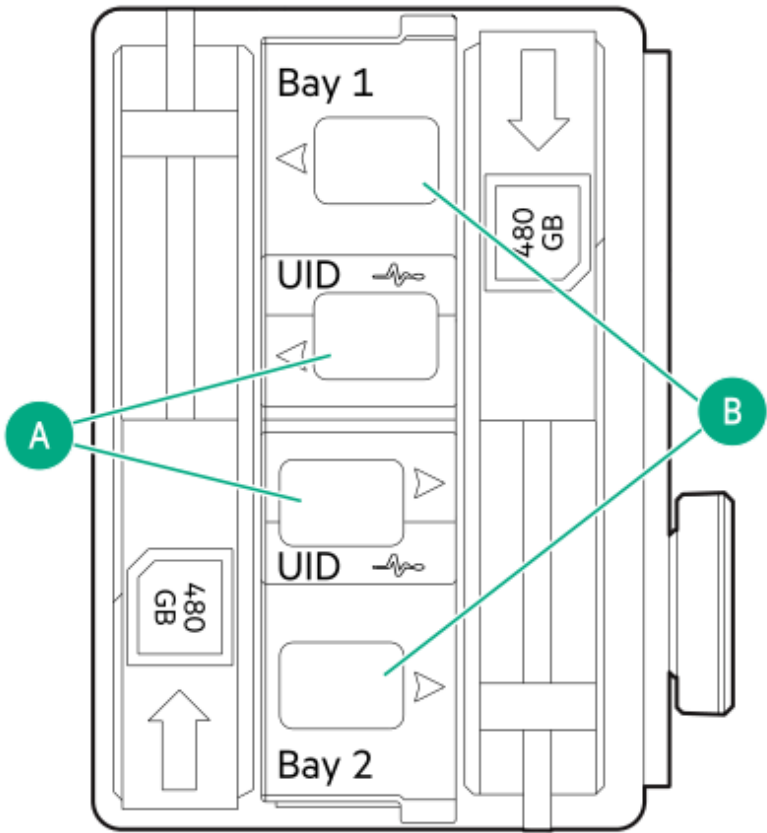
- ・ リカバリキー/パスワードは必ず、複数の場所に保管してください。
- ・ リカバリキー/パスワードのコピーは必ず、サーバーから離れた場所に保管してください。
- ・ リカバリキー/パスワードを、暗号化されたドライブに保存しないでください。

HPE NS204i-u ブートデバイスのコンポーネント



番号	説明
1	ブートデバイスケージ
2	M.2 スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-u ブートデバイスの LED の定義



注記

ベイ番号は SSD キャリアハンドルに記載されています。

番号	LED	ステータス	定義
A	障害または位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しています。
		オレンジ色または青色で点滅（1 秒に 1 回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、アプリケーションによって識別されていません。

番号	LED	ステータス	定義
B	オンライン/ 動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒 1 回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAID の再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒 4 回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブでは、RAID コントローラーによる構成は行われていません。

セットアップ

この章では、サーバーの初期セットアップ手順のほか、一般的な操作要件と安全上の注意事項についても説明します。

サブトピック

[システムの初期インストール](#)

[動作要件](#)

[ラックに関する警告と注意事項](#)

[サーバーに関する警告と注意事項](#)

[静電気対策](#)

システムの初期インストール

システムの初期インストールの場合、技術的専門性と製品の複雑性に応じて、次のいずれかのオプションを選択します。

- ・ [HPE インストレーションサービスをオーダーする](#)
- ・ [サーバーのセットアップ](#)

サブトピック

[HPE インストレーションサービス](#)

[Intel VROC のサポート](#)

[サーバーのセットアップ](#)

HPE インストレーションサービス

HPE インストレーションサービスでは、Hewlett Packard Enterprise 製品、ソフトウェア製品、HPE または HPE 製品販売店によって販売される他のベンダーの HPE サポート対象製品の基本的な設置、インストールを提供しています。インストレーションサービスは、HPE および HPE サポート対象製品を安心してお使いいただけるように設計された HPE スペシャリストによる HPE 導入サービスです。

HPE インストレーションサービスには以下の利点があります。

- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストール。
- ・ 製品仕様に基づき確実かつ迅速なインストール。
- ・ サービス実施のスケジュール調整。
- ・ お客様は本来の業務に集中することが可能。
- ・ HPE 認定テクニカルスペシャリストによるインストールが必要な製品について、保証期間内は完全補償。

HPE インストレーションサービスのサービス仕様およびお取引条件は下記 Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/installation-service>

Intel VROC のサポート

Intel Hybrid RAID on CPU (Intel VROC)は、エンタープライズレベルのハイブリッド RAID サポートを提供します。以下の情報に注意してください。

- ・ Intel VROC は、直接接続された SATA SSD に RAID サポートを提供します。
- ・ Intel VROC ドライバーが必要です。OS 固有のドライバーのダウンロードについては、次のページを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/VROC-installation>

- ・ Intel VROC ではサーバー起動モードを UEFI モードに設定する必要があります。
- ・ デフォルトでは、Intel VROC RAID サポートは無効になっています。OS 起動前環境では、UEFI システムユーティリティを使用して Intel VROC を有効にし、VROC RAID ボリュームを作成します。これらのタスクは Intelligent Provisioning ではサポートされていません。

- ・ VROC RAID ボリュームは、同じインターフェイスとフォームファクターのドライブを使用する必要があります。
- ・ Intel VROC では、以下のツールを通じた RAID 管理がサポートされています。
 - 任意の OS : UEFI システムユーティリティ
 - Windows : Intel VROC GUI および Intel VROC CLI
 - Linux : `mdadm` CLI

Intel VROC の機能と構成について詳しくは、ストレージコントローラーの構成を参照してください。

サーバーのセットアップ

前提条件

- ・ ベストプラクティスとして、Hewlett Packard Enterprise は、初めてサーバーを使用する前に、最新のファームウェア、ドライバー、およびシステムソフトウェアをインストールすることをお勧めします。以下のオプションがあります。
 - HPE Compute Ops Management は、統合された単一のブラウザーベースのインターフェイスを介して、エッジからクラウドまでの運用を安全に合理化し、主要なライフサイクルタスクを自動化する、先進的な Software-as-a-Service プラットフォームです。HPE Compute Ops Management の使用について詳しくは、<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks> を参照してください。
 - Intelligent Provisioning のファームウェアアップデートオプションを使用します。Intelligent Provisioning は、HPE ProLiant サーバーに組み込まれているサーバー展開ツールです。Intelligent Provisioning にアクセスするには、サーバーのブートプロセス中に F10 キーを押します。詳しくは、Intelligent Provisioning のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>) を参照してください。
 - Service Pack for ProLiant (SPP) をダウンロードします。SPP は、単一の ISO イメージとして提供される統合されたシステムソフトウェアおよびファームウェアアップデートソリューションです。このソリューションは、Smart Update Manager (SUM) を展開ツールとして使用します。
 - 推奨される SPP のダウンロード方法は、<https://www.hpe.com/servers/spp/custom> で SPP カスタムダウンロードを作成することです。

このオプションでは、不要な OS およびサーバーモデルのファームウェアとドライバーを除外することによって、SPP のサイズを縮小できます。

- SPP は、https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl にある SPP ダウンロードページからもダウンロードすることができます。
- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。
<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>
- ・ このサーバーは、タイプ o およびタイプ p ストレージコントローラーオプションをサポートします。ストレージ構成には、SATA AHCI（デフォルト）または Intel Hybrid RAID on CPU（Intel VROC）を使用してください。Intel VROC を使用する予定の場合は、サーバーをセットアップする前に、これらの重要な情報を確認してください。
- ・ サーバーの動作要件を確認します。
- ・ 安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<https://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>
- ・ シリアル番号/iL0 情報プルタブにある iL0 ホスト名とデフォルトのログイン認証情報を書き留めます。

手順

- ・ サーバーの箱を開けて内容を確認してください。
 - ・ サーバー
 - ・ 電源コード
 - ・ ラックレールの面ファスナーストラップ
 - ・ ラックマウント用ハードウェア部品（オプション）
 - ・ 印刷されたセットアップドキュメント

サーバーには、OS メディアは同梱されません。すべてのシステムソフトウェアとファームウェアは、あらかじめサーバーにロードされています。
- ・ （オプション）ハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ サーバーの管理方法を決定します。
 - ・ ローカル：KVM スイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
 - ・ リモート：iL0 Web インターフェイスに接続し、リモートコンソールを実行します。
 - a. 次のことを確認します。
 - iL0 に、リモートコンソール機能を使用するライセンスが付与されている。

iLO のライセンスがない場合は、HPE の Web サイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/jp/servers/ilo>

- 。 iLO マネジメントポートが、安全なネットワークに接続されている。

b. ブラウザーを使用して、iLO の Web インターフェイスに移動し、ログインします。

`https://<iLO ホスト名または IP アドレス>`

以下の点に注意してください。

- 。 DHCP サーバーが IP アドレスを割り当てる場合、IP アドレスはブート画面に表示されます。

- 。 静的 IP アドレスが割り当てられている場合は、その IP アドレスを使用します。

c. iLO ログイン名とパスワードを入力して、ログインをクリックします。

d. ナビゲーションツリーで、リモートコンソール&メディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。

電源ボタンを押します。

リモートで管理する場合は、iLO の仮想電源ボタンを使用します。

サーバーの初期セットアップを構成します。

ストレージをセットアップします。

OS または仮想化ソフトウェアを展開します。

OS のインストール後、ドライバーをアップデートします。

サーバーを登録します。

動作要件

取り付けの準備と計画を行う際には、次の動作要件を必ず守ってください。

- ・ 空間および通気要件
- ・ 温度要件
- ・ 電源要件
- ・ アース要件

環境要件については、環境仕様を参照してください。

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

サーバーを屋内の商用ラックに設置する際には、修理をしやすくし、また通気をよくするために、次の空間および通気要件に従ってください。

- ・ ラックの前面に 63.50 cm (25.00 インチ)
- ・ ラックの背面に 76.20 cm (30.00 インチ)
- ・ ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面の間に 121.90 cm (48.00 インチ)

次の注意事項に従ってください。

- ・ サーバーは、冷気をラックの前面から吸収して、内部の熱気を背面から排出します。ラックの前面ドアと背面ドアは、周囲の空気がキャビネット内に入るように適切に換気されている必要があります。キャビネットから内部の熱気を逃がすために、背面ドアは十分に換気されている必要があります。



注意

不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。



注意

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー周辺の空気の流れが変動することがあります。適切な通気を維持するために、コンポーネントを取り付けない棚は、すべてブランクパネルでカバーしてください。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

- ・ 他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。

- 。 正面および背面ドア-42U ラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて 5,350 平方 cm (830 平方インチ) の通気孔 (通気に必要な 64 パーセントの開口部と同等) を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
- 。 側面-取り付けたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は、7.00 cm (2.75 インチ) 以上空けてください。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度 (TMRA) は、35° C (95° F) です。ラックを設置する室内の温度は、35° C (95° F) を超えてはなりません。



注意

他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- ・ 製造元の TMRA を超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition (全国的な電気規約) および NFPA-75, 1992 (電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約) の適用対象となる取り付けで動作するよう設計されています。オプションの電源の定

格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告

けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給する AC 電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code 第 250 項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Code に従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364 の第 1 部から第 7 部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterprise では、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDU を使用することをお勧めします。NEMA ロック式プラグまたは IEC 60309 に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は 9.00 kg (19.84 ポンド) になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で 12.00 kg (26.46 ポンド) になります。ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- ・ サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は 9.00 kg (19.84 ポンド) を超えているため、サーバーを持ち上げてラックに取り付ける際は、必ず 2 人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- ・ サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをラックから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- ・ コンポーネントをラックの外部に引き出す前に、ラックを安定させてください。また、コンポーネントは 1 つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。
- ・ レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。



警告

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ・ ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、

サーバーに関する警告と注意事項



警告

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



警告

Energy Pack を取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために：

- ・ Energy Pack を分解したり、つぶしたり、穴を空けたりしないでください。
- ・ 外部接点をショートさせないでください。
- ・ Energy Pack を火や水の中に投じないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Pack を低い空気圧にさらさないでください。
- ・ Energy Pack を 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が 1 秒から 160 秒間はある可能性があります。



注意

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS を使用してください。UPS は、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- ・ 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- ・ 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- ・ 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ・ ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- ・ 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、 $1\text{ M}\Omega \pm 10\%$ です。アースを正しく行うために、アースバンドを肌に密着させてください。
 - 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
 - 作業用具は導電性のものを使用します。
 - 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

この章では、ハードウェアコンポーネントの取り付けまたは取り外しを行う前後に実行するハードウェアの操作、またはサーバーメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の実行について説明します。これらのハードウェア操作を実行する前に、以下を確認してください。

- ・ ラックに関する警告と注意事項
- ・ サーバーに関する警告と注意事項

サブトピック

フロントベゼルを取り外す
サーバーの電源を切る
ラックからサーバーを引き出す
サーバーをラックから取り外す
アクセスパネルを取り外す
ライザーケージを取り外す
ライザーケージを取り付ける
アクセスパネルを取り付ける
サーバーをラックに取り付ける
サーバーの電源を入れる

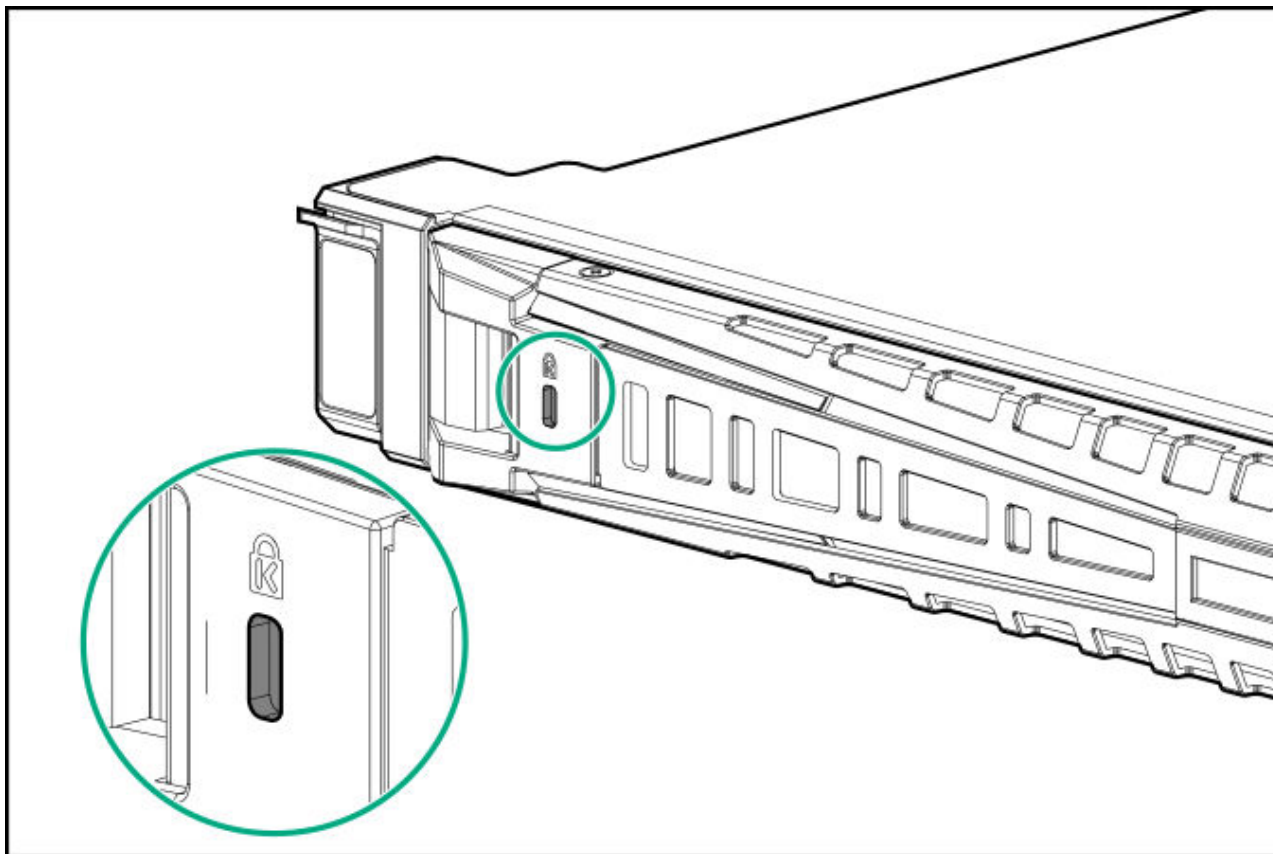
フロントベゼルを取り外す

このタスクについて

iLO 仮想電源ボタンを使用してサーバーの電源のオン/オフを切り替えている場合、フロントベゼルを取り外す必要はありません。フロントパネルコンポーネントにアクセスする必要がある場合のみ、フロントベゼルを取り外します。

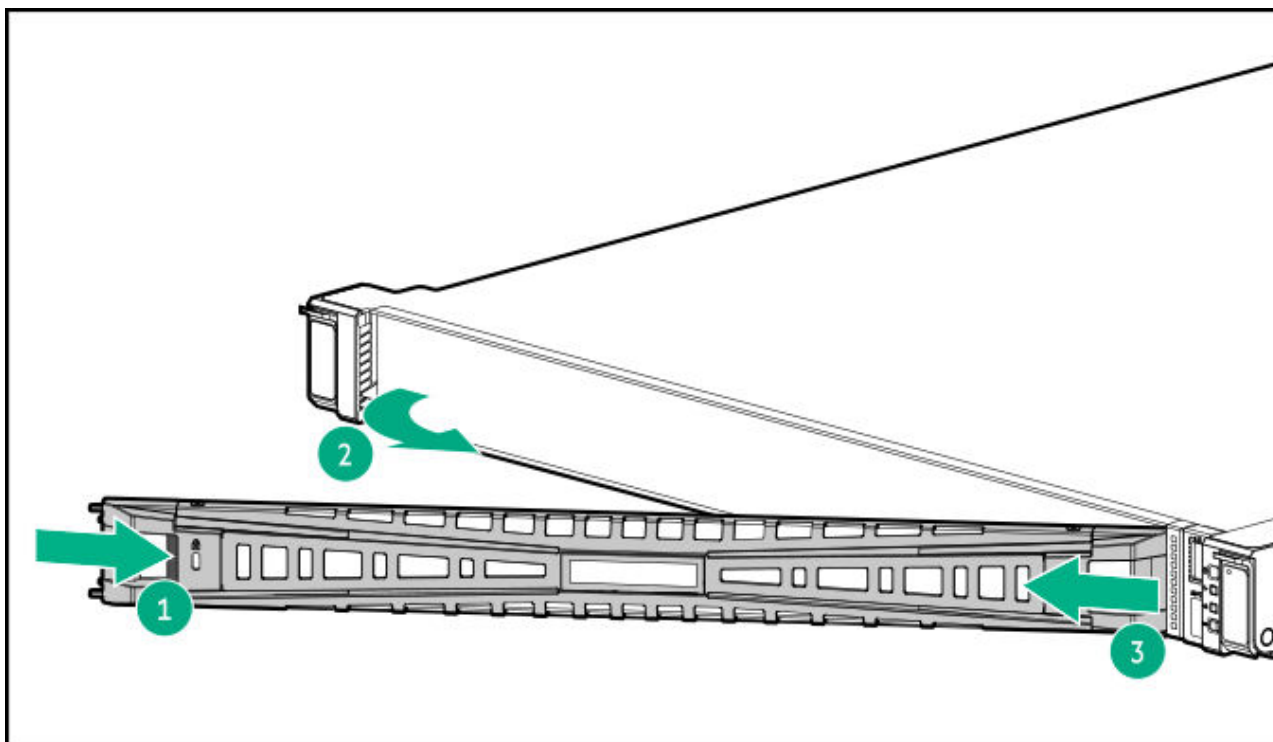
手順

- ・ Kensington セキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。
詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。



ベゼルリリースラッチを押してから、ベゼルを回転させて開きます。

ベゼルの右側をフロントパネルから外します。



サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- ・ 電源ボタンを押して離します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS の制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS 構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。
- ・ 電源ボタンを 4 秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションと OS を終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- ・ iLO 6 経由の仮想電源ボタンを使用します。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションと OS を正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源 LED がオレンジ色）になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

前提条件

- ・ この手順を実行する前に、ラックに関する警告と注意事項を確認してください。
- ・ T-25 トルクスドライバー - このツールは、シャーシヤー内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

このタスクについて

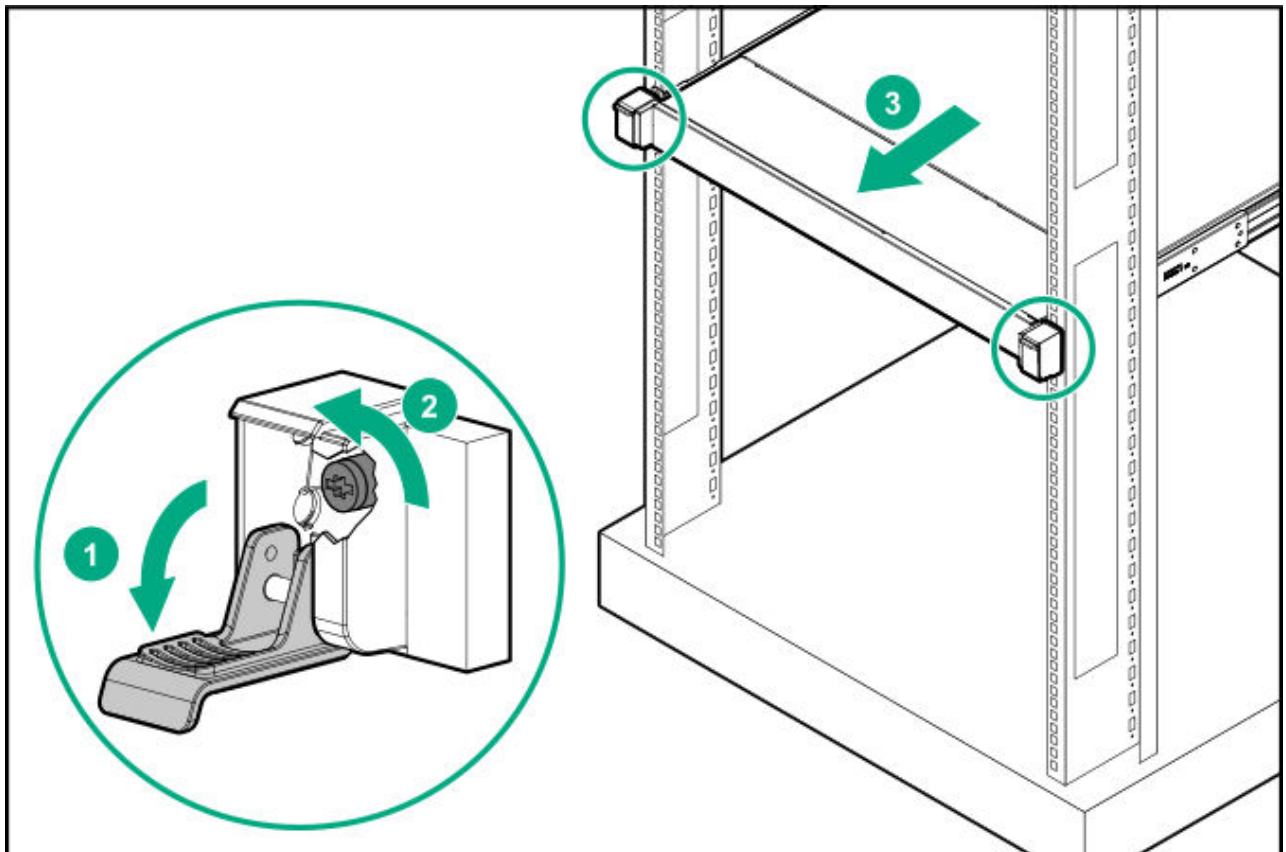


警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。

手順

必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシャーラッチを使用して、レールリリースラッチがかみ合うまでサーバーをラックから引き出します。

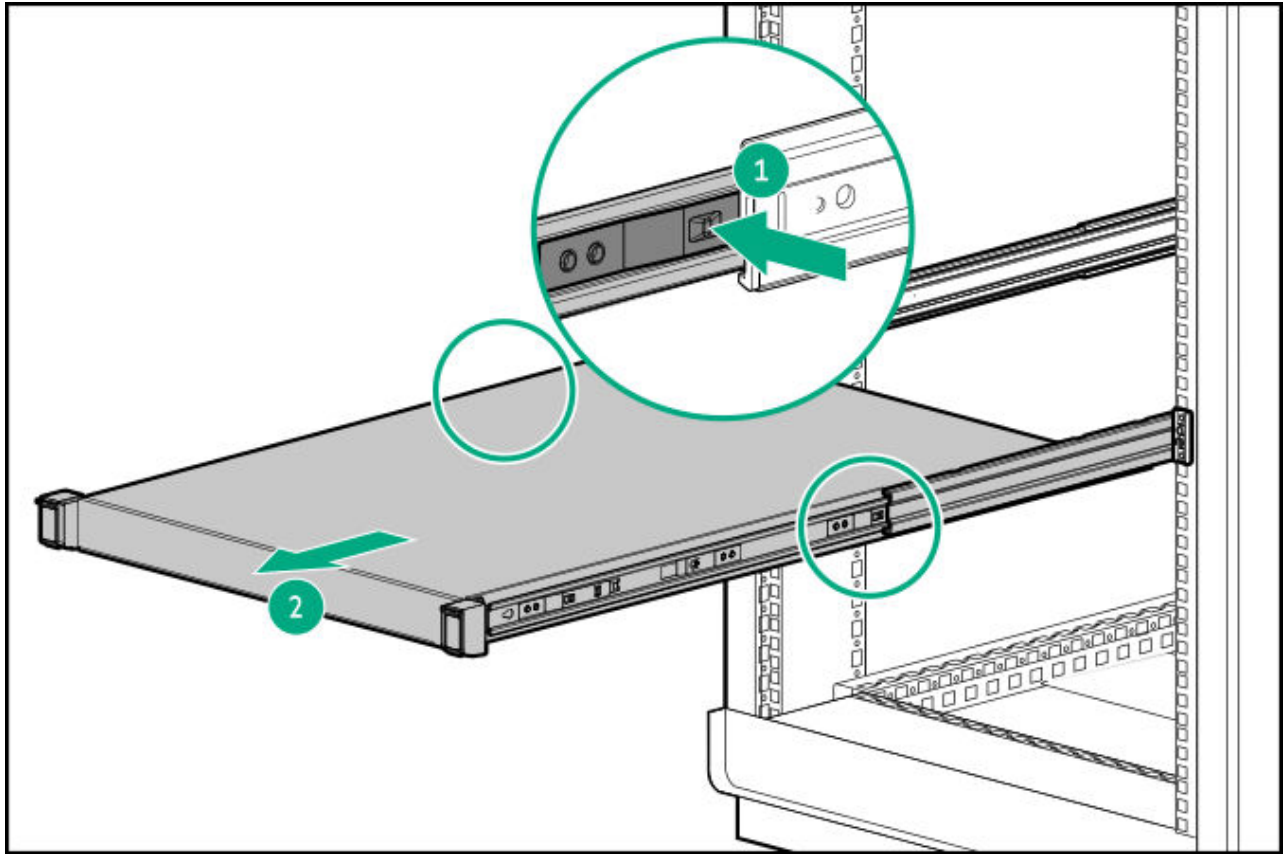


リア側のレールリリースラッチを押したまま、サーバーをスライドさせてラックから完全に引き出します。



警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。



サーバーをラックから取り外す

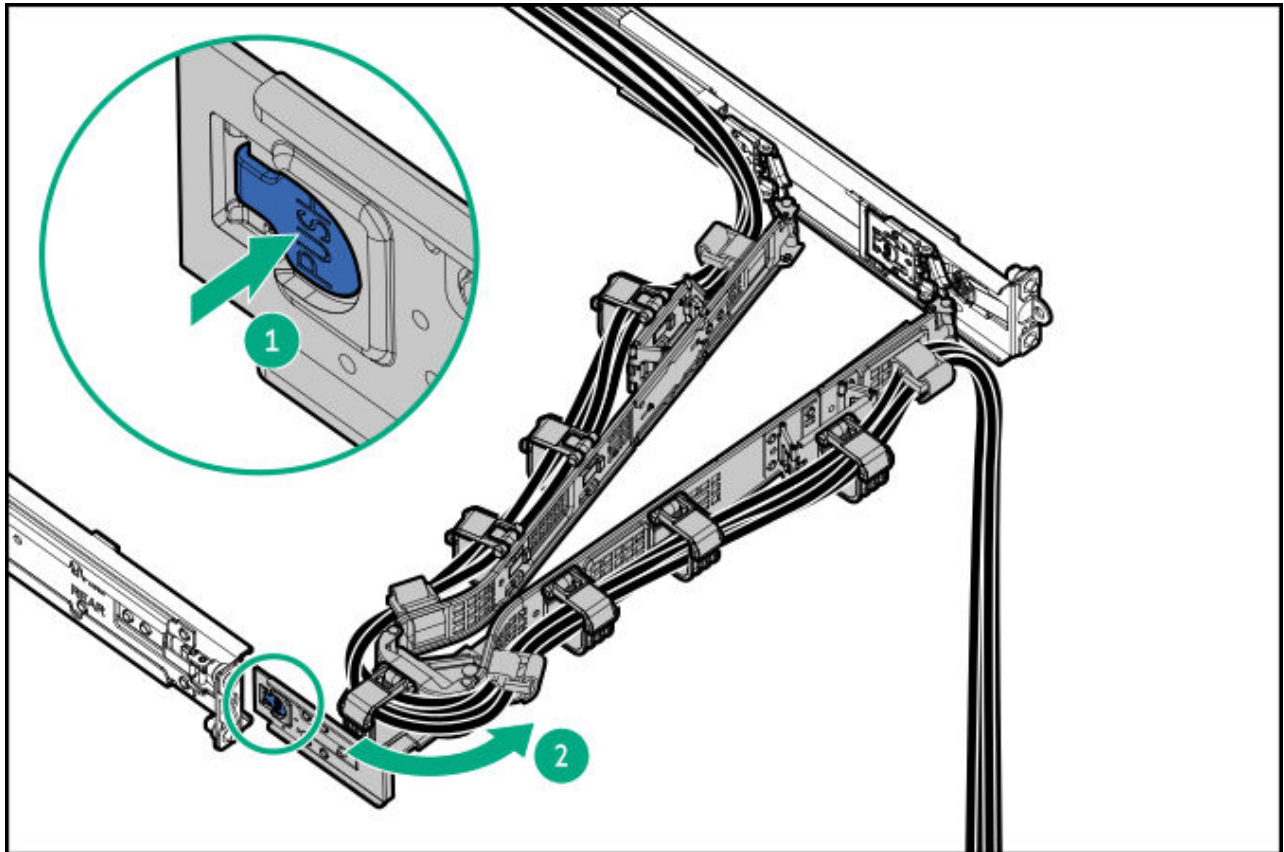
前提条件

- ・ ラックからの取り外し中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを取り外すために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックから引き出します。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部サーバーコンポーネントを取り外してから、サーバーをラックから取り外すことをお勧めします。

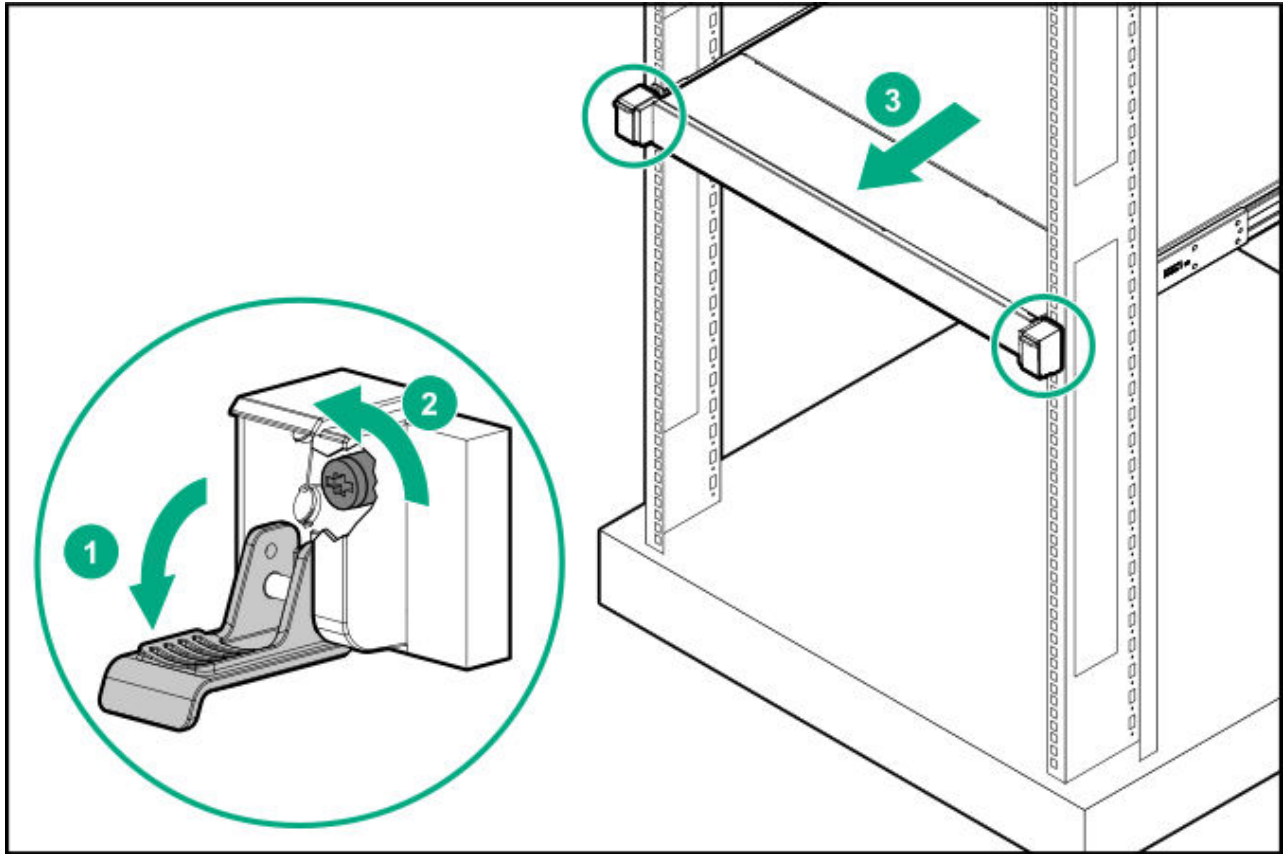
- ・ T-25 トルクスドライバー – このツールは、シャーシイヤー内にある輸送用ネジが固定されている場合に必要です。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ 固定ブラケットの青い PUSH ボタンを押したままにします。
- ・ アームを動かしてリアパネルから取り外します。



- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ 必要に応じて、輸送用ネジを緩め、シャーシイヤーラッチを使用して、サーバーをスライドさせ、フロント側のレールリリースラッチがかみ合うまでラックから引き出します。

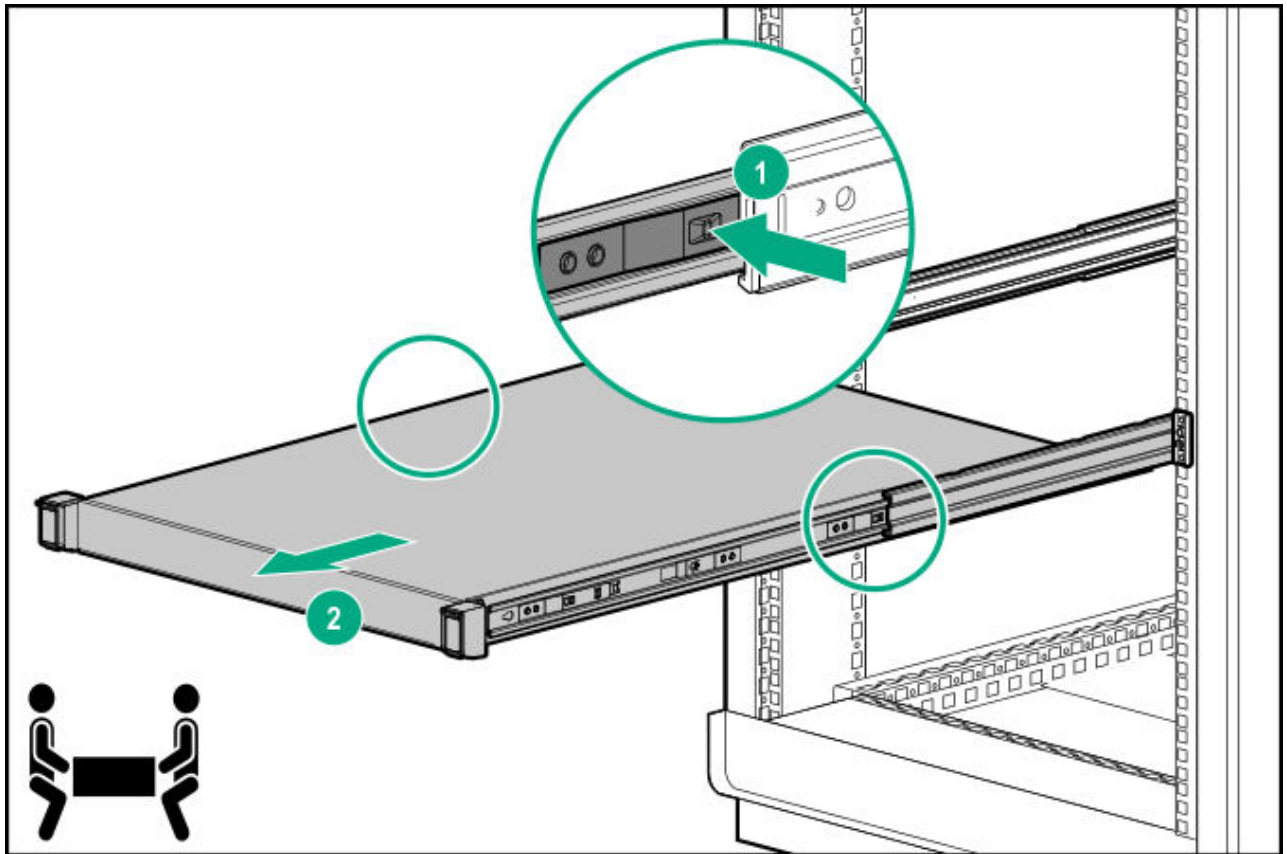


リア側のレールリリースラッチを押したまま、サーバーをスライドさせてラックから完全に引き出します。

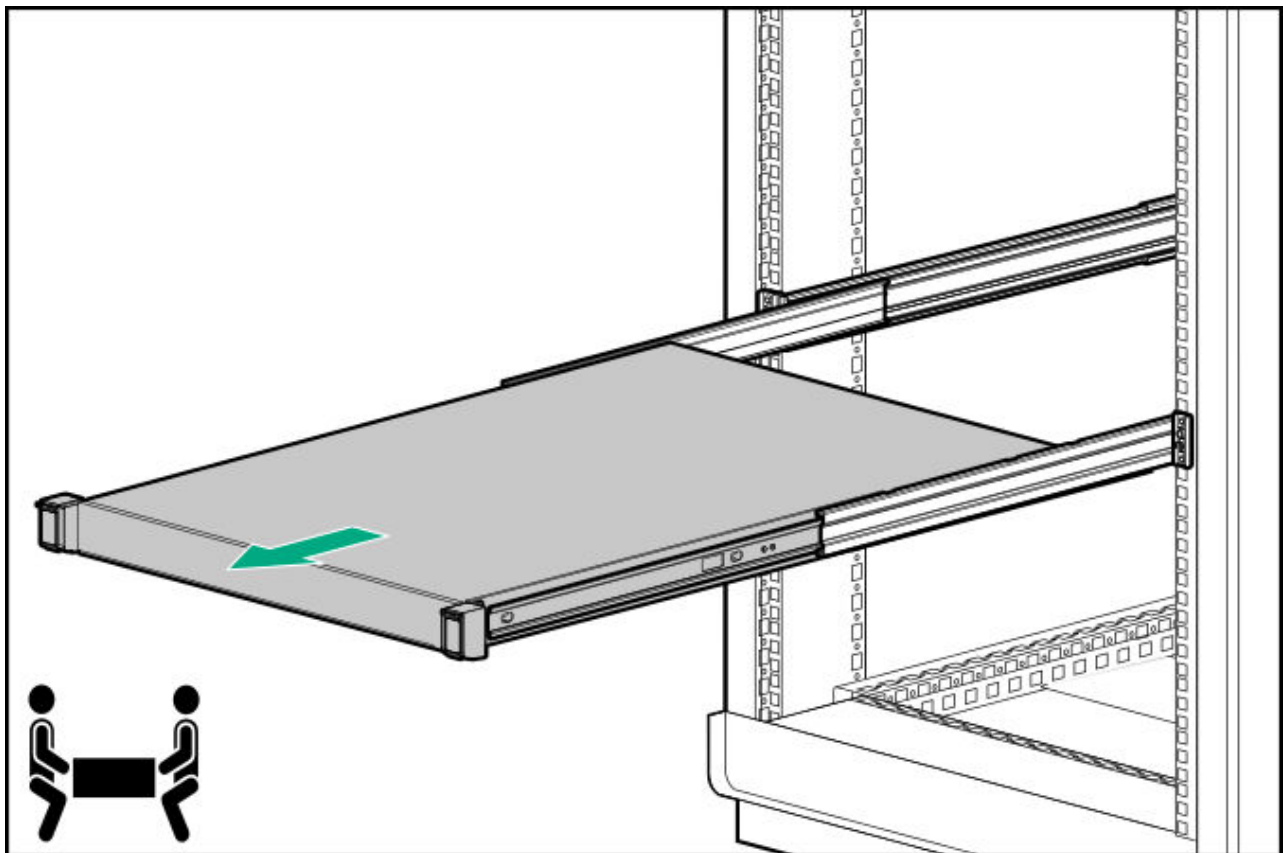


警告

サーバーのレールリリースラッチを押す際には、けがをしないように十分に注意してください。インナーレールに指をはさむ場合があります。



サーバーをスライドさせて完全にラックから引き出します。



- ・ サーバーを平らで水平な面に置きます。

アクセスパネルを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。



注意

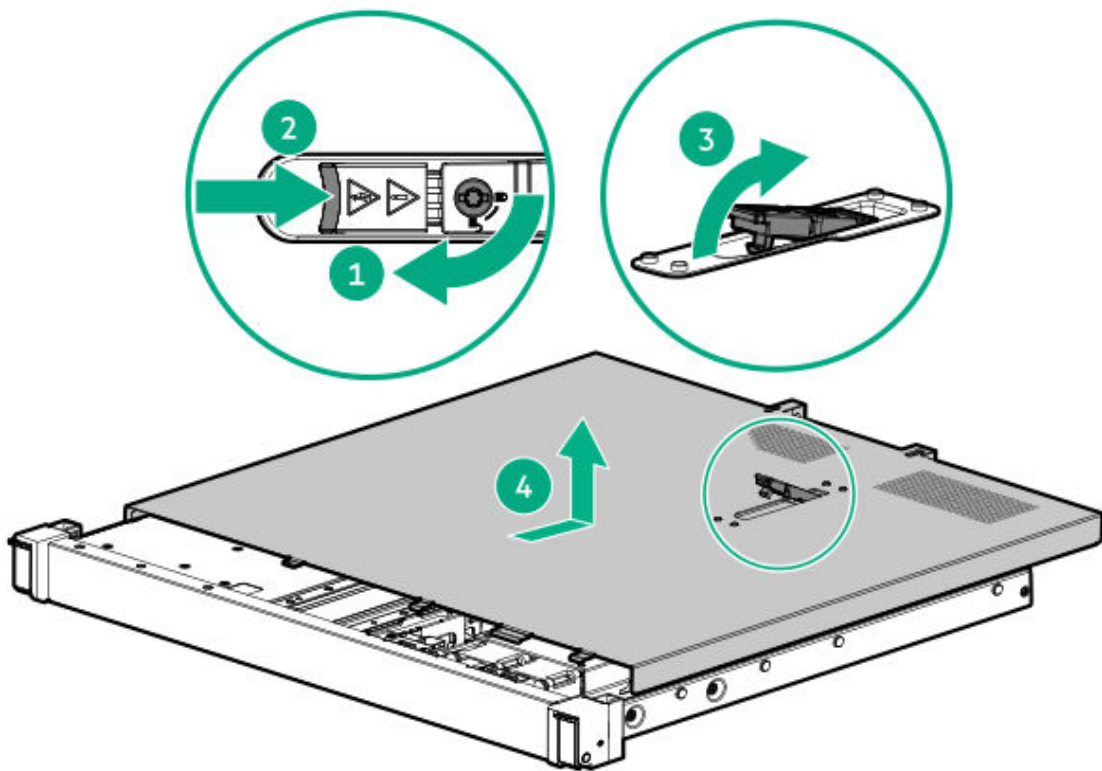
適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60 秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ・ ヘルス LED がオレンジ色で点滅します。
- ・ オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

1. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜きます。
2. サーバーをラックから取り外します。
3. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
4. アクセスパネルを取り外します。
 - a. 必要に応じて、アクセスパネルのラッチをロック解除します。
 - b. シャーシからアクセスパネルを離すには、リリースボタンを押し、ラッチを引き上げます。
 - c. アクセスパネルを持ち上げます。



ライザーケージを取り外す

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

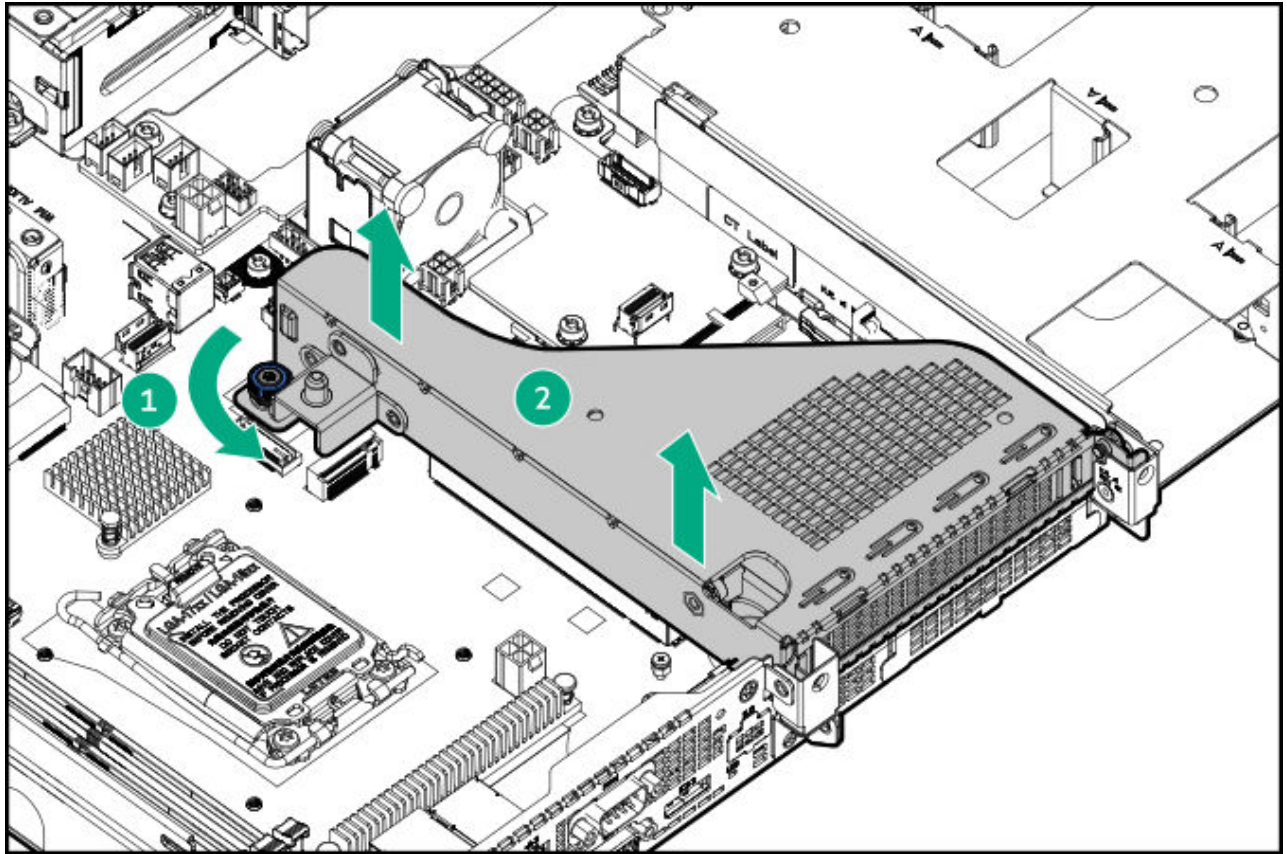


警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 拡張カードが内部ケーブルでライザーに取り付けられている場合は、カードからケーブルを抜き取ります。
8. ライザーケースを取り外します。
 - a. ライザーケースのつまみネジを緩めます。
 - b. ライザーケースをメインボードから持ち上げます。



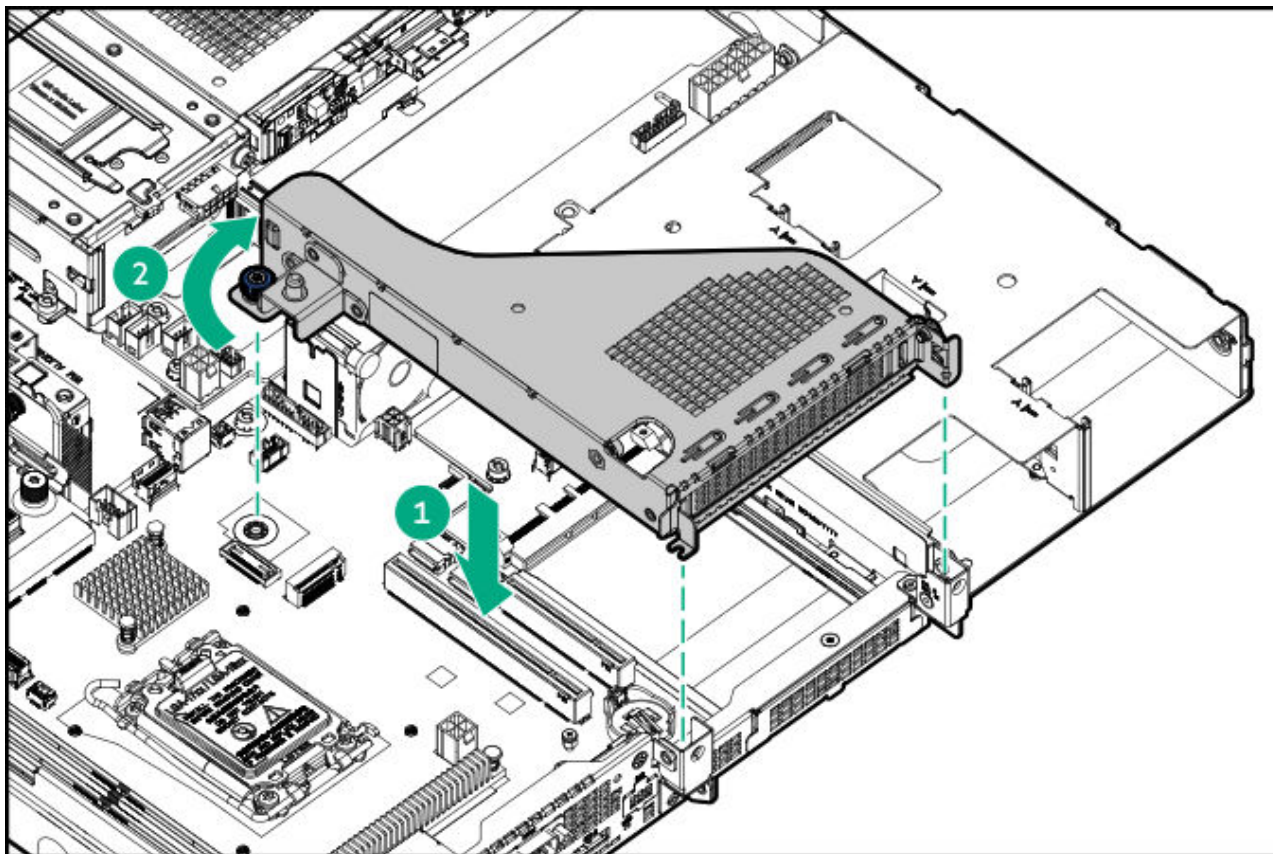
ライザーケージを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

1. 拡張カードまたはその内部ケーブル接続が取り外されている場合、これらのコンポーネントを再び取り付けます。
2. ライザーケージを取り付けます。
 - a. メインボードコネクタにライザーを慎重に押し込みます。
ライザーボードがしっかりと固定されていることを確認します。
 - b. ライザーケージのつまみネジを締めます。



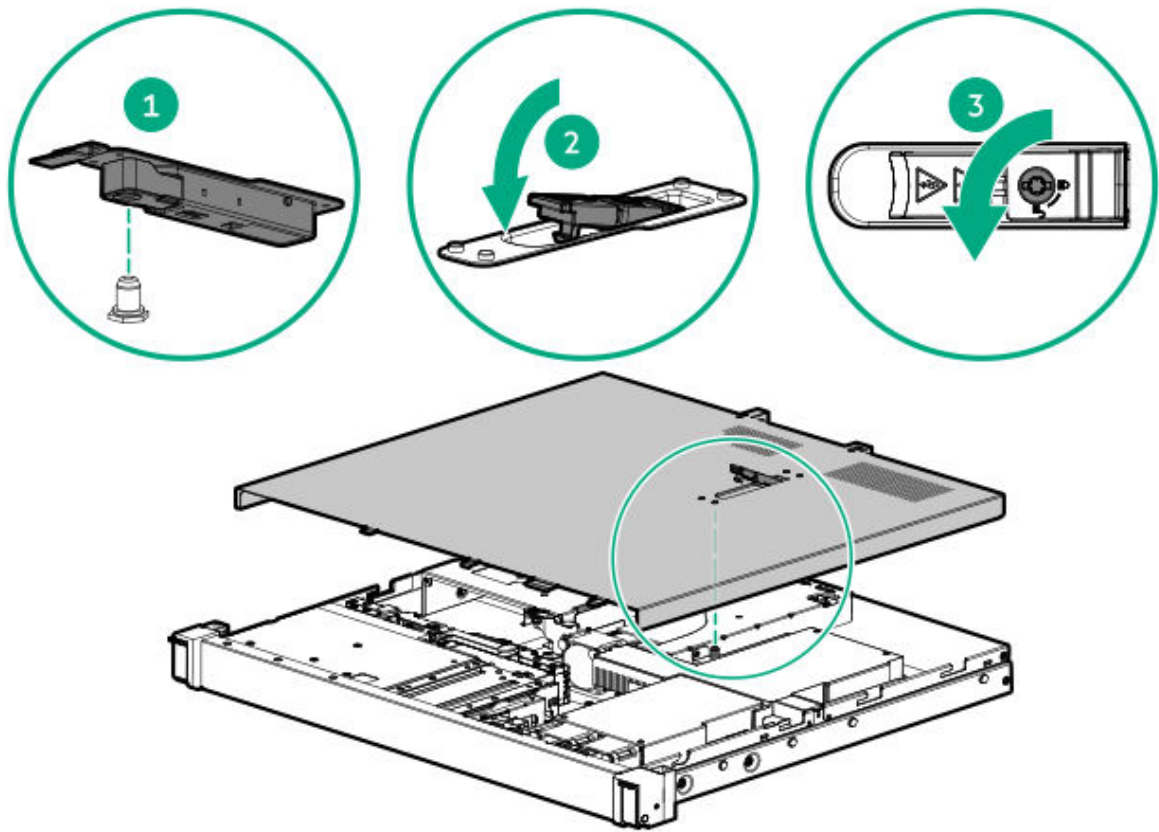
アクセスパネルを取り付ける

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

- 1. アクセスパネルのラッチを開けたまま、ラッチの下部にある穴に、シャーシ上のガイドピンを挿入します。
- 2. アクセスパネルのラッチを閉じます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
- 3. アクセスパネルのラッチをロックします。



アクセスパネルを取り外した場合に必要な手順で実施しなければならない、取り付け後またはメンテナンスの手順を実行します。

サーバーをラックに取り付ける

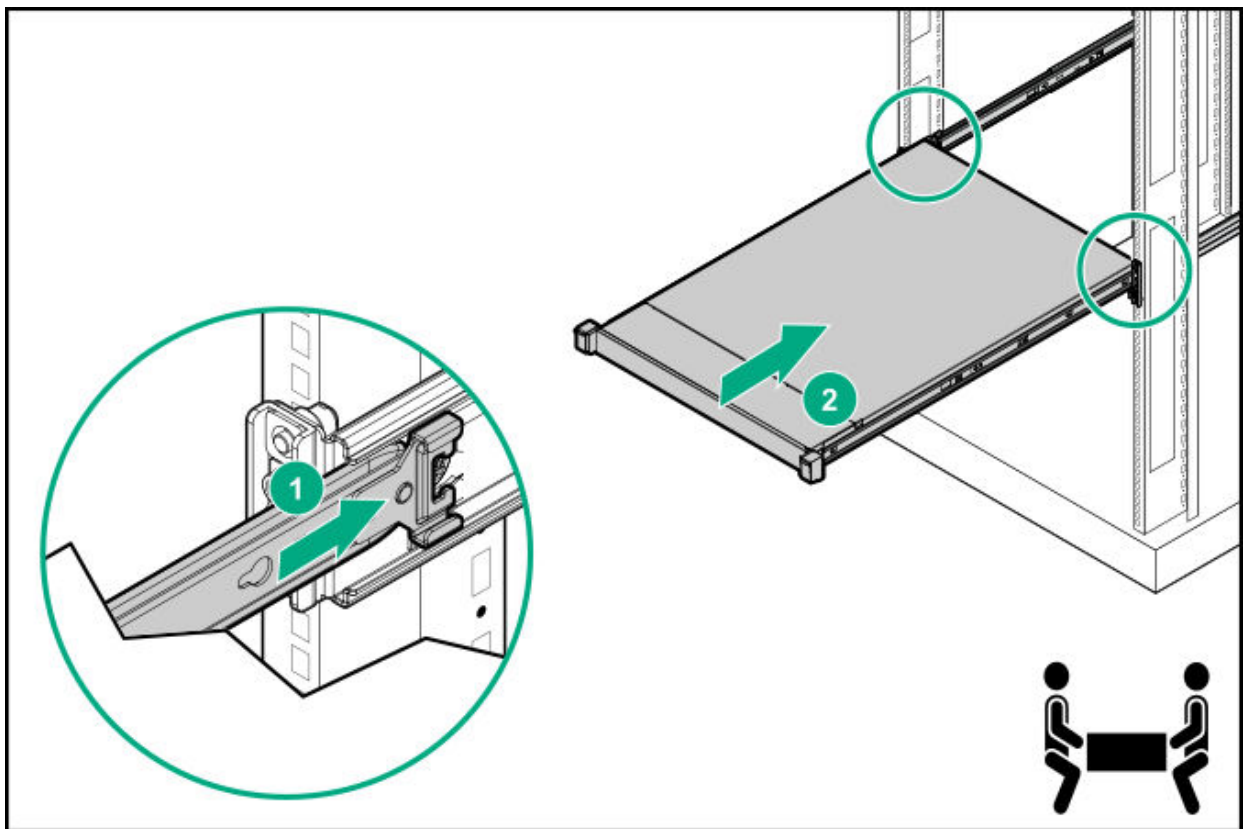
前提条件

- ・ ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項

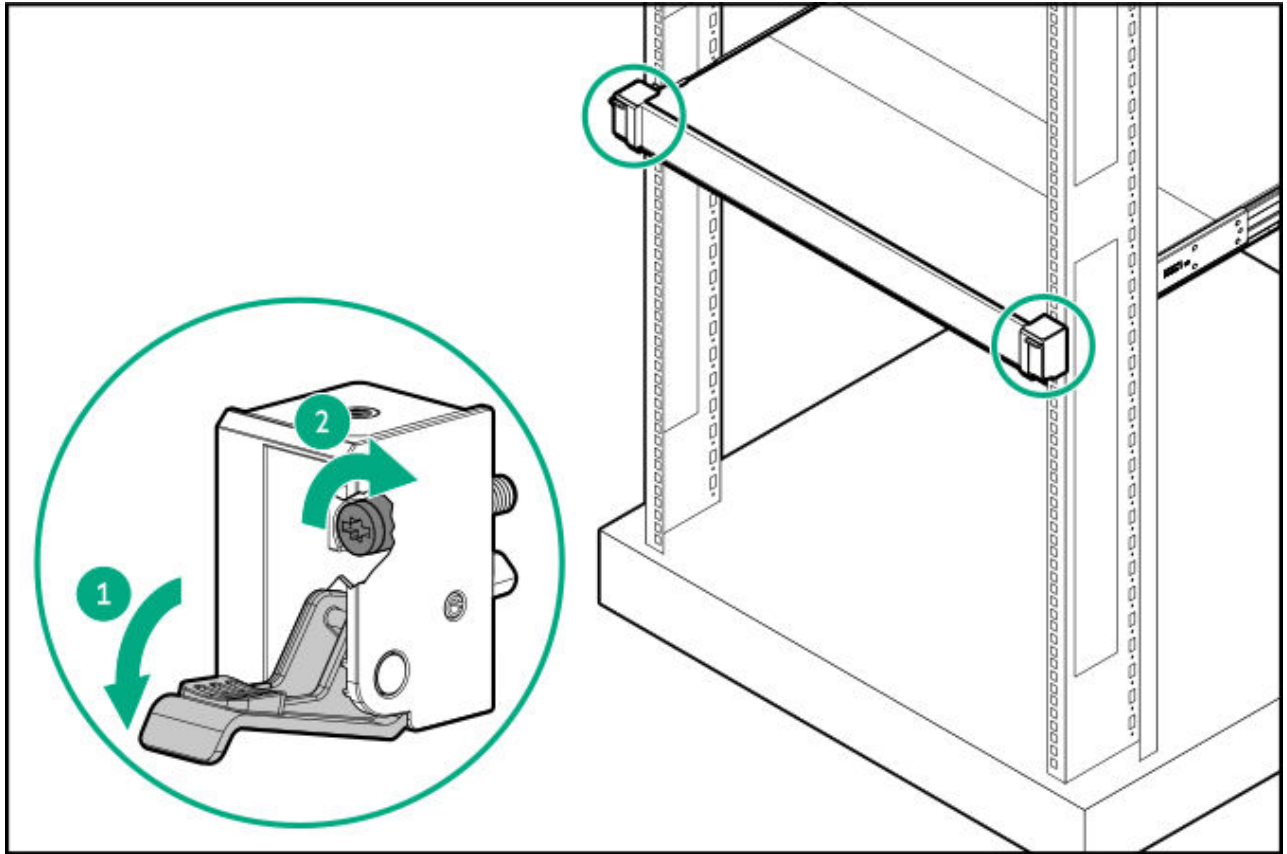
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックからサーバーを取り外すことをお勧めします。
- ・ T-25 トルクスドライバー - このツールは、シャーシイヤー内にある輸送用ネジをロックする場合に必要です。

手順

- ・ サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
 - b. シャーシイヤーがラックポストにぴったりくっつくまで、サーバーをラックにスライドさせます。



- ・ シャーシイヤーを開き、輸送用ネジを締めます。



すべての周辺装置ケーブルをサーバーに接続します。

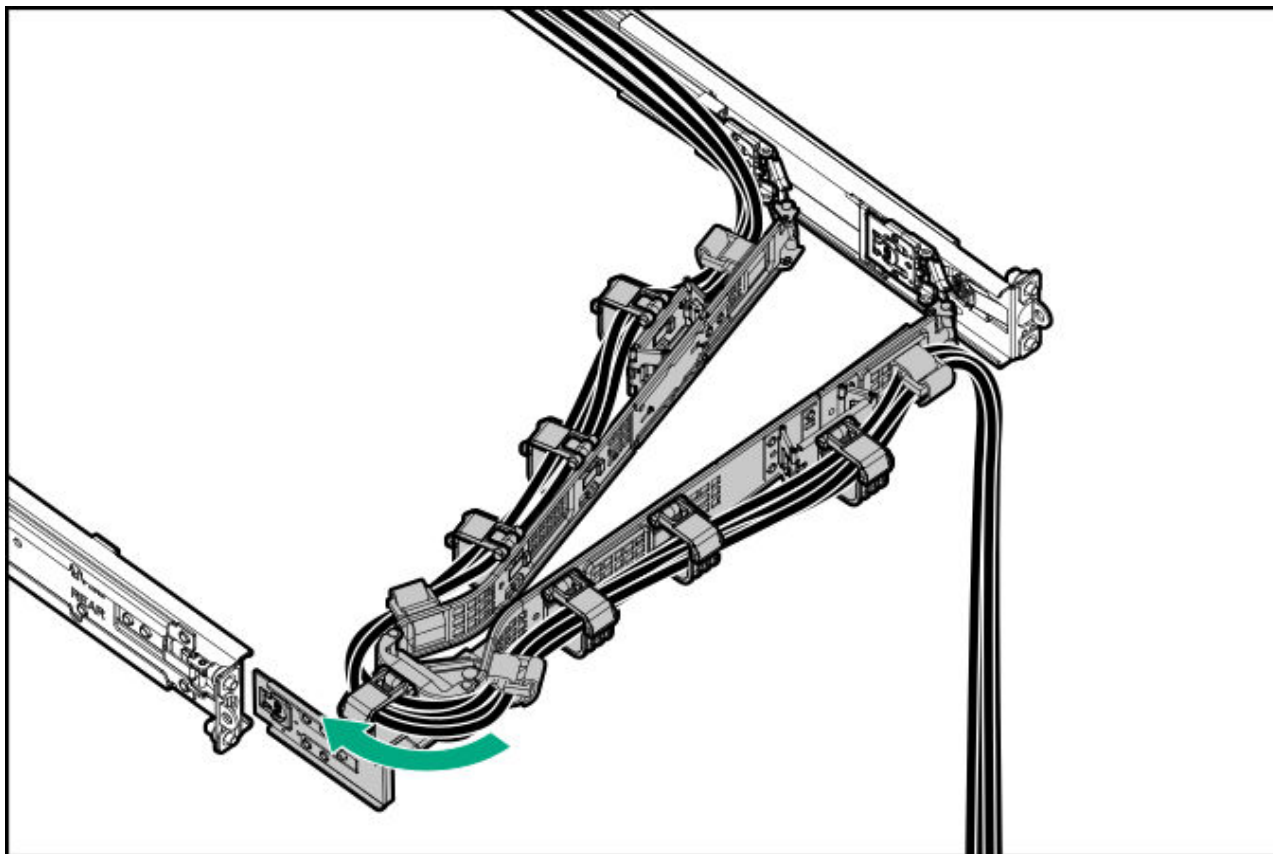
電源コードを接続します。

a. 各電源コードをサーバーに接続します。

b. 各電源コードを電源に接続します。

ケーブルマネジメントアームが開いていた場合は、アームを閉じた位置に戻し、CMA 固定ブラケットをマウンティングレールに挿入します。

ブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



サーバーの電源を入れる

手順

- ・ 電源ボタンを押します。
- ・ iLO 6 経由の仮想電源ボタンを使用します。

ハードウェアオプションを取り付ける

この章では、サポートされるハードウェアオプションを取り付ける手順を説明します。サーバーの適切な展開と運用を確実にするため、Hewlett Packard Enterprise では、HPE 検証済みのハードウェアオプションのみを取り付けることをお勧めします。このサーバーの検証済みオプションのリストを表示するには、HPE Web サイトにある製品の QuickSpecs を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

ご使用のサーバーおよびサポートされるオプションの保証を表示するには、[保証情報](#)を参照してください。

サブトピック

[サーバーデータバックアップ](#)

[ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン](#)

[Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs](#)

[ラックマウントオプション](#)

[フロントベゼルオプションの取り付け](#)

[ドライブオプション](#)

[電源装置オプション](#)

[トランシーバーオプション](#)

[パススルーボードオプション](#)

[2 ベイ SFF \(2.5 型\) ドライブケージオプションの取り付け](#)

[オプティカルドライブオプション](#)

[メモリオプション](#)

[PCIe ライザーオプション](#)

[ストレージコントローラーオプション](#)

[Energy Pack オプション](#)

[拡張カードオプション](#)

[HPE NS204i-u ブートデバイスオプション](#)

[OCP NIC 3.0 オプション](#)

[iLO-M.2 シリアルモジュールオプション](#)

[M.2 SSD オプション](#)

[シャシ侵入検知スイッチのオプション](#)

[内部 USB デバイスのオプション](#)

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ・ ユーザーデータファイル
- ・ ユーザーアカウント名とパスワード
- ・ アプリケーションの設定とパスワード
- ・ コンポーネントドライバーとファームウェア

- ・ TPM リカバリキー/パスワード
- ・ BIOS 構成設定 - UEFI システムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFI ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeuefisystemutilities-quicklinks>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定
 - 電源オンおよび BIOS 管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック (HPE Trusted Supply Chain サーバー用) に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品 ID
- ・ iLO 関連データ - iLO バックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLO のユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。
 - iLO のライセンス
 - お客様の iLO ユーザー名、パスワード、および DNS 名
 - iLO 構成設定

ハードウェアオプションの取り付けのガイドライン



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterprise ではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

- ・ サーバーを初期化する前にハードウェアオプションを取り付けます。
- ・ 複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。
- ・ ハードウェアオプションの取り付け時に内部ケーブル接続を行う場合は、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。

Hewlett Packard Enterprise 製品の QuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Web サイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品の QuickSpecs を参照してください。

- ・ サポートされるオプション
- ・ サポートされている構成
- ・ コンポーネントの互換性
- ・ 新機能
- ・ 仕様
- ・ 部品番号

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要の HPE ラックレールオプションを使用して、サーバーを標準 4 ポストラックに取り付けます。レール設計では、さまざまなマウントインターフェイスのラックへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットには次のオプションのいずれかまたは両方が含まれている場合があります。

- ・ ラックレールの面ファスナーストラップ
- ・ ケーブルマネジメントアーム

サブピック

レール識別マーカ
ラックマウントインターフェイス
ラックレールのオプション

サーバーをラックに取り付ける：フリクションラックレール
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
ケーブルマネジメントアームの取り付け

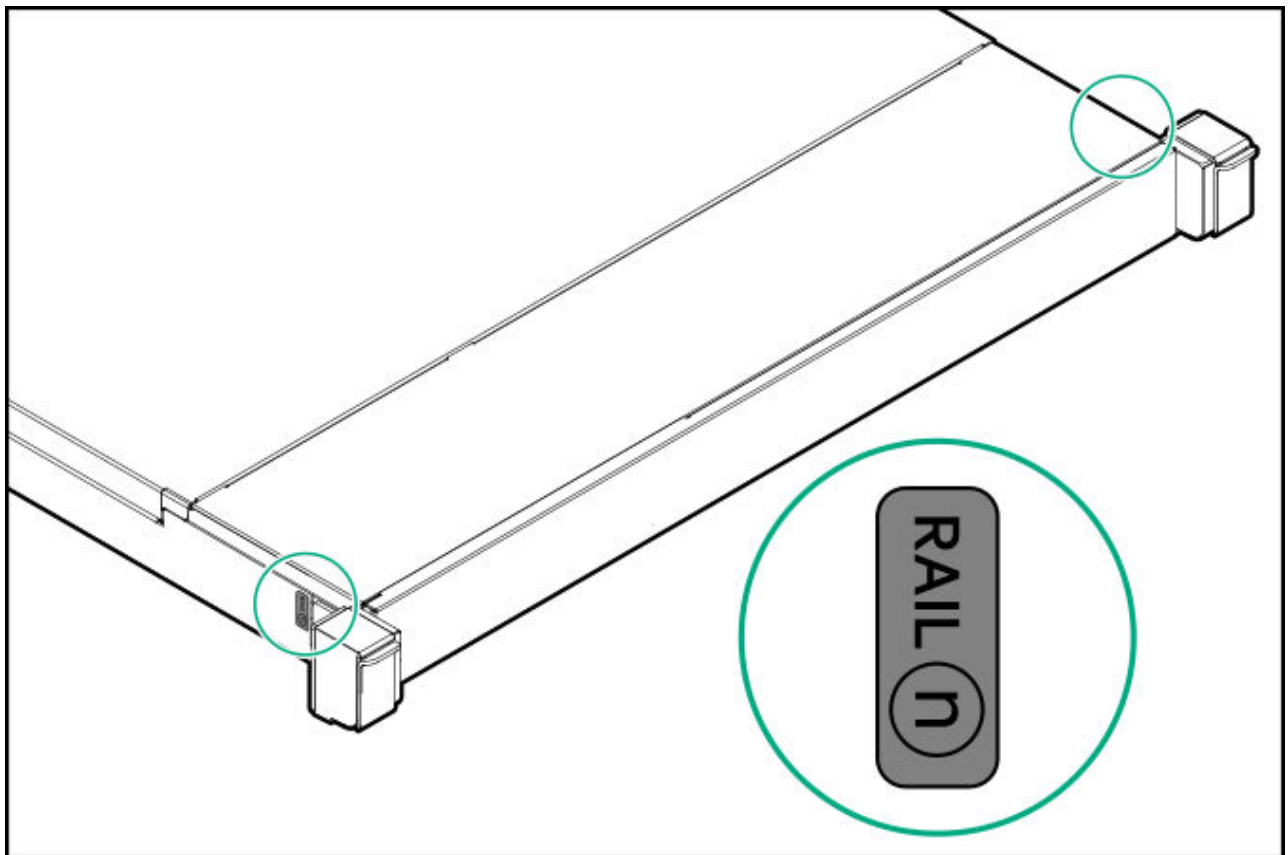
レール識別マーカ

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

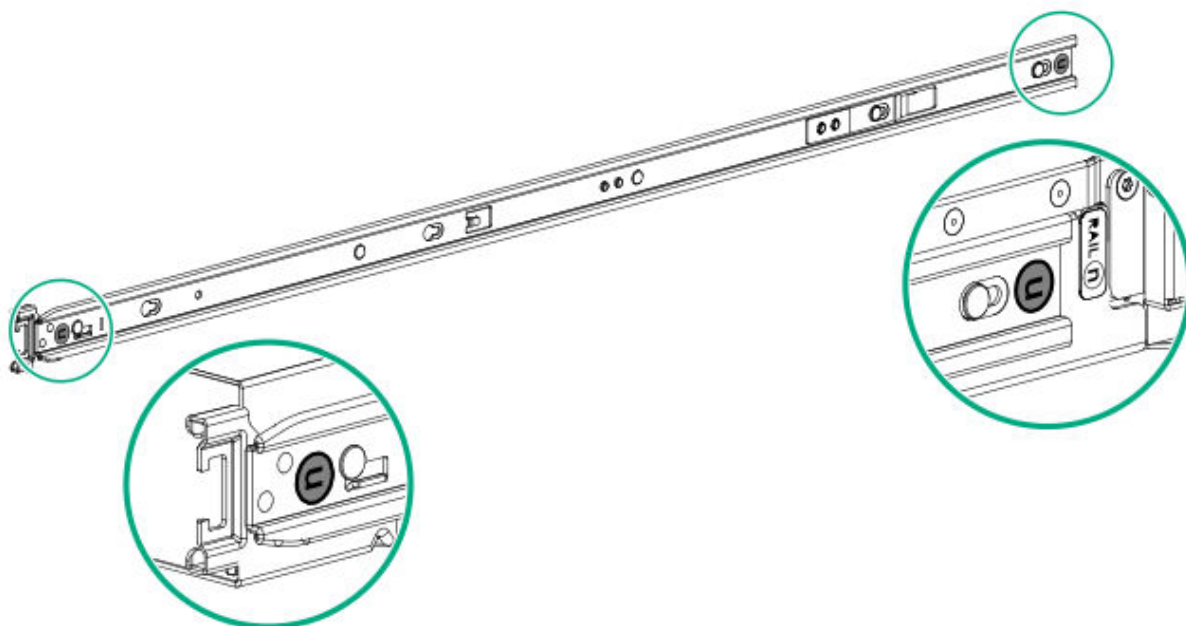
- ・ フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- ・ フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

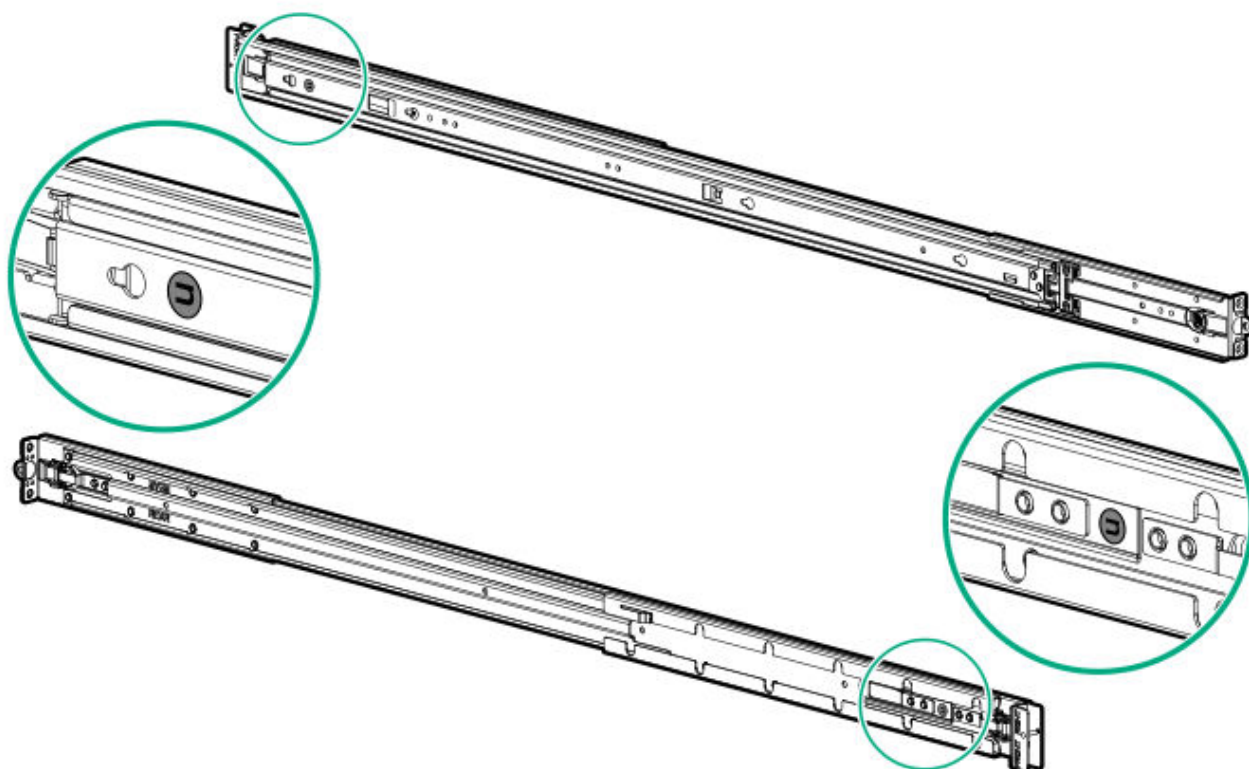
- ・ シャーシのレール番号ラベル



- ・ フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ

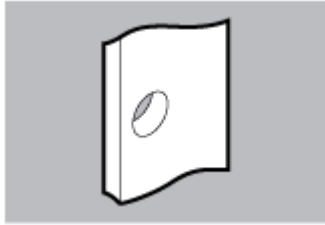


- ・ フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ

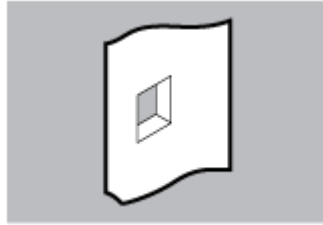


ラックマウントインターフェイス

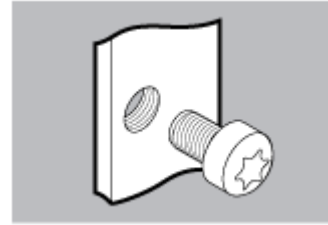
ラックレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



丸穴



角穴



丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ラックレールのオプション

このサーバーは HPE Easy Install ラックレールオプションキット 12 (P64576-B21) をサポートしています。このレールキットは次の仕様に対応しています。

- ・ タイプ：フリクションラックレール（スタブイン）
- ・ 最小レール長さ：613.80 mm (24.17 インチ)
- ・ レール調整範囲：609.60～918.10 mm (24.00～36.15 インチ)

サブトピック

フリクションラックレールの取り付け

フリクションラックレールの取り付け

前提条件

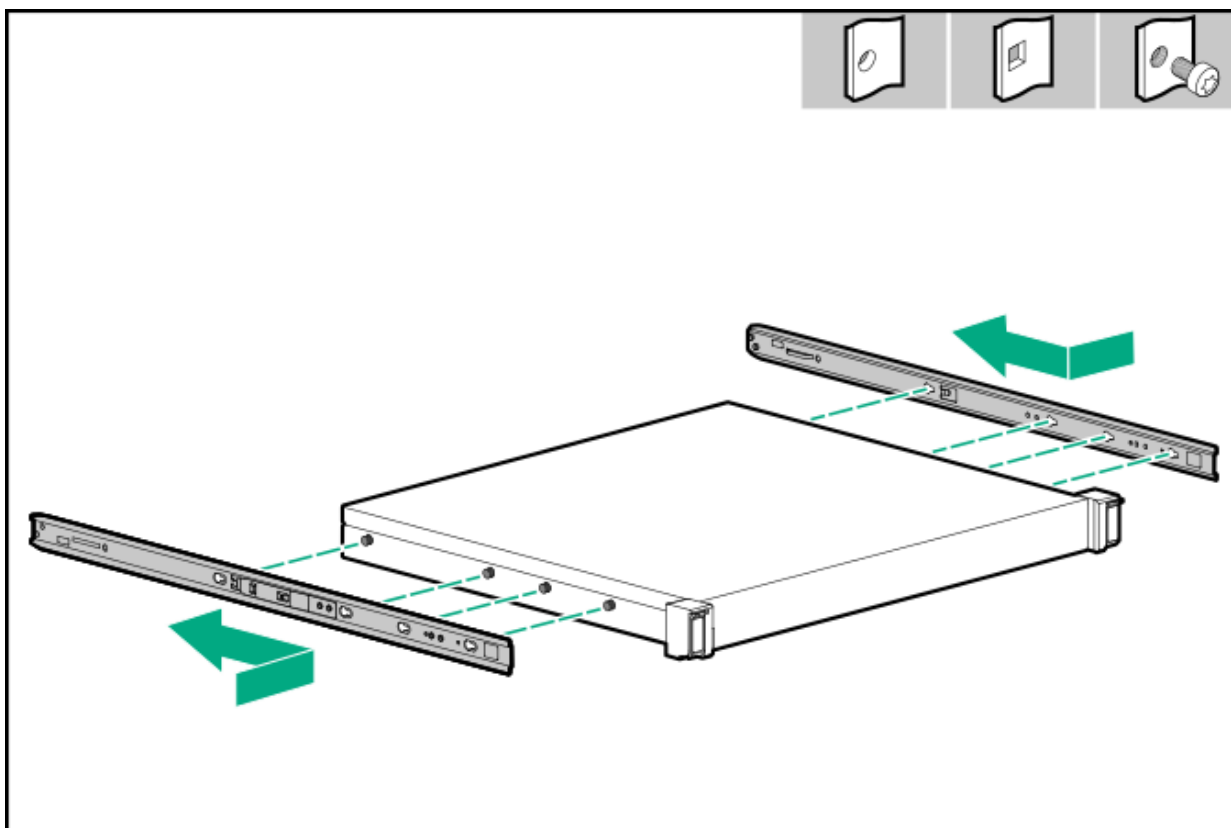
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項

。 サーバーに関する警告と注意事項

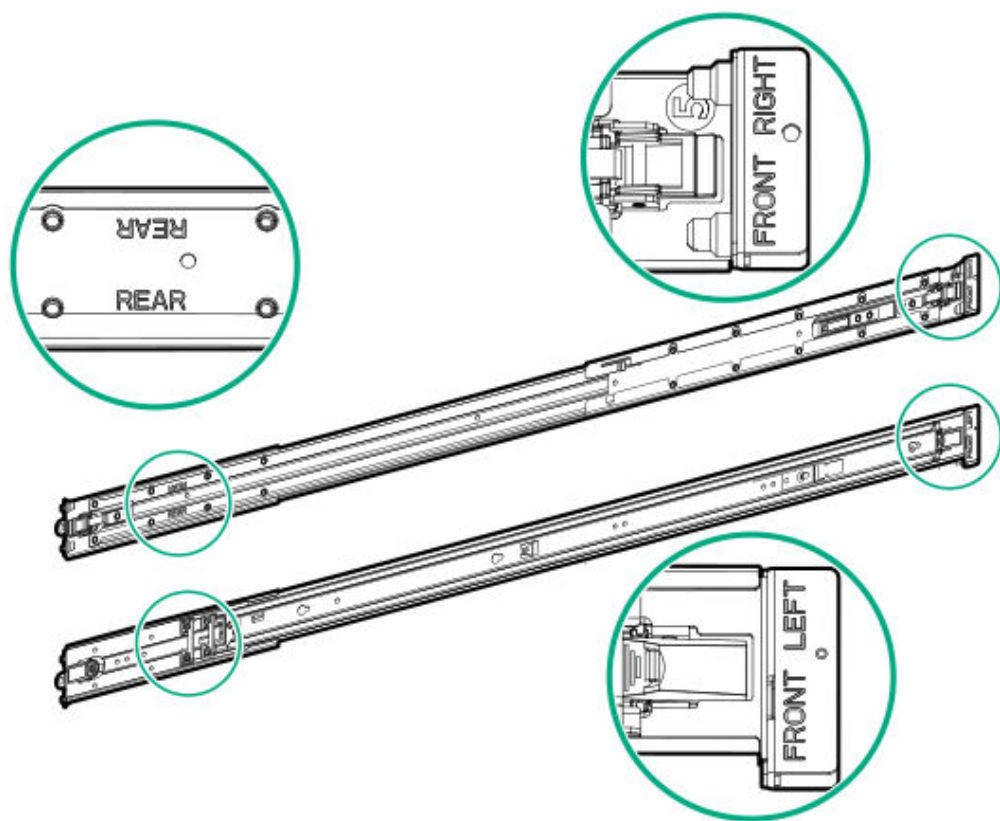
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、小型マイナスドライバーがあることを確認しておきます - このツールは、サーバーを丸ネジ穴ラックに取り付ける場合に必要です。

手順

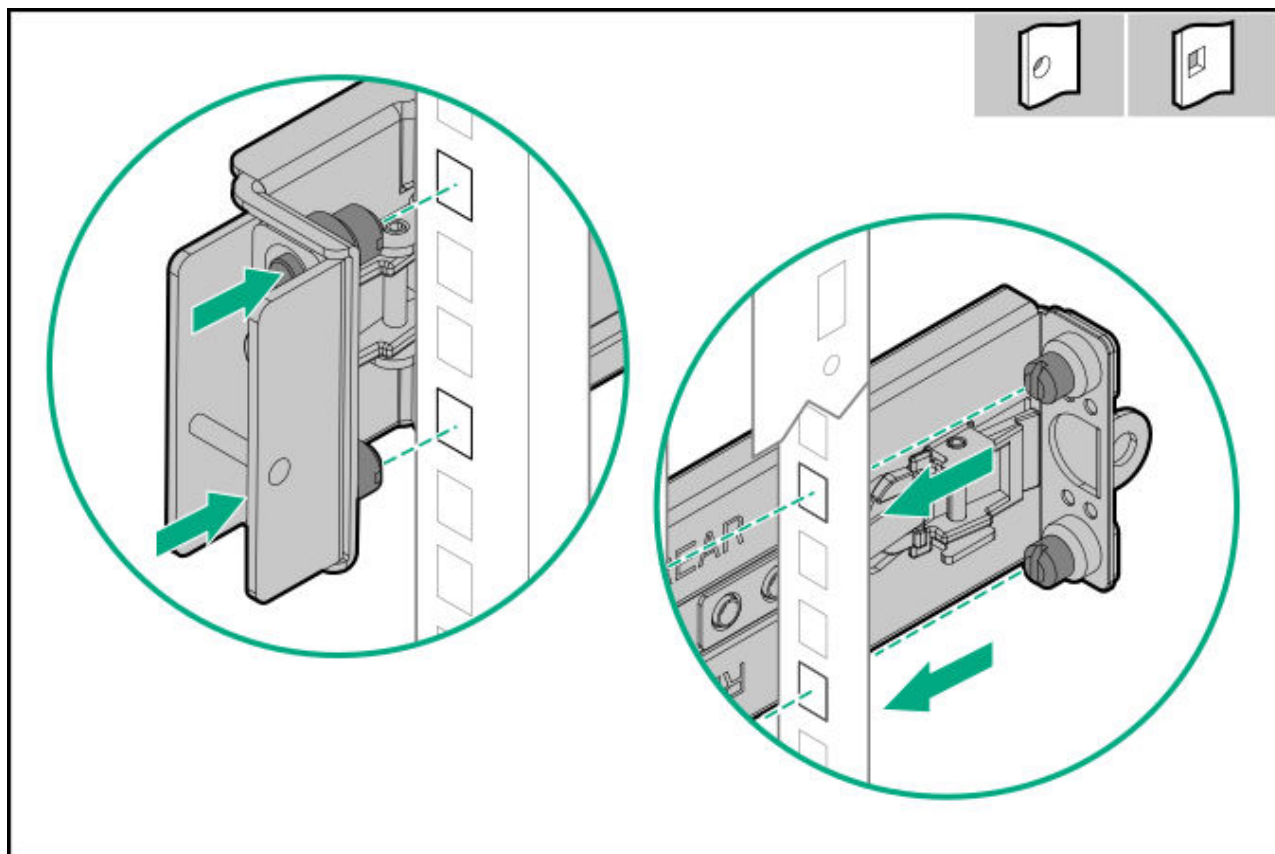
- ・ インナーレールをサーバーに取り付けます。
 - a. サーバー側面のスプールをレールの逆挿入防止スロットに挿入します。
 - b. レールをリアパネルに向かってスライドさせて固定します。



- ・ マウンティングレールの方向マーカを確認します。
 - ・ レールの前端には、FRONT LEFT または FRONT RIGHT とマークされています。
 - ・ レールのもう一方の端には、REAR とマークされています。

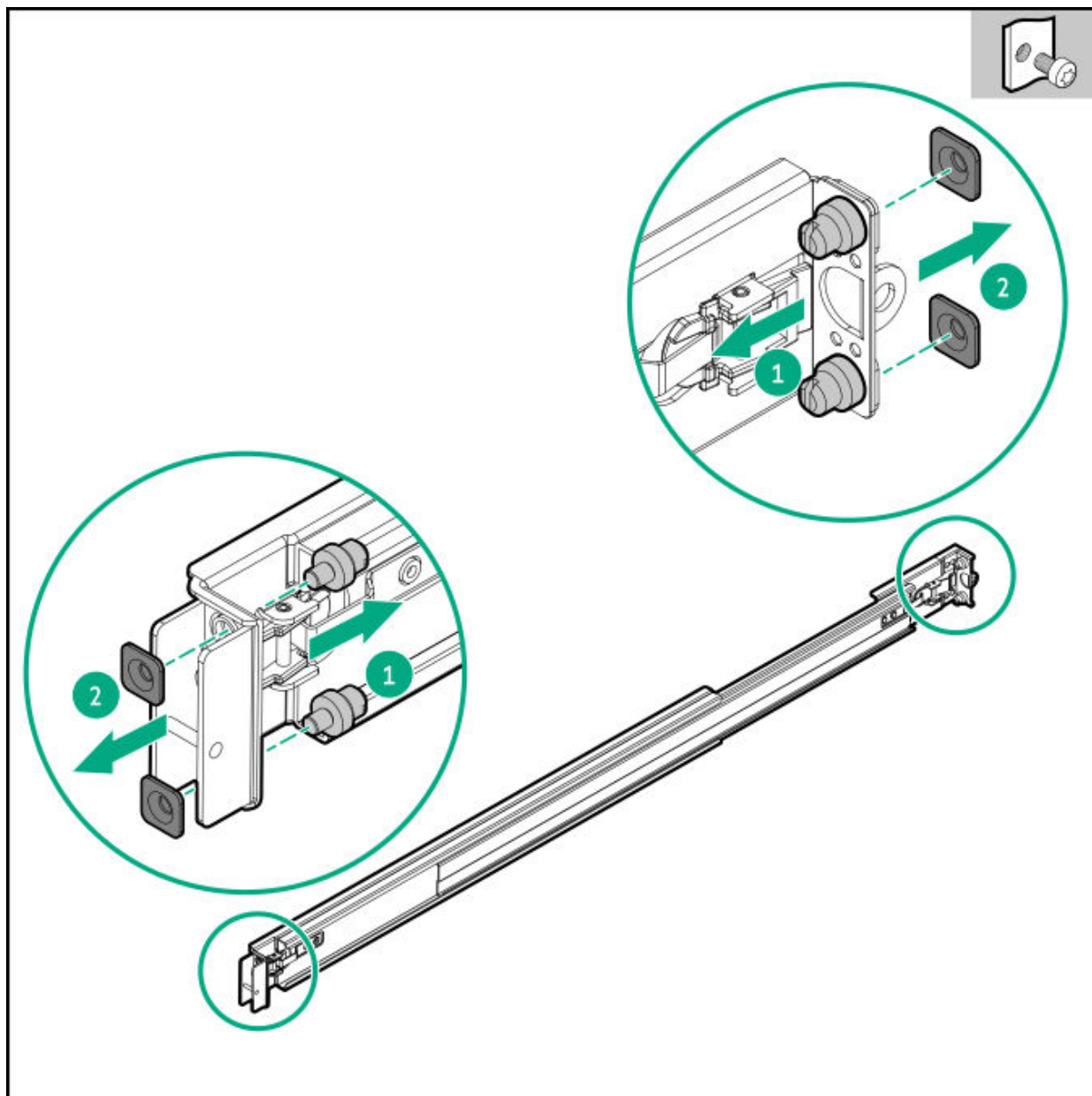


- マウンティングレールをラックの奥行きに合わせて伸ばします。
- マウンティングレールを丸穴または角穴ラックに取り付けるには、取り付けフランジのピンをラックポストの穴に挿入します。

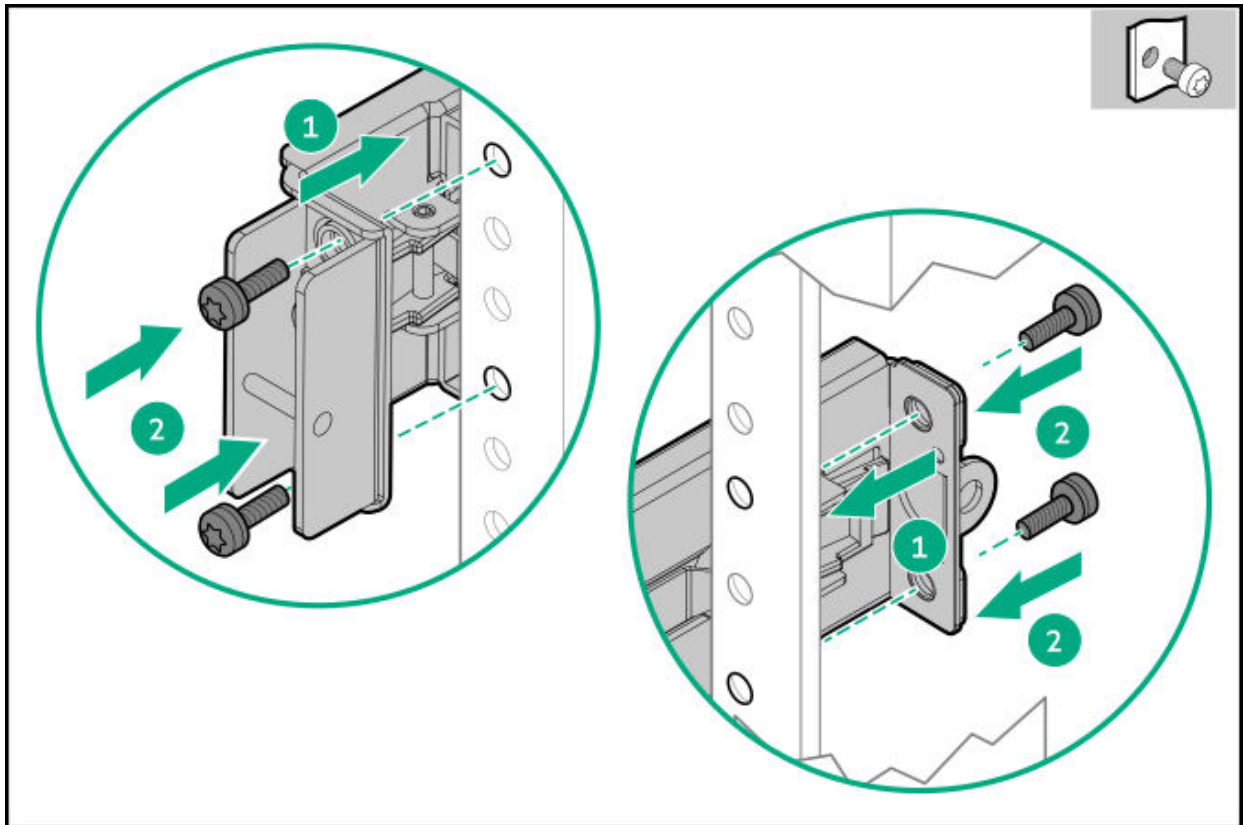


マウンティングレールを丸ネジ穴ラックに取り付けるには、以下の手順を実行します。

- a. マウンティングレールからピンとワッシャーを取り外します。



- b. 取り付けフランジの穴とラックポストのネジ穴の位置を合わせます。
- c. ラックの取り付けネジを取り付けます。



1. サーバーをラックに取り付けます。

サーバーをラックに取り付ける：フリクションラックレール

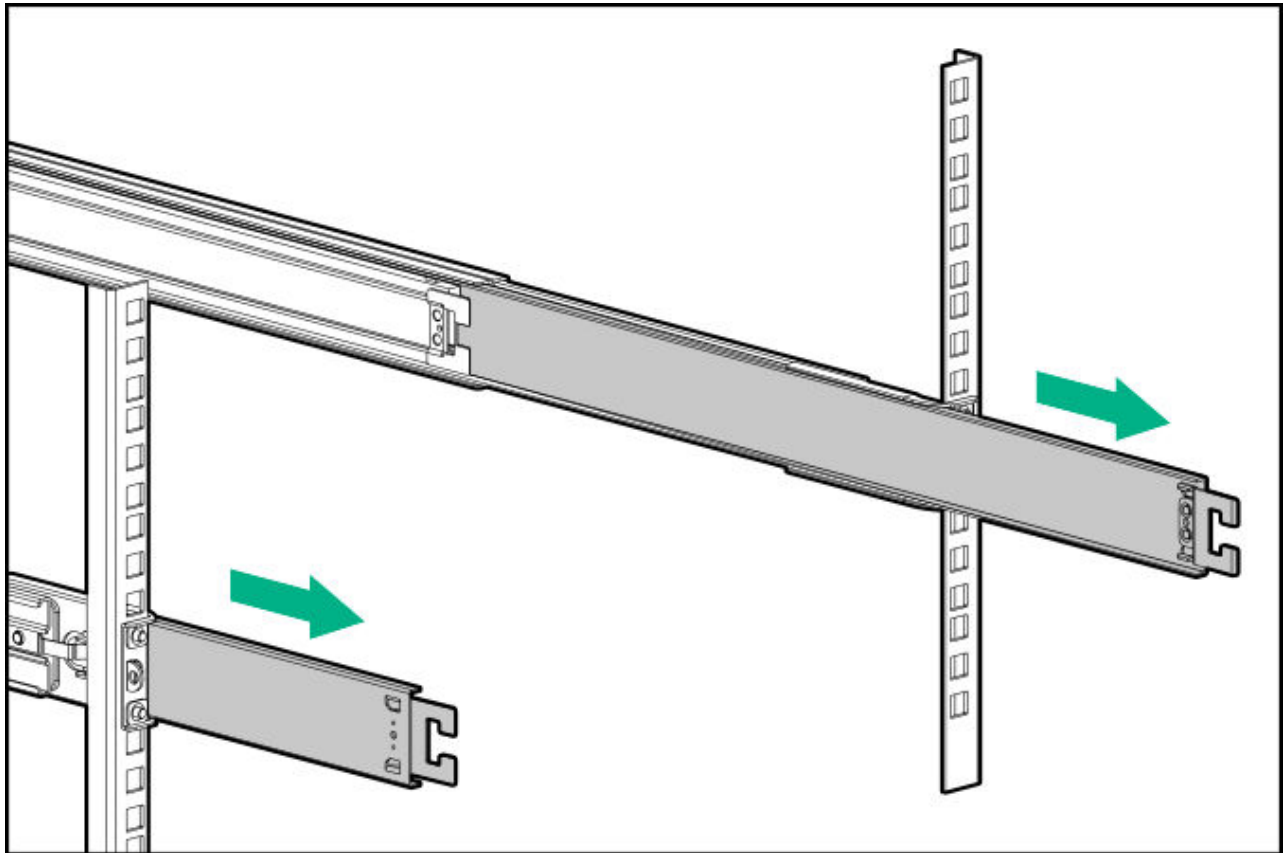
前提条件

- ・ ラックへの取り付け中は、必ず適切な人数でサーバーを持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーを設置するために作業者がさらに2人必要になる場合があります。1人がサーバーの重量を支え、別の2人がサーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
- ・ この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - 空間および通気要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項

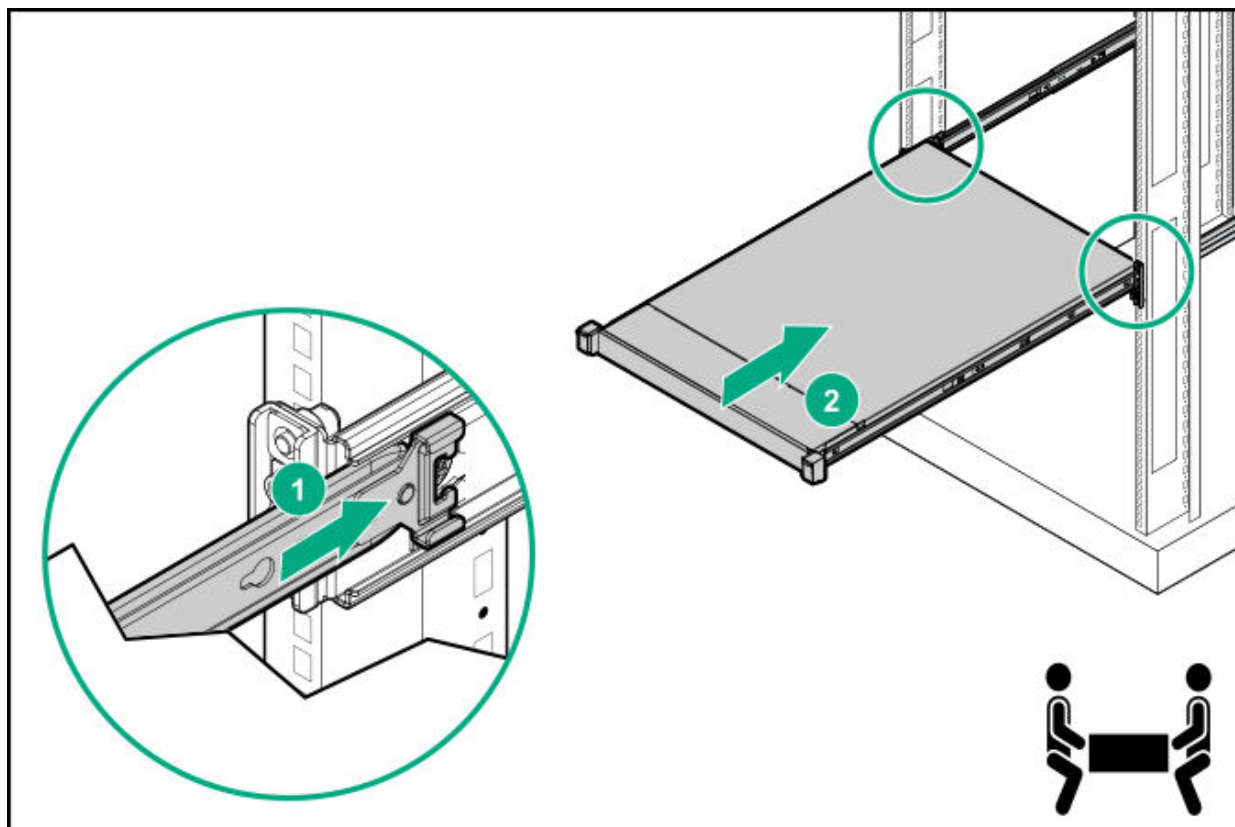
- ・ 完全に実装されたサーバーは重量があります。Hewlett Packard Enterprise では、外部シャーシコンポーネントを取り外してから、ラックにサーバーを取り付けることをお勧めします。
- ・ この手順を実行する前に、T-25 トルクスドライバーを用意しておきます。

手順

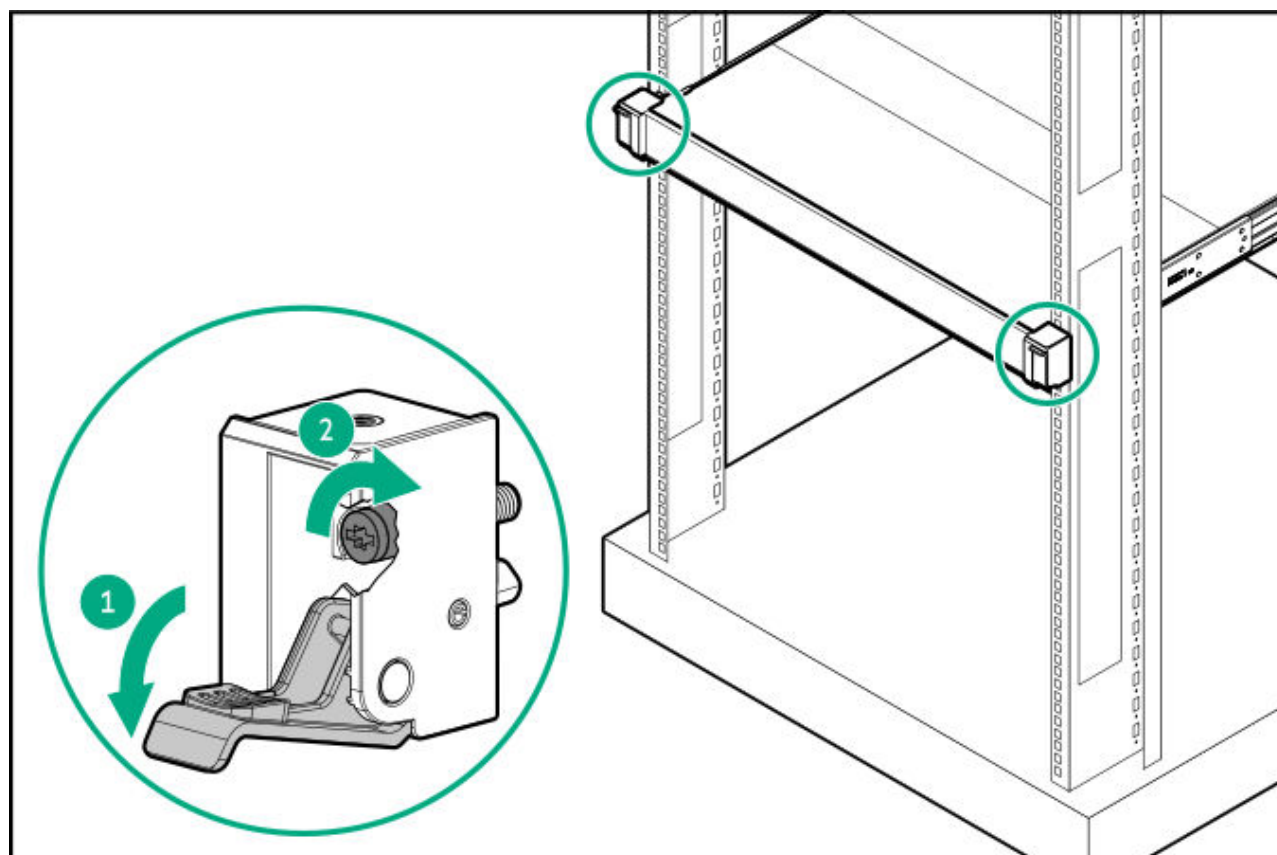
- ・ スライドレールをマウンティングレールから、内部のストッパーにぶつかって所定の位置にロックされるまで伸ばします。



- ・ サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します。
 - b. シャーシヤーがラックポストにぴったりくっつくまで、サーバーをラックにスライドさせます。



シャーシを開き、輸送用ネジを締めます。



- ・ すべての周辺装置ケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 次のいずれかを実行します。
 - ・ ラックレールの面ファスナーストラップを取り付けます。
 - ・ ケーブルマネジメントアームを取り付けます。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

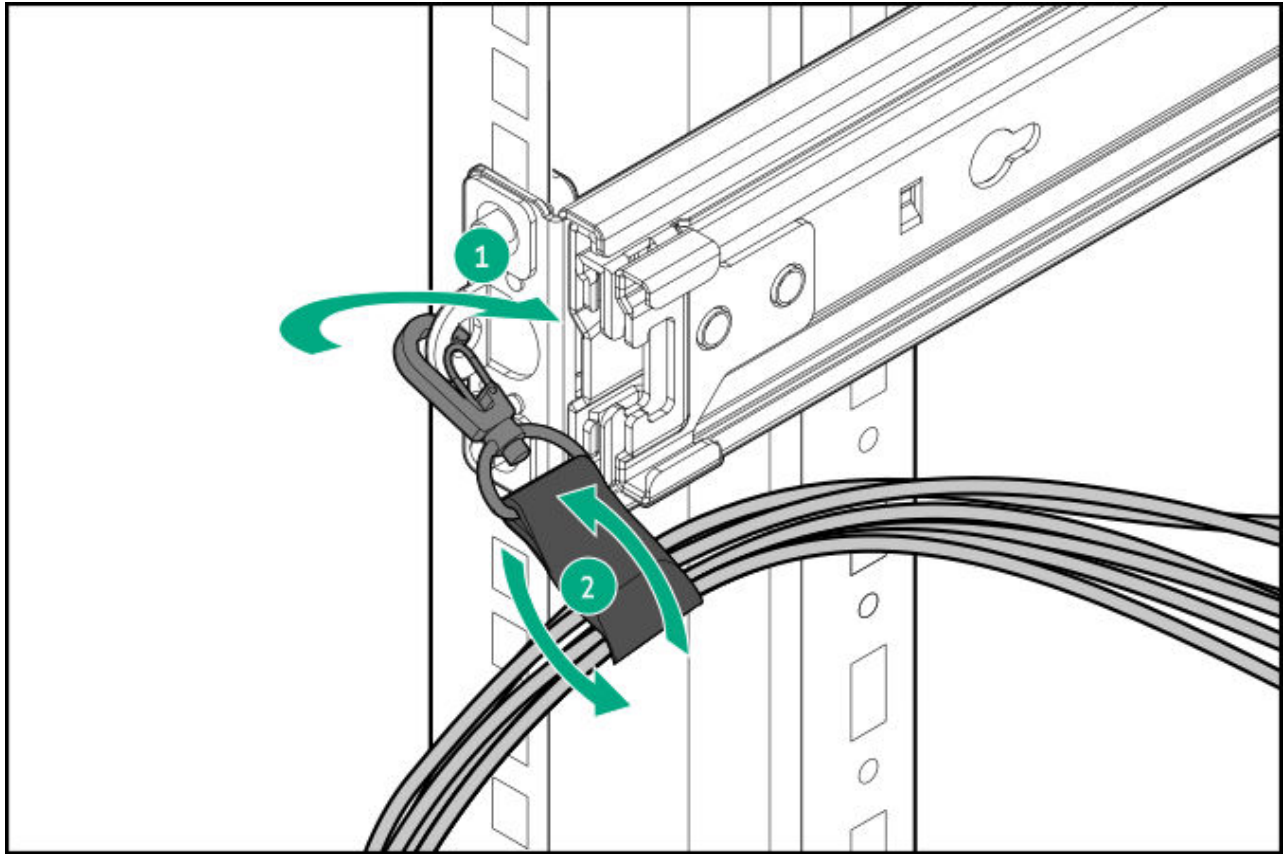
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

面ファスナーストラップは、左側または右側のレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

- ・ ストラップカラビナをレールに取り付けます。
- ・ コードとケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブルマネジメントアームの取り付け

前提条件

- ・ この手順には作業者が2人必要になることがあります。1人はシャーシをラックから出し入れし、もう1人はリアパネルのケーブルと電源コードを確認します。
- ・ この手順を実行する前にラックに関する警告と注意事項を確認します。
- ・ T-25 トルクスドライバー - このツールは、シャーシヤー内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム（CMA）を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをラックから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するように設計されています。

この手順では、左右はラックの前面に向かって見たときの方向です。



注意

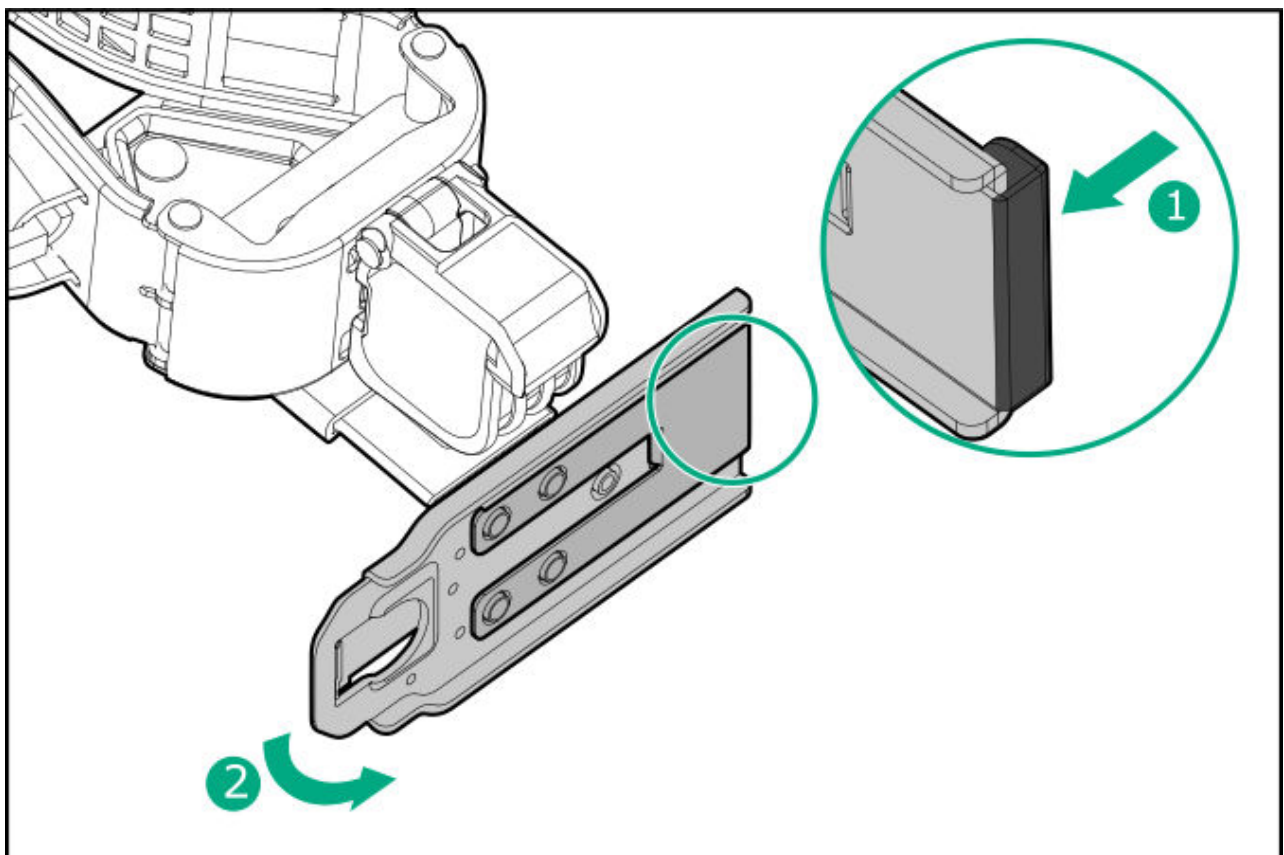
取り外しおよび交換手順の際は、CMA を支えてください。手順中に CMA が自重でぶら下がらないようにしてください。

手順

すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。

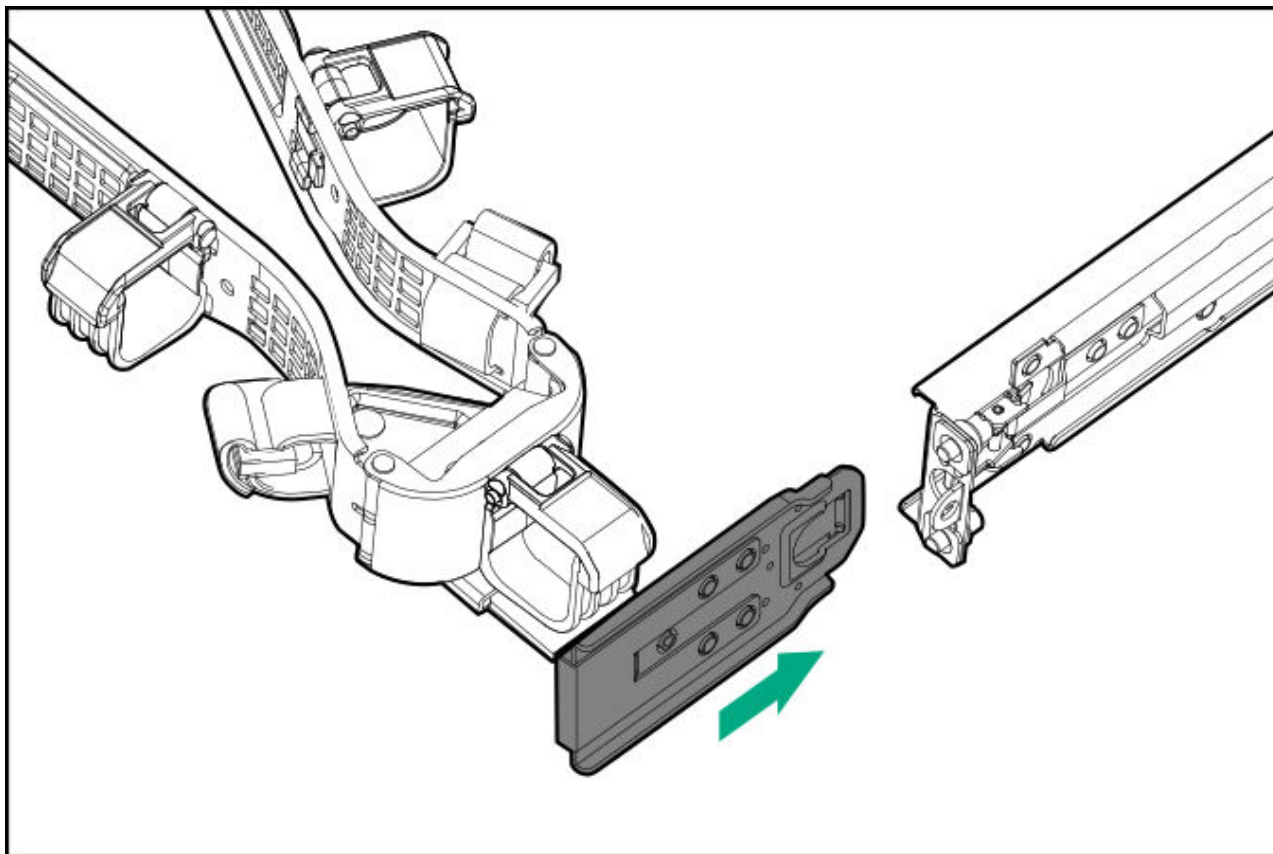
(オプション) CMA 固定用ブラケットを回転させて、左側または右側の CMA 操作に合わせることができます。回転機構を押したまま、ブラケットを 180° 回転させます。

ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。

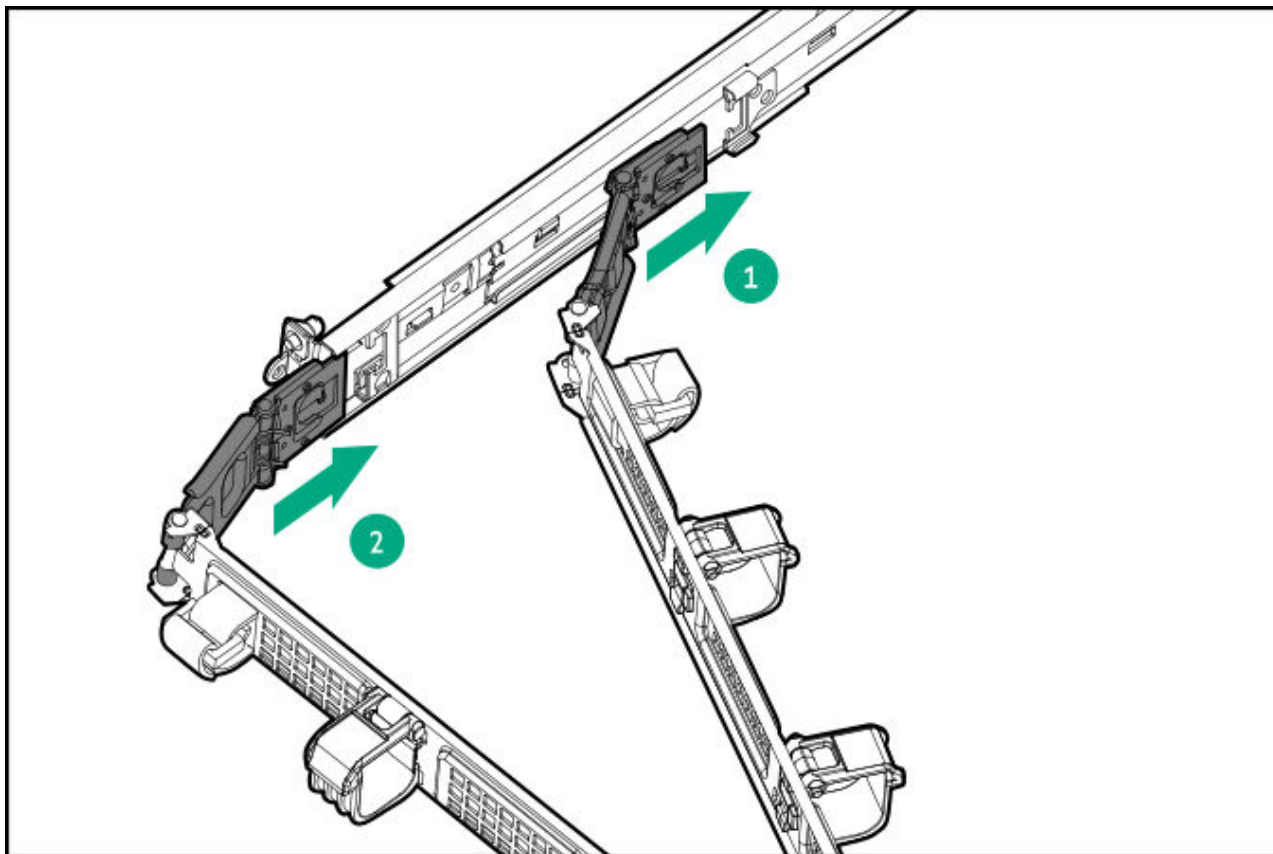


CMA 固定用ブラケットをアウターレールに取り付けます。

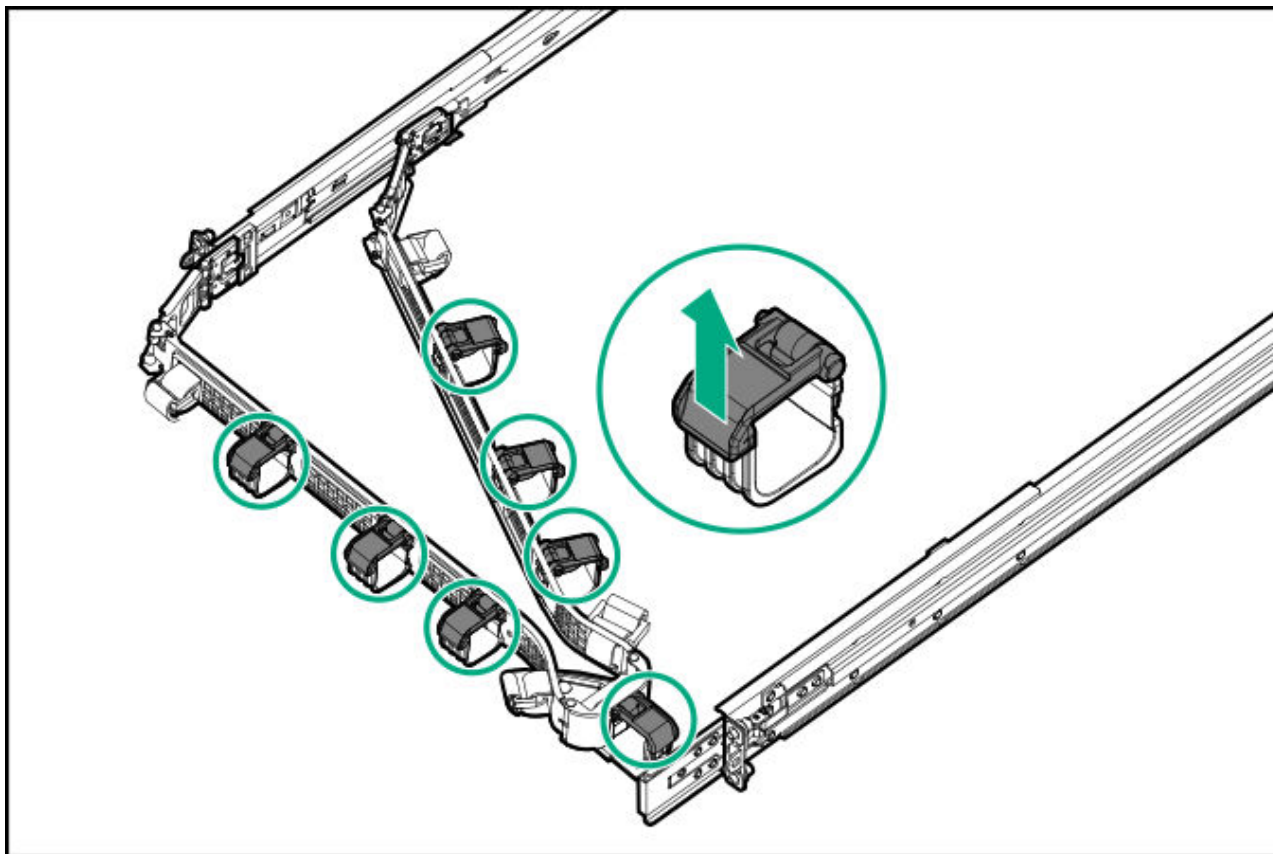
ブラケットがアウターレールにロックされたことを示すカチッという音がします。



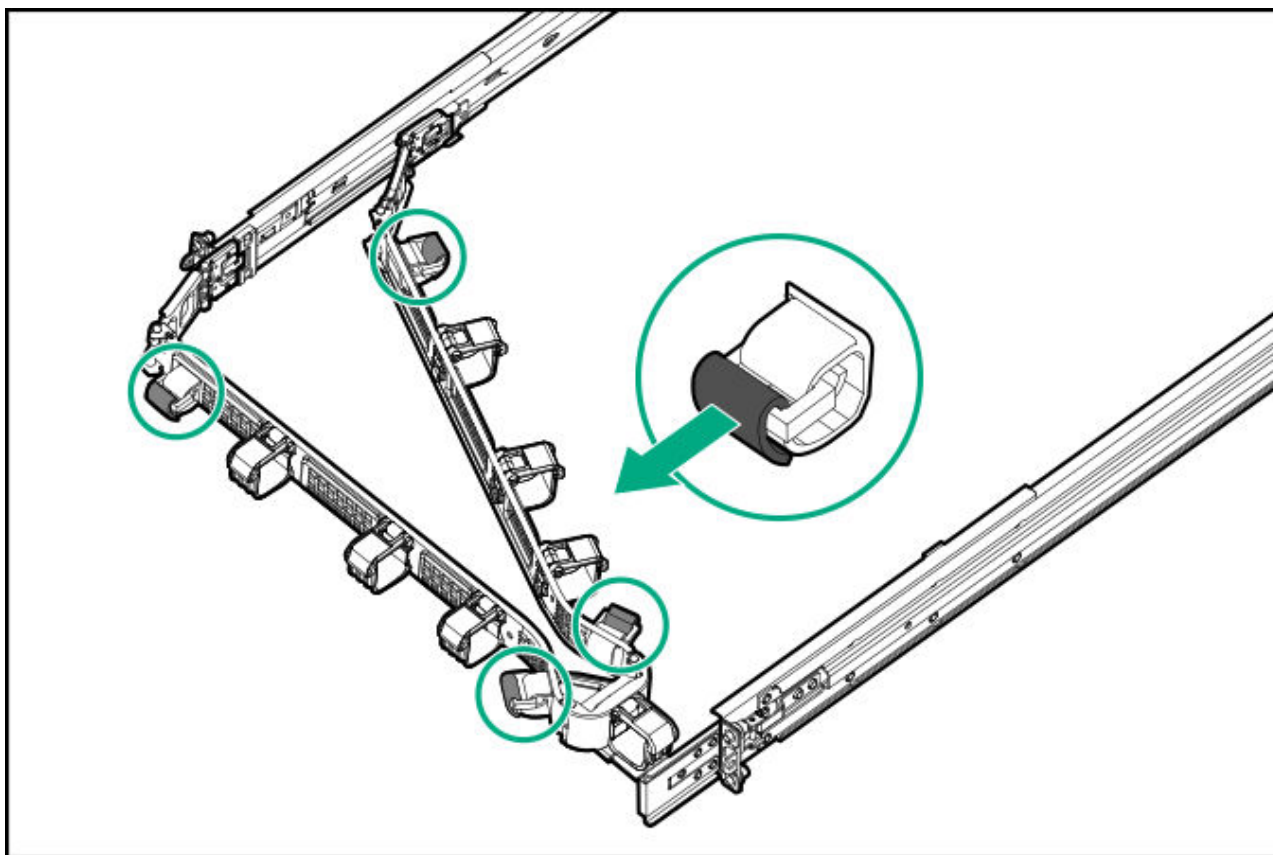
CMA ブラケットをインナーレールとアウターレールに取り付けます。
ブラケットがレールにロックされたことを示すカチッという音がします。



1. ケーブルクランプを開きます。



ケーブルストラップを緩めます。



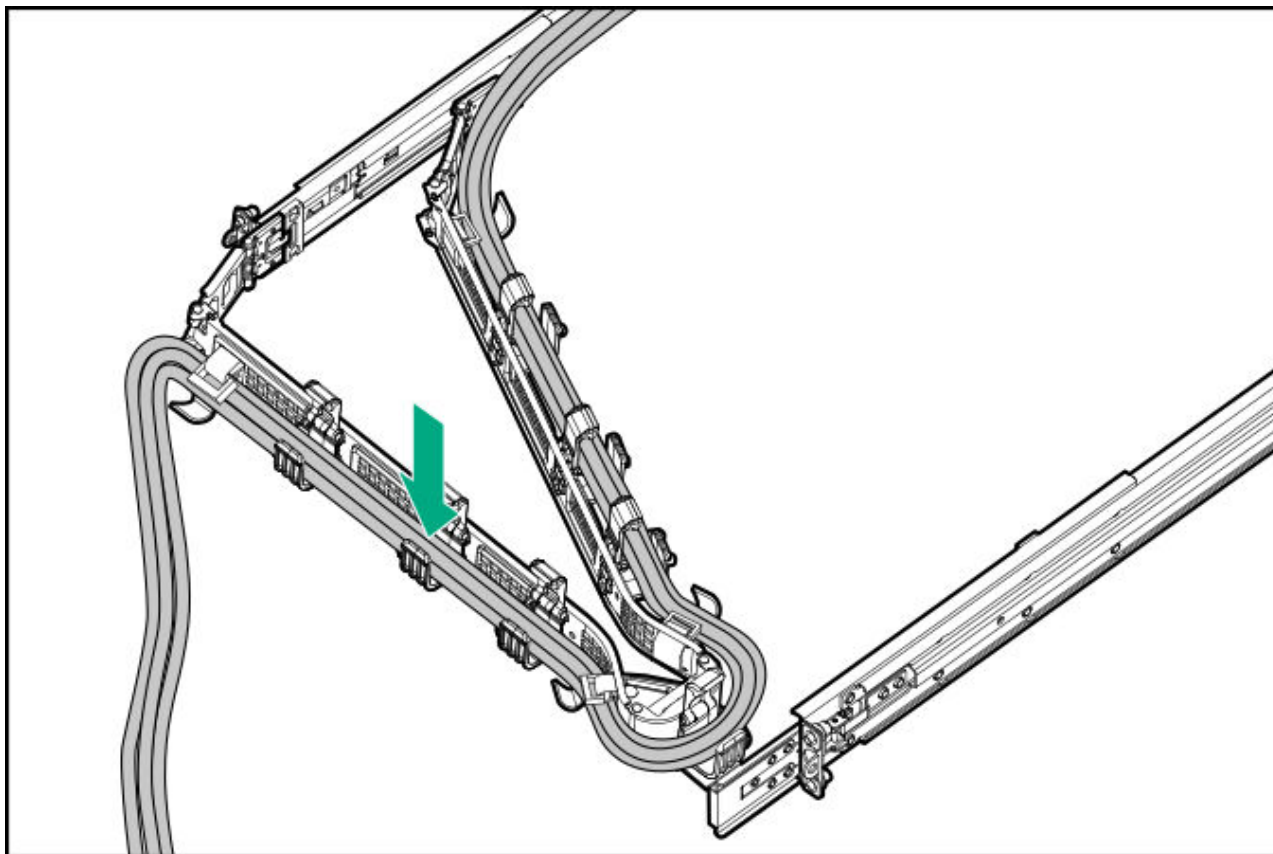


注意

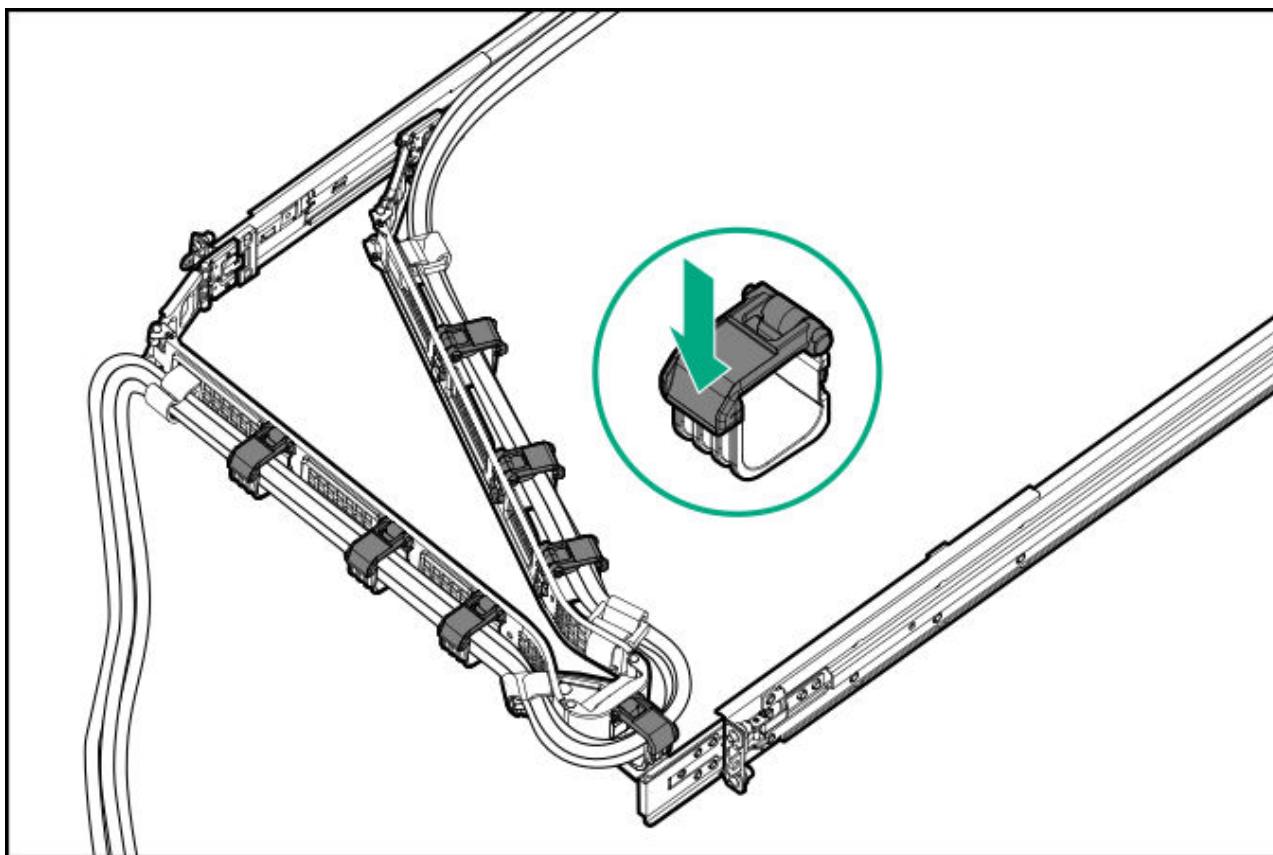
CMA に固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。

- ・ リアパネルと CMA の間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをラックから引き出す際に、CMA を完全に引き出せるようにします。
- ・ ただし、CMA 内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
- ・ ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをラックから引き出すか戻すときに、ラックに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

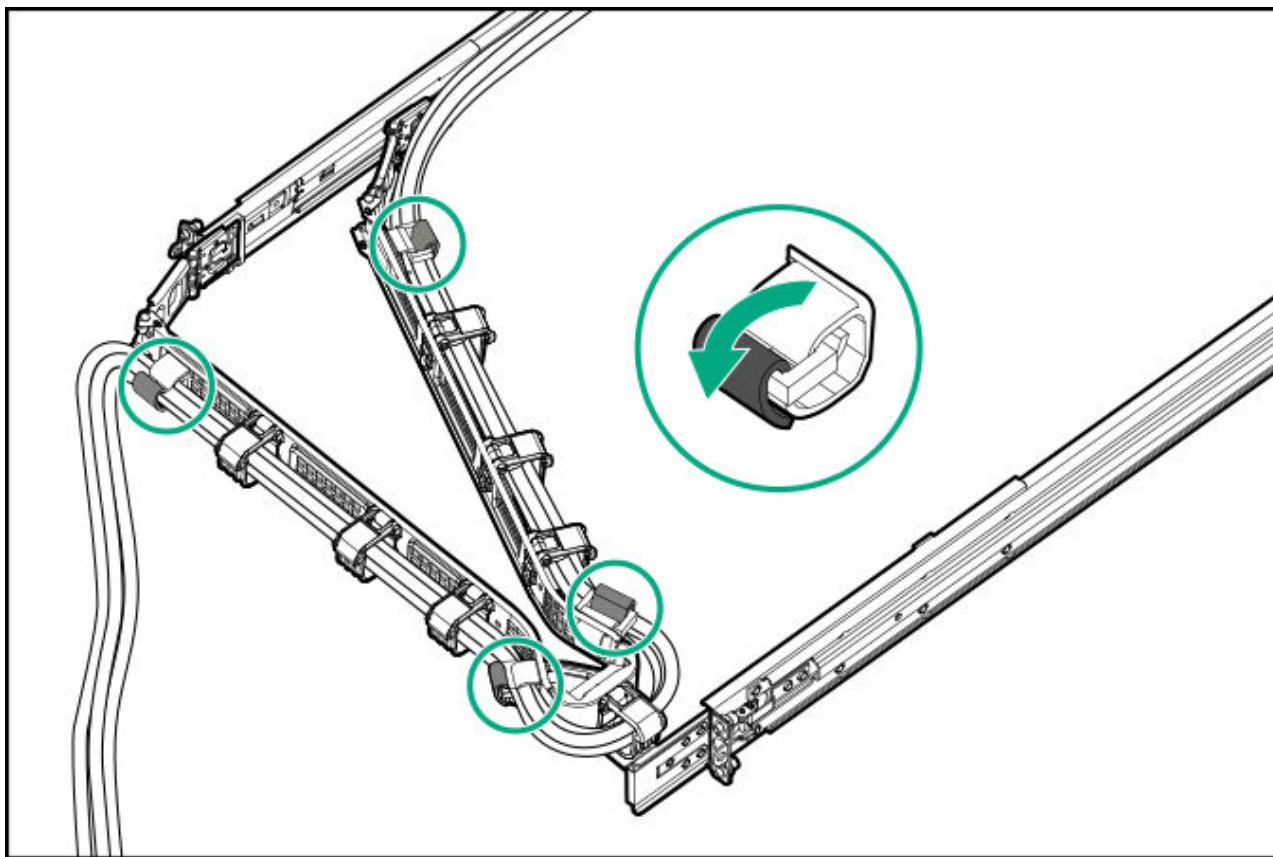
周辺ケーブルと電源コードをケーブルランプやストラップに通します。



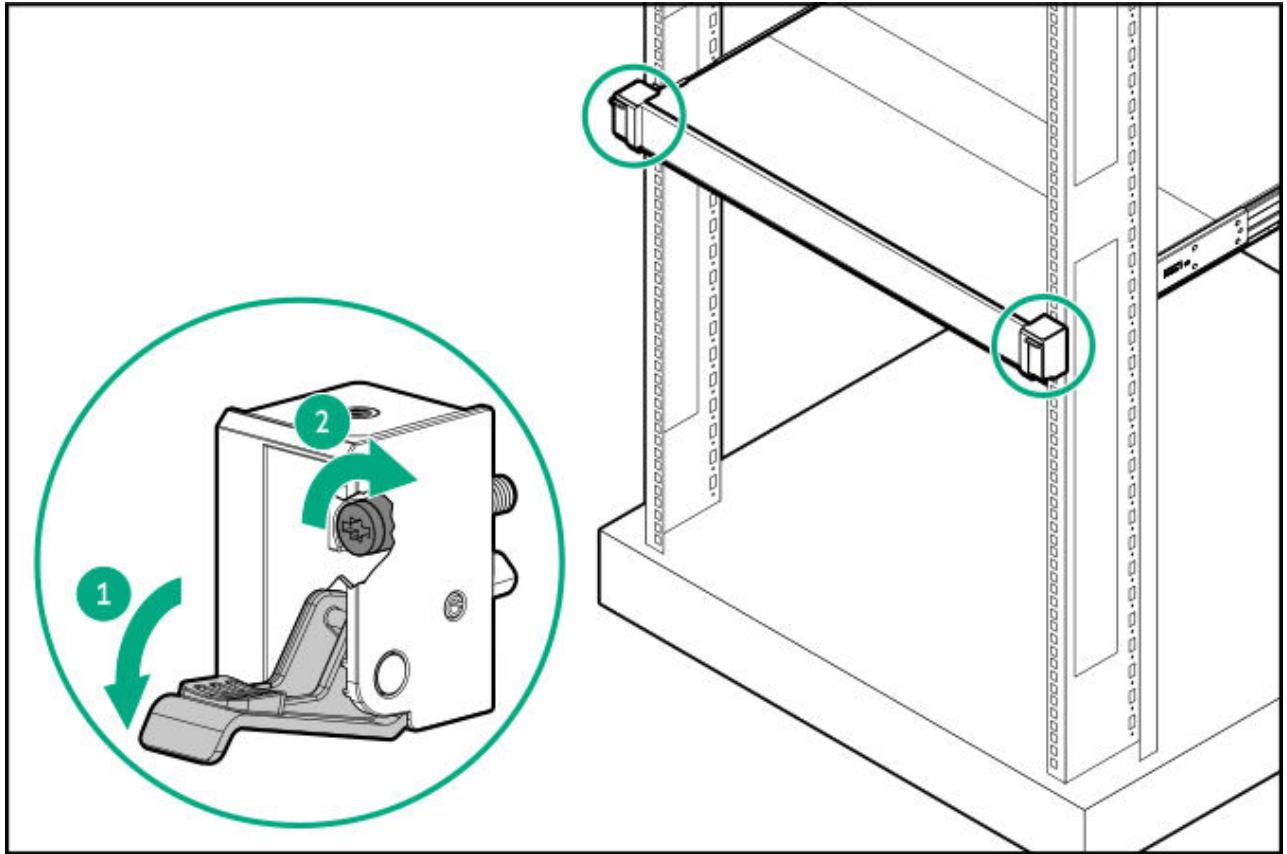
ケーブルクランプを閉じます。



- 1. ケーブルストラップを締めます。



- 2. ラックレールの動作を確認します。
 - a. ラックからシャーシを完全に引き出します。
 - b. シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認してください。
 - c. ケーブルとコードが正しく固定されていることを確認するには、シャーシをラックから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。
- 3. シャーシイヤーがサーバーポストにぴったり接するまで、ラックをスライドさせてラックに押し込みます。
- 4. (オプション) シャーシイヤーラッチを開き、輸送用ネジを締めます。



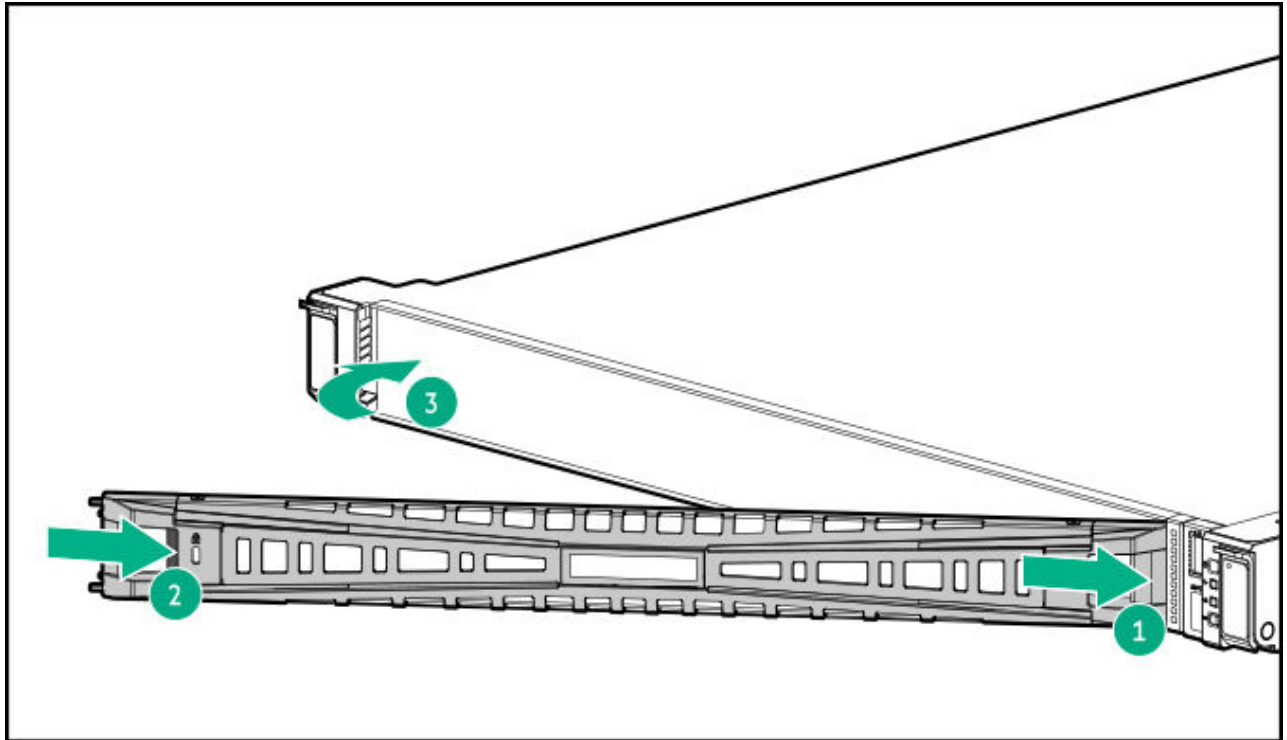
タスクの結果

取り付け手順は完了です。

フロントベゼルオプションの取り付け

手順

- 1. フロントベゼルを右側のシャーシイヤーに接続します。
- 2. フロントベゼルのリリースラッチを押し続けます。
- 3. フロントベゼルを閉じます。



- ・ (オプション) Kensington セキュリティロックを取り付けます。

詳しくは、ロックのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ドライブオプション

取り付けられているドライブケースに応じて、サーバーは次のドライブタイプをサポートしています。

- ・ ノンホットプラグ LFF (3.5 型) SATA ドライブ
- ・ ホットプラグ対応 LFF (3.5 型) SAS または SATA ドライブ
- ・ ホットプラグ対応 SFF (2.5 型) SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブ

組み込みの Intel VROC for HPE Gen11 (Intel VROC) は、直接接続された SATA ドライブのソフトウェア RAID をサポートします。

ハードウェア RAID をサポートするには、ストレージコントローラーオプションを取り付けます。

サブトピック

ドライブの取り付けのガイドライン

ノンホットプラグ LFF (3.5 型) ドライブの取り付け

ホットプラグ対応 LFF (3.5 型) /SFF (2.5 型) ドライブの取り付け

ドライブの取り付けのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- ・ システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。



注意

ドライブが取り付けられていない状態でサーバーを購入した場合、一部のドライブベイが空で、他のドライブベイにドライブブランクが装着されている場合があります。システムの適切な冷却を維持するため、ドライブまたはドライブブランクが取り付けられていない状態でサーバーを動作させないでください。

- ・ ドライブを 1 台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
ドライブ番号については、ドライブベイの番号を参照してください。
- ・ このサーバーは、ドライブタイプの混在をサポートしていません。
- ・ NVMe ドライブを取り付ける場合は、同じタイプのドライブを取り付けてください。NVMe ドライブの混在はサポートされていません。
- ・ すべてのドライブを同じドライブアレイにまとめる場合は、以下の基準を満たす必要があります。
 - すべてのハードディスクドライブ、またはすべてがソリッドステートドライブでなければなりません。
 - ストレージの容量効率を最大限に高めるには、各ドライブを同じ容量にしてください。

ノンホットプラグ LFF (3.5 型) ドライブの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ T-10 トルクスドライバー
- ・ T-15 トルクスドライバー

このタスクについて

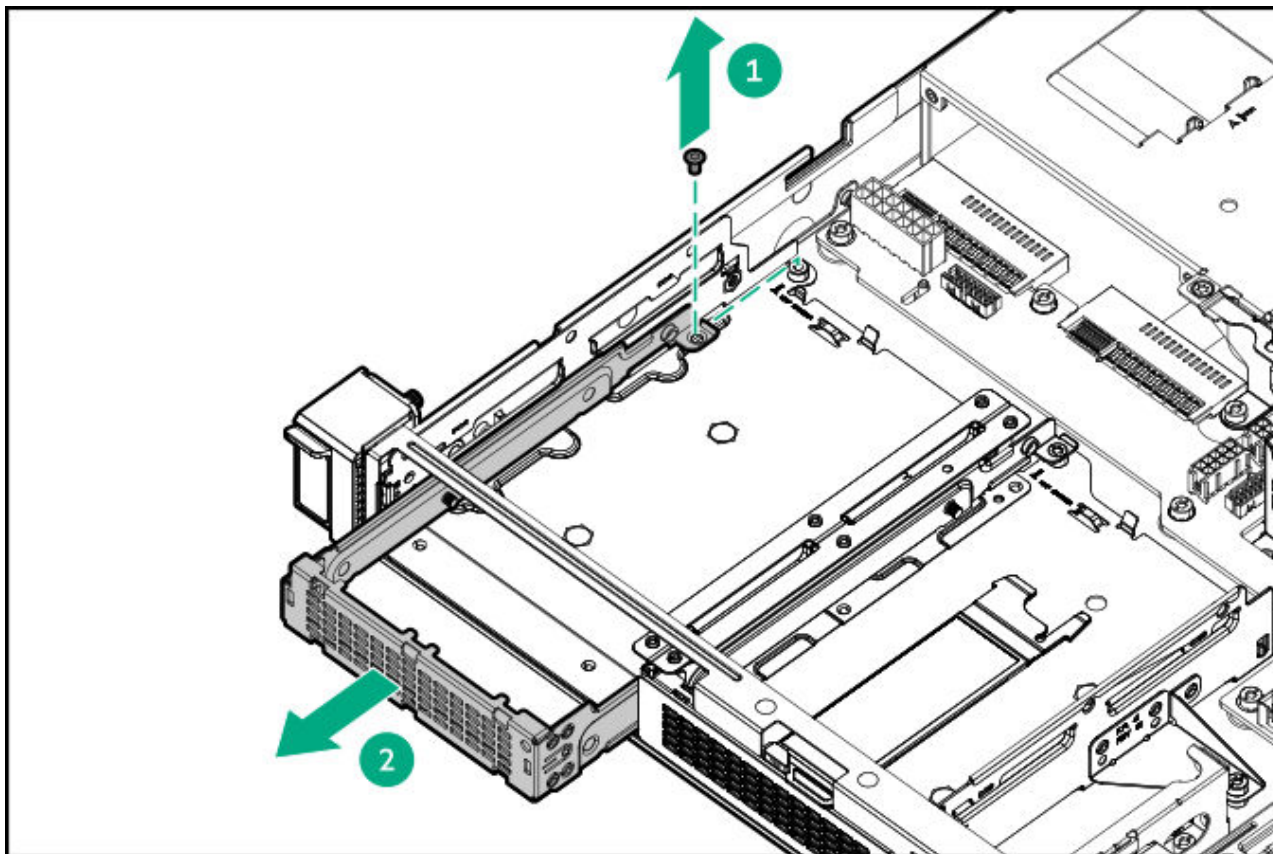


注意

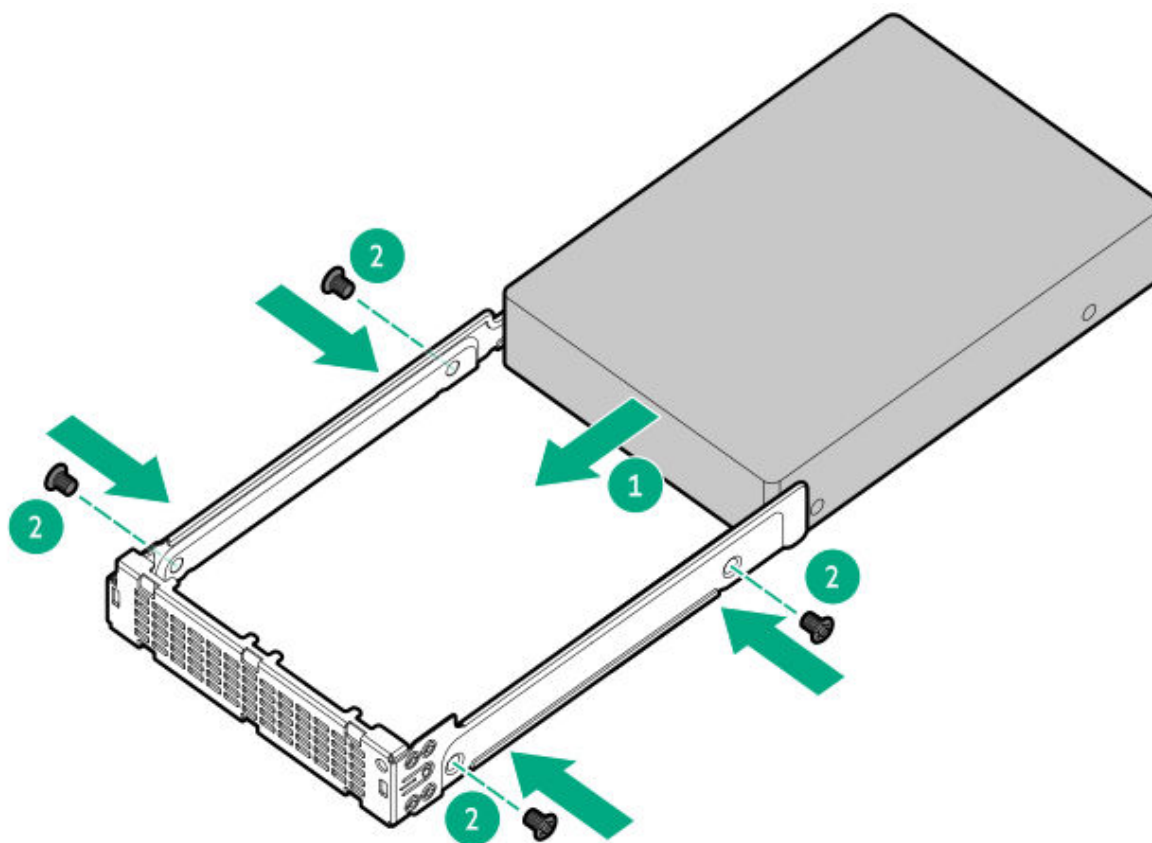
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

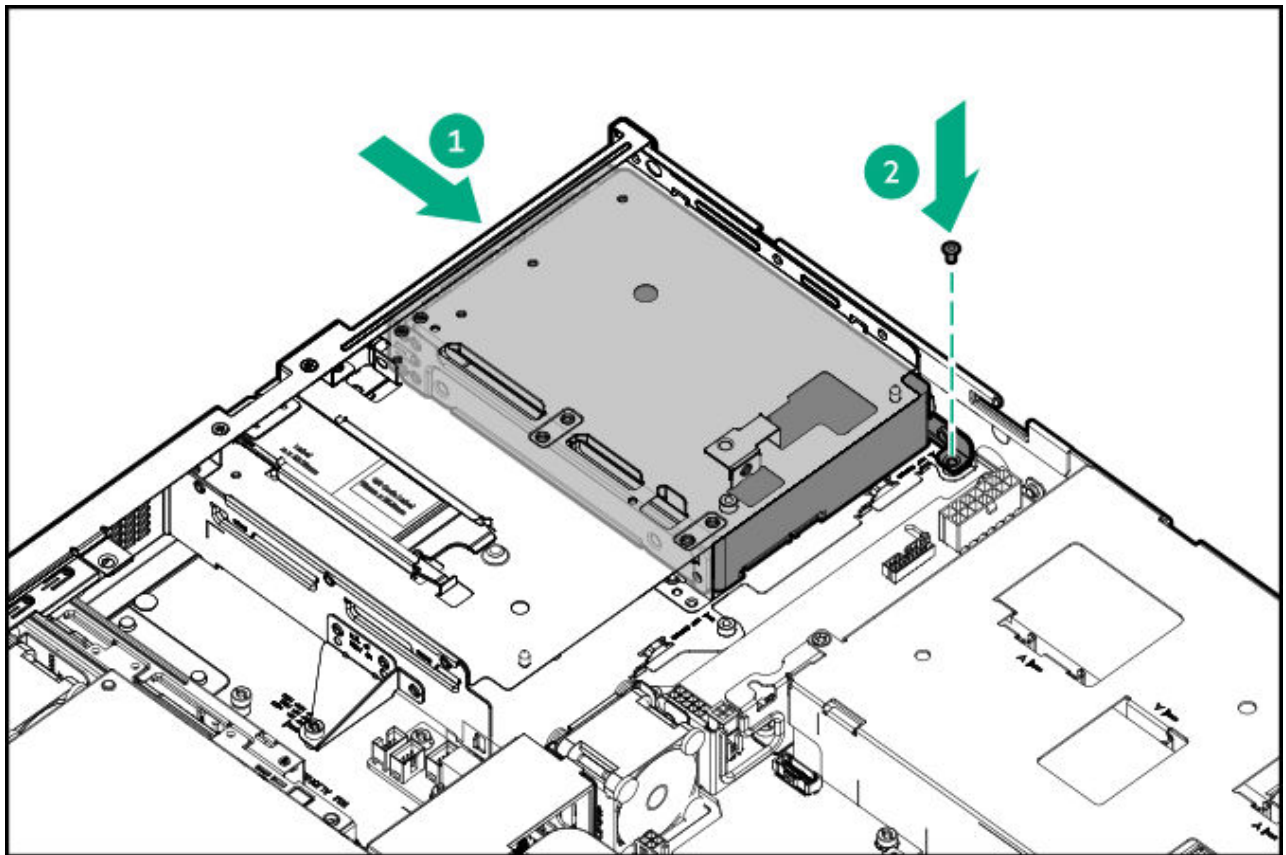
- ・ すべてのサーバーデータをバックアップします。
- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ ノンホットプラグドライブキャリアをサーバーから取り外します。



1. ノンホットプラグドライブをドライブキャリアに取り付けます。



ノンホットプラグドライブを取り付けます。



ドライブのケーブルを接続します。

アクセスパネルを取り付けます。

サーバーをラックに取り付けます。

取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。

周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

各電源コードをサーバーに接続します。

各電源コードを電源ソースに接続します。

サーバーの電源を入れます。

ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ホットプラグ対応 LFF（3.5 型） /SFF（2.5 型） ドライブの取り付け

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

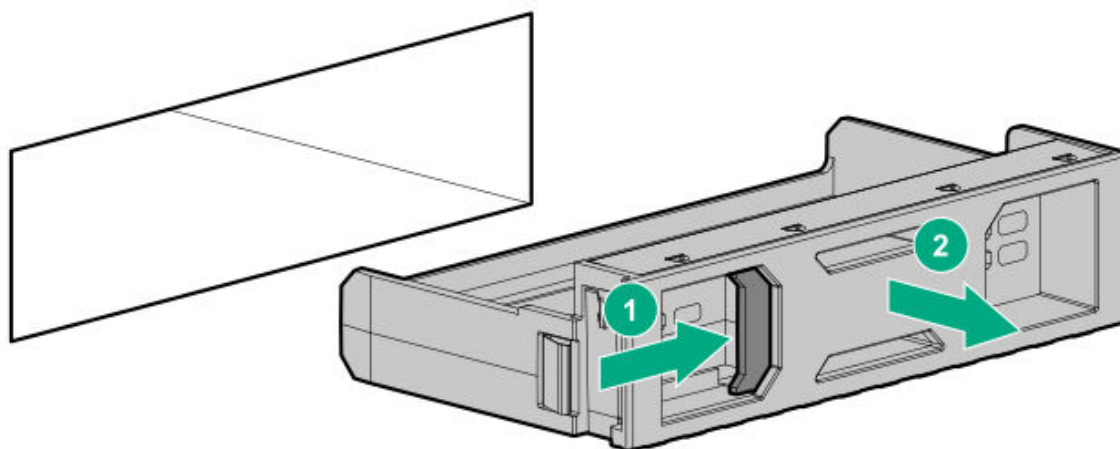
不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

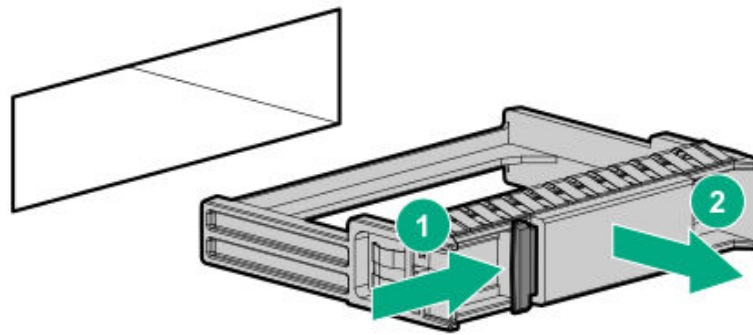
- すべてのサーバーデータをバックアップします。
- 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

- LFF（3.5 型）ドライブブランク

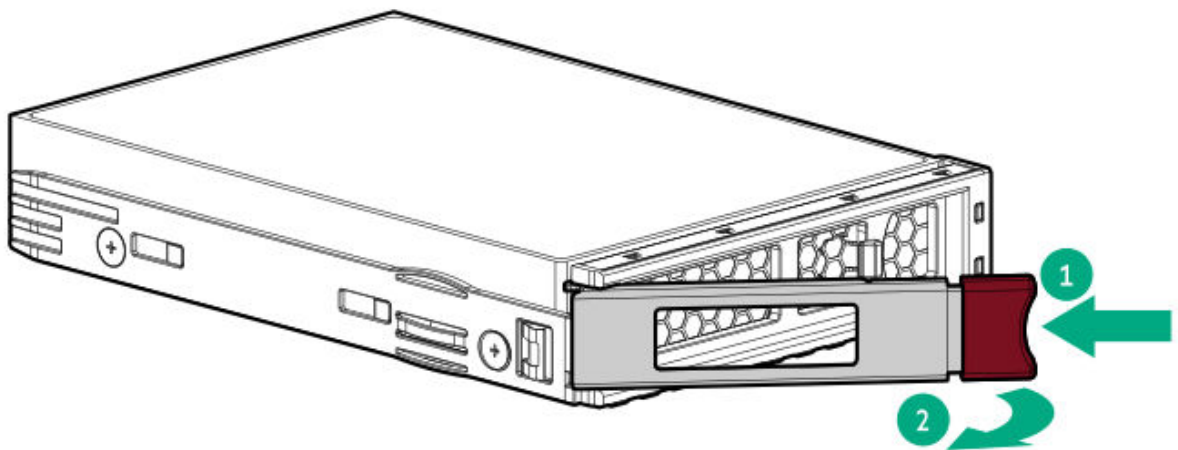


- SFF（2.5 型）ドライブブランク

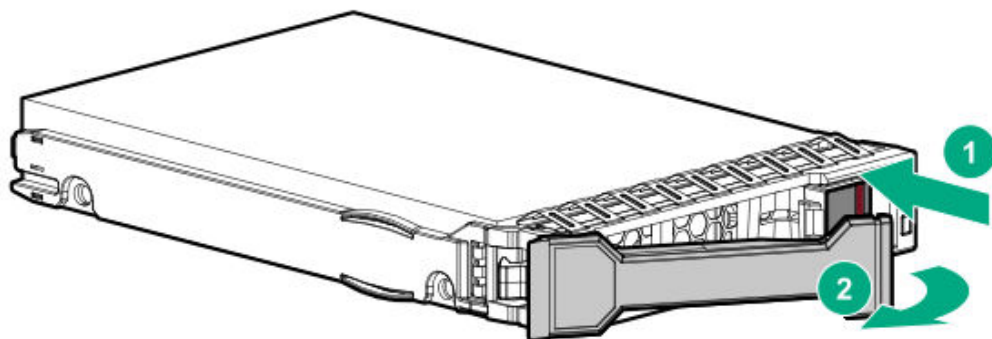


ドライブを準備します。

- ・ LFF (3.5 型) ドライブ

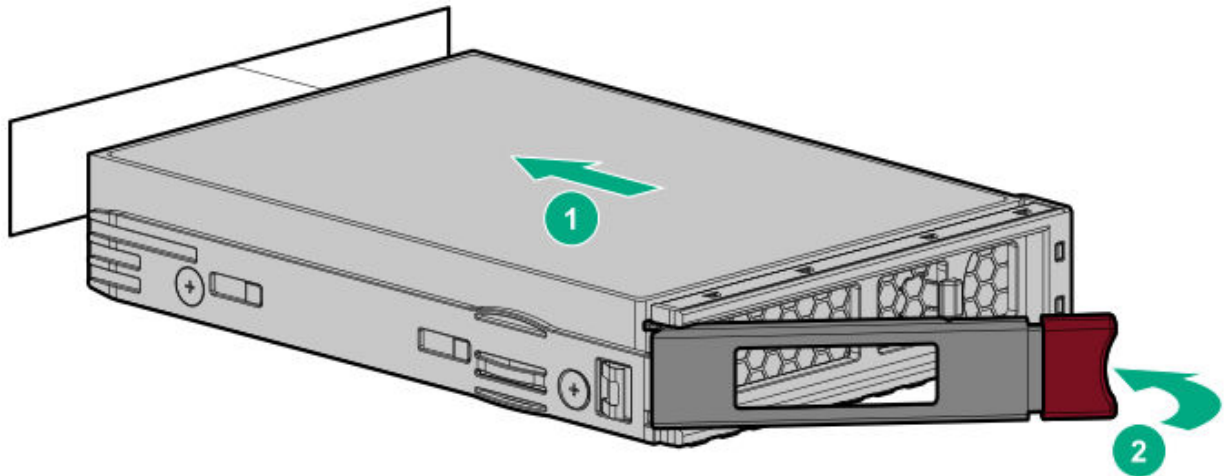


- ・ SFF (2.5 型) ドライブ

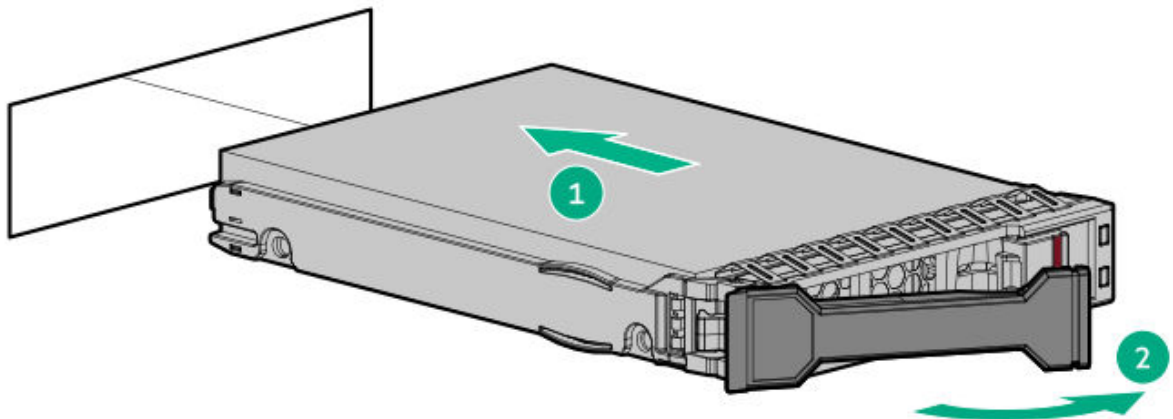


ドライブを取り付けます。

- ・ LFF (3.5 型) ドライブ



- ・ SFF (2.5 型) ドライブ



- 1. ドライブ LED の定義に従ってドライブのステータスを確認します。
- 2. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
- 3. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

電源装置オプション

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーはサポートされる電源装置のいずれかで構成されます。

サブトピック

ホットプラグ対応電源装置に関する計算
電源装置に関する警告と注意事項
DC 電源装置に関する警告と注意事項
DC 電源装置のワイヤーの色
AC 電源装置の取り付け
DC 電源装置の取り付け
DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power Advisor の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- ・ 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- ・ 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- ・ 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- ・ 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告

感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意

異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります：

- ・ 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- ・ システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

DC 電源装置に関する警告と注意事項



警告

感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用アース端子に接続してから、ラックに電源を接続してください。

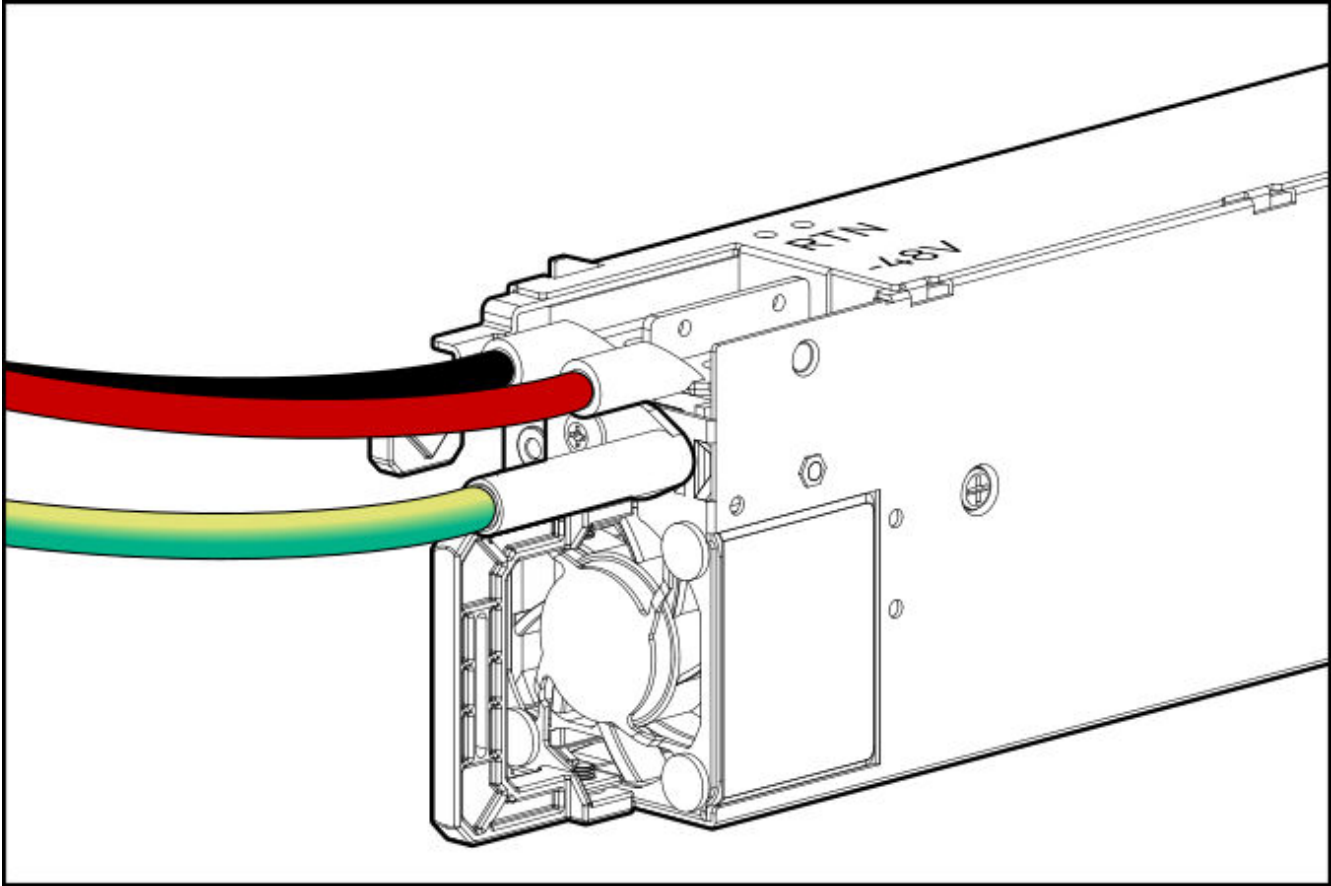


注意

この装置は、DC 供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ この装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。
- ・ DC 供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- ・ スイッチや電源切断用のデバイスは、DC 供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

DC 電源装置のワイヤーの色



ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	ラインワイヤー	-48V
黒色	リターンワイヤー	Return
緑色+黄色	アース用ワイヤー	安全アース

AC 電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、電源装置に関する警告と注意事項をお読みください。

このタスクについて



警告

表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラंक、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



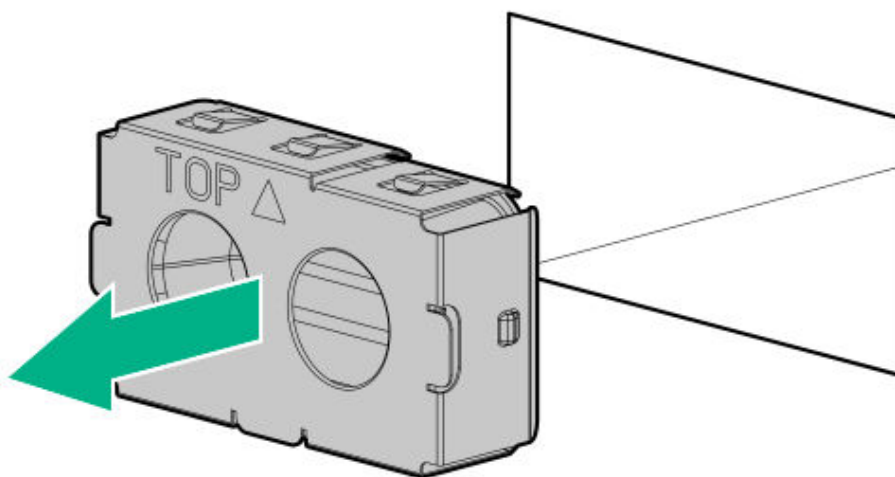
注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラंकのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

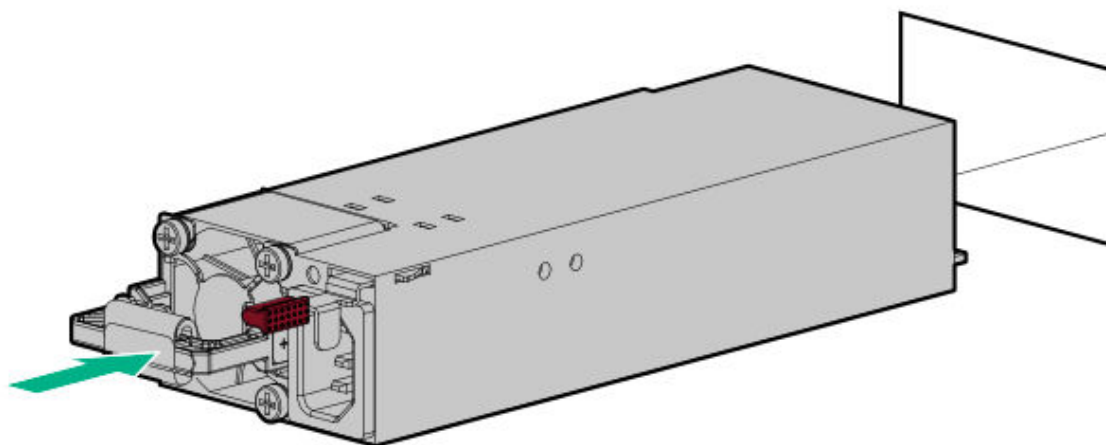
手順

1. 電源装置ブラंकを取り外します。

ブラंकは、将来使用できるように保管しておいてください。



2. 電源装置を取り付けます。

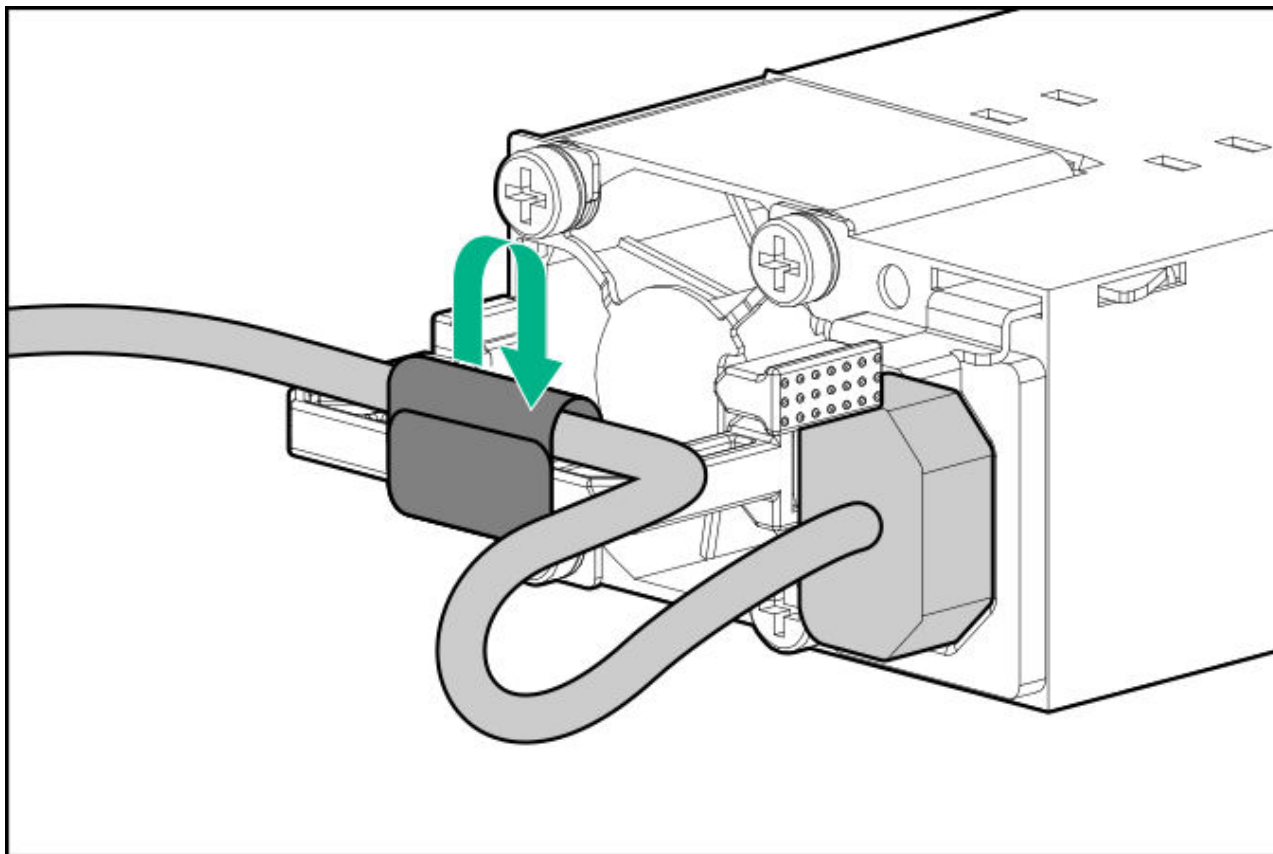


- 1. 電源コードを電源装置に接続します。
- 2. 電源コードを固定します。



注意

電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。



1. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
2. 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC 電源装置の取り付け

前提条件

- ・ 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。
 - [電源装置に関する警告と注意事項](#)
 - [DC 電源装置に関する警告と注意事項](#)

- DC 電源装置のワイヤーの色

- ・ この手順を実行する前に、プラスドライバー（No. 2）を用意しておきます。
- ・ 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - お客様が用意した電源ケーブルで使用するために、オプションの P36877-B21 HPE ラグキットを HPE 製品販売店から購入できます。（以下にリストされている電源ケーブルとラグキットは、1600 W -48 VDC 電源装置でのみ使用できます。）
 - 入力電源コードオプションを使用している場合は、P22173-B21 HPE 1600 W DC PSU 電源ケーブルキットを HPE 製品販売店から購入できます。
 - DC 電源装置オプションキットには、電源装置の DC ケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグキットが含まれていない場合があります。DC ケーブルキット（オプション）または DC ケーブルラグキット（オプション）は、Hewlett Packard Enterprise または HPE 製品販売店から直接購入できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/fsps-qs> にある電源装置の QuickSpecs を参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上で行い、ご使用の地域の規定に準拠している必要があります。



警告

感電、火災、または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以下のガイドラインに従ってください。

- ・ HPE 1600 W FS DC-48V パワーサプライは、立ち入りが制限された場所に設置されたサーバーへの取り付け専用です。
- ・ HPE 1600 W FS DC-48V パワーサプライは、DC 供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各 DC 電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット (PDU) に接続してください。PDU の過電流保護出力装置は、それぞれ DC 電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。また、最大 45 A の定格でなければなりません。
- ・ PDU 出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDU で電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- ・ この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、SELV または TNV として分類された DC 電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、IEC 60950-1/IEC 62368-1 の International Standard for Information Technology Equipment に基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC 供給源にはアース端子に確実に接続できる電極 (Neutral/Return) が 1 本備わっている必要があります。
- ・ 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。

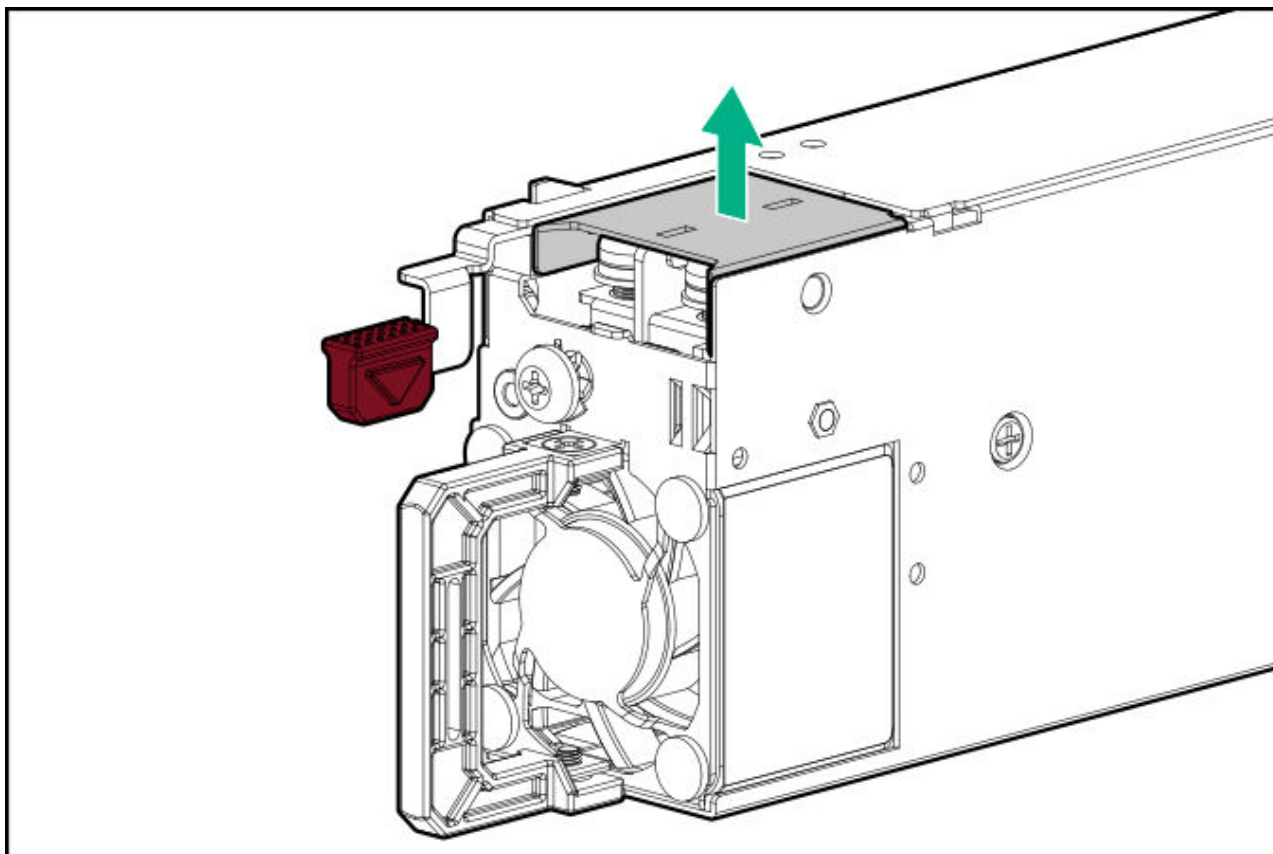


警告

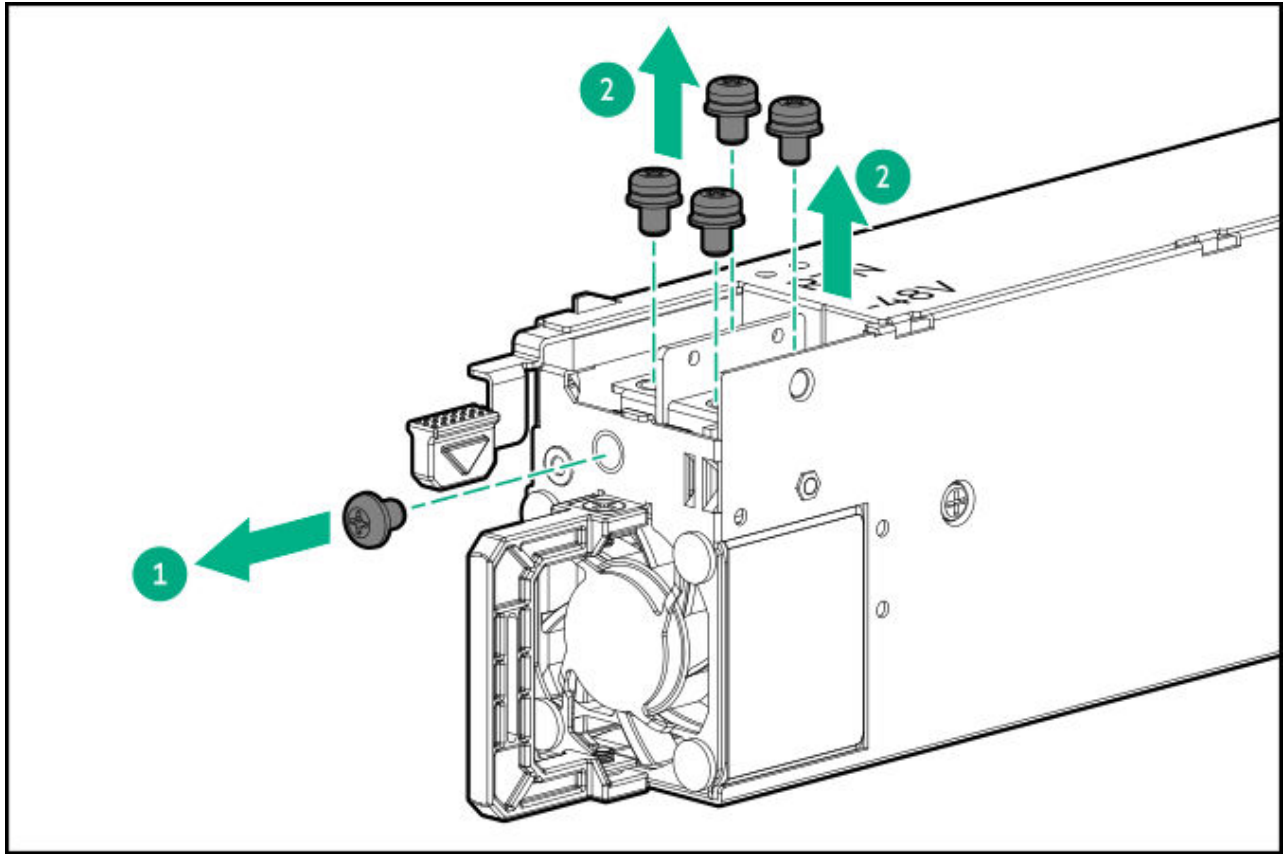
表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラック、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に

手順

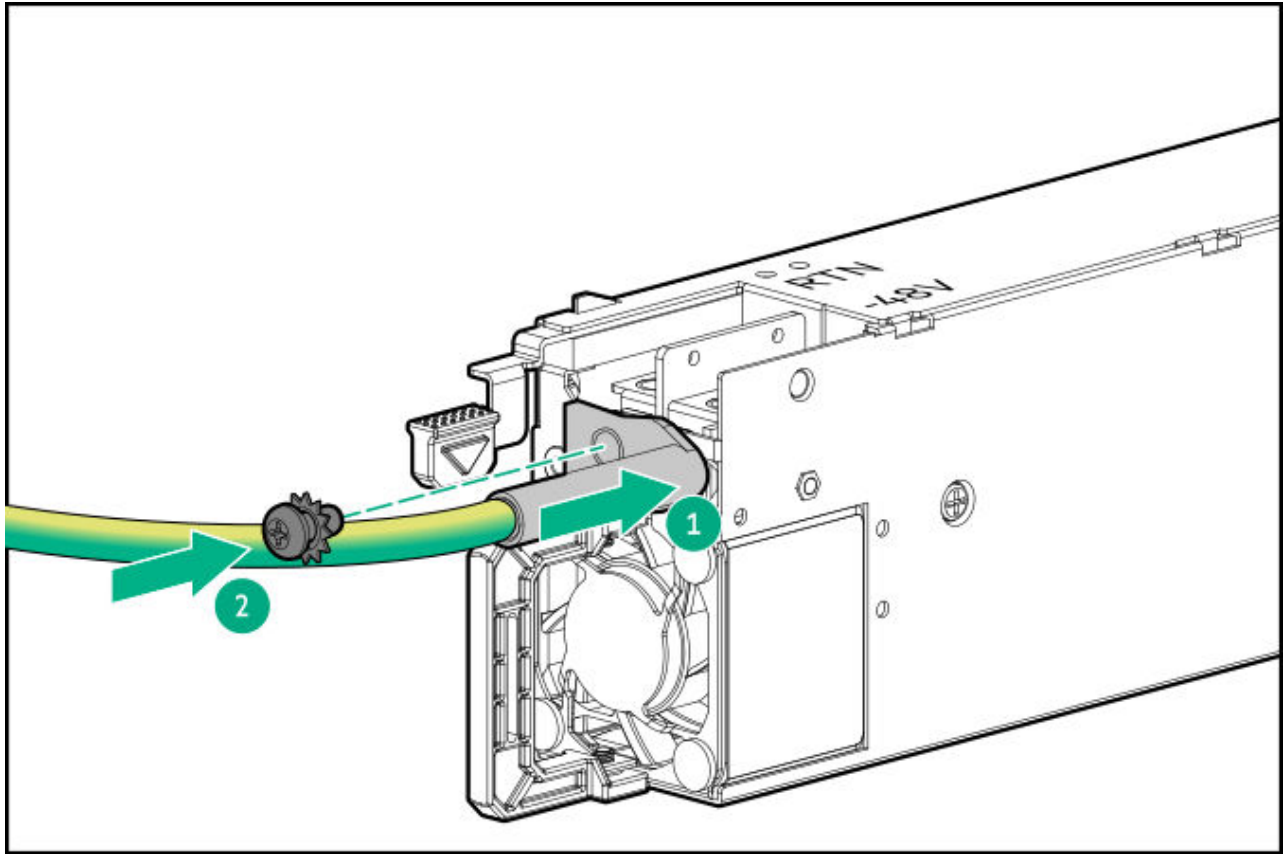
1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



2. アース線のネジを取り外してから、リターンワイヤーとラインワイヤーのネジを取り外します。

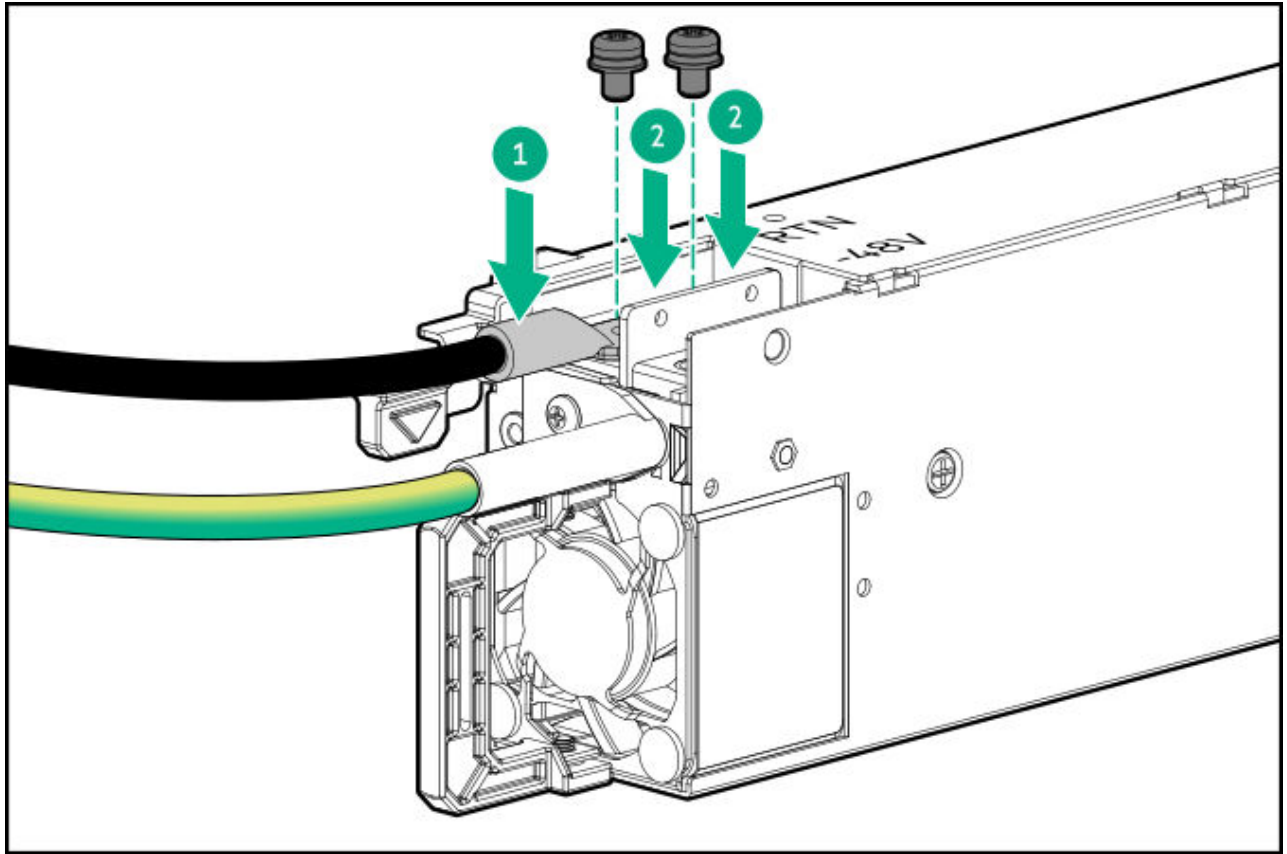


アース線（緑色と黄色）を DC 電源装置に接続し、ネジとワッシャーを 1.47 N-m (13 lbf-in) で締めます。

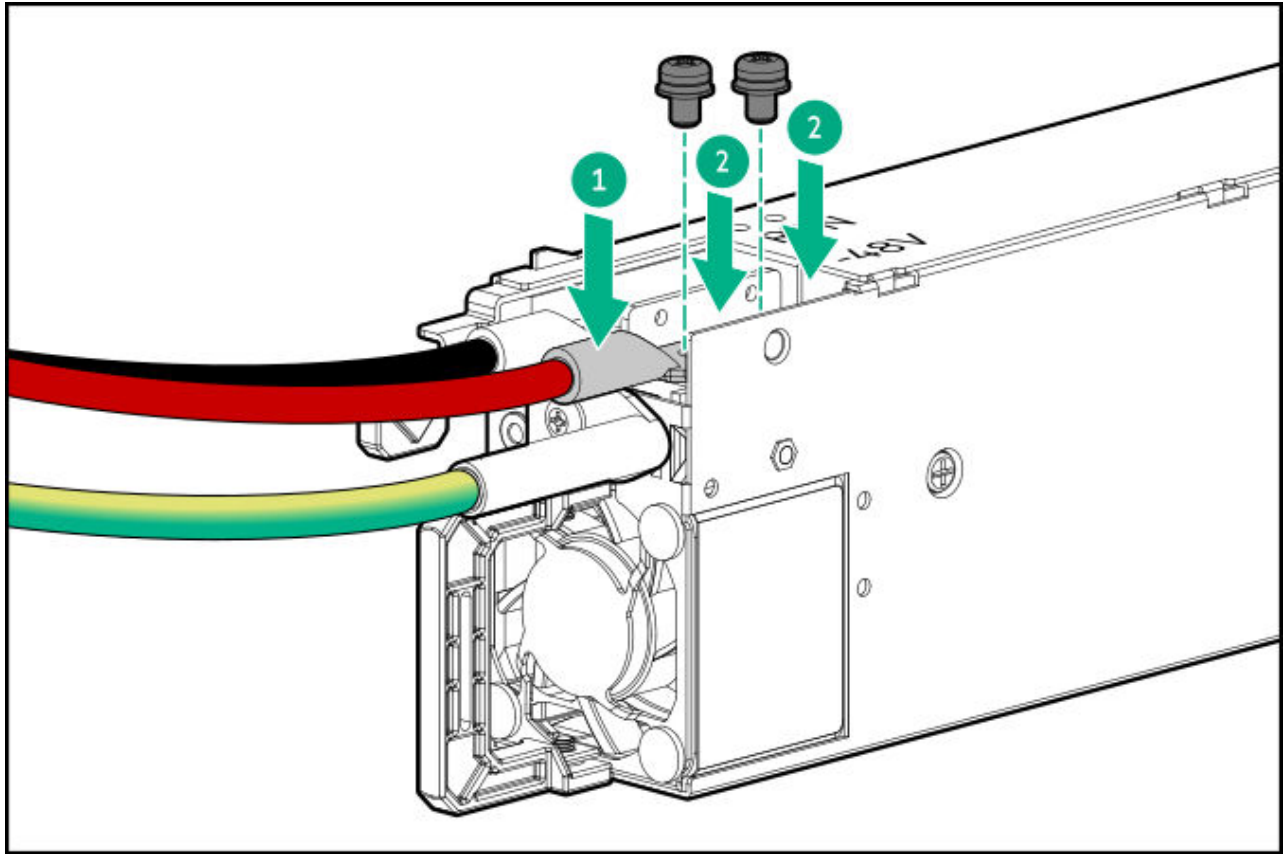


リターンワイヤー（黒色）を取り付けます。

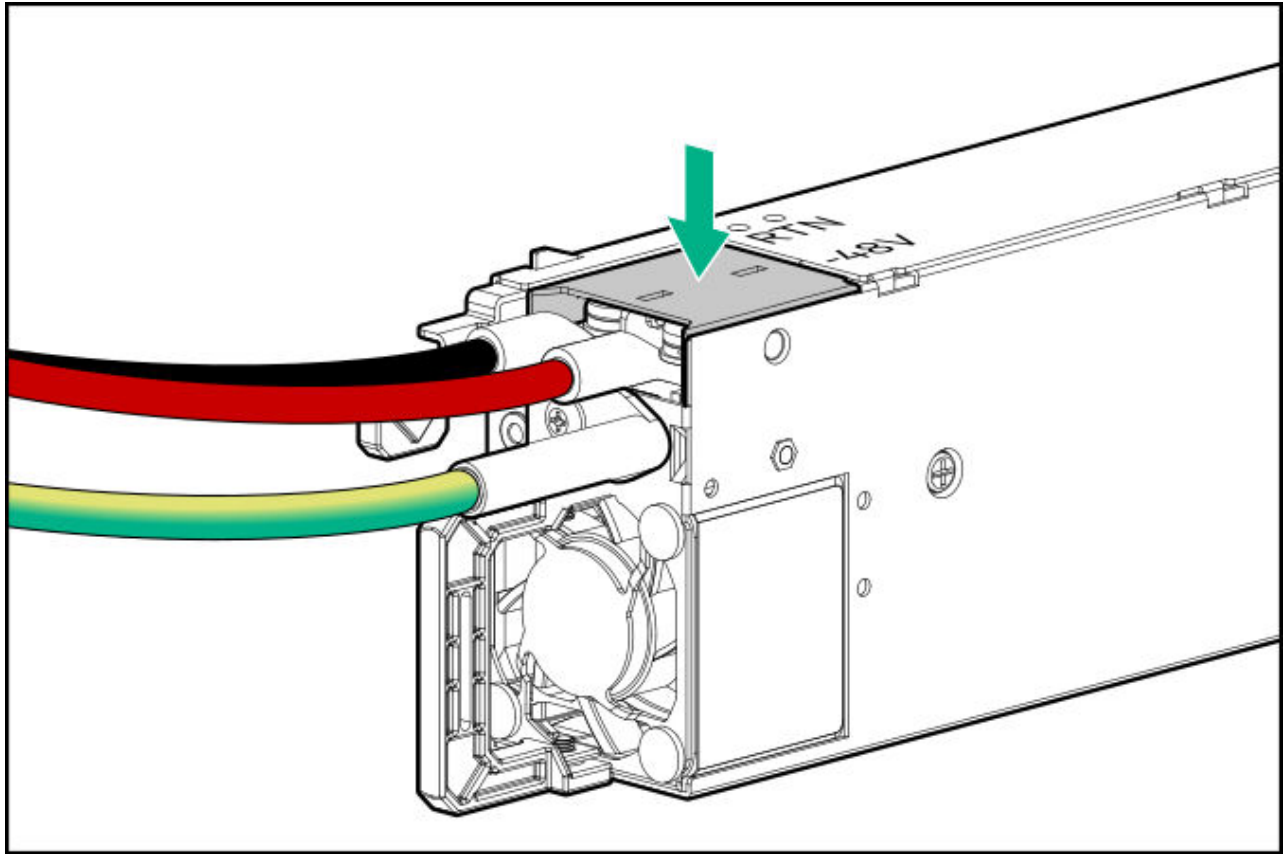
- a. リターンワイヤーを DC 電源装置の RTN スロットに挿入します。
- b. 0.98 N-m (8.68 lbf-in) でネジを締めます。



1. ラインワイヤー（赤色）を取り付けます。
 - a. ラインワイヤーを DC 電源装置の-48V スロットに挿入します。
 - b. ネジを 0.98 N-m (8.68 lbf-in) に締めます。



1. DC 電源装置に保護カバーを取り付けます。
保護カバーがロックされていることを確認します。

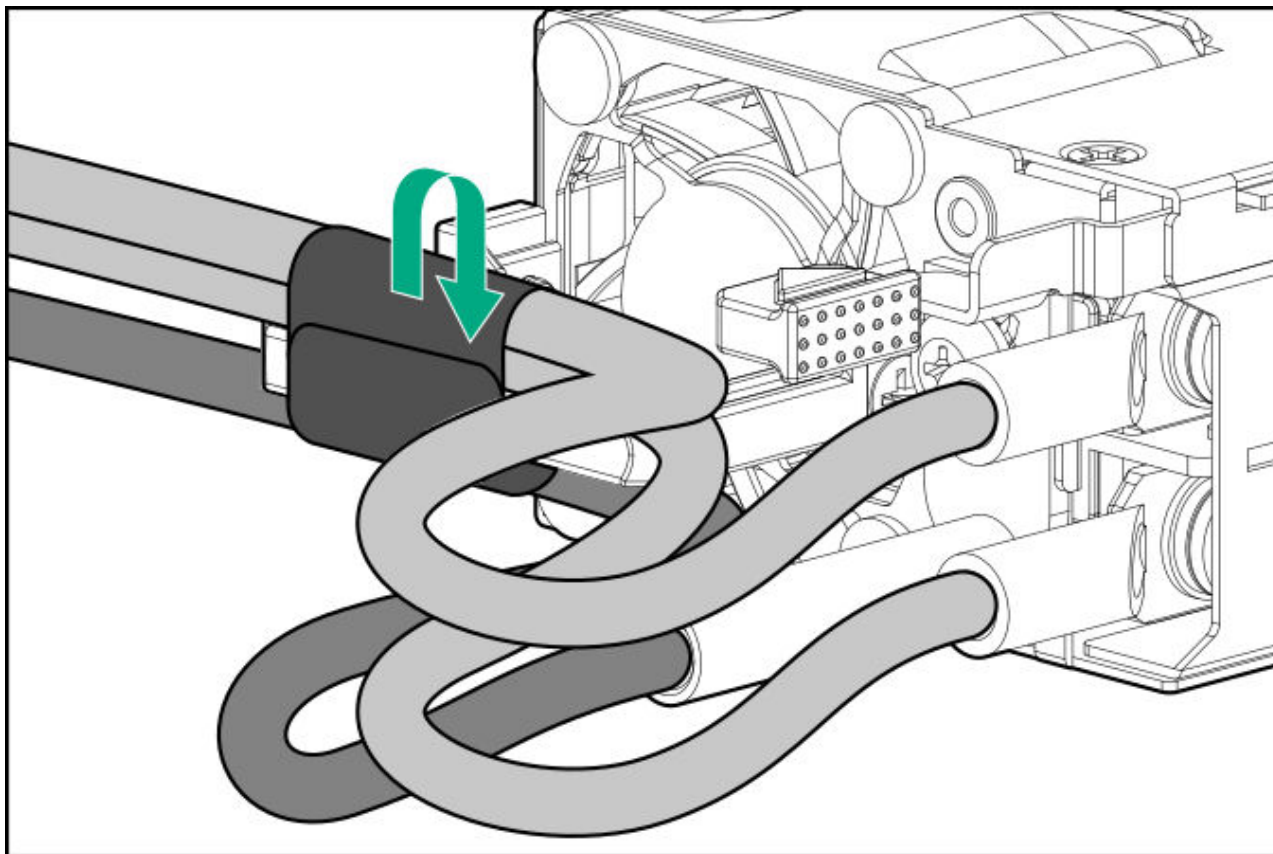


アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。

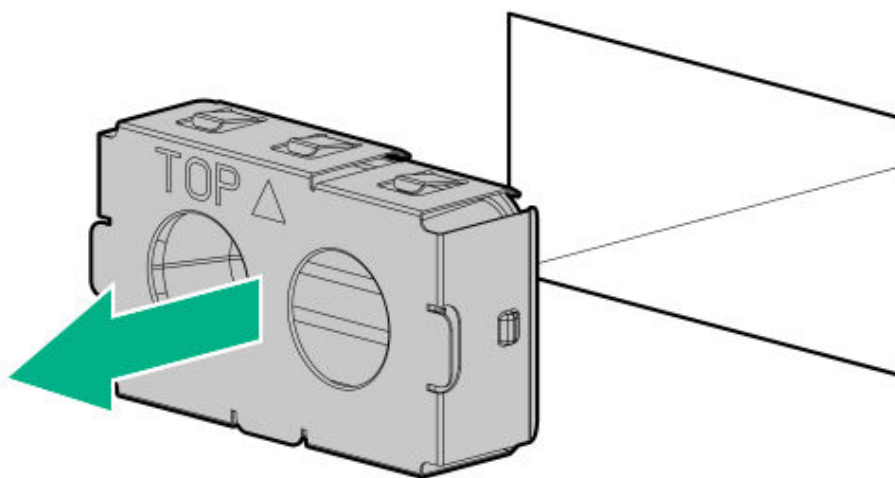


注意

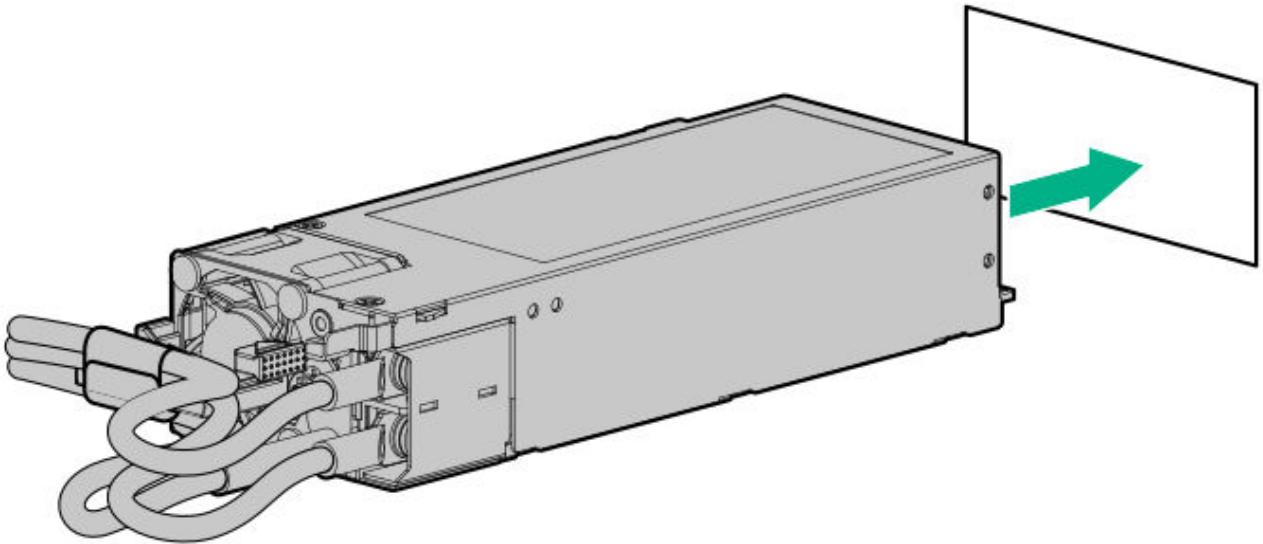
電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。



電源装置ベイ 2 に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブラックを取り外します。
ブラックは、将来使用できるように保管しておいてください。



電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



- 必ず、-48 V DC 電源をオフにするか PDU ブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC 電源または PDU に接続します。
- 48 V 電源をオンにするか PDU ブレーカーをオンの位置にして-48 V の電力を電源装置に供給します。
- DC 電源ケーブルと DC 電源を接続します。
- 電源装置 LED が緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

DC 電源ケーブルの DC 電源への接続

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 電線カッター
- 手動圧着工具

このタスクについて



警告

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- ・ この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に従って設置する必要があります
- ・ 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバーター、または同等の隔離装置から電力を得ます。
- ・ DC 電源の過電流保護は 45 A を超えてはなりません。



警告

DC 電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する必要があります。



警告

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってください。



注意

サーバー装置で、DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。



注意

DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置で DC 接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ 装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置してください。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。

手順

- DC 電源コードが 150.00 cm (59.06 インチ) 以上になるように切ります。



重要

リング端子は、UL 認定の 6 AWG ワイヤーに対応するものである必要があります。



重要

ピラーまたはスタッドタイプの端子の最小公称ネジ径は、3.50 mm (0.138 インチ) にする必要があります。また、ネジタイプの端子の直径は、5.00 mm (0.197 インチ) にする必要があります。

- 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
 - 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。
- 詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

トランシーバーオプション

トランシーバーは、高速パフォーマンスを維持するためにアダプターとネットワークケーブル間の接続として機能します。

サブトピック

トランシーバーに関する警告および注意事項
トランシーバーの取り付け

トランシーバーに関する警告および注意事項



警告

光ファイバートランシーバーおよびトランシーバーに接続されている光ファイバーケーブルは、目に損傷を与える可能性があるレーザー光を放出します。目への損傷を避けるため、電源投入時に光ファイバートランシーバーの光線や光ファイバーケーブルの両端を直視しないでください。



注意

トランシーバーのポートに埃が溜まっていると、ケーブル接続が不良になることがあります。埃の侵入を防ぐには、未使用のトランシーバーポートにダストプラグを取り付けます。



注意

サポート対象のトランシーバーは、ホットスワップ（サーバーの電源が入った状態で、取り外しと取り付けを行う）ことができます。ただし、トランシーバーまたは光ファイバーケーブルに損傷が及ぶ可能性を防ぐため、ホットスワップの前にケーブルをトランシーバーから外してください。



注意

トランシーバーの取り外しや取り付けは、絶対に必要な場合にのみ行ってください。それらの作業を行うと、トランシーバーの耐用期間が短くなる可能性があります。



重要

トランシーバーを異なるタイプの製品と交換した後も、サーバーは交換されたトランシーバーで設定していたポート固有の構成を維持します。必要に応じて、ポート設定を確実に検証または再構成してください。

トランシーバーの取り付け

前提条件

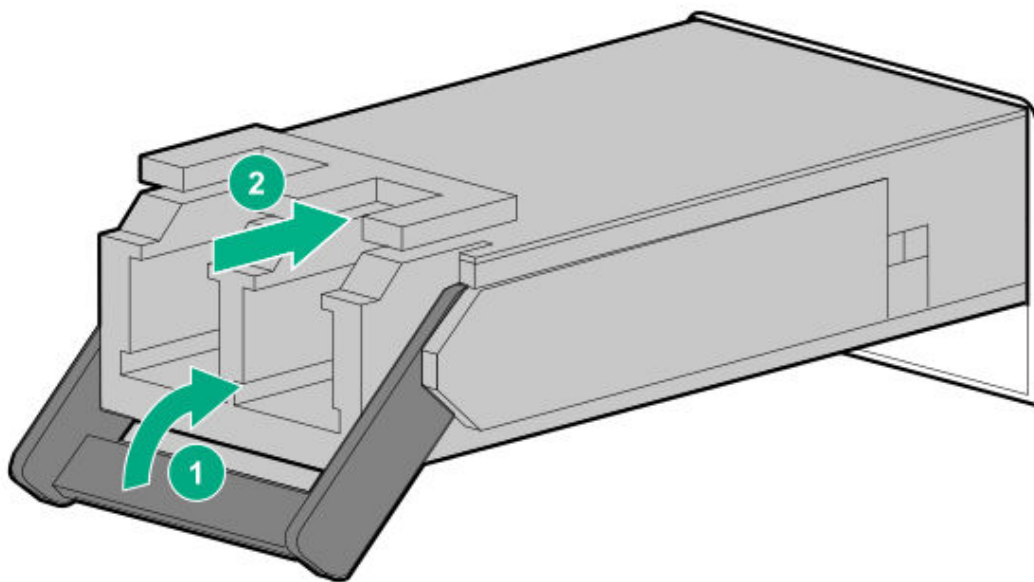
トランシーバーオプションを取り付ける前に、以下の記載をお読みください。

- ・ トランシーバーに関する警告および注意事項
- ・ トランシーバーに関する、特定の動作およびケーブル接続要件のドキュメント

手順

- ・ トランシーバーの側面を持ち、定位置に収まるまでネットワークアダプターポートにゆっくりと挿入します。

トランシーバーは、正しい方向にのみ挿入できるように逆挿入防止の切り込みが入っています。トランシーバーが簡単にポートに挿入できない場合、位置が正しくない可能性があります。トランシーバーの向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



- ・ トランシーバーからダストプラグまたは保護カバーを外します。
- ・ 互換性のある LAN セグメントのケーブルをトランシーバーに接続します。
- ・ ポートの NIC リンク LED が緑色に点灯していることを確認します。

ポートの LED の動作について詳しくは、トランシーバーに付属しているドキュメントを参照してください。

- ・ 必要に応じて、トランシーバーに該当する、モデル固有の固定メカニズムについて、トランシーバーのドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

パススルーボードオプション

4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成では、次のオプションを取り付ける場合、パススルーボード (PTB) が必要です。

- ・ 2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブケージ
- ・ オプティカルドライブ - 直接接続された SATA SSD が取り付けられている場合。

サブトピック

パススルーボード (PTB) の取り付け

パススルーボード (PTB) の取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



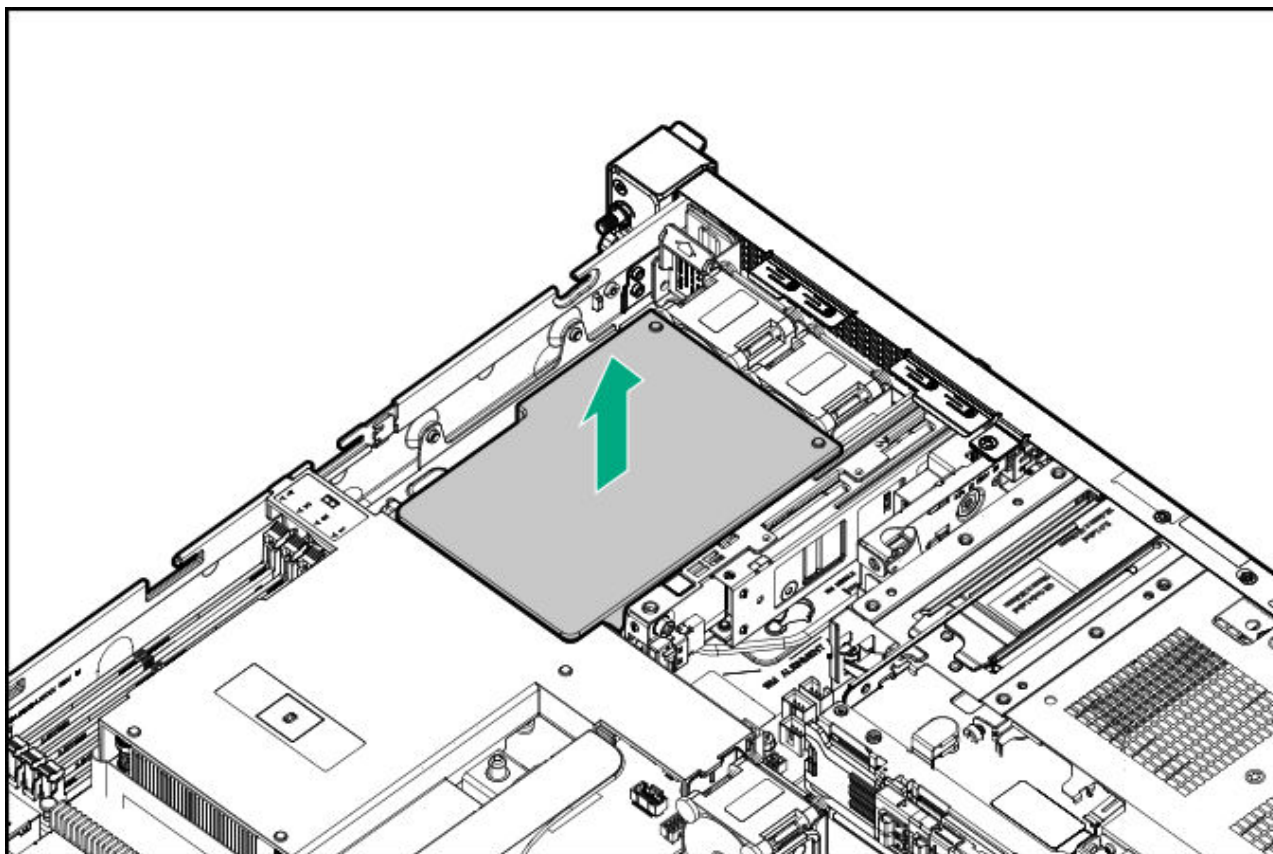
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

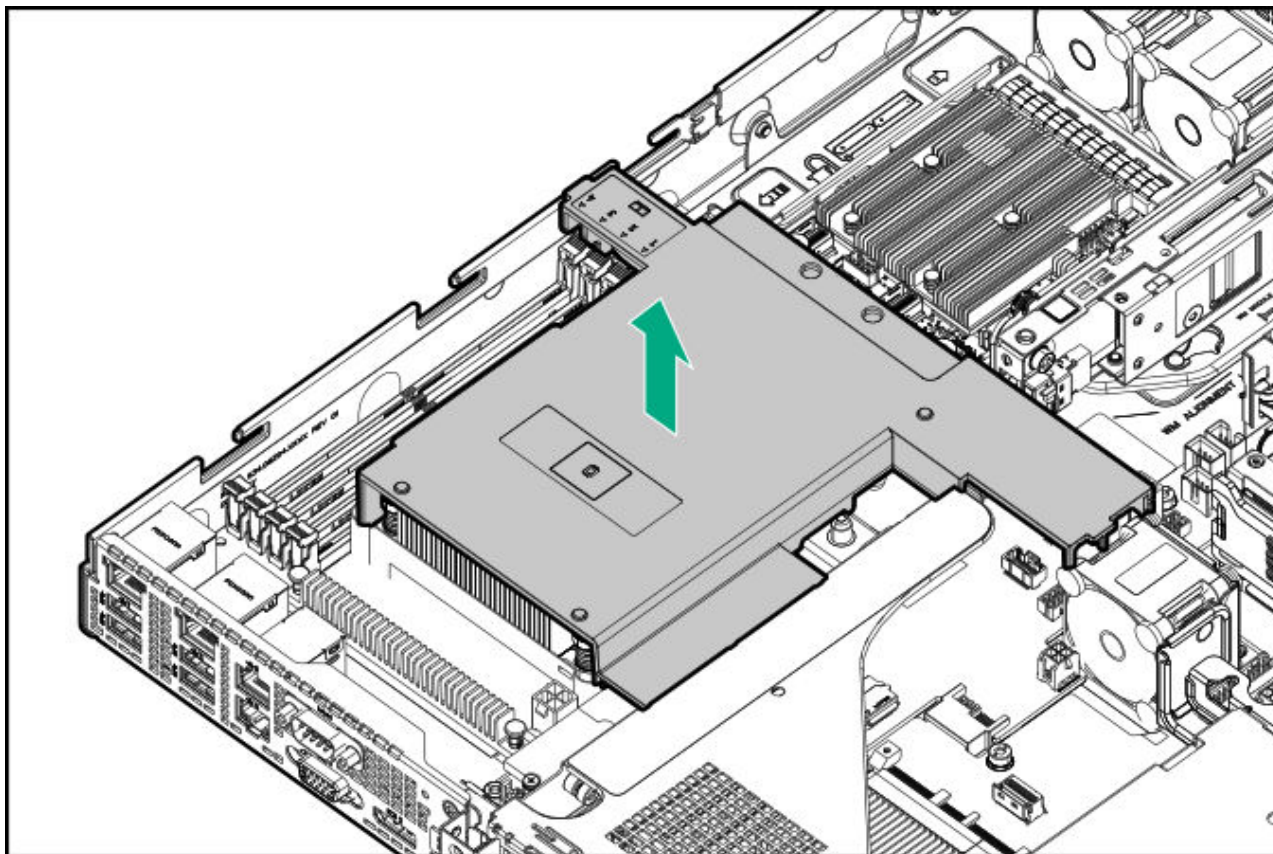
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。

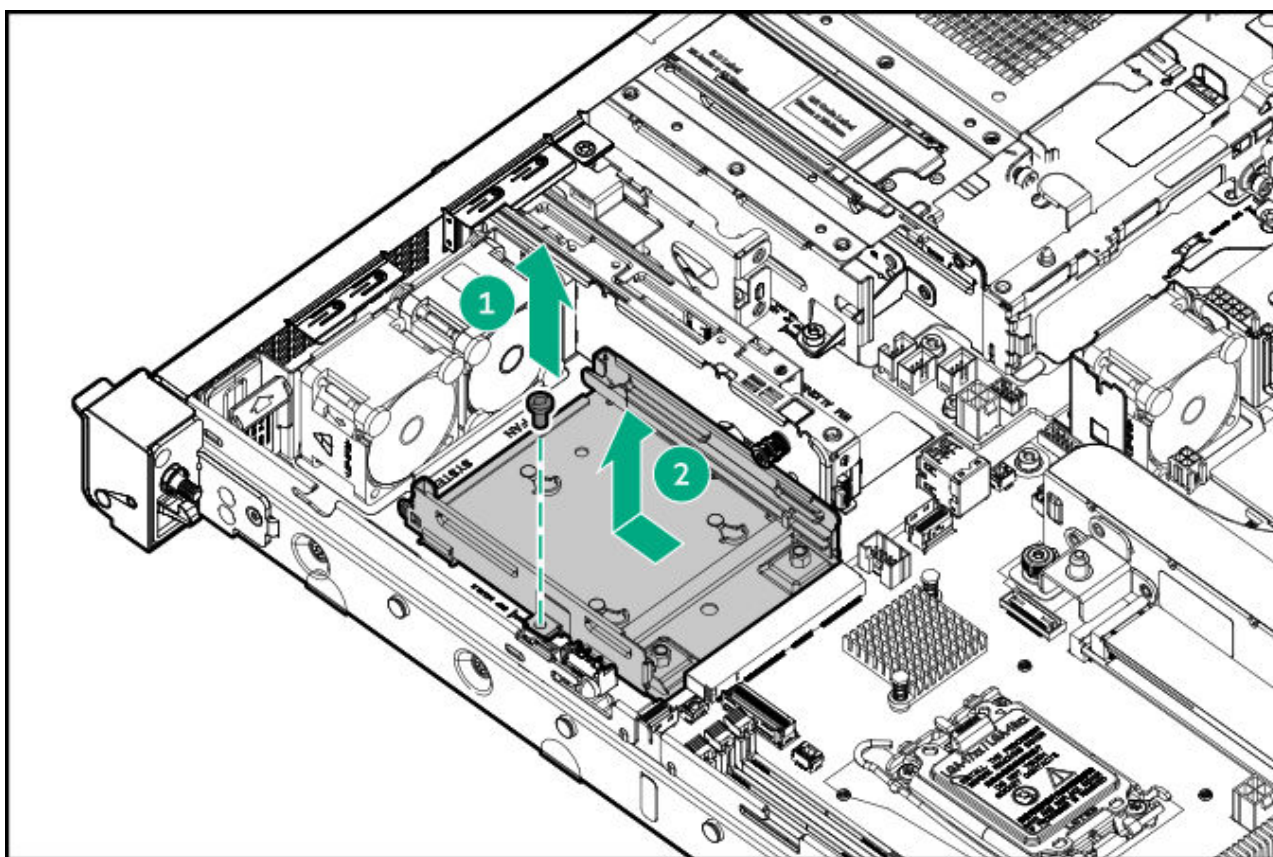
1. OCP エアバッフルを取り外します。



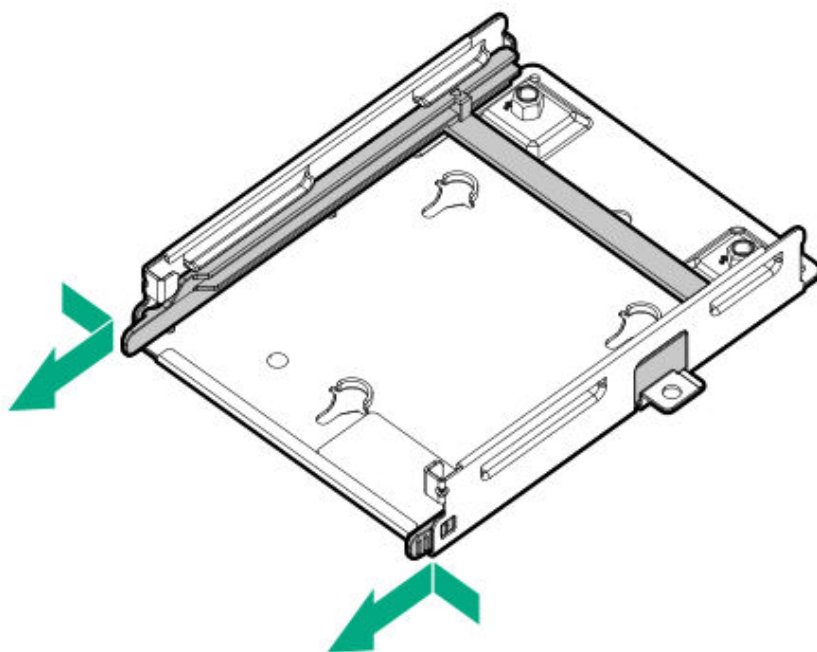
2. プロセッサエアバッフルを取り外します。



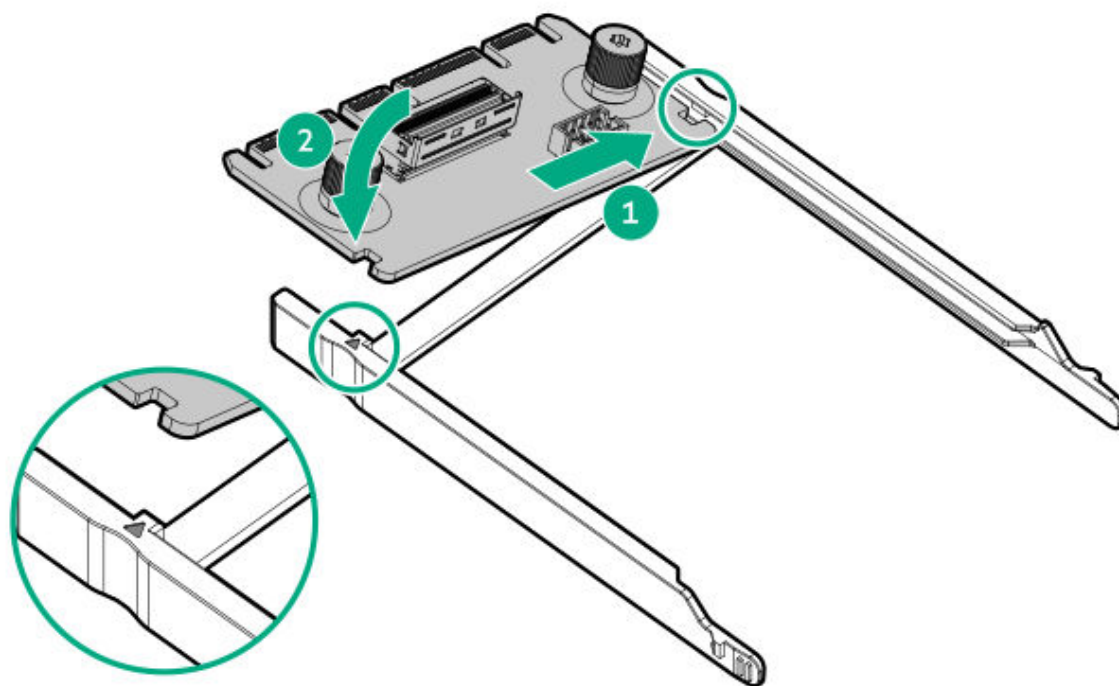
OCP ケージを取り外します。



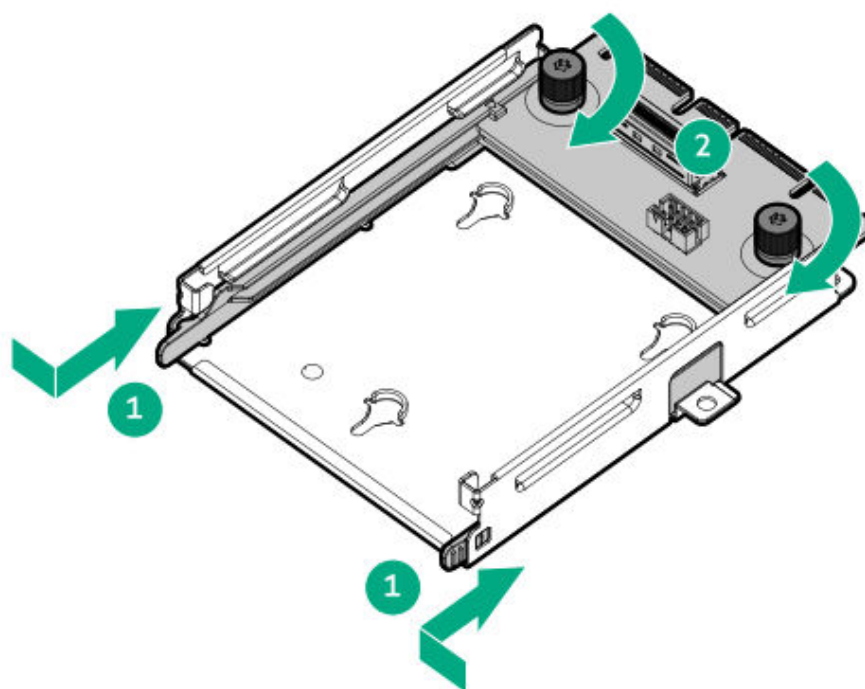
1. OCP ケージレールを取り外します。



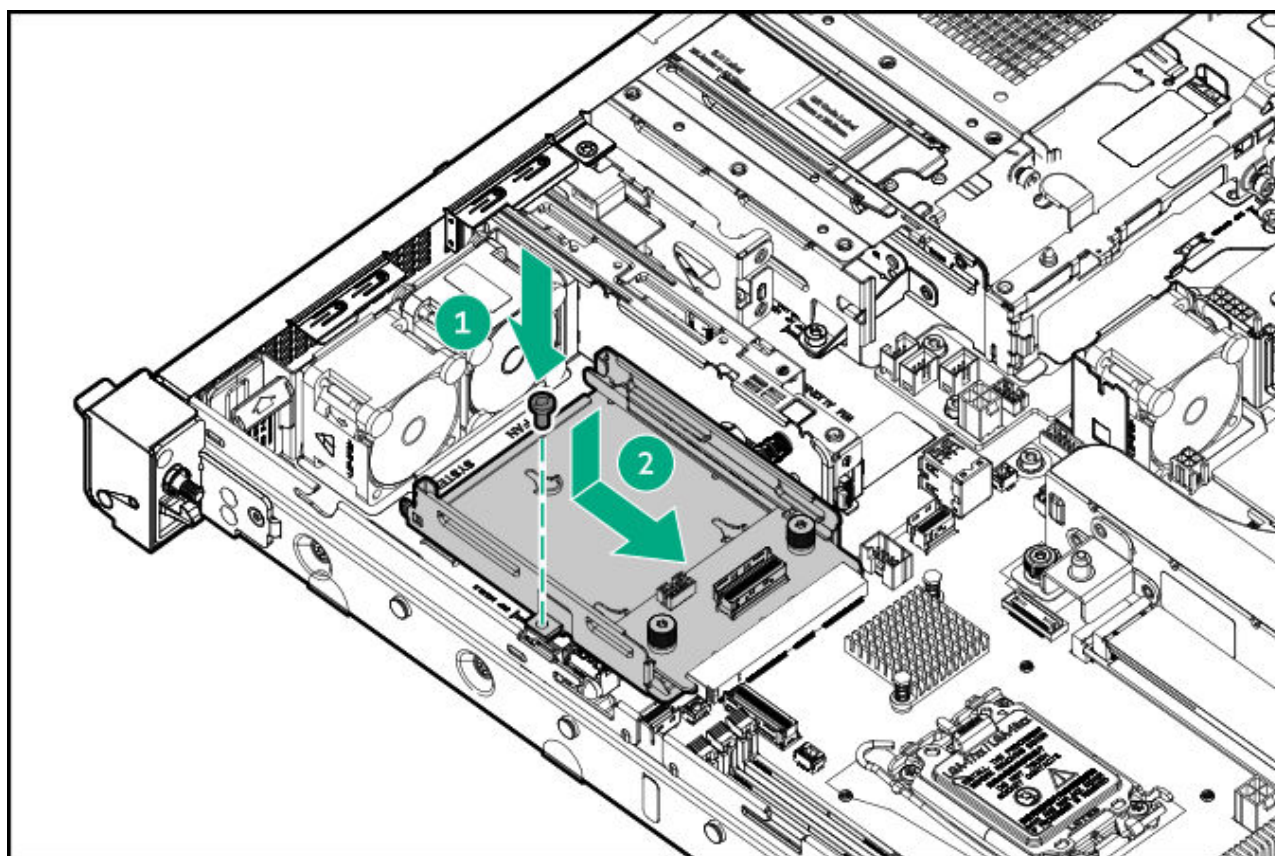
2. PTB を OCP ケージレールに取り付けます。



3. PTB を OCP ケージに取り付けます。

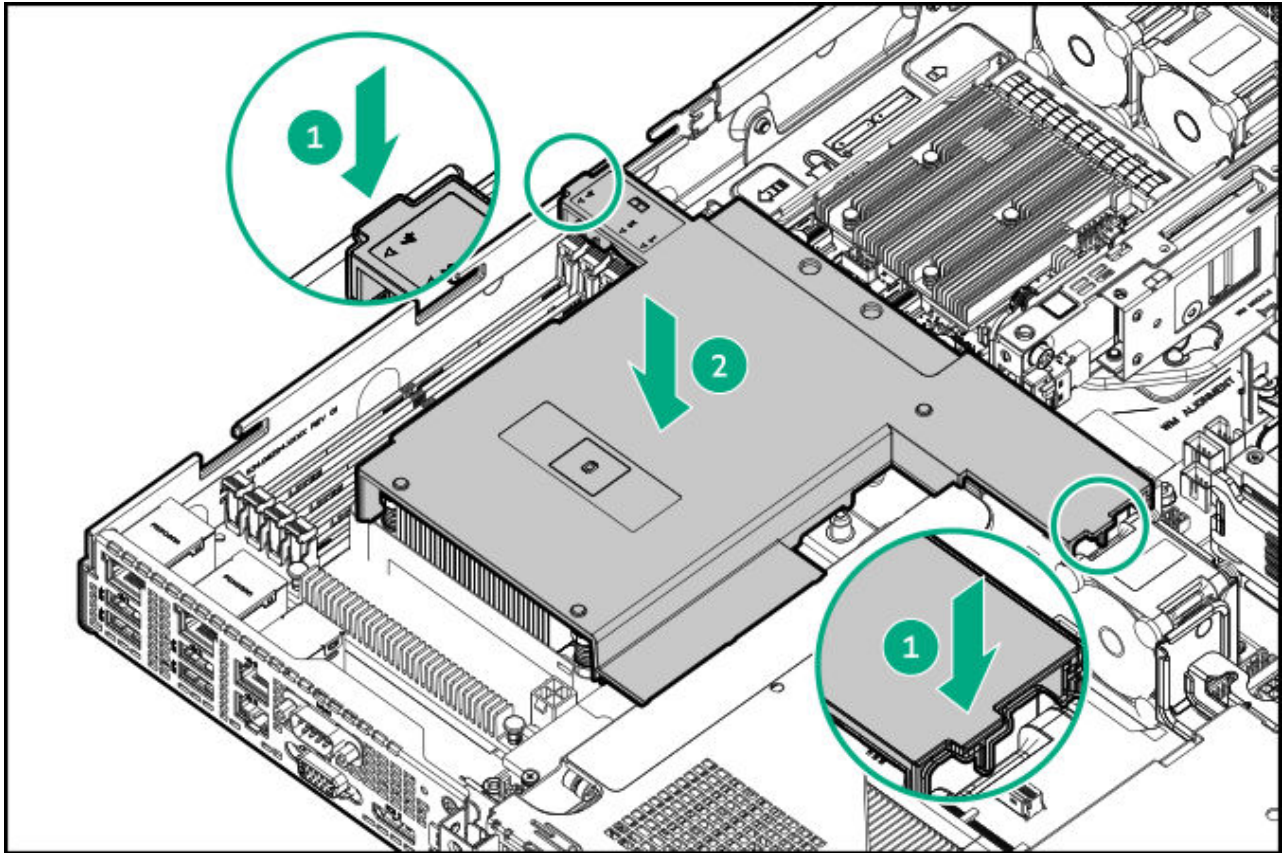


。 OCP ケージを取り付けます。

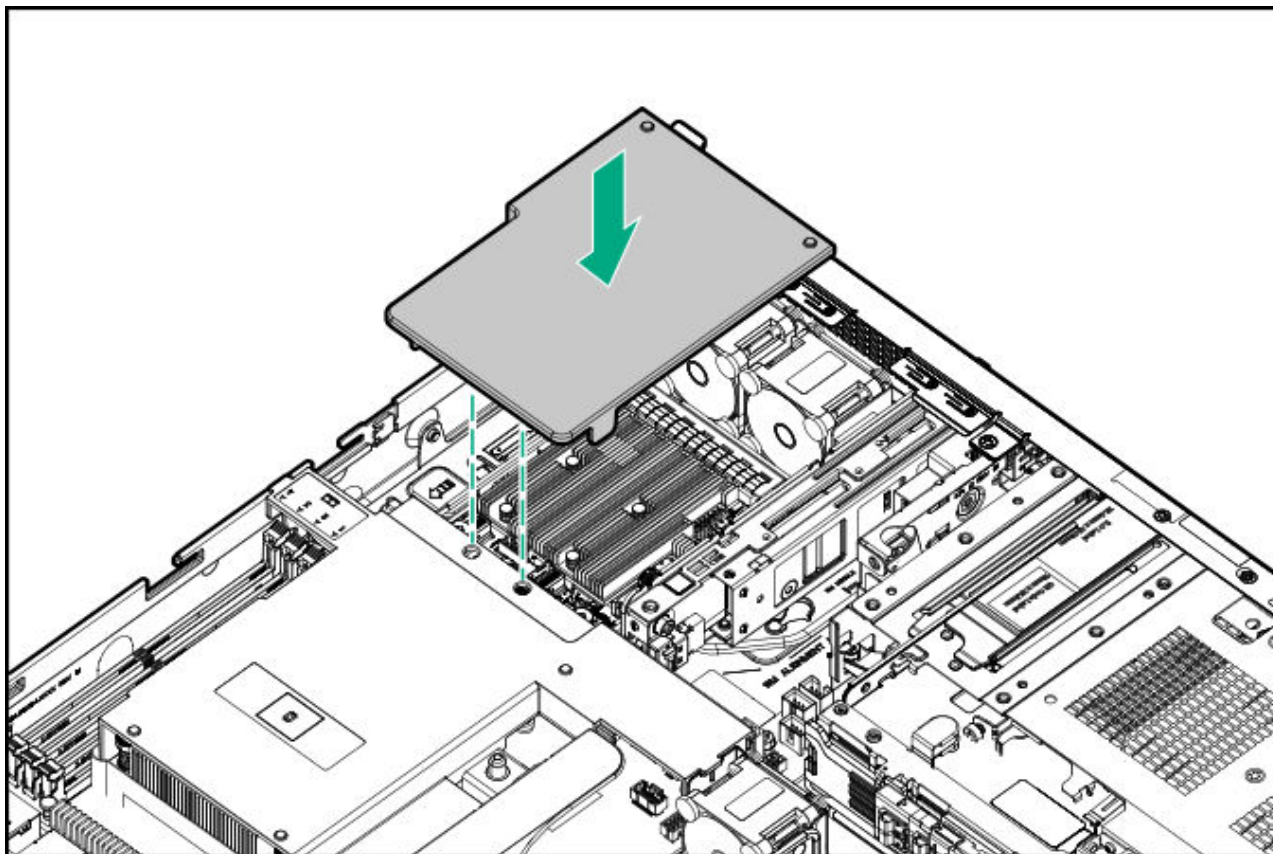


。 次のいずれかを接続します。

- ・ 4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成 : オプティカルドライブのケーブル
 - ・ 4+2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブ構成 : ドライブボックス 1 のオンボード SATA ケーブル
- プロセッサエアバッフルを取り付けます。



OCP エアバッフルを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブケージオプションの取り付け

前提条件

- ・ 4+2 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成では、Flex スロット電源装置が必要です。

- ・ PTB が取り付けられていることを確認します。
- ・ この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

ストレージ容量を追加するには、2 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブケージオプションを SFF (2.5 型) シャーシのメディアベイに取り付けてください。このドライブケージオプションは、SAS、SATA、または U.3 NVMe ドライブをサポートしています。

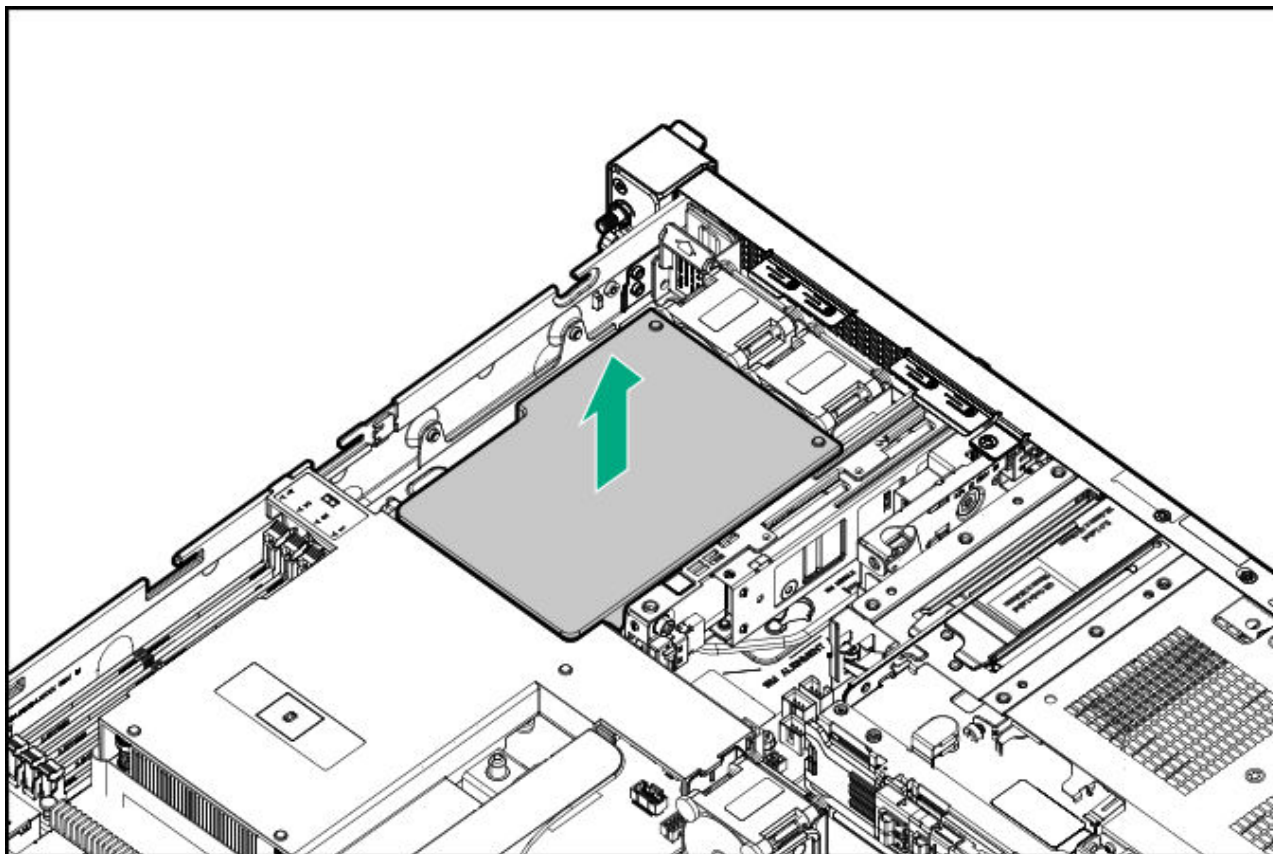


注意

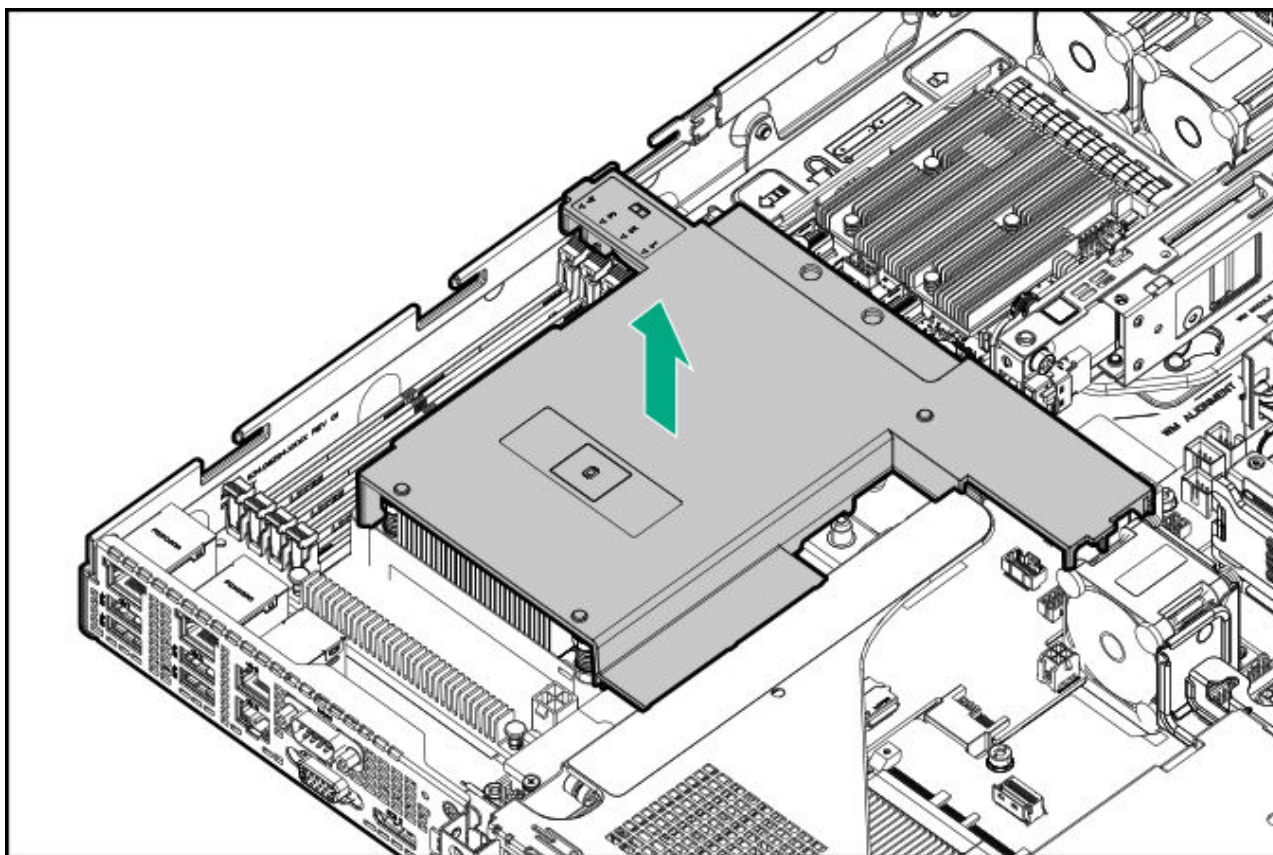
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- ・ 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ OCP エアバッフルを取り外します。

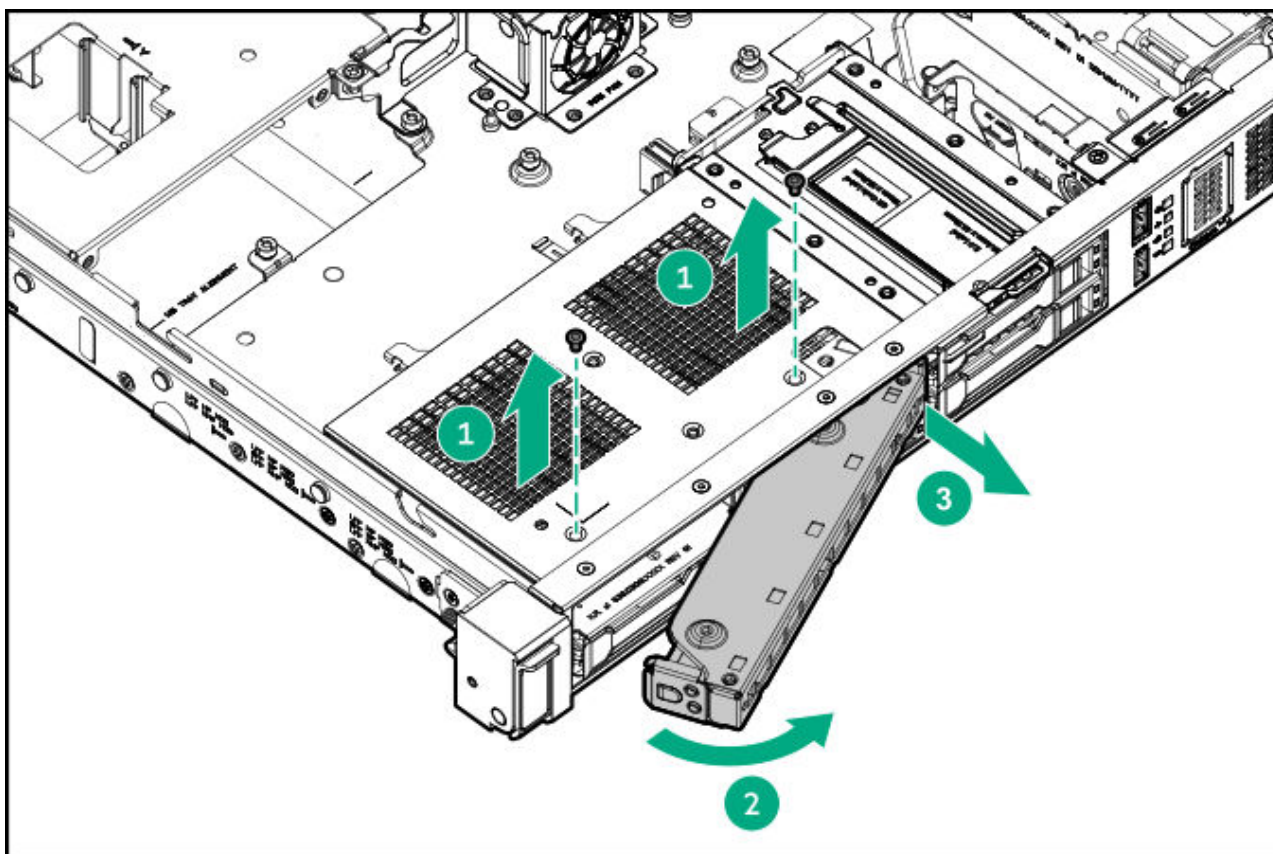


プロセッサエアバッフルを取り外します。

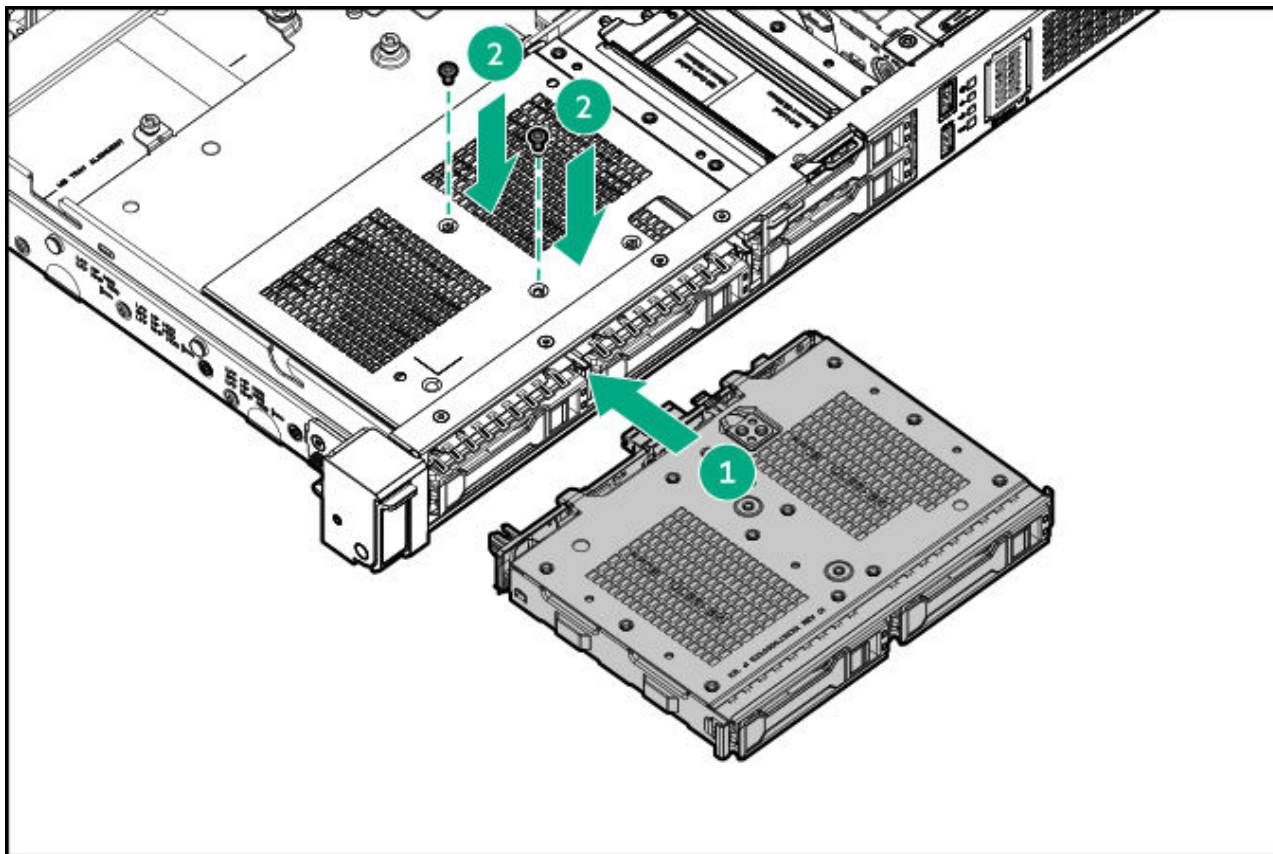


- l. メディアベイブランクを取り外します。
 - a. メディアベイブランクのネジを取り外します。
 - b. メディアベイブランクを離します。
 - c. メディアベイブランクを取り外します。

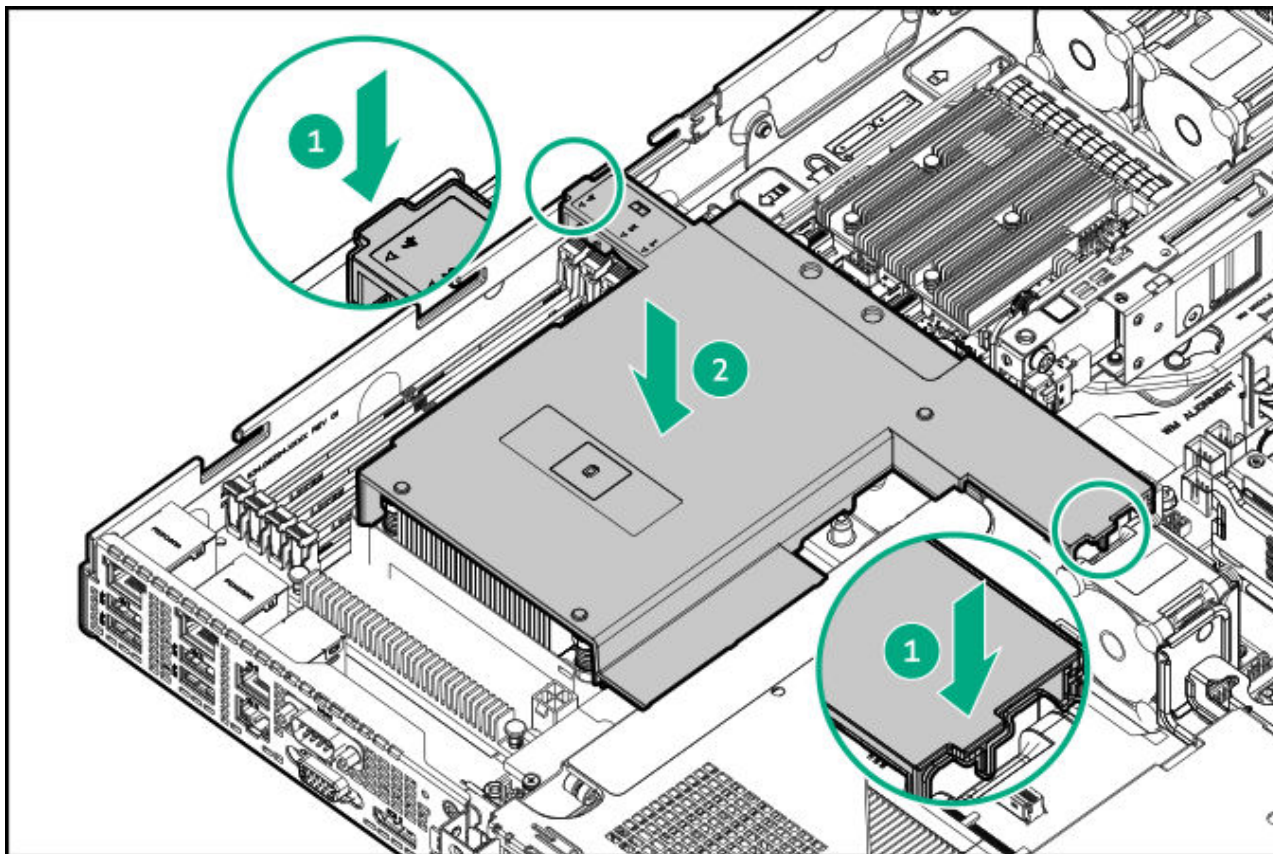
ブランクとネジは、将来使用できるように保管しておいてください。



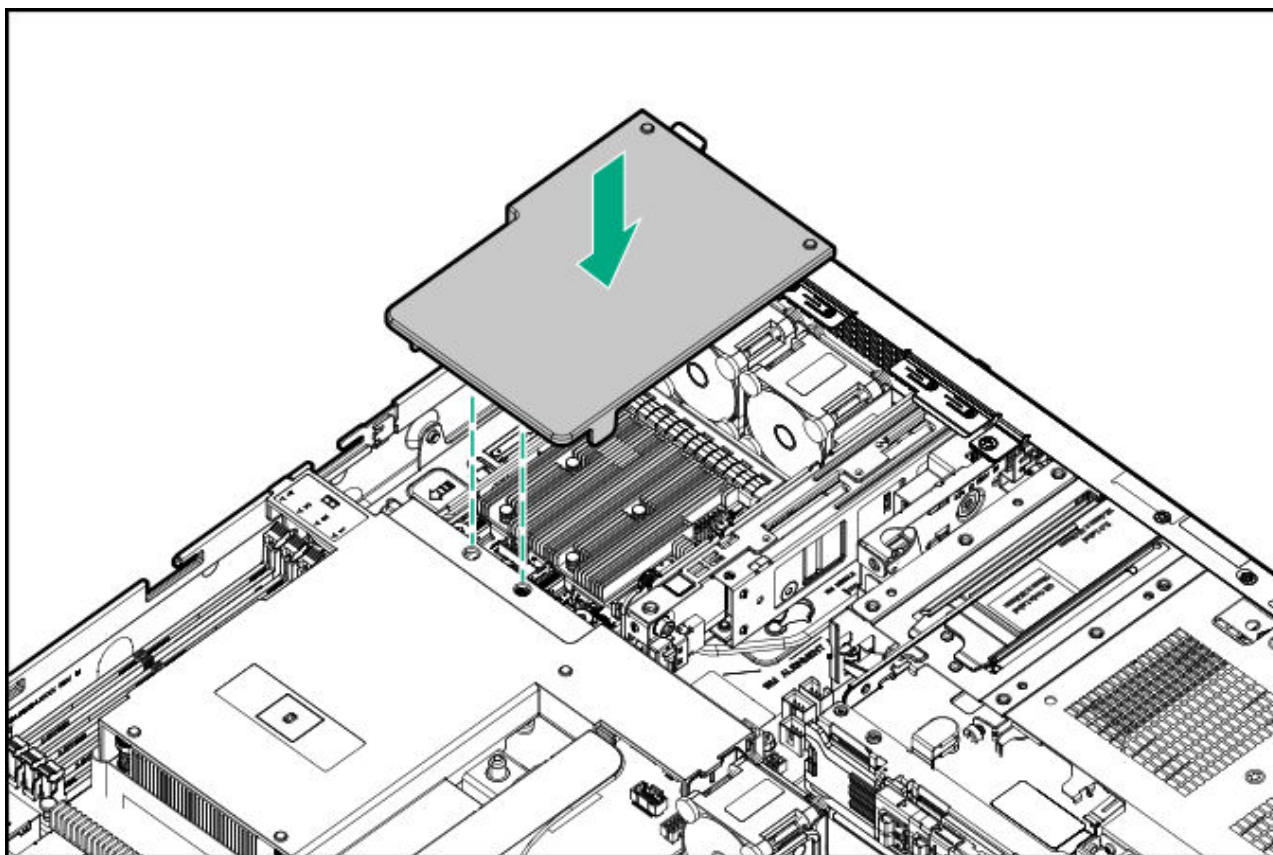
- l. 2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブパッケージを取り付けます。
 - a. ドライブパッケージをメディアベイにスライドさせます (付記 1)。
 - b. メディアベイのネジでドライブパッケージを固定します (付記 2)。



1. ドライブのケーブルを接続します。
2. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



○ OCP エアバッフルを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ ドライブを取り付けます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

オプティカルドライブオプション

サーバーは、スリムタイプの SATA オプティカルドライブをサポートしています。

サブトピック

LFF (3.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け

SFF (2.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け

LFF (3.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け

前提条件

- ・ LFF (3.5 型) ドライブシャーシの場合、オプティカルドライブの取り付けにはオプティカルドライブスプリッターケーブルオプション (P71917-B21) が必要です。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて

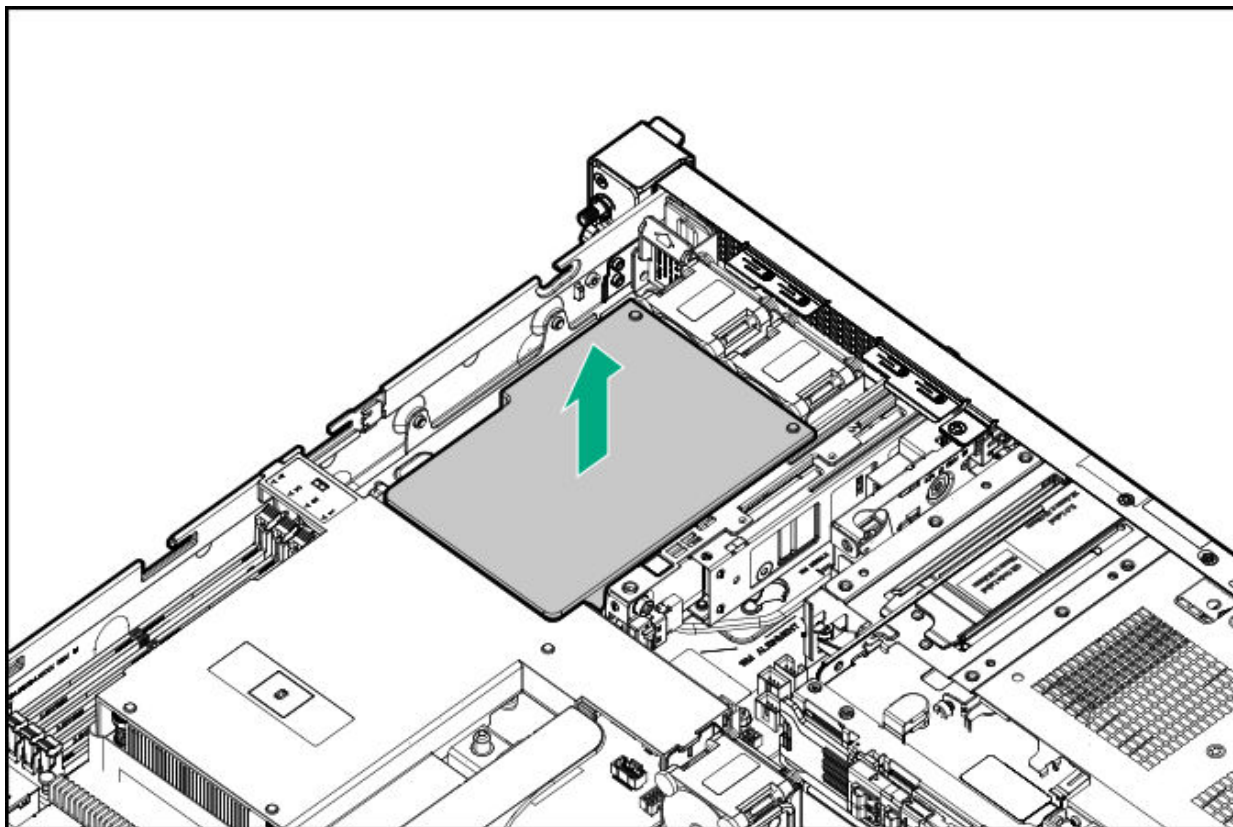


注意

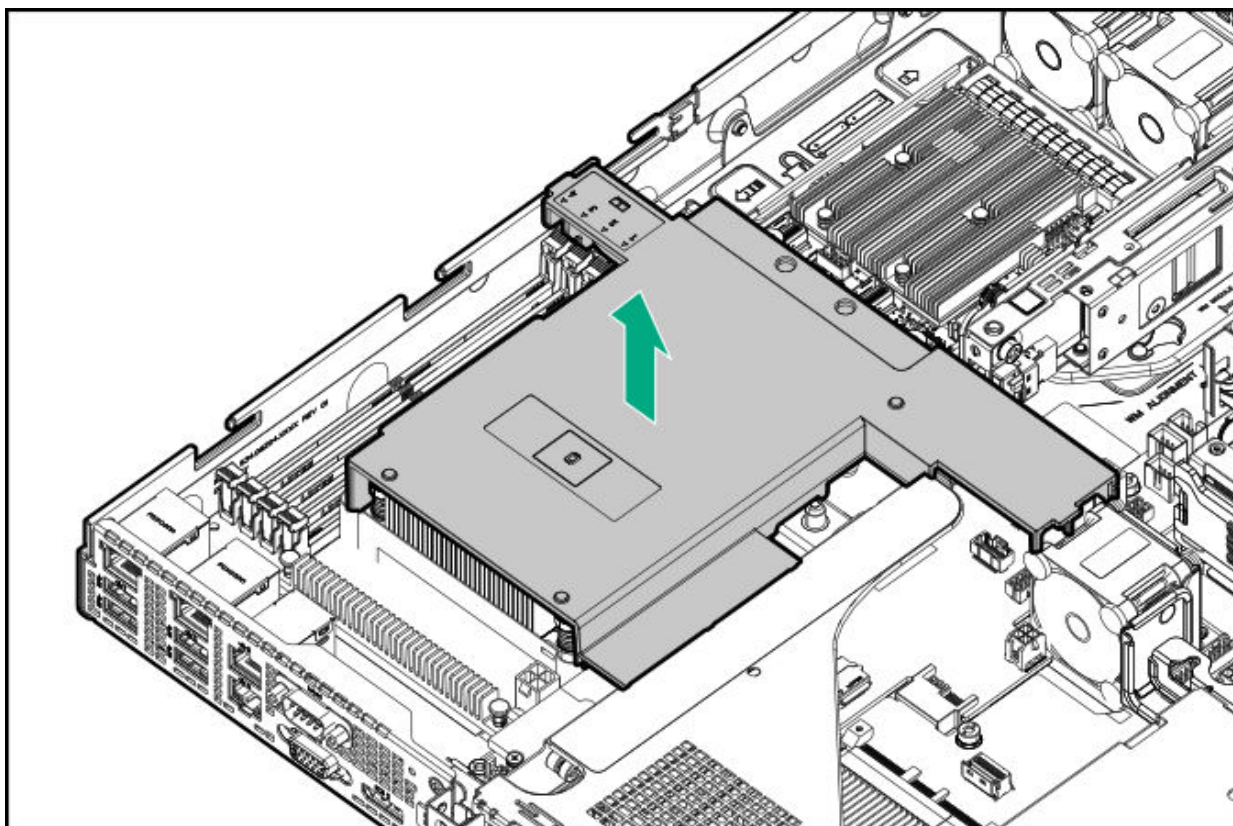
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

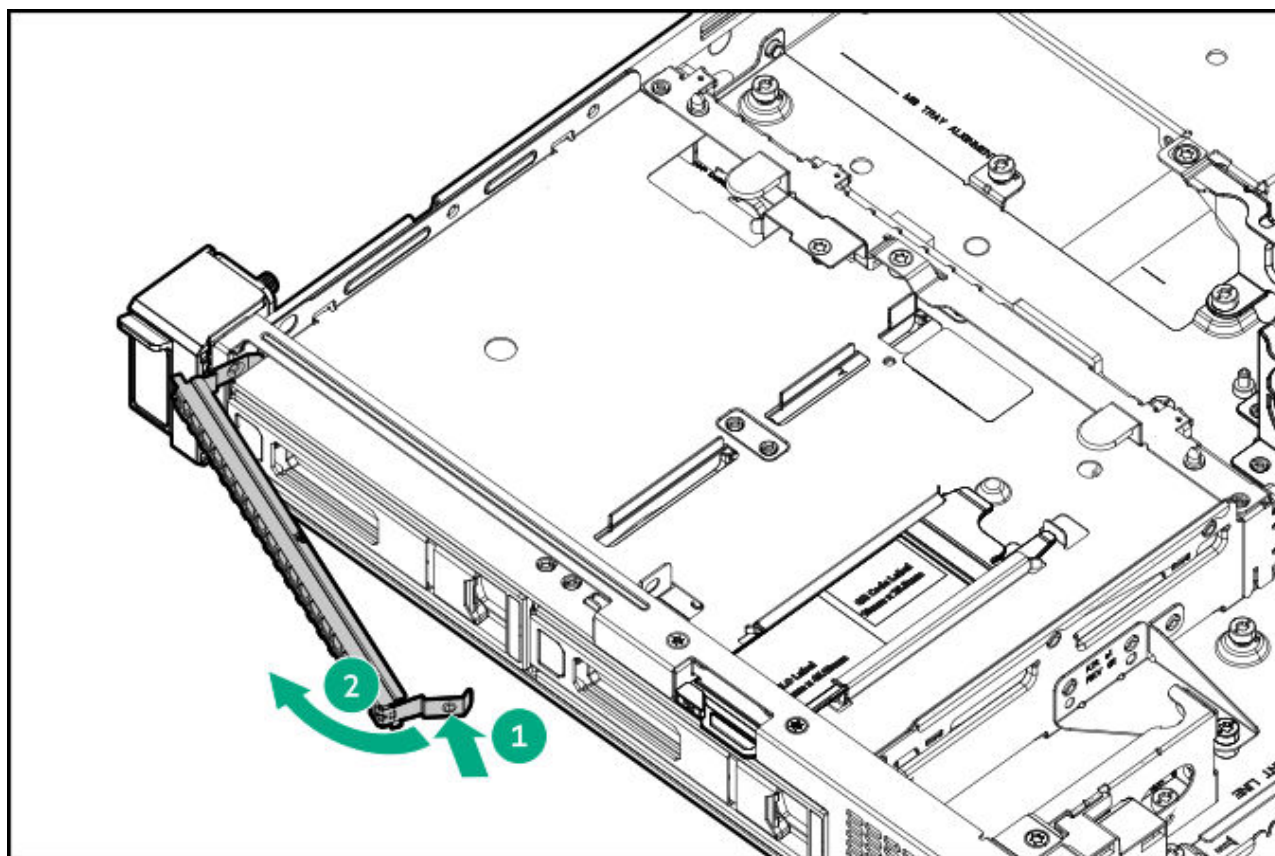
1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. タイプ o または タイプ p コントローラーが取り付けられている場合：
 - a. OCP エアバッフルを取り外します。



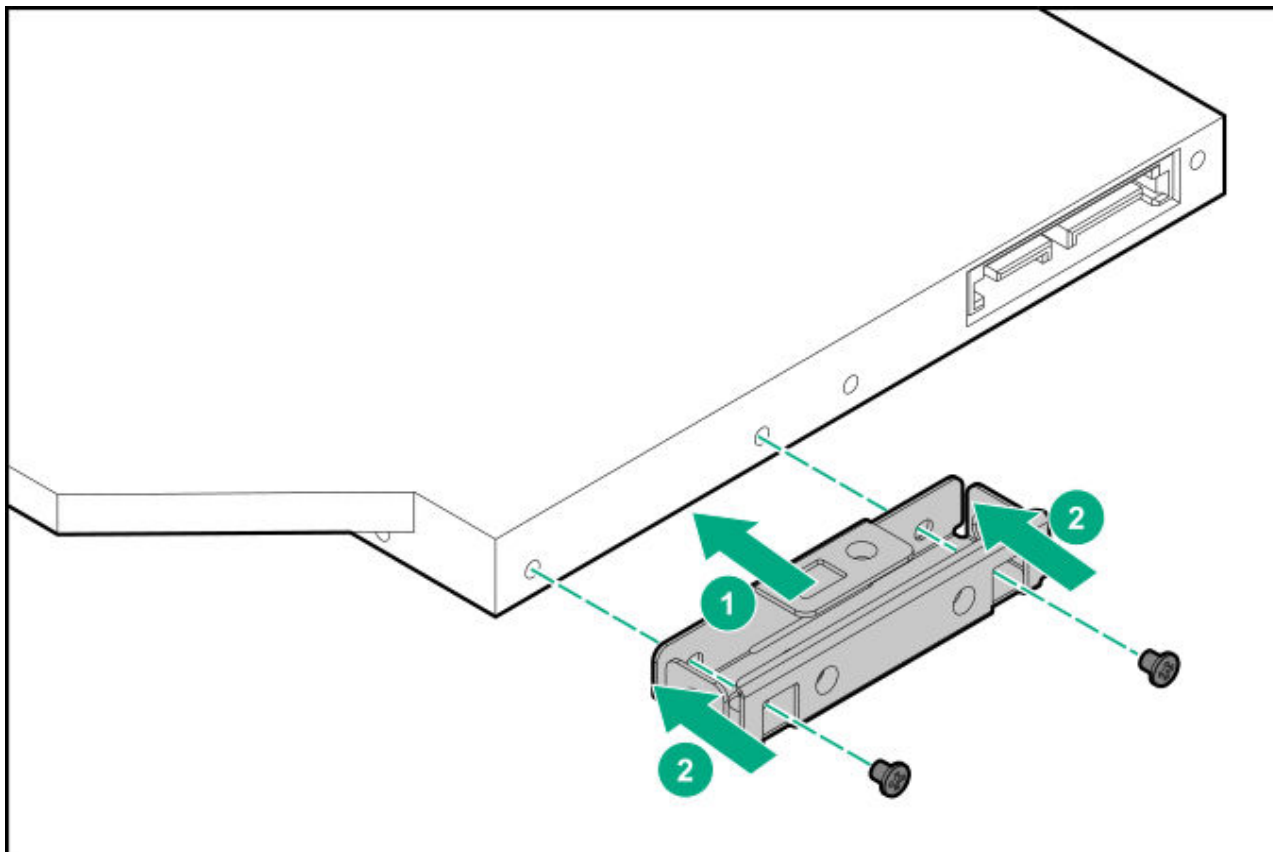
b. プロセッサエアバッフルを取り外します。



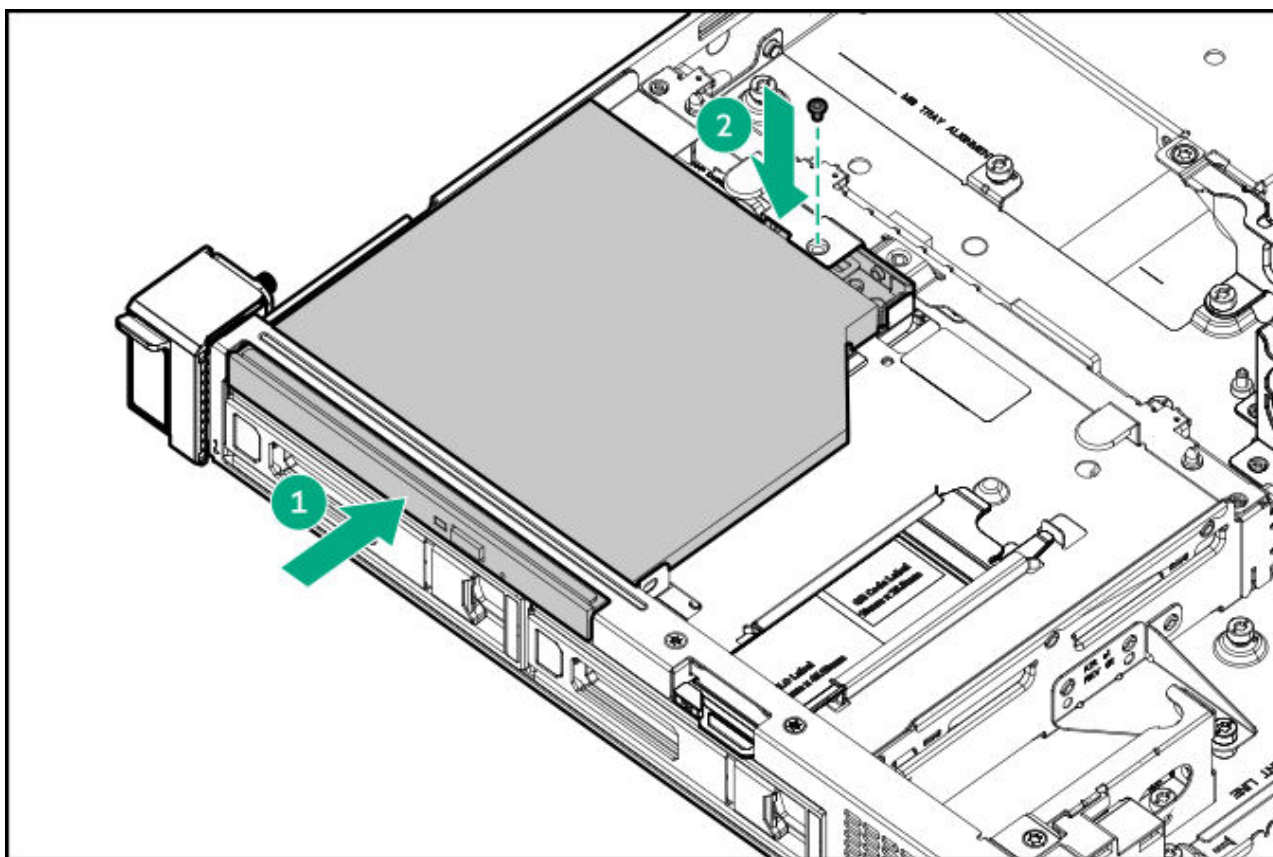
1. オプティカルドライブブラックを取り外します。



2. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



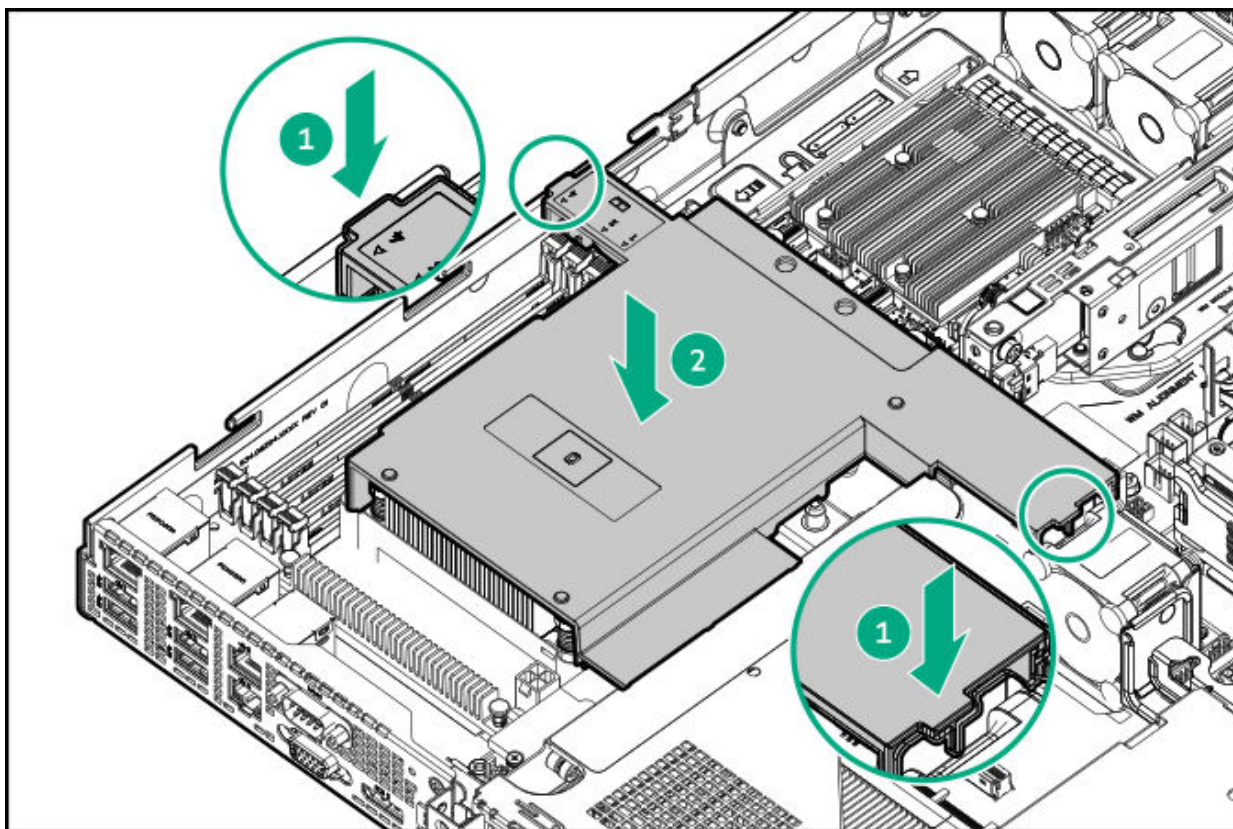
． オプティカルドライブを取り付けます。



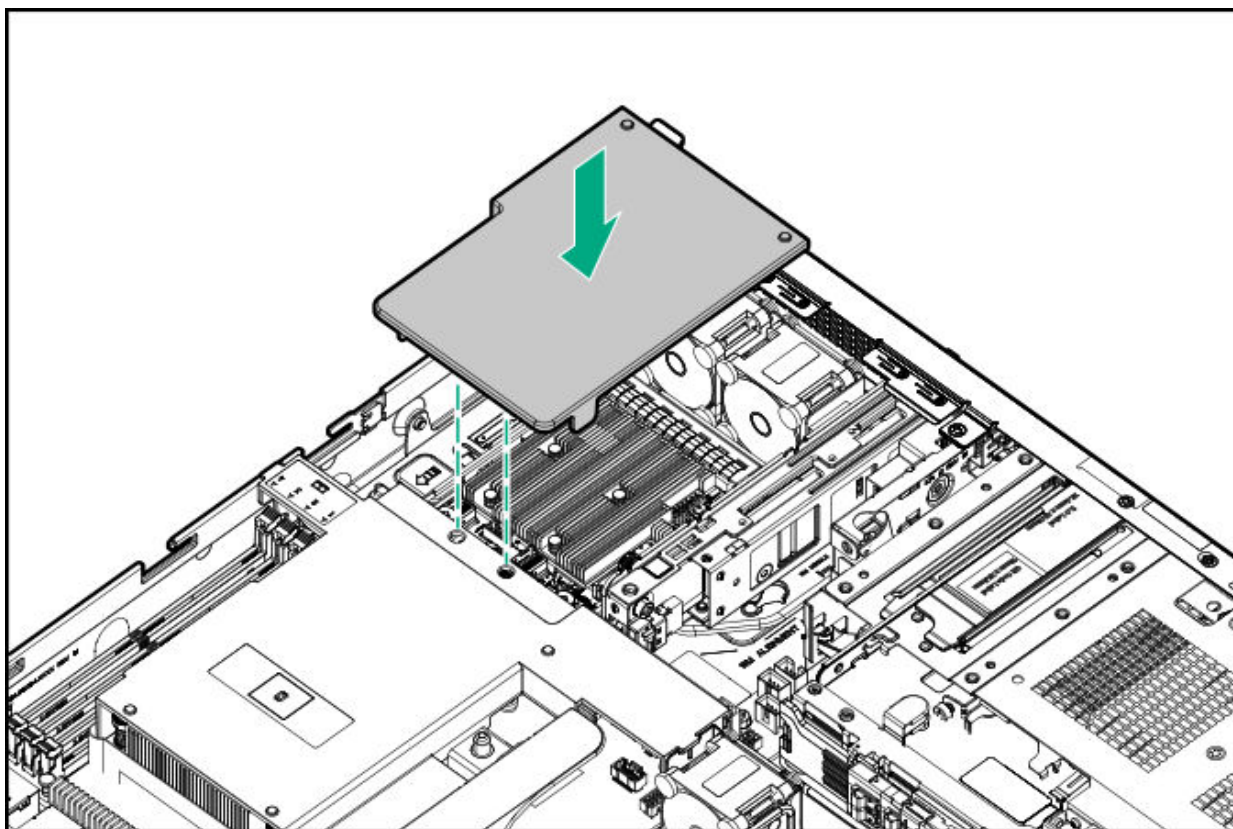
1. オプティカルドライブのケーブルを接続します。

2. 取り外されている場合、次のようにします。

a. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



b. OCP エアバッフルを取り付けます。



- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
- 4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 6. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 7. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

SFF (2.5 型) ドライブシャーシへのオプティカルドライブの取り付け

前提条件

- ・ SFF (2.5 型) ドライブシャーシの場合、ストレージコントローラーに応じてオプティカルドライブ対応オプションが必要です。
 - Intel VROC 直接接続ドライブ : P65417-B21
 - タイプ p またはタイプ o ストレージコントローラー : P65418-B21
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)

このタスクについて

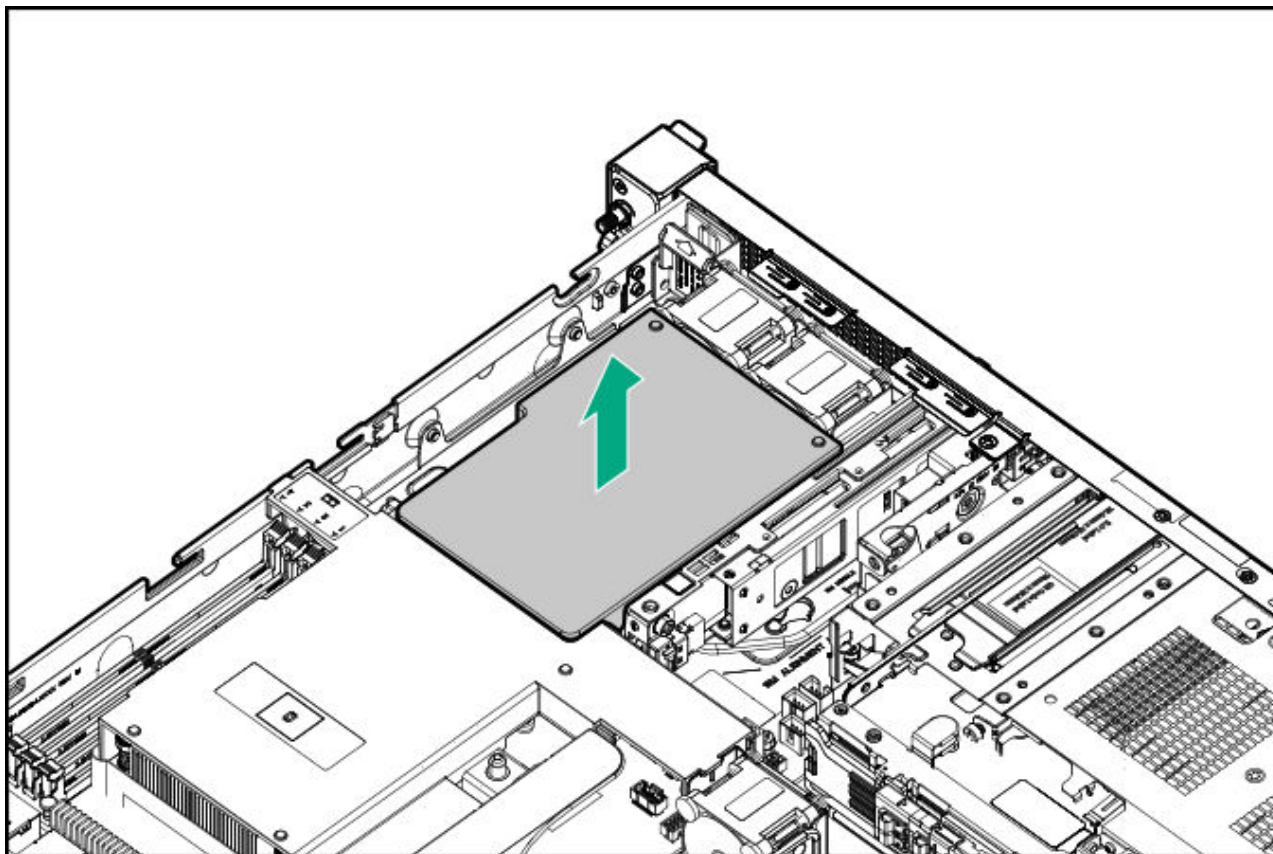


注意

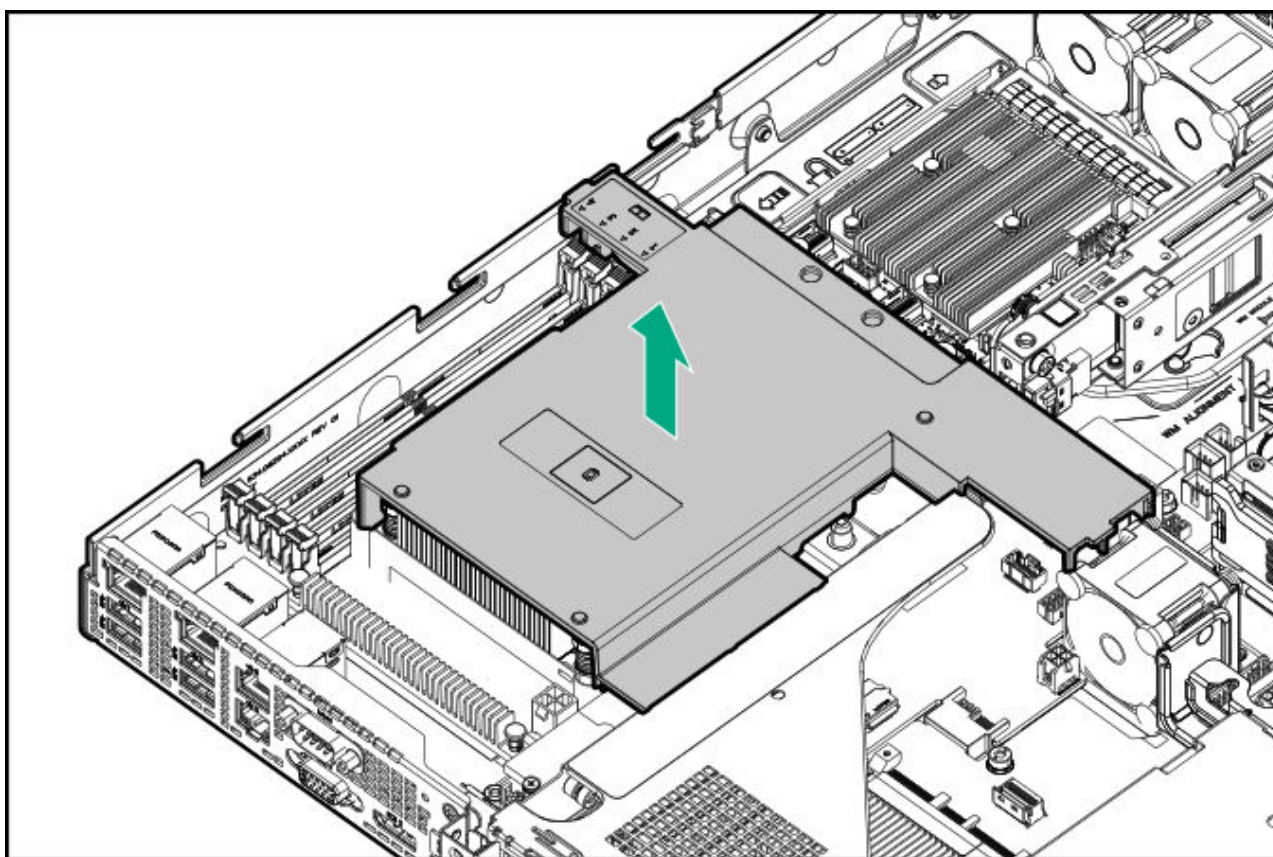
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
5. サーバーをラックから取り外します。
6. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
7. アクセスパネルを取り外します。
8. OCP エアバッフルを取り外します。

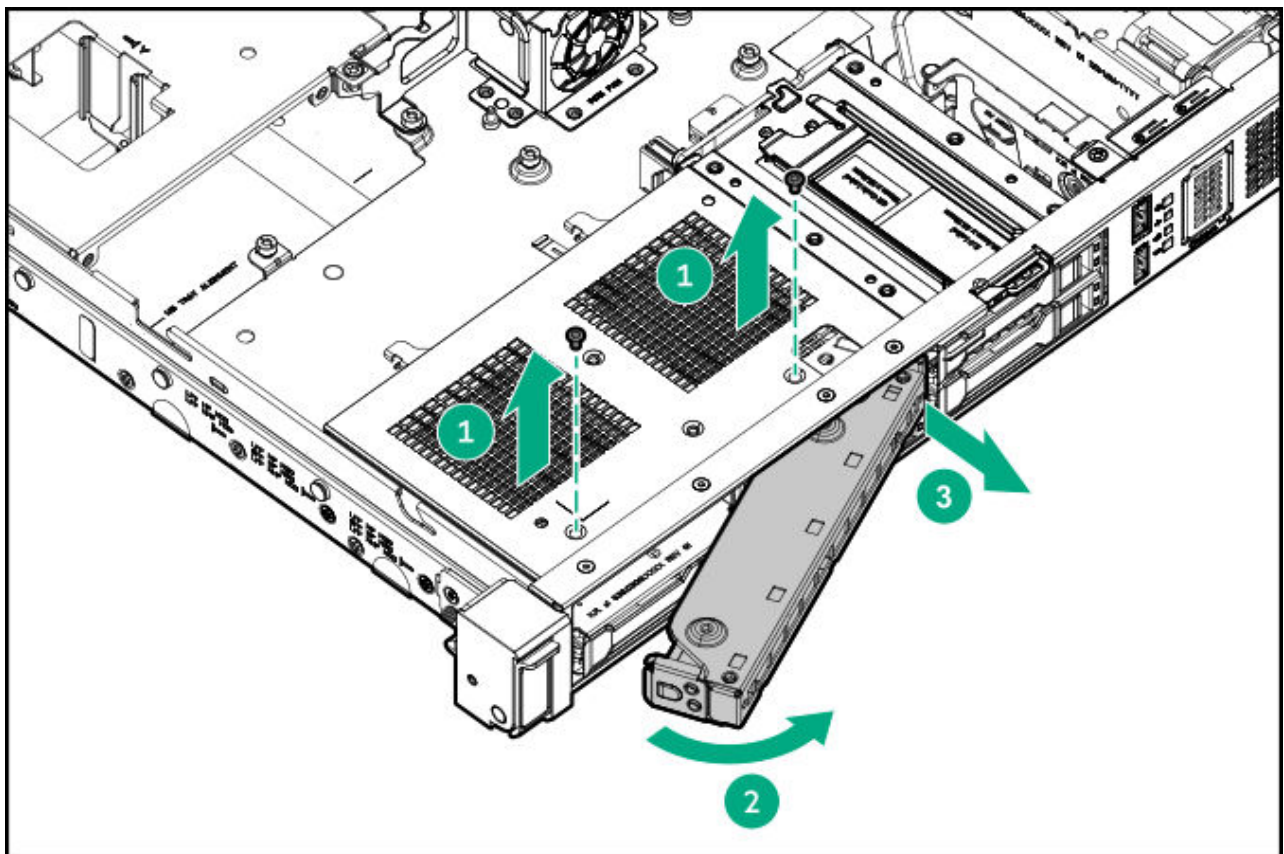


プロセッサエアバッフルを取り外します。

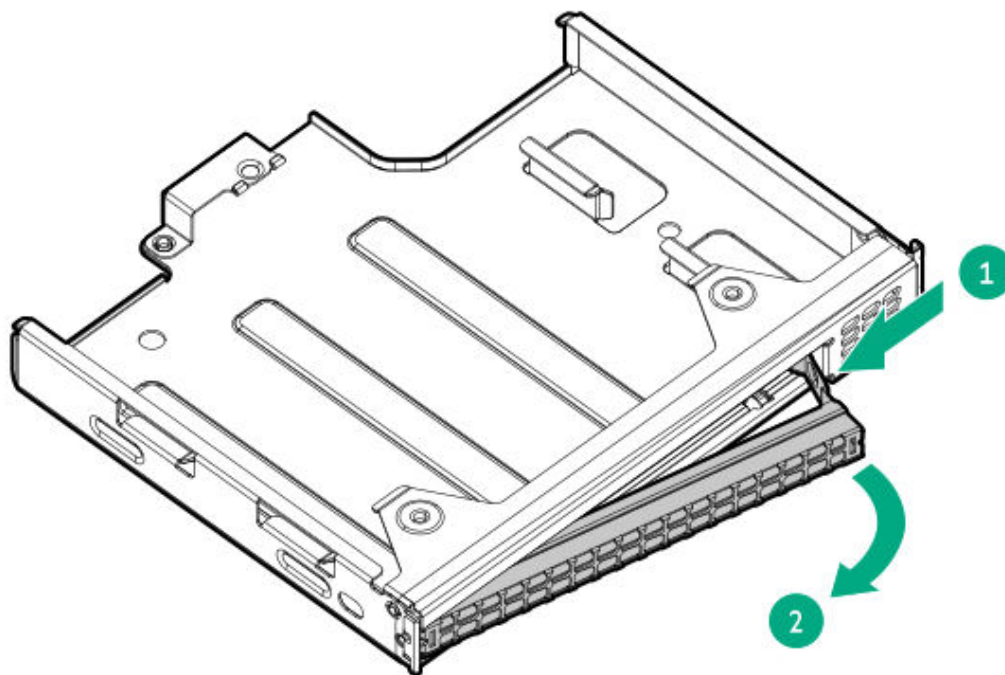


- l. メディアベイブランクを取り外します。
 - a. メディアベイブランクのネジを取り外します。
 - b. メディアベイブランクを離します。
 - c. メディアベイブランクを取り外します。

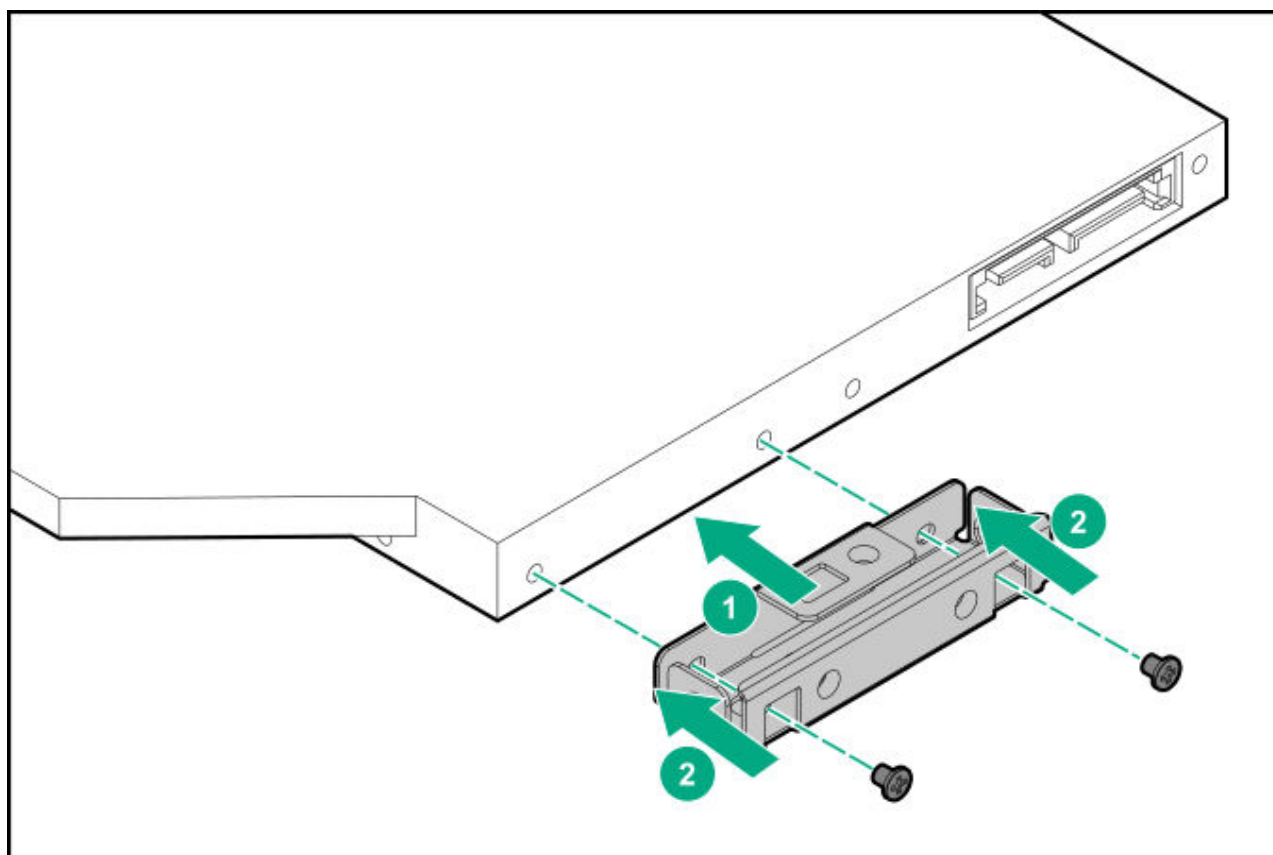
ブランクとネジは、将来使用できるように保管しておいてください。



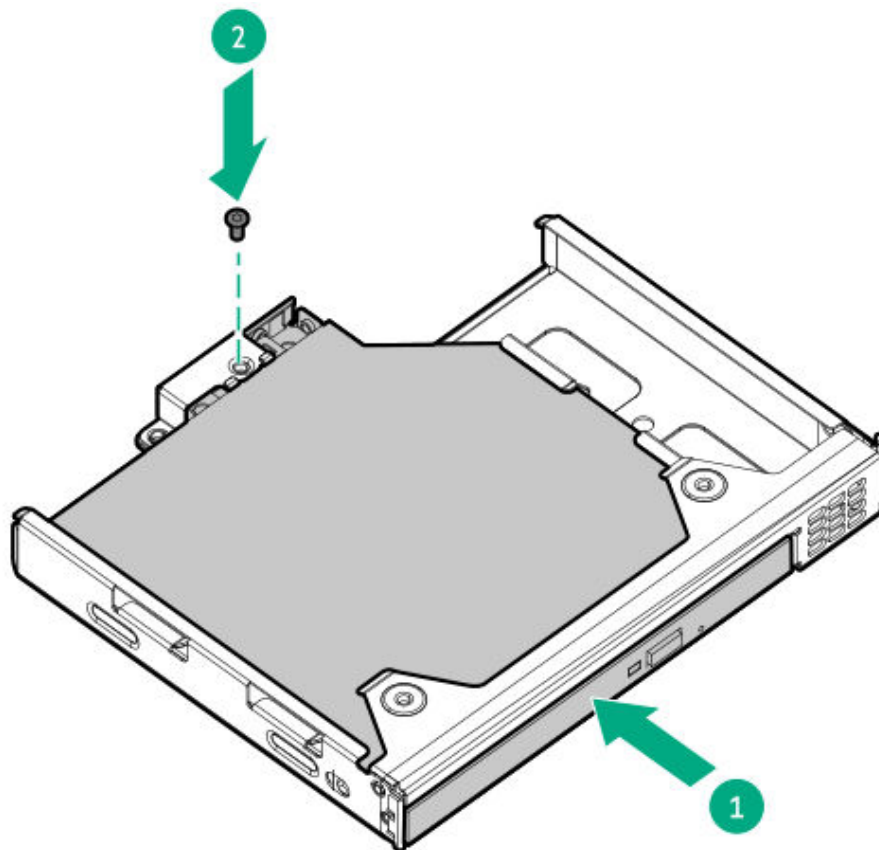
- l. オプティカルドライブブランクを取り外します。



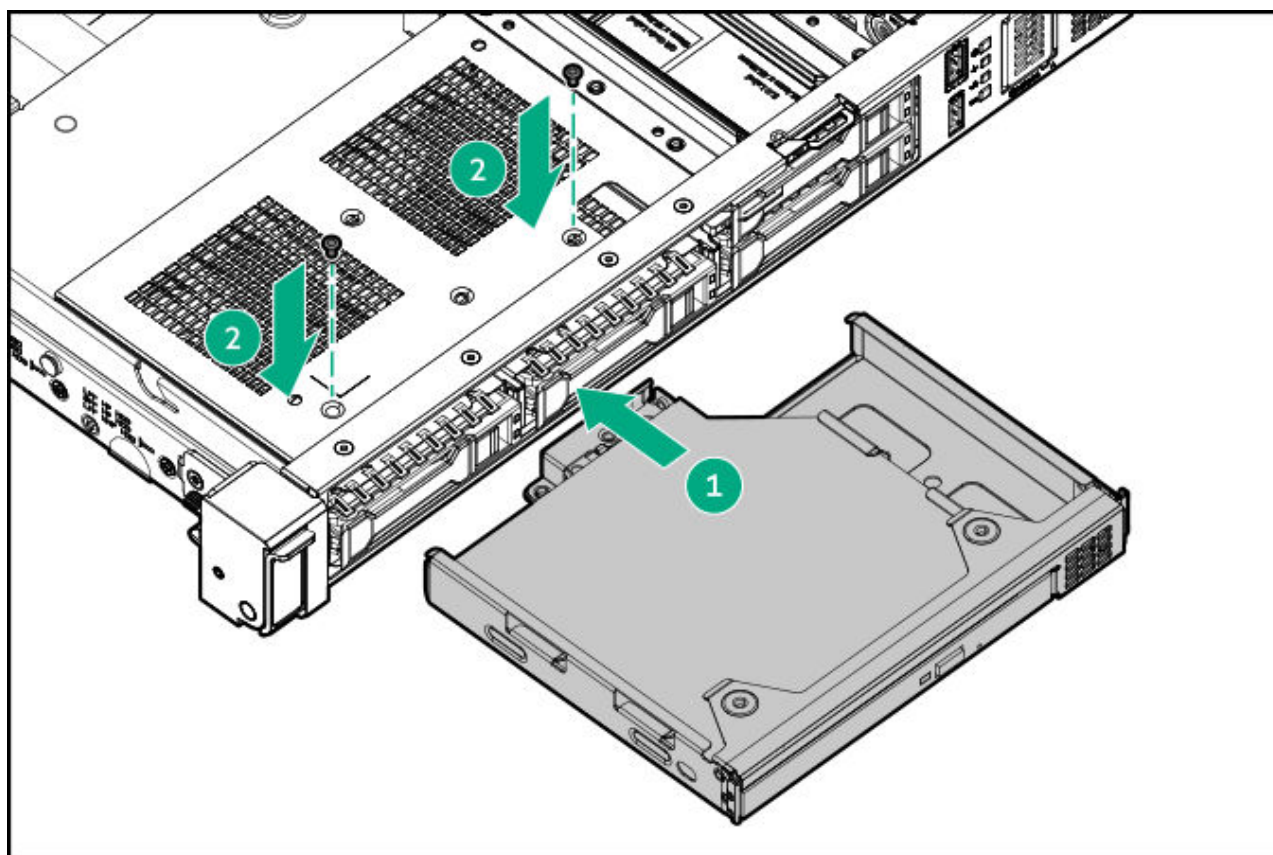
光学ドライブブラケットを取り付けます。



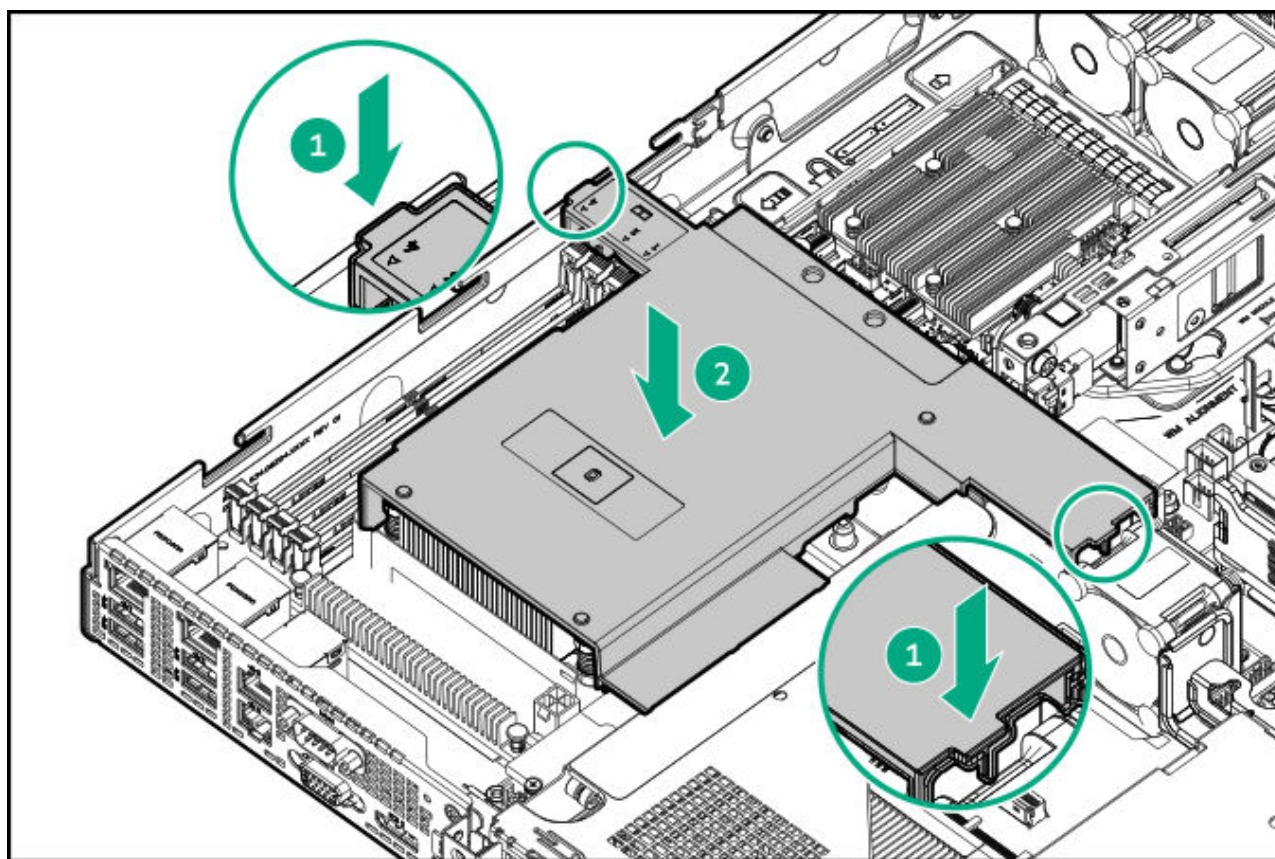
光学ドライブを光学ドライブケースに取り付けます。



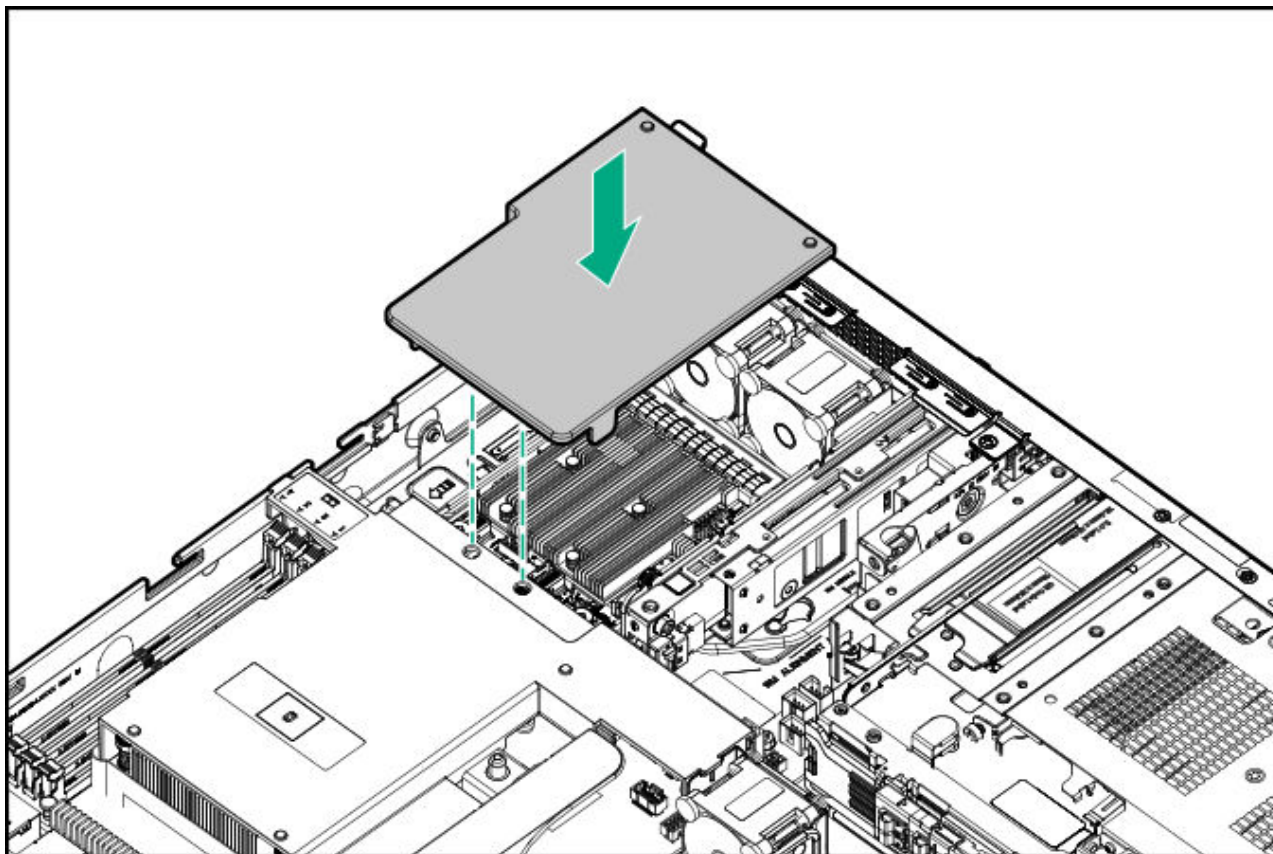
光学ドライブケースをメディアベイに取り付けます。



- 1. オプティカルドライブのケーブルを接続します。
- 2. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



- 3. OCP エアバッフルを取り付けます。



- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
- 4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 6. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 7. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

メモリオプション

サーバーには、ECC 付き DDR5 UDIMM。非 ECC UDIMM はサポートされていませんをサポートする 4 つの DIMM スロットがあります。

サブトピック

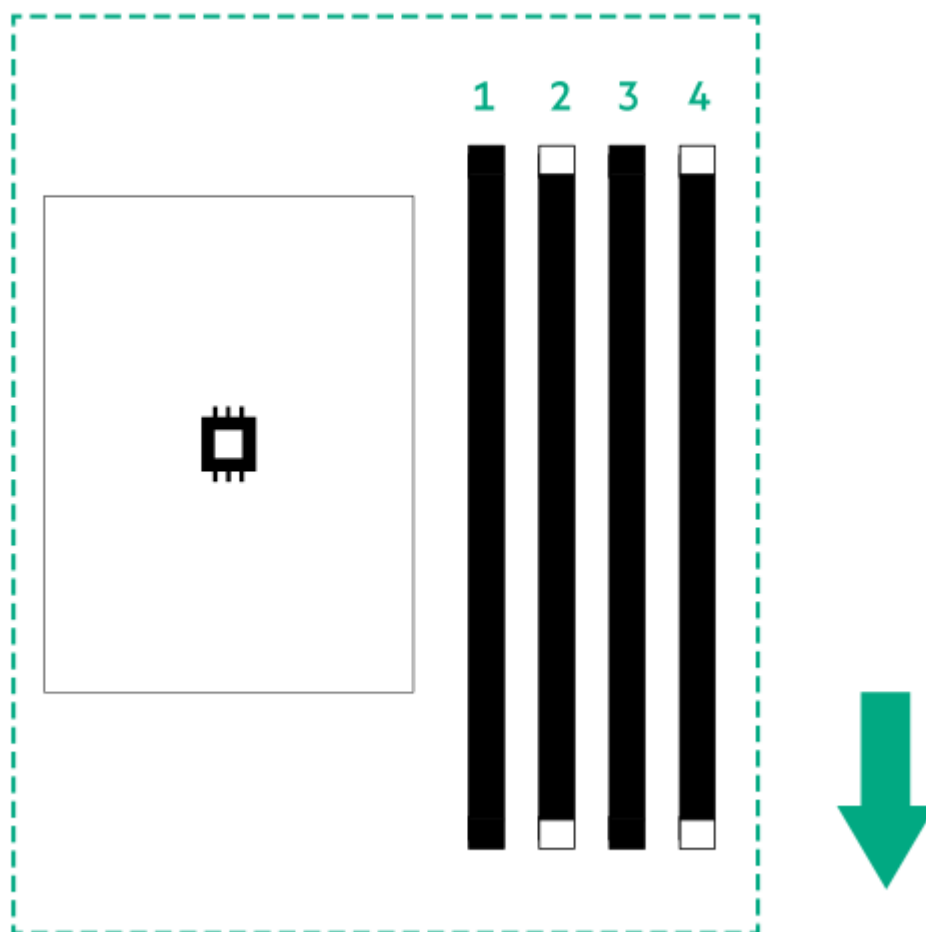
DIMM の取り付け情報

DIMM の取り付けに関するガイドライン

DIMM の取り付け

DIMM の取り付け情報

矢印は、サーバーの正面側を指しています。



取り付ける DIMM の数	スロット 1	スロット 2	スロット 3	スロット 4
1		✓		
2		✓		✓
4	✓	✓	✓	✓

DIMM の取り付けとメモリ速度に関する詳細情報については、次の関連するメモリのテクニカルペーパーを参照してください：

<https://www.hpe.com/docs/server-memory>

DIMM の取り付けに関するガイドライン

DIMM を取り扱うときは、次のことに従ってください。

- ・ 静電気防止の注意事項に従ってください。
- ・ DIMM は両端だけを持つようにしてください。
- ・ DIMM の両側のコンポーネントに触れないでください。
- ・ DIMM の下部にあるコネクタに触れないでください。
- ・ DIMM を握るようにして持たないでください。
- ・ DIMM を決して曲げたり、収縮させないでください。

DIMM を取り付けるときは、次のことに従ってください。

- ・ DIMM の位置を合わせて固定する際は、2 本の指で DIMM の両端を持つようにしてください。
- ・ DIMM を取り付けするには、DIMM の上部にそって 2 本の指で軽く押しつけます。

詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/DIMM-20070214-CN>) を参照してください。

DIMM の取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、以下を参照してください。

- ・ DIMM の取り付け情報
- ・ DIMM の取り付けに関するガイドライン

このタスクについて

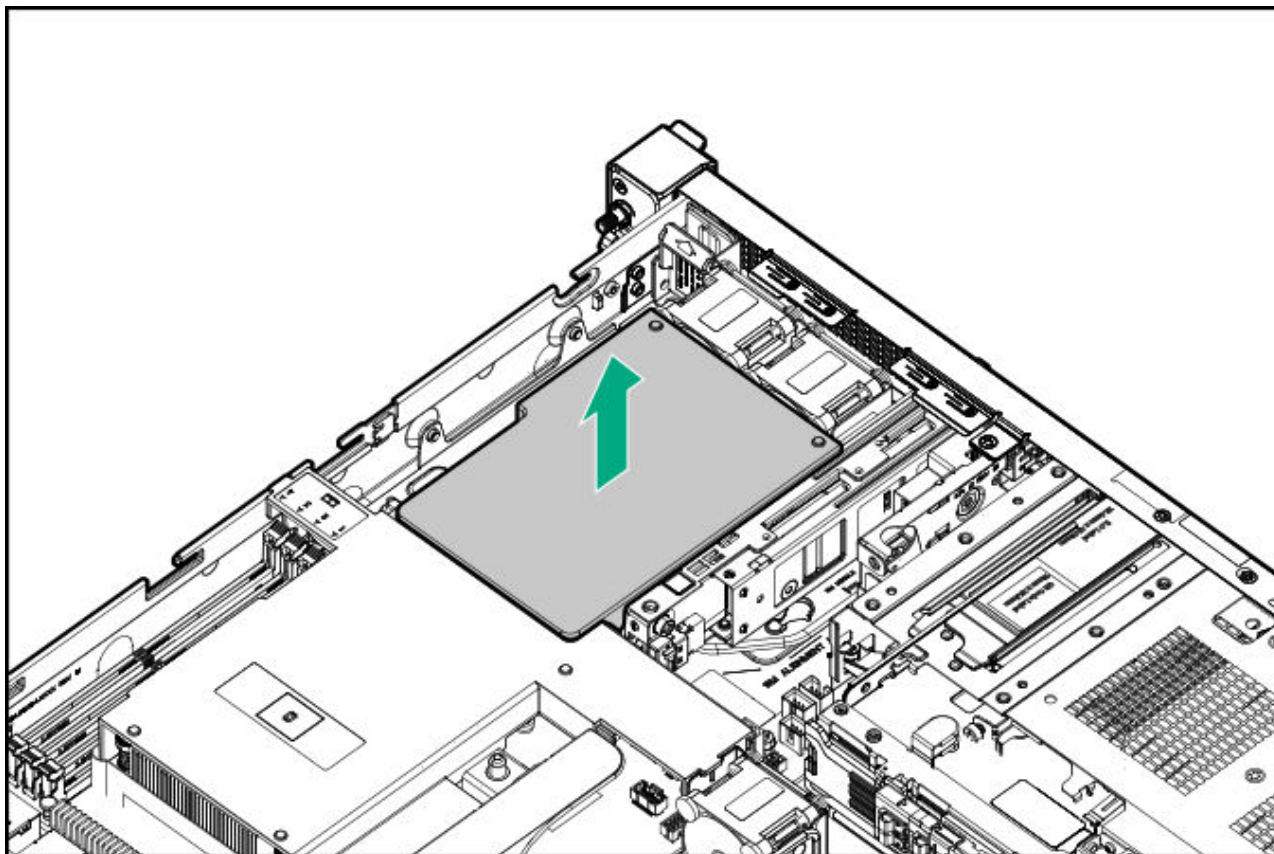


注意

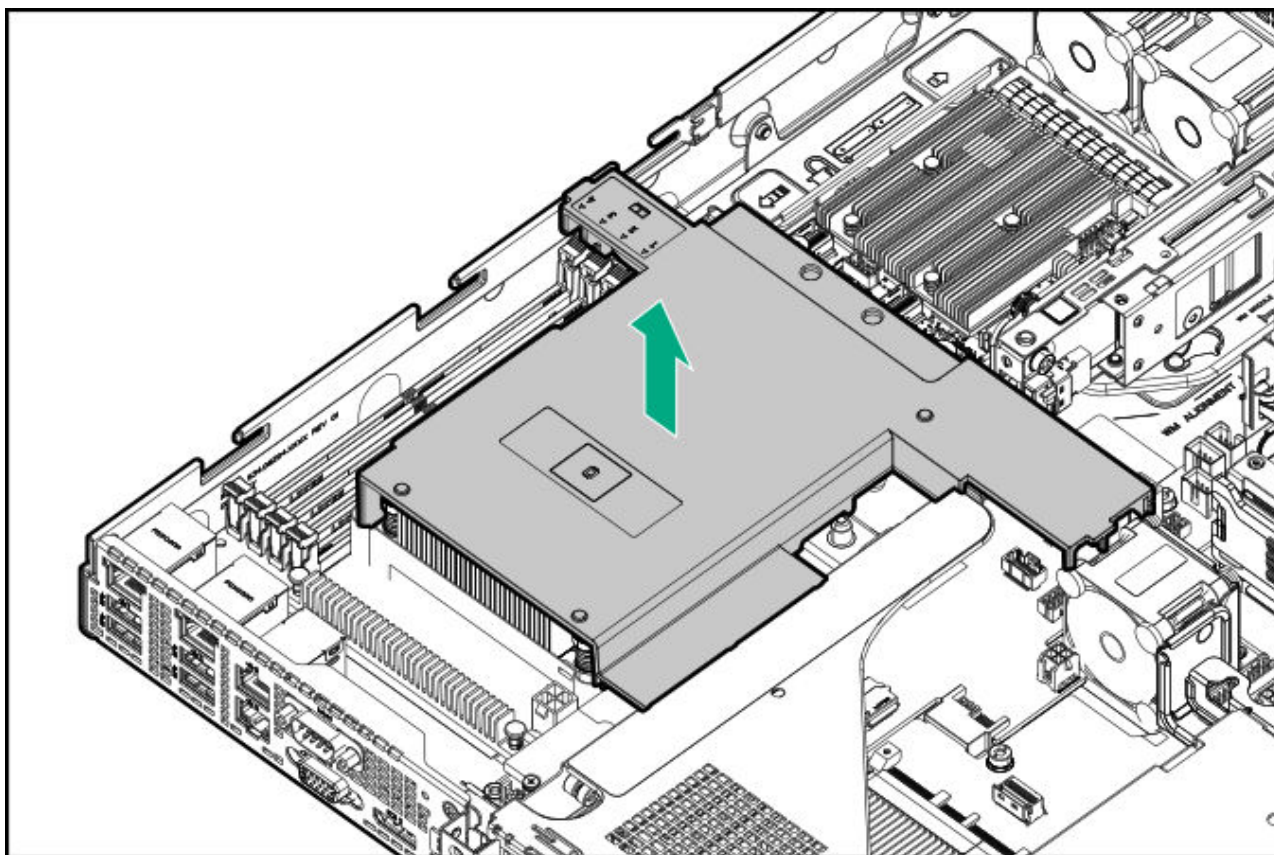
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ OCP エアバッフルを取り外します。



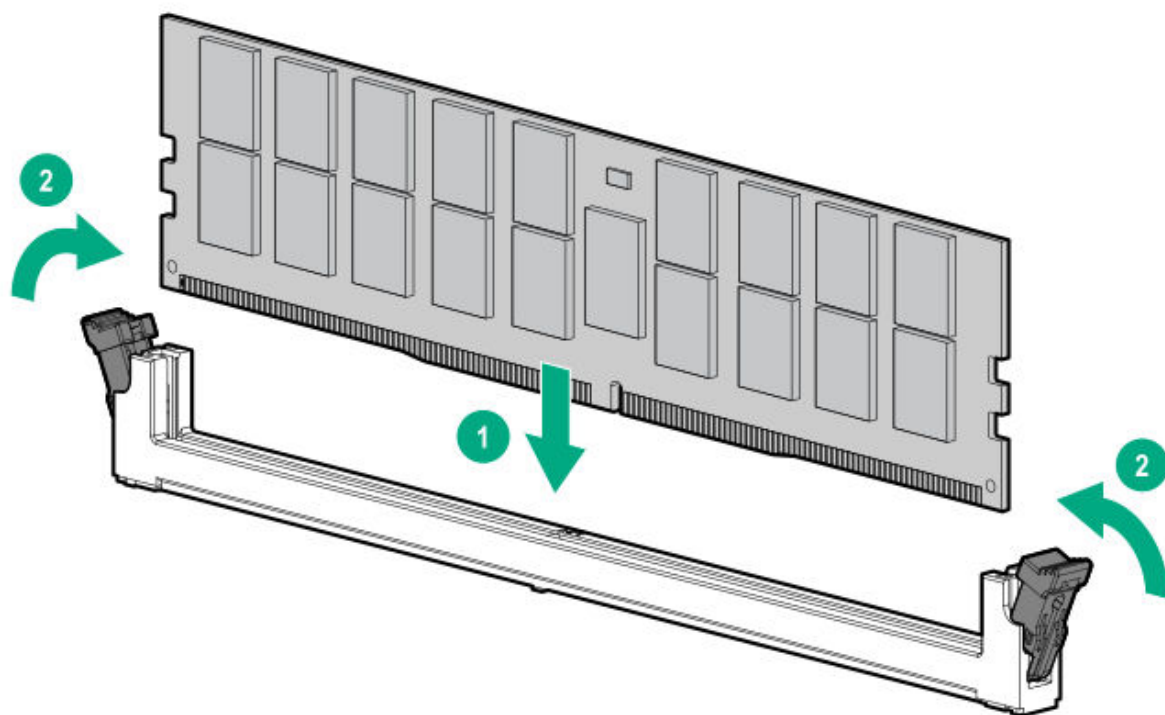
プロセッサエアバッフルを取り外します。



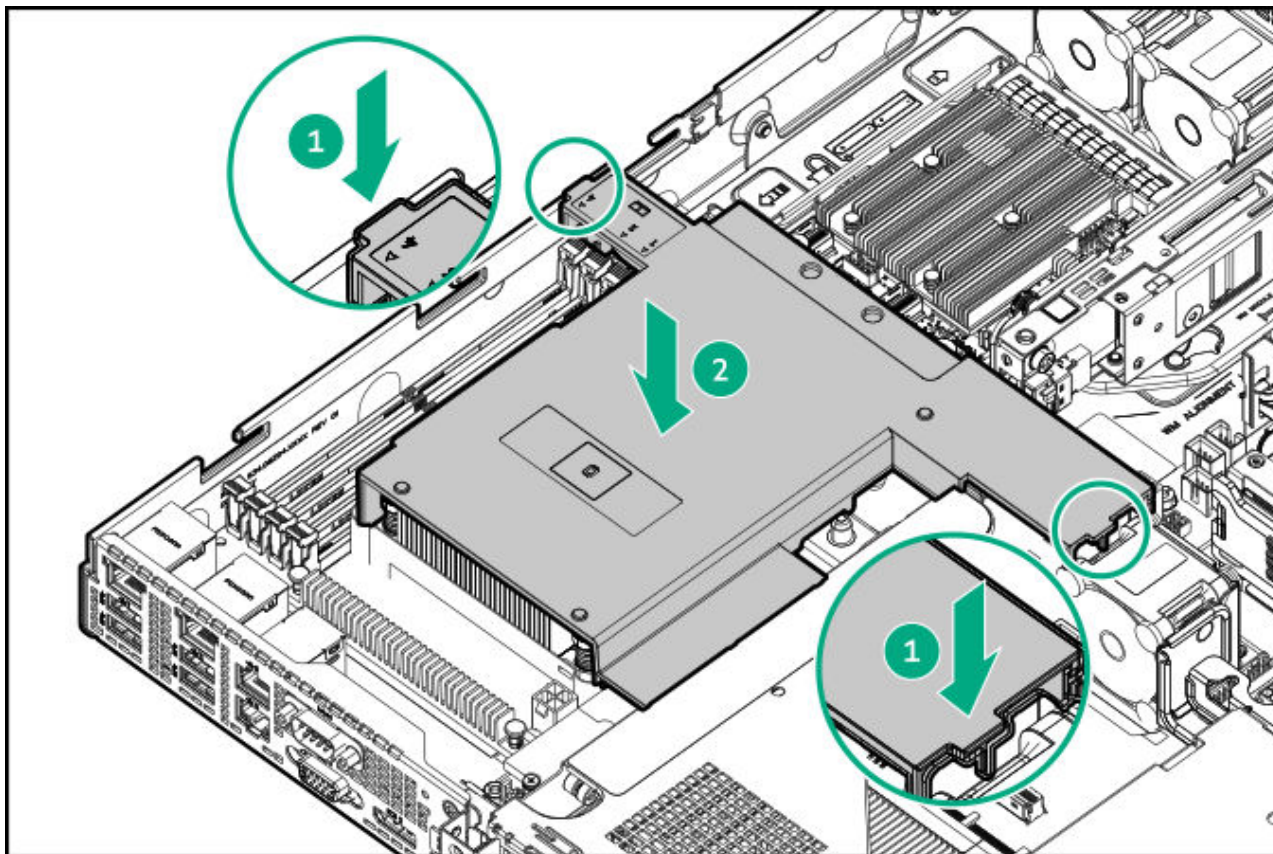
1. DIMM を取り付けます。

- a. DIMM スロットのラッチを開きます。
- b. DIMM 下端のノッチを DIMM スロットのキーの付いた部分に合わせ、DIMM をスロットに完全に押し込みます。ラッチが所定の位置に戻るまで押し込んでください。

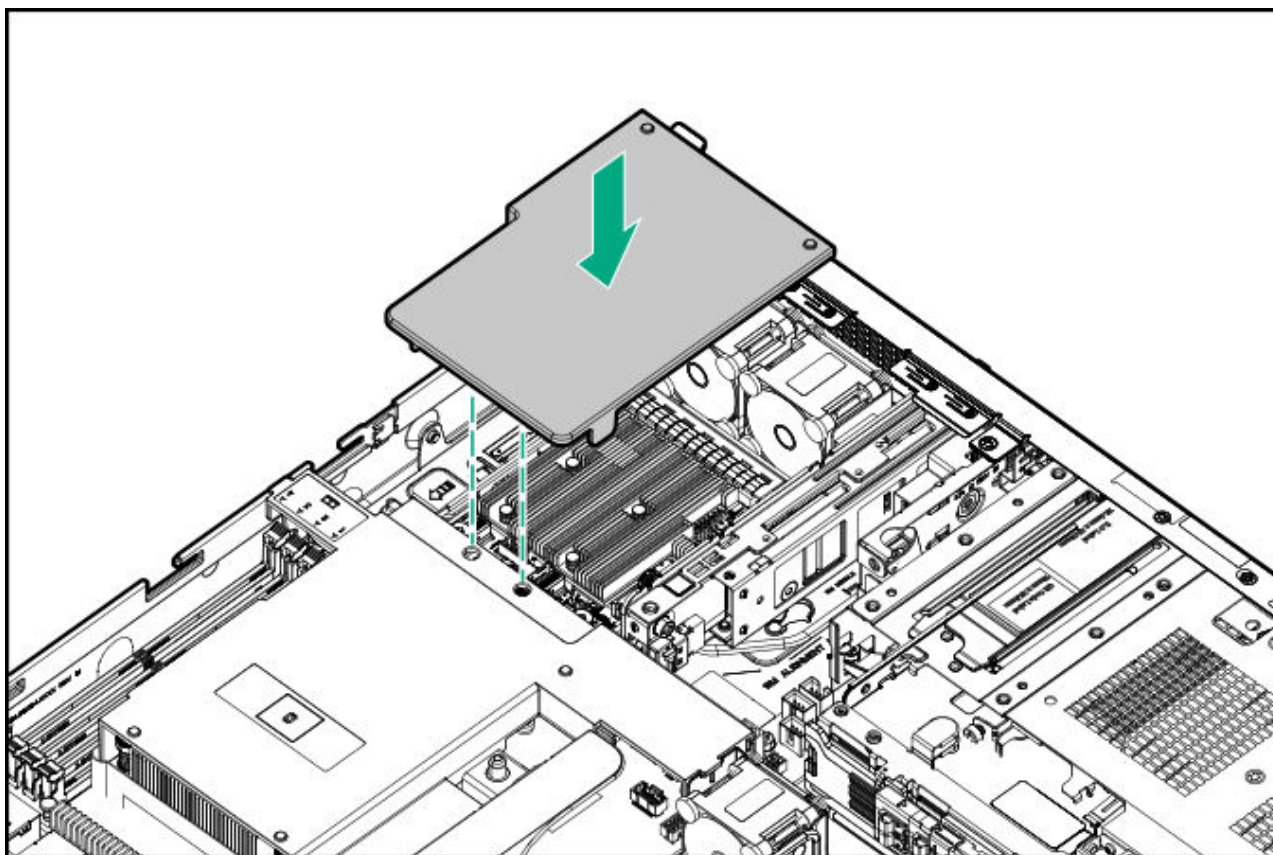
DIMM スロットはモジュールが正しく取り付けられるような構造になっています。DIMM をスロットに簡単に挿入できない場合は、方向などが間違っている可能性があります。DIMM の向きを逆にしてから、改めて差し込んでください。



1. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



OCP エアバッフルを取り付けます。



- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 4. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. サーバーの電源を入れます。
- 7. メモリ設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。
 - b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > メモリオプションを選択します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

PCIe ライザーオプション

このサーバーは、拡張カードオプションをサポートする PCIe5 x16 ライザーをサポートします。

ライザーロットについて詳しくは、ライザーボードのコンポーネントを参照してください。

サブトピック

ライザーの取り付け

ライザーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、T-15 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて

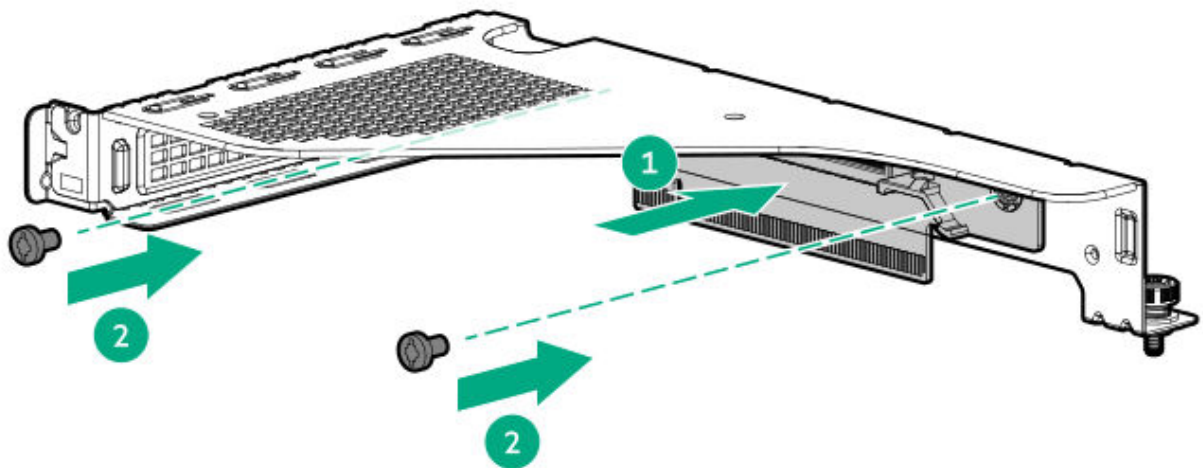


注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- 1. サーバーの電源を切ります。
- 2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- 4. サーバーをラックから取り外します。
- 5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 6. アクセスパネルを取り外します。
- 7. ライザーケージを取り外します。
- 8. ライザーをライザーケージに取り付けます。



- 9. 計画していた拡張オプションをライザーロットに取り付けます。
- 10. ライザーケージを取り付けます。
- 11. アクセスパネルを取り付けます。

- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ストレージコントローラーオプション

サーバーは、以下のストレージコントローラーをサポートします。

- ・ Intel VROC for HPE Gen11 (Intel VROC) – 直接接続された SATA SSD にエンタープライズレベルのハイブリッド RAID サポートを提供します。
- ・ HPE MR タイプ o およびタイプ p Gen11 コントローラー
- ・ HPE Smart アレイ E208e-p SR Gen10 コントローラー

ドライブアレイとストレージコントローラーの構成については、ストレージコントローラーの構成を参照してください。

サブトピック

ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備
タイプ o ストレージコントローラーの取り付け
タイプ p コントローラーの取り付け

ストレージコントローラー取り付けのためのサーバーの準備

前提条件

この手順を開始する前に、Service Pack for ProLiant (SPP) の Web サイト (Hewlett Packard Enterprise) から https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl をダウンロードします。

手順

- ・ サーバーが以前に構成されている場合、以下を行います。

- a. システムのデータのバックアップを取ります。
- b. すべてのアプリケーションを終了します。
- c. サーバーからユーザーがログオフしていることと、すべてのタスクが完了したことを確認してください。



注意

外付データストレージを使用しているシステムでは、必ず、サーバーの電源を最初に切り、電源を入れるときはサーバーの電源を最後に入れてください。こうすることで、サーバーが起動したときにシステムがドライブを故障とみなす誤動作を防止できます。

1. サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合は、ファームウェアをアップデートします。
2. 新しいコントローラーが新しいブートデバイスである場合は、コントローラードライバーをインストールします。

タイプ0ストレージコントローラーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ・ 互換性のあるコントローラーのケーブル
- ・ T-10 トルクスドライバー

このタスクについて

このサーバーでは、OCP スロット 14（内部 OCP）へのタイプ o ストレージコントローラーの取り付けがサポートされています。



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

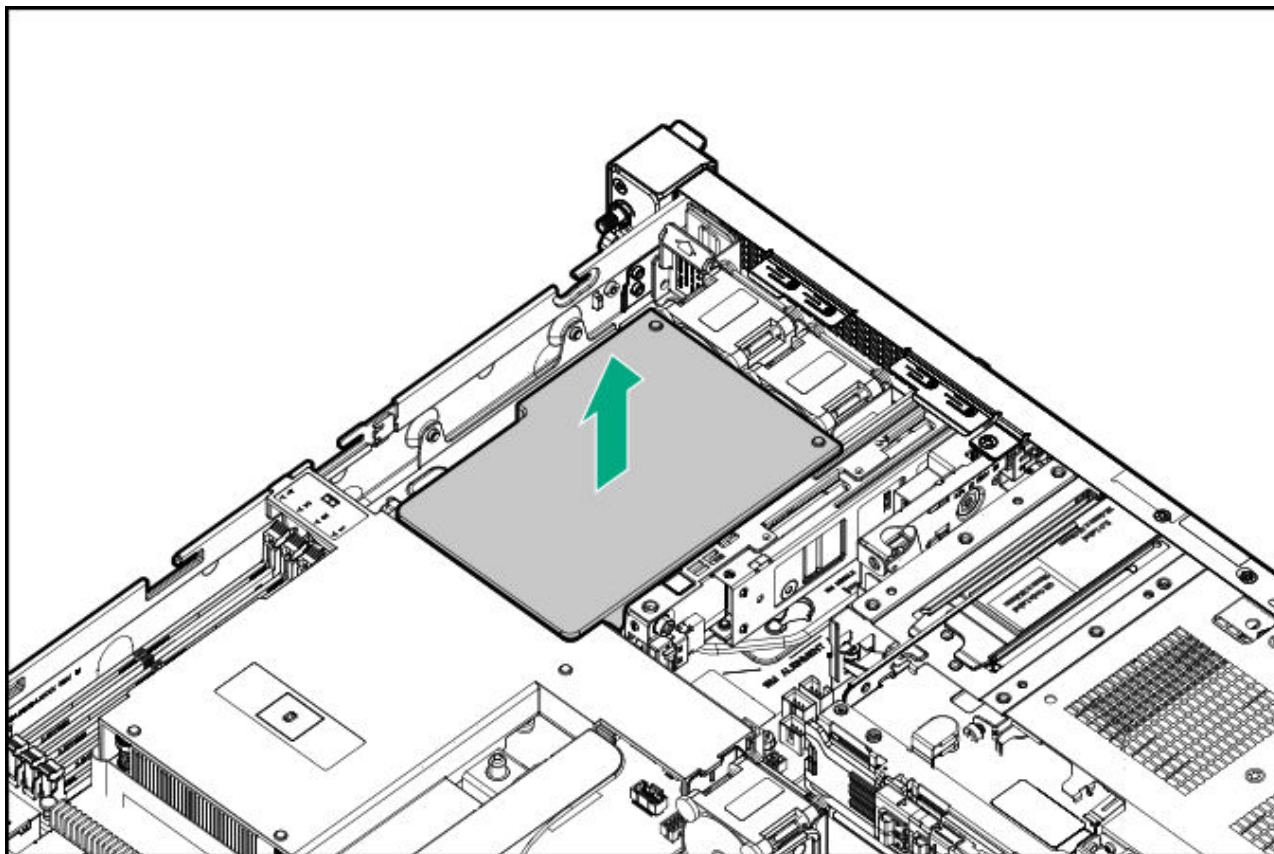


注意

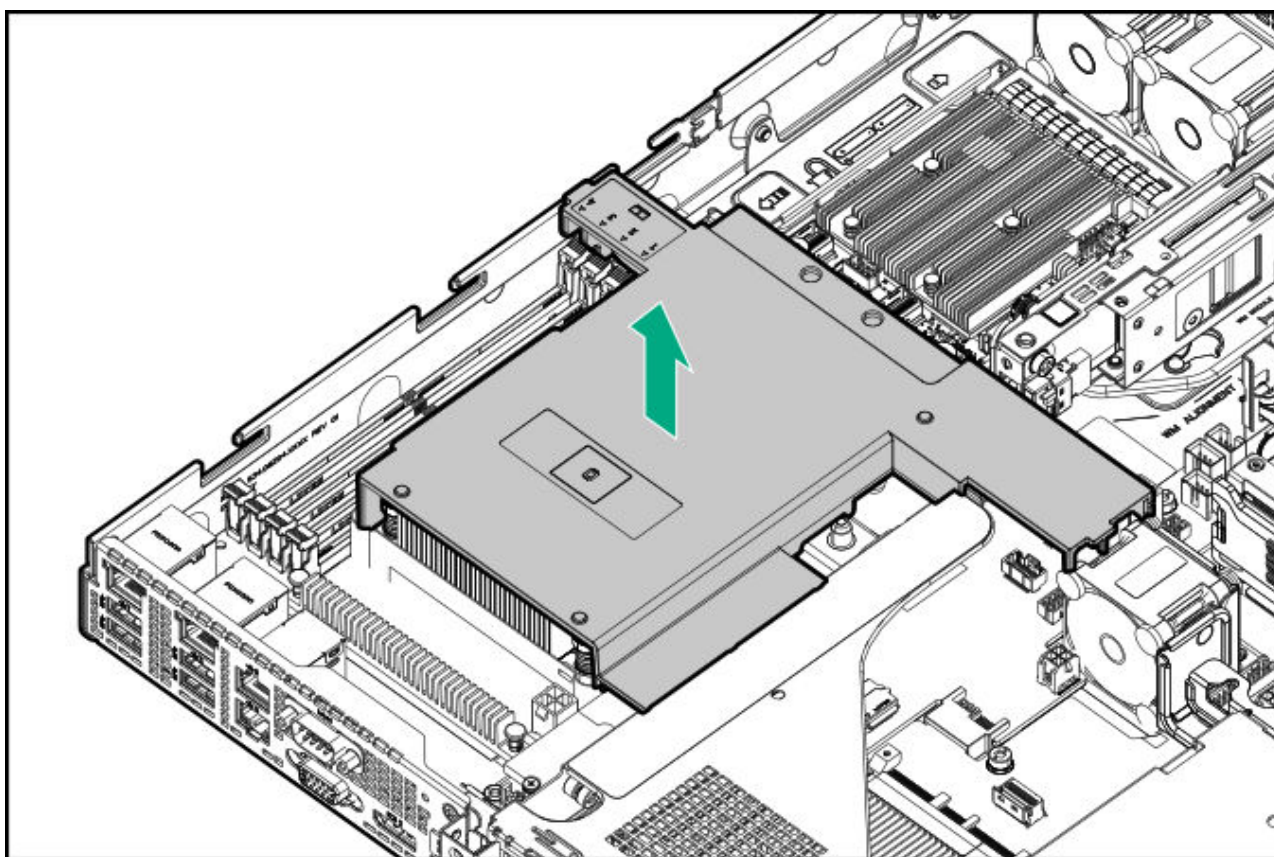
ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

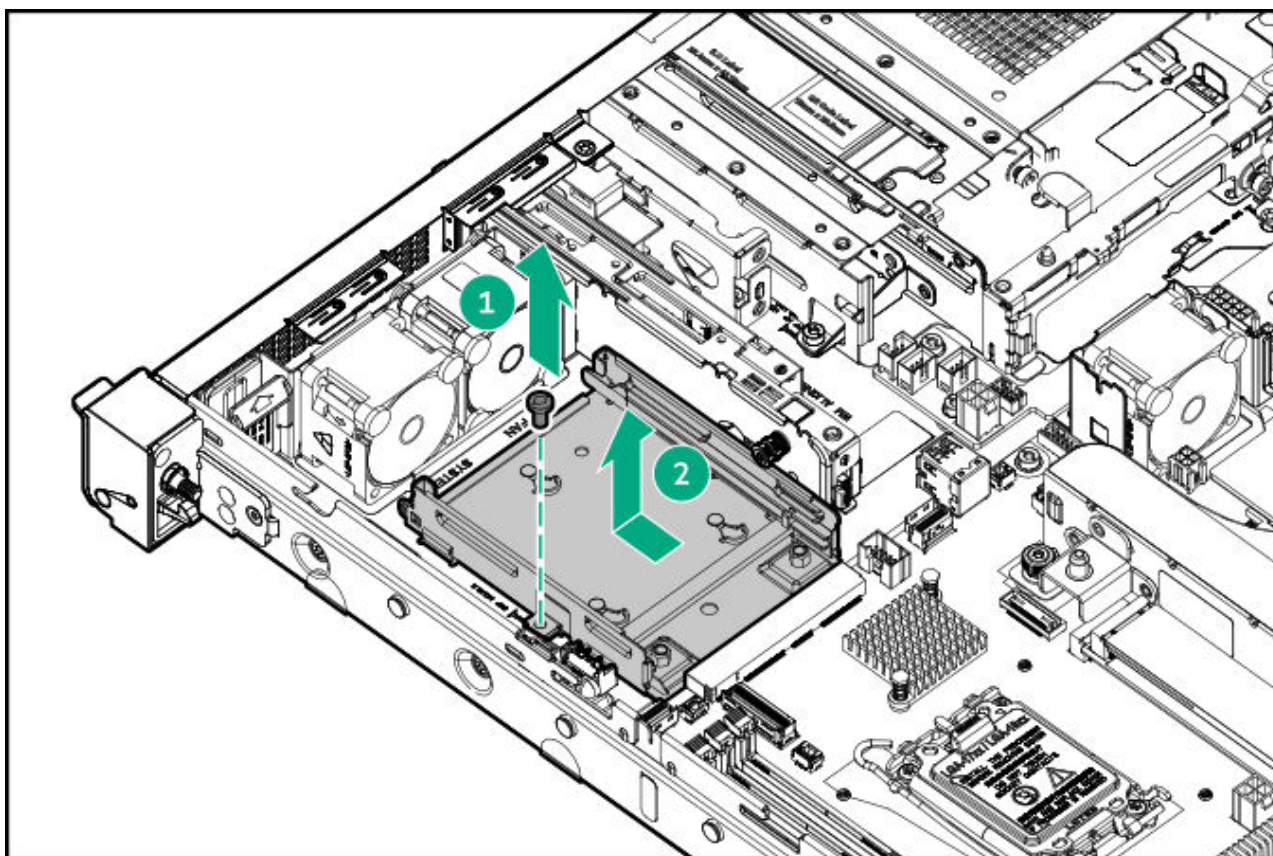
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. OCP エアバッフルを取り外します。



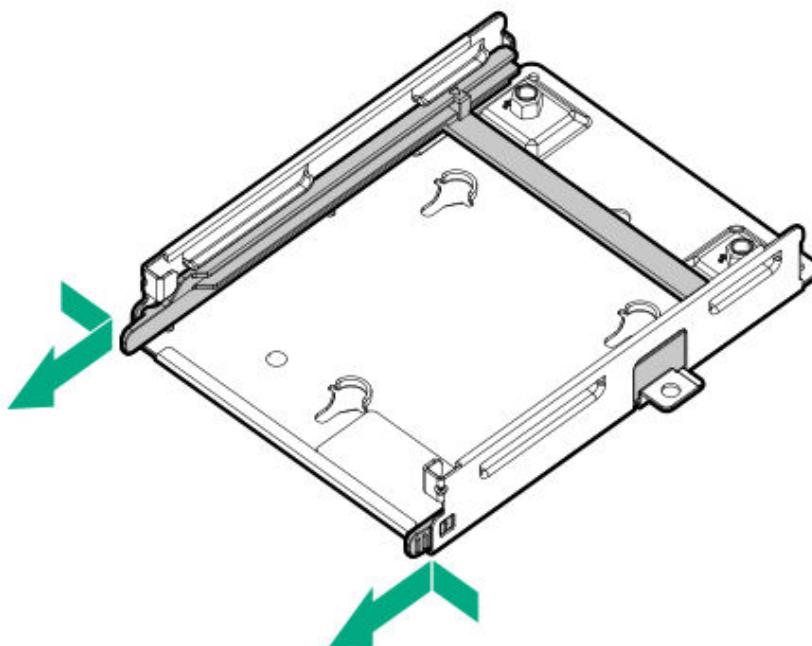
プロセッサエアバッフルを取り外します。



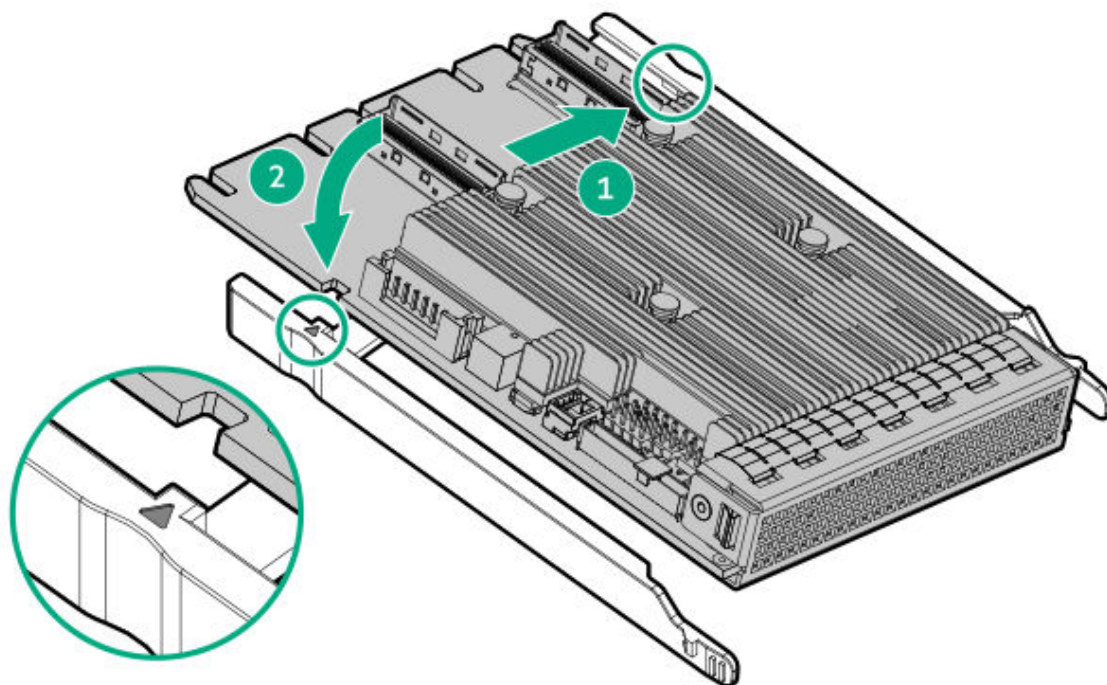
- 1. OCP ケージを取り外します。



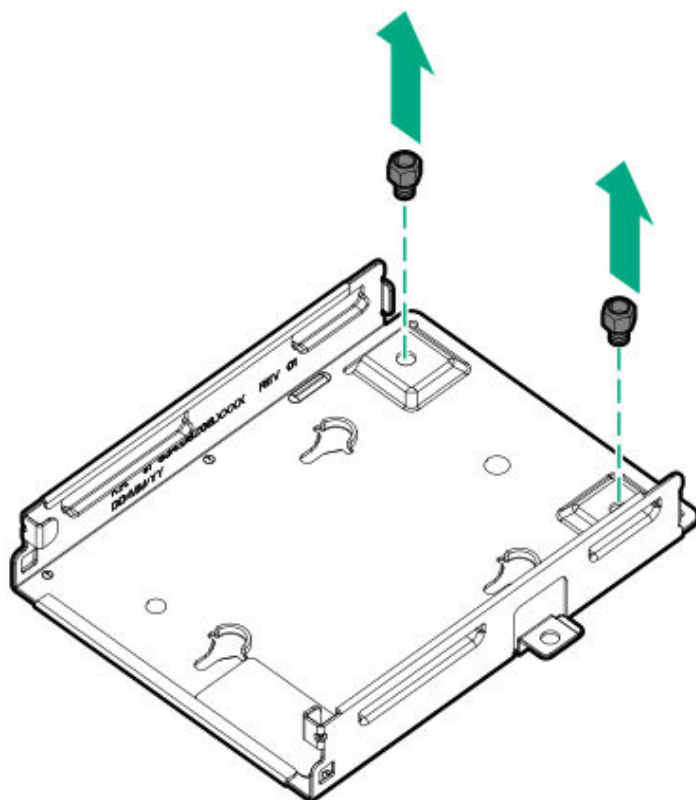
- 2. OCP ケージレールを取り外します。



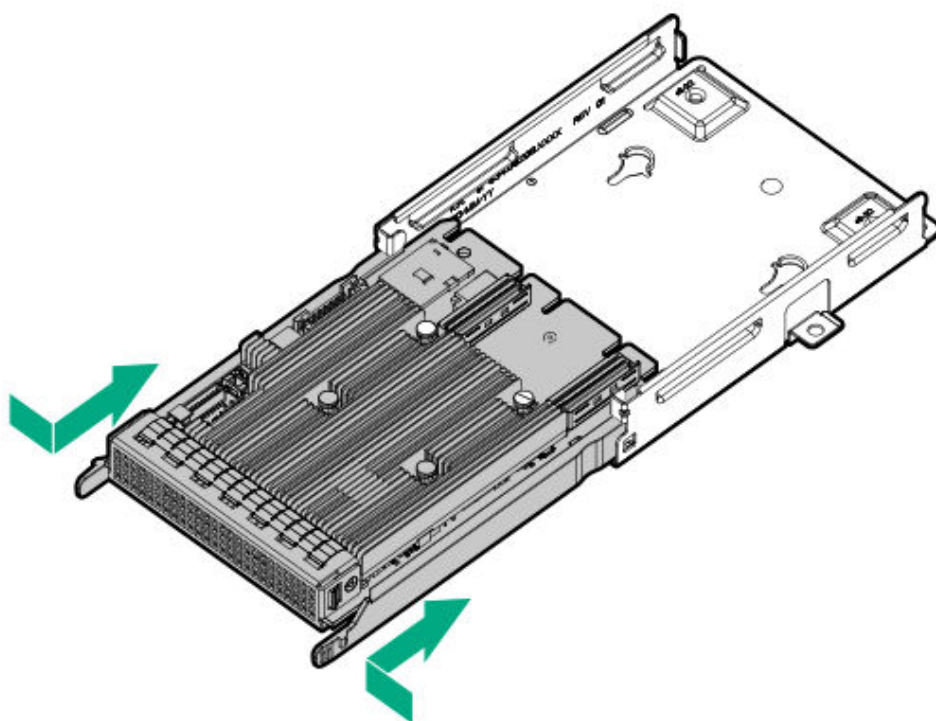
タイプ0コントローラーを OCP ケージレールに取り付けます。



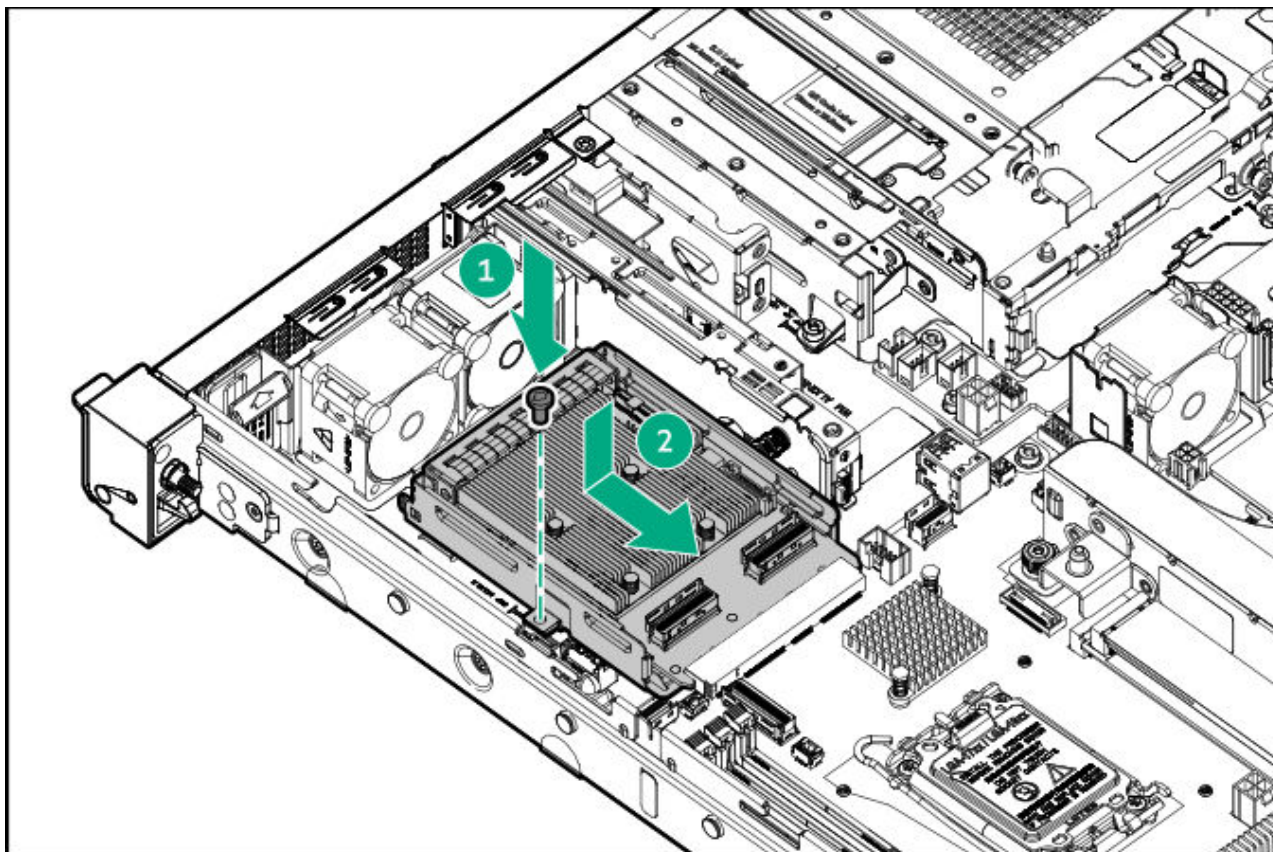
OCP ケージの六角ネジを取り外します。



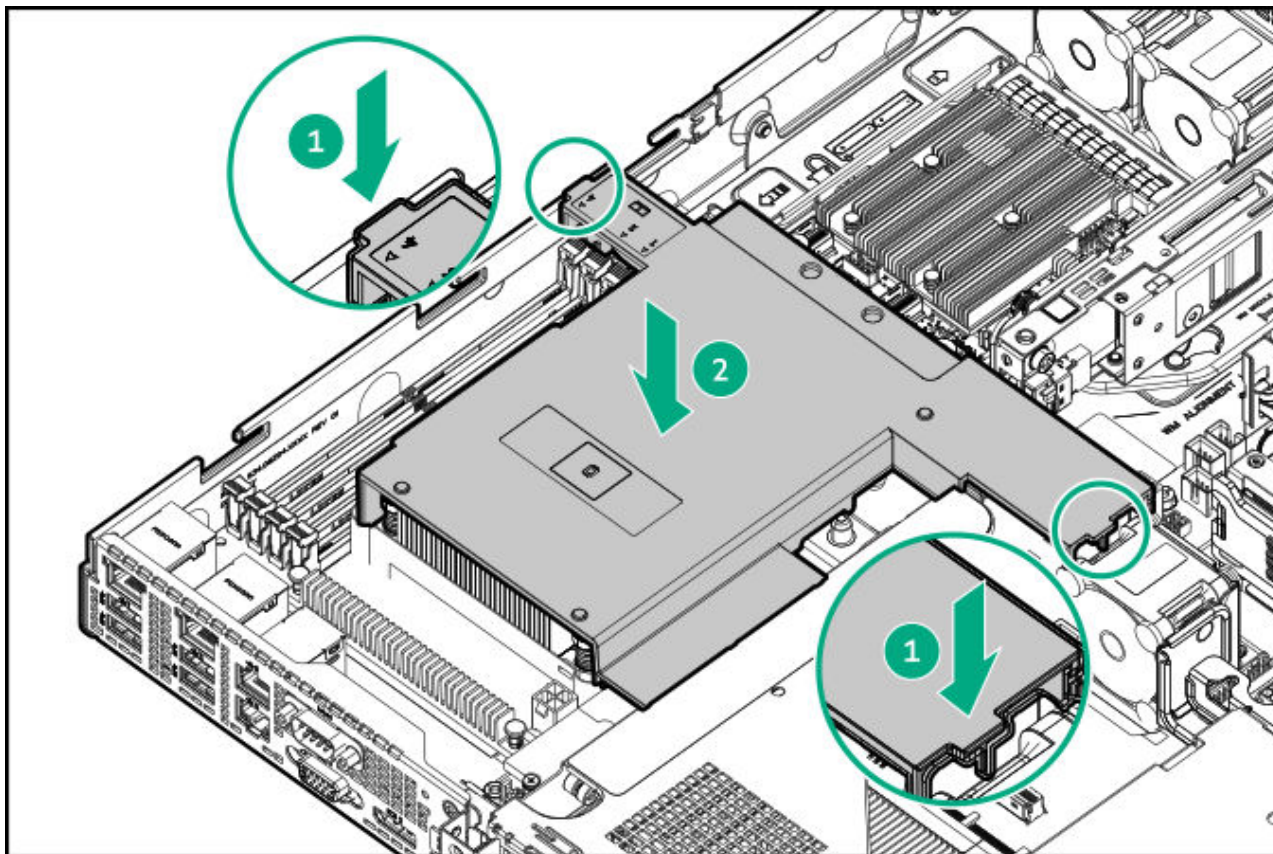
タイプ0コントローラーを OCP ケージに取り付けます。



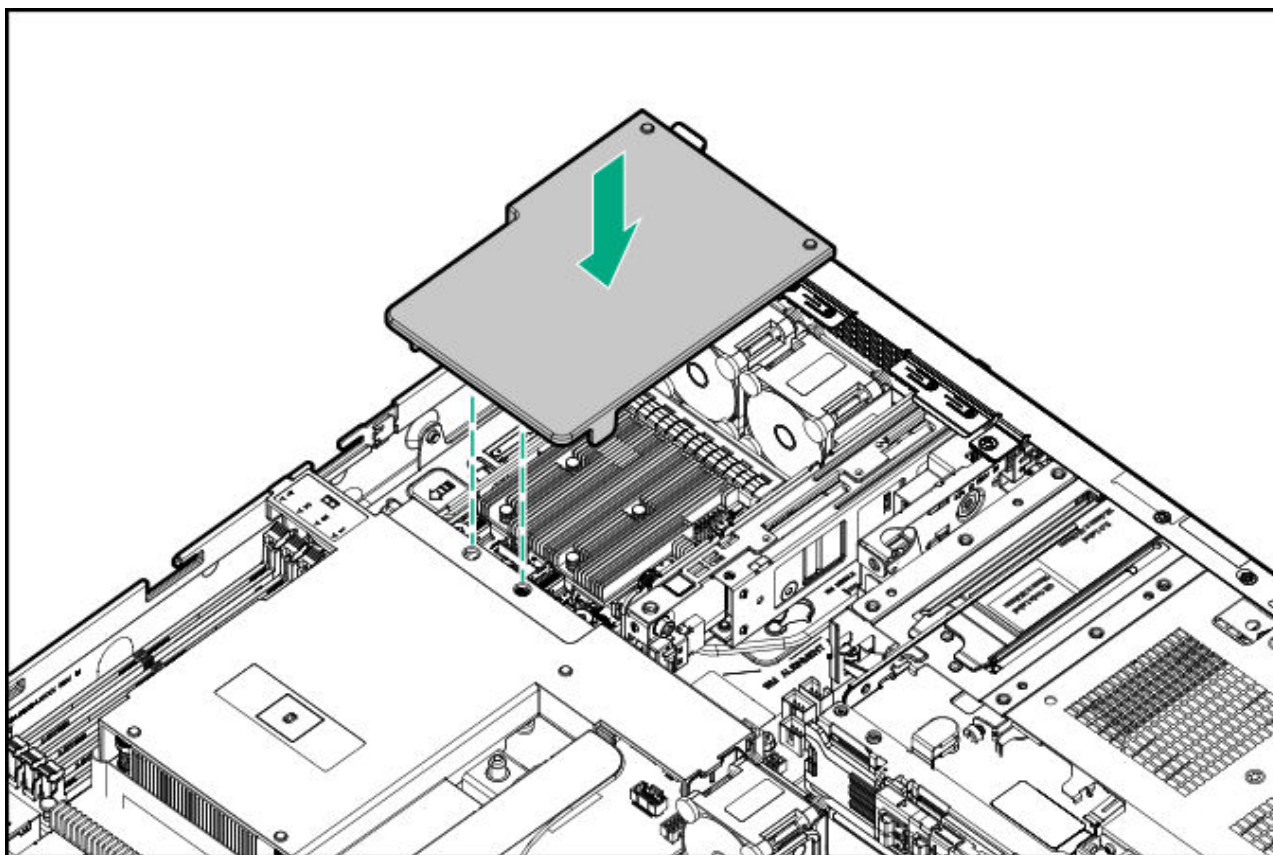
- OCP ケージを取り付けます。



- タイプ0ストレージコントローラーをケーブル接続します。
- プロセッサエアバッフルを取り付けます。



OCP エアバッフルを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。
- ・ サーバーファームウェアが最新のリリースでない場合はアップデートします。
- ・ コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

タイプ p コントローラーの取り付け

前提条件

- ・ ストレージコントローラーオプションのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。

コントローラーキャッシュ機能について詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/qs>) でコントローラーの QuickSpecs を参照してください。

- ・ 一部のストレージコントローラーのフラッシュバック式ライトキャッシュ (FBWC) 機能には、Energy Pack オプションの取り付けが必要です。詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/info/qs>) にあるコントローラー QuickSpecs を参照してください。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - 互換性のあるコントローラーのケーブルオプション
 - T-10 トルクスドライバー

このタスクについて



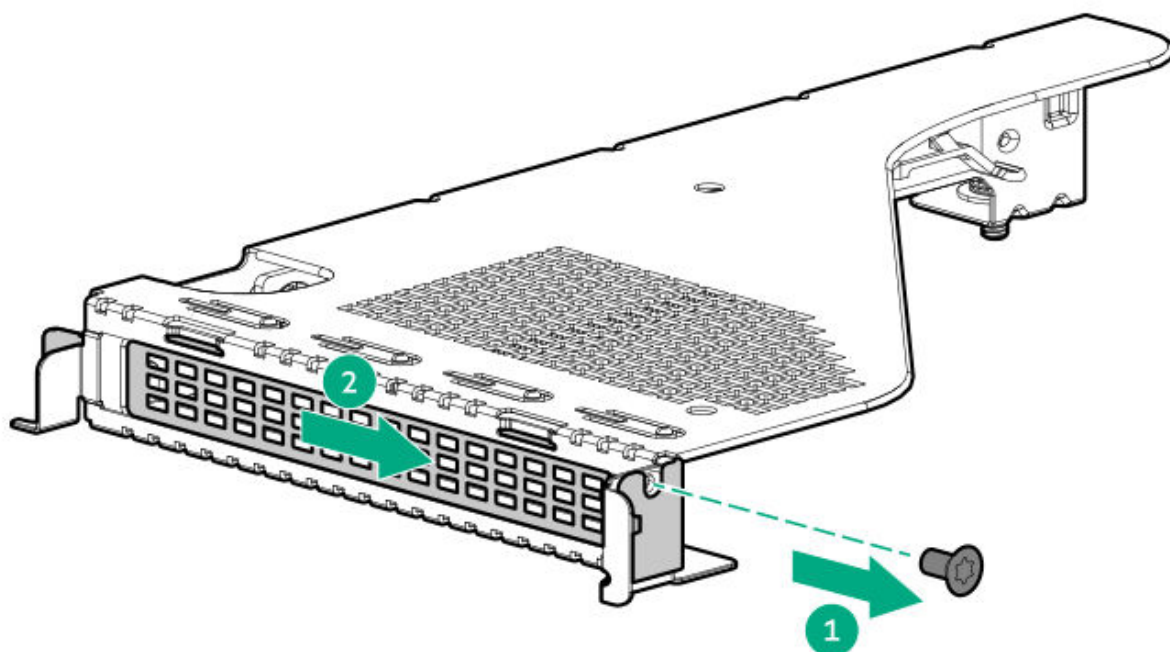
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

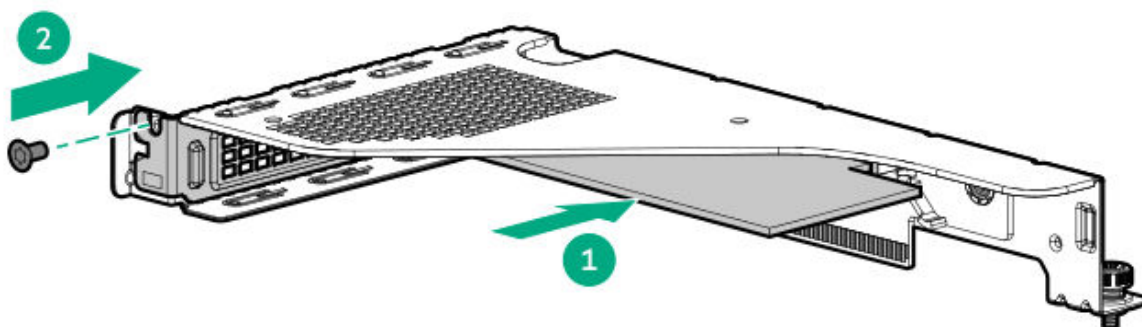
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ライザーケージを取り外します。
8. (オプション) ライザーをライザーケージに取り付けます。
9. タイプ p コントローラーを取り付けます。
 - a. ライザー Slots のネジと Slot ブランクを取り外します。

Slot ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



b. コントローラーを取り付けます。

コントローラーがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



1. HPE SR SmartCache または MR CacheCade 機能を有効にするには、Energy Pack を取り付けます。

SmartCache および CacheCade では、ソリッドステートドライブをハードドライブメディアのキャッシュデバイスとして使用できます。これらの機能は、ホットデータをハードドライブからソリッドステートドライブにキャッシュすることによって、頻繁に使用されるデータへのアクセスを高速化します。

2. ライザーケージを取り付けます。
3. コントローラーのケーブルの配線を行います。

- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 4. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. サーバーの電源を入れます。
- 7. サーバーファームウェアが最新のリビジョンでない場合はアップデートします。
- 8. コントローラーを構成します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

Energy Pack オプション

Hewlett Packard Enterprise には、サーバーの予期しない停電時に備えて、コントローラーに書き込みキャッシュの内容をバックアップするために、一元化されたバックアップ電源オプションとして HPE Smart ストレージバッテリーが用意されています。

これを取り付けると、HPE iLO に Energy Pack のステータスが表示されます。詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) にある iLO ユーザーガイドを参照してください。

サブトピック

HPE Smart ストレージバッテリー
Energy Pack の取り付け

HPE Smart ストレージバッテリー

1 個の 96 W バッテリーで最大 24 のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で 2 時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mm ケーブル付き 96 W HPE Smart ストレージバッテリーをサポートします。

詳しくは、HPE Smart ストレージバッテリーおよびハイブリッドキャパシタの QuickSpecs を参照してください。

https://www.hpe.com/psnow/doc/a00028553enw.pdf?jumpid=in_pdp-psnow-qs

Energy Pack の取り付け

前提条件

取り付けに進む前に、次のガイドラインを確認してください。

- ・ 互換性のあるタイプ p ストレージコントローラーが取り付けられていることを確認します。
- ・ ストレージコントローラーに付属しているストレージコントローラーバックアップ電源ケーブルがあることを確認します。

このタスクについて

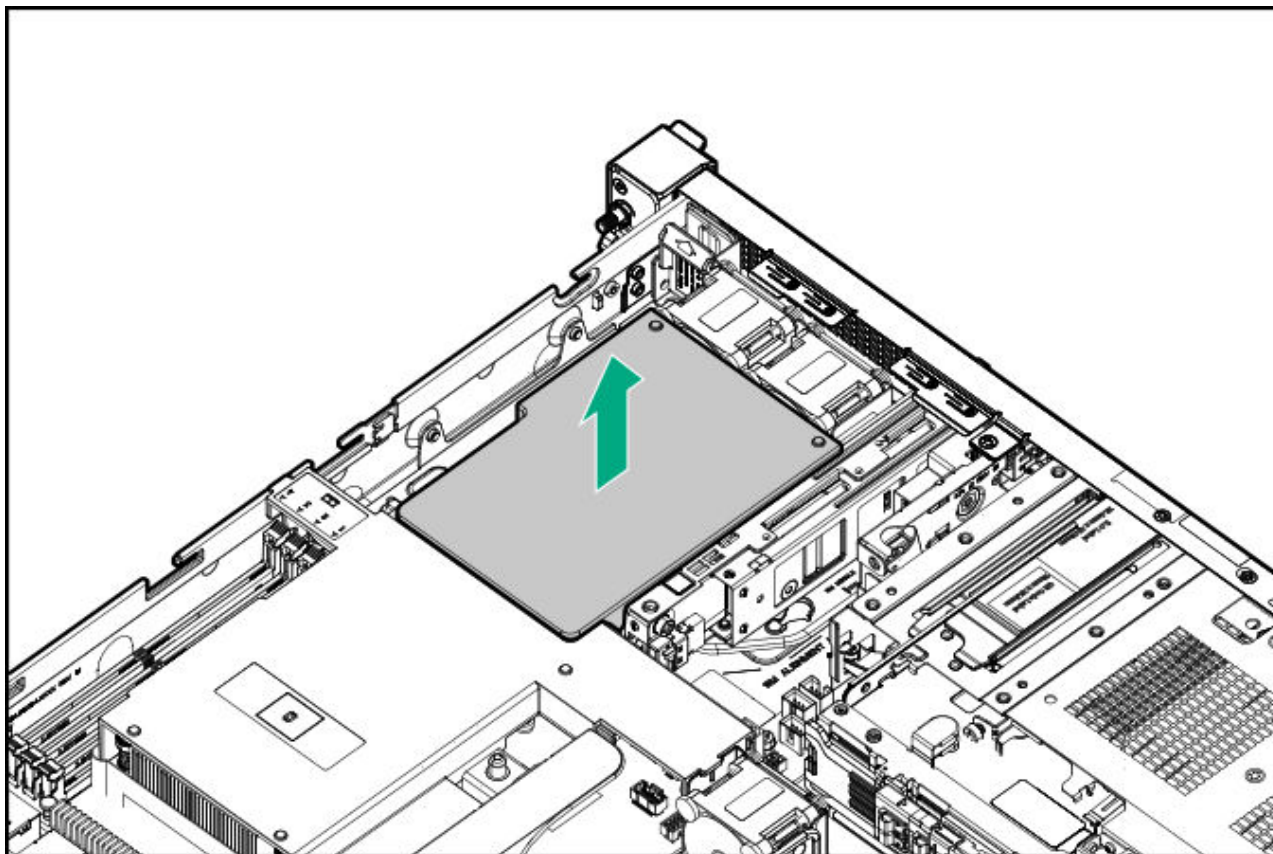


注意

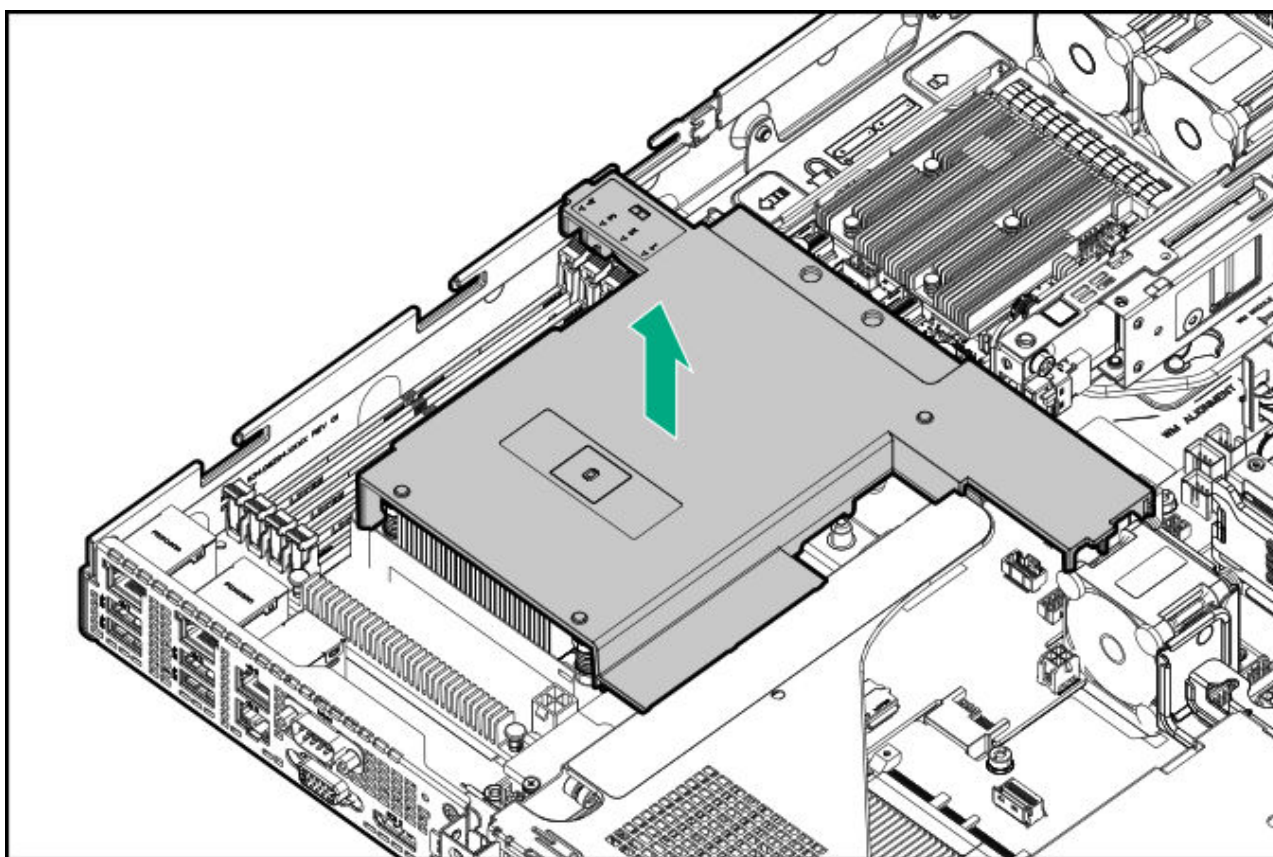
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ OCP エアバッフルを取り外します。



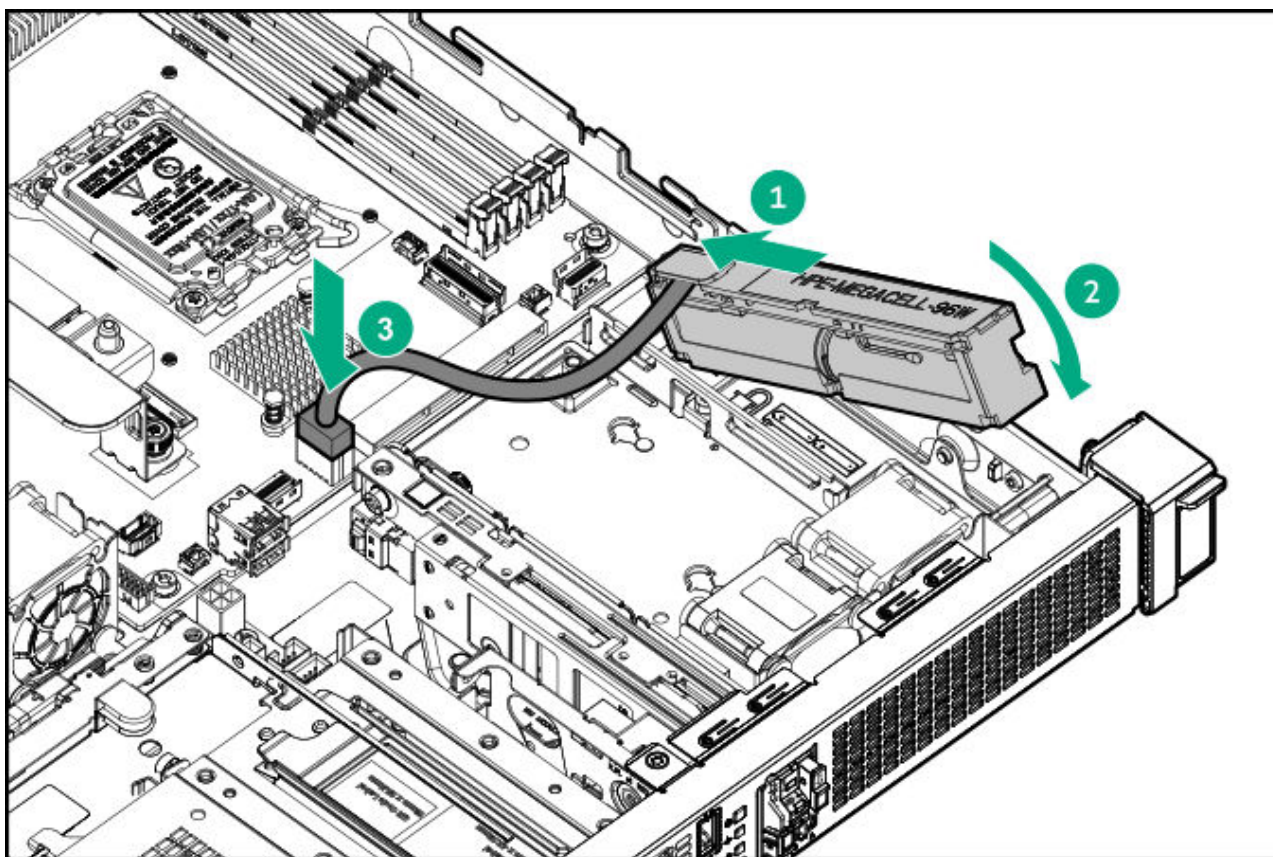
プロセッサエアバッフルを取り外します。



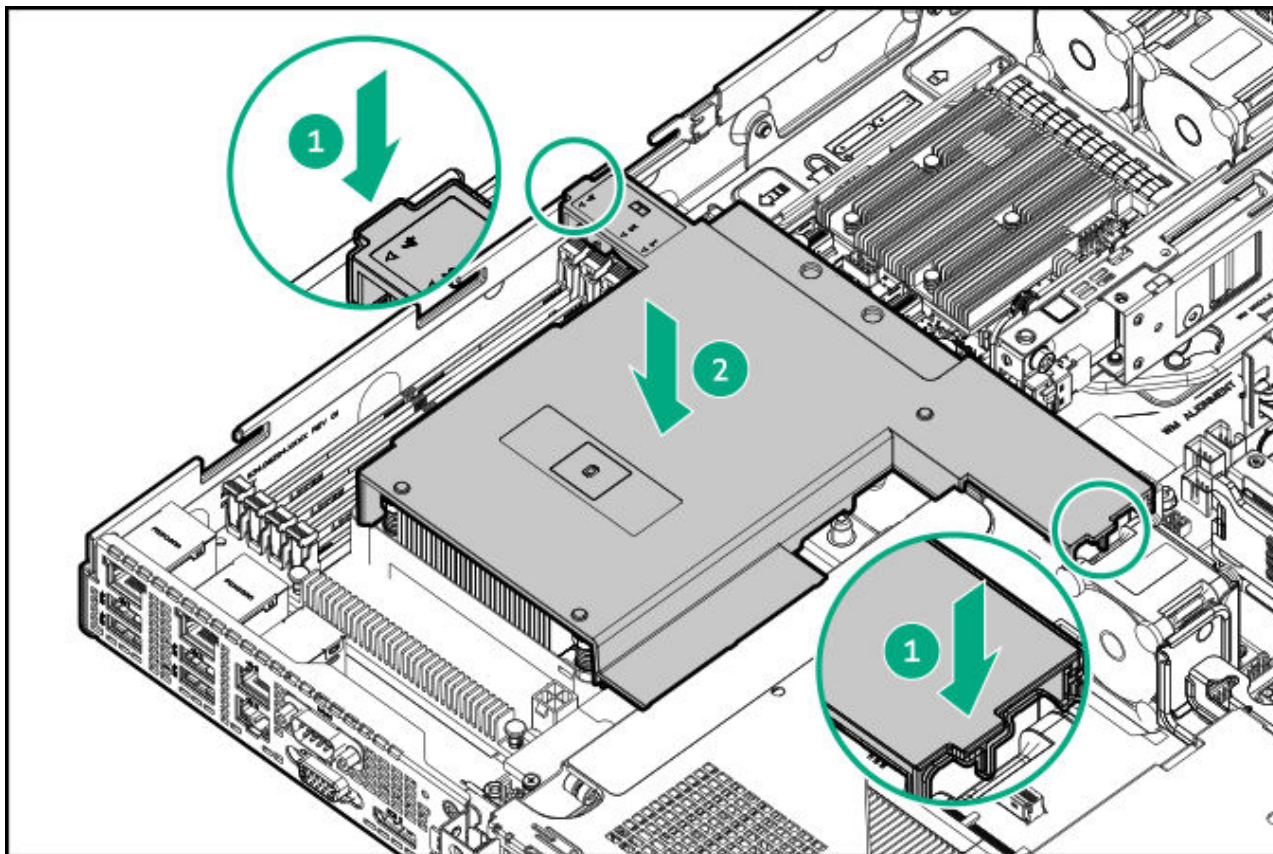
- ④ Energy Pack を取り付けます。
 - a. Energy Pack の一方の端をシャーシに取り付けます。
 - b. 反対側から Energy Pack を押し下げます。

Energy Pack が固定ラッチにロックされていることを確認してください。

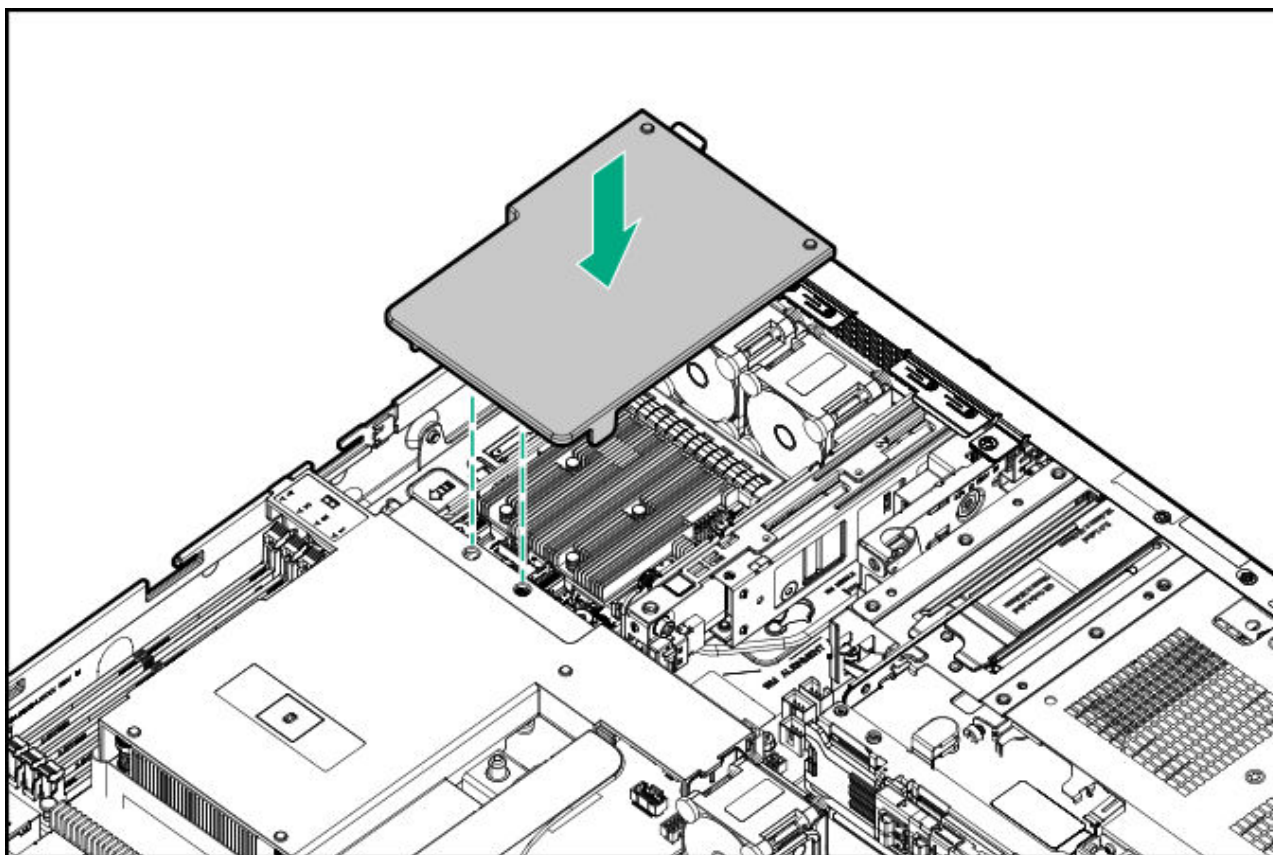
- c. Energy Pack ケーブルを接続して配線します。



- ⑤ ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブルを接続します。
- ⑥ プロセッサエアバッフルを取り付けます。



OCP エアバッフルを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

拡張カードオプション

サーバーでは、次のようなフルハイト、ハーフレングス、およびハーフハイト、ハーフレングス（ロープロファイル）の PCIe 拡張/アドイン（AIC）カードをサポートしています。

- ・ HPE タイプ p ストレージコントローラー
- ・ イーサネットアダプター
- ・ HDR InfiniBand アダプター

このサーバーで検証済みの拡張オプションについて詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトにあるサーバーの QuickSpecs を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/quickspecs>

サブトピック

拡張カードの取り付け

拡張カードの取り付け

前提条件

- ・ ライザーボードのコンポーネントに従います。

- ・ この手順を実行する前に、T-10 トルクスドライバーを用意しておきます。

このタスクについて



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべての PCIe スロットに必ず、ライザースロットブランクか拡張カードのいずれかを実装してから、サーバーを動作させてください。



注意

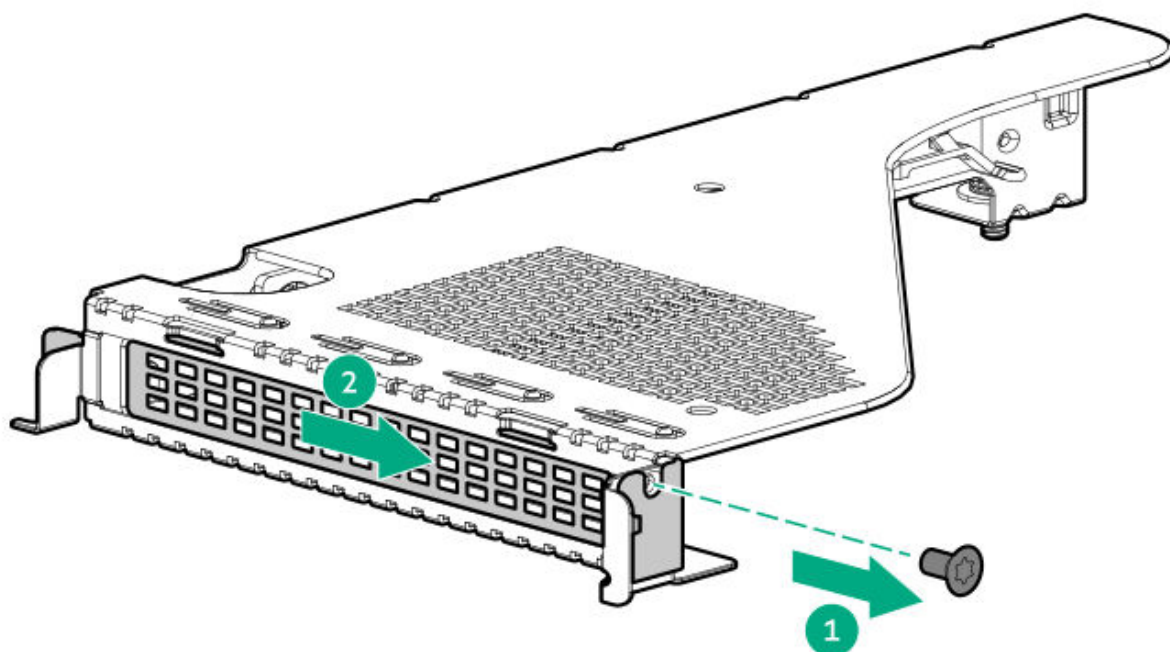
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. ライザーケースを取り外します。
8. (オプション) ライザーをライザーケースに取り付けます。
9. 拡張カードのスイッチまたはジャンパーが正しく設定されていることを確認します。

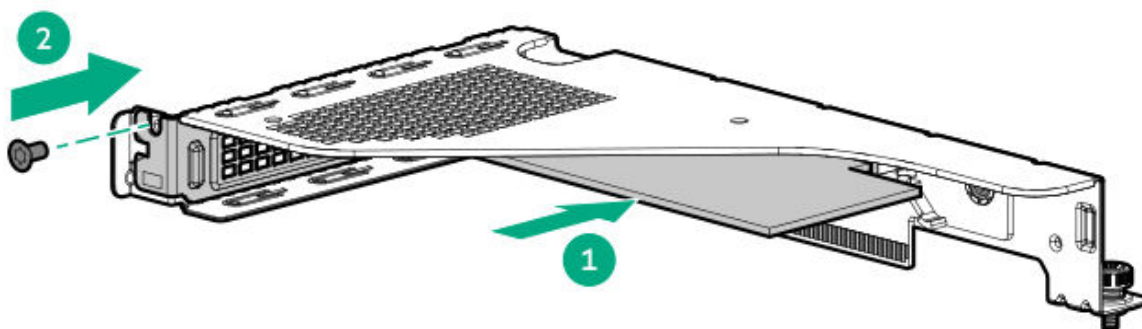
詳しくは、このオプションに付属のドキュメントを参照してください。
10. 拡張カードを取り付けます。
 - a. ライザースロットのネジとスロットブランクを取り外します。

スロットブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



b. 拡張カードを取り付けます。

拡張カードがスロットにしっかりと固定されていることを確認します。



- ・ ライザーケージを取り付けます。
- ・ 必要な内部ケーブルをすべて拡張カードに接続します。これらのケーブル接続の要件について詳しくは、オプションに付属のドキュメントを参照してください。
- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。

- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

HPE NS204i-u ブートデバイスオプション

HPE NS204i-u ブートデバイスオプションに関する次の情報に注意してください。

- ・ HPE NS204i-u NVMe ホットプラグ対応ブート最適化ストレージデバイスは、ホットプラグ対応 2280 M.2 NVMe SSD を 2 台搭載した PCIe カスタムフォームファクターモジュールです。
- ・ このブートデバイスを使用すると、展開された OS を専用のハードウェア RAID 1 を介してミラーリングできます。
- ・ ブートデバイスは起動時に RAID 1 ボリュームを自動的に作成します。これは、ブートデバイスがそれ以上の RAID 構成を必要としないことを意味します。
- ・ このブートデバイスは、次のネイティブ OS と互換性があります。
 - Windows
 - Linux
 - VMware
- ・ このブートデバイスは、ネイティブインボックス OS NVMe ドライバーを使用します。

サブトピック

HPE NS204i-u ブートデバイスの取り付け

HPE NS204i-u ブートデバイスの取り付け

前提条件

- ・ ご使用の OS または仮想化ソフトウェアがサポートされていることを確認します。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

- ・ 最新の iLO ファームウェアとサーバーの BIOS バージョンを実行していることを確認してください。
- ・ HPE NS204i ブートデバイスコンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - NS204i-u 有効化オプションキット (P75284-B21)
 - T-10 トルクスドライバー
 - T-15 トルクスドライバー

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



注意

不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、サーバーすべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからを動作させてください。



重要

RAID 1 構成を正常に行うには、ブートデバイスの SSD のモデル番号とファームウェアバージョンが同じであることを確認します。

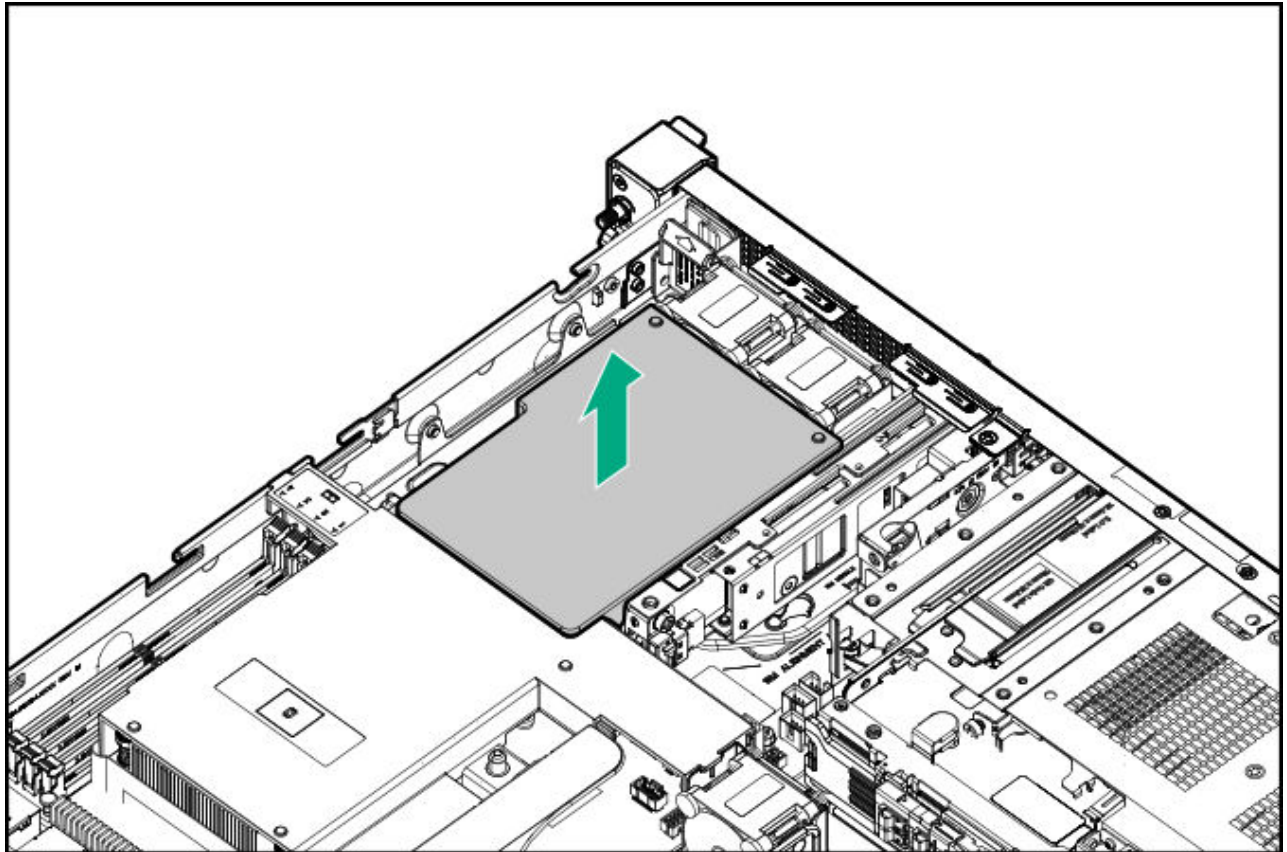
- ・ iLO Web インターフェイスで、ストレージページを参照してください。
- ・ UEFI システムユーティリティで、システム構成 > HPE NS204i Boot Controller > Physical Device Information を参照します。

異なるメーカーの SSD を使用した構成はサポートされていません。

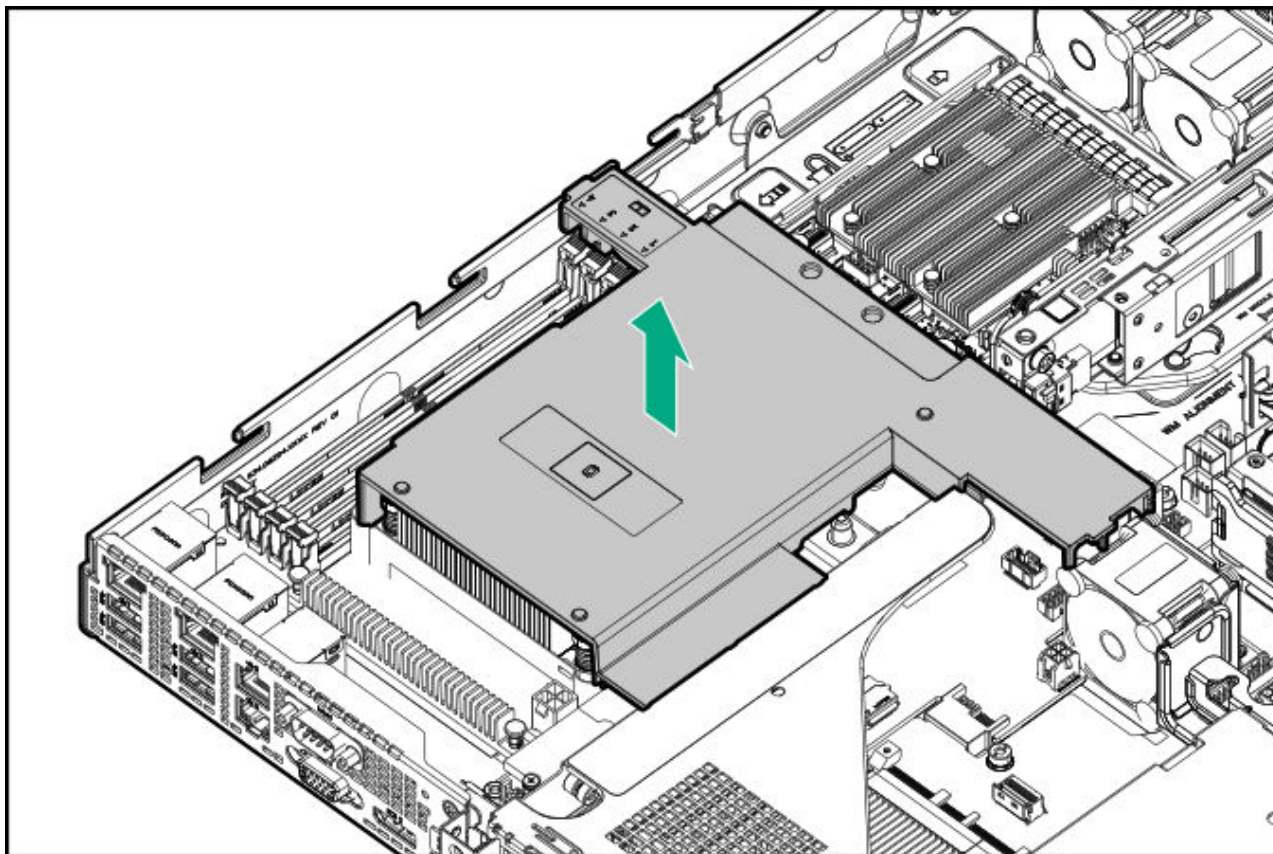
手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

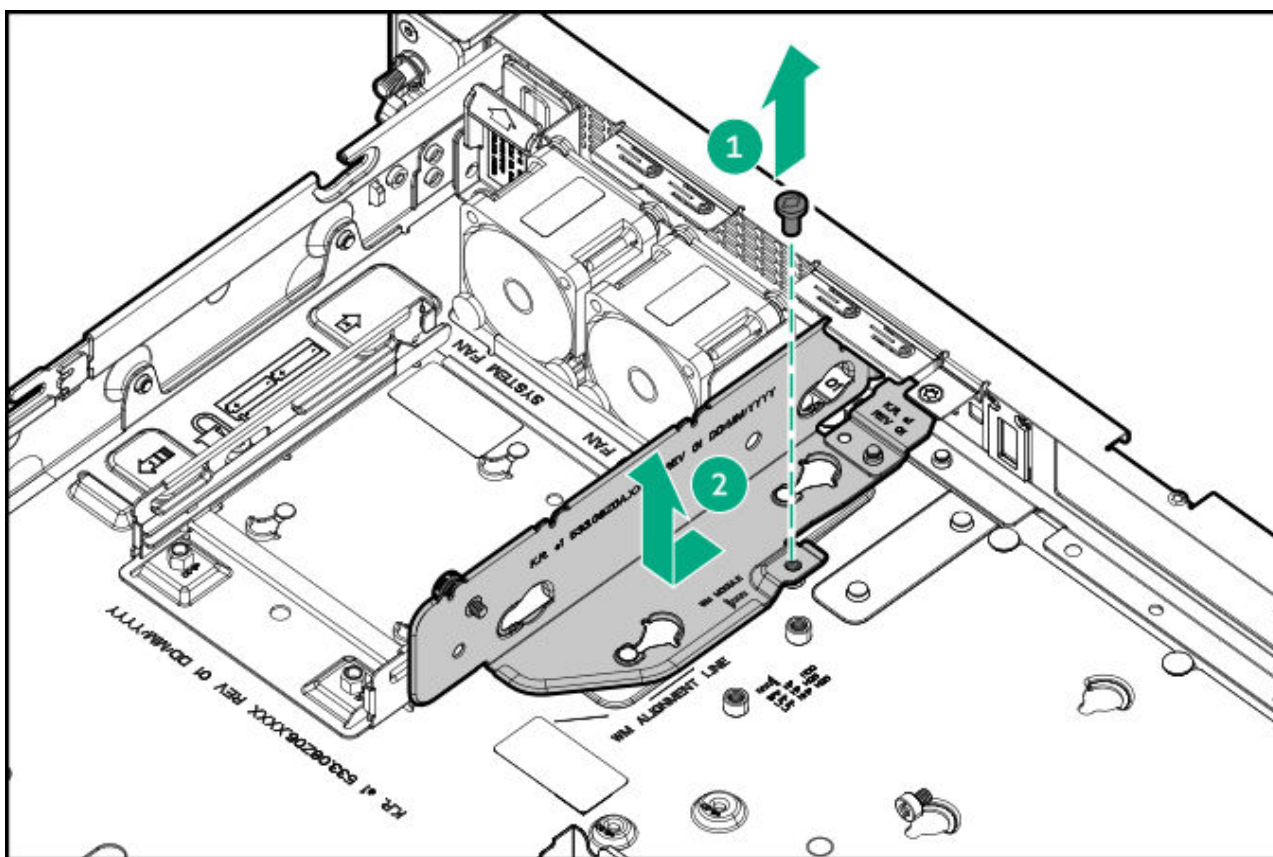
- 1. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜きます。
- 2. サーバーをラックから取り外します。
- 3. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- 4. アクセスパネルを取り外します。
- 5. OCP エアバッフルを取り外します。



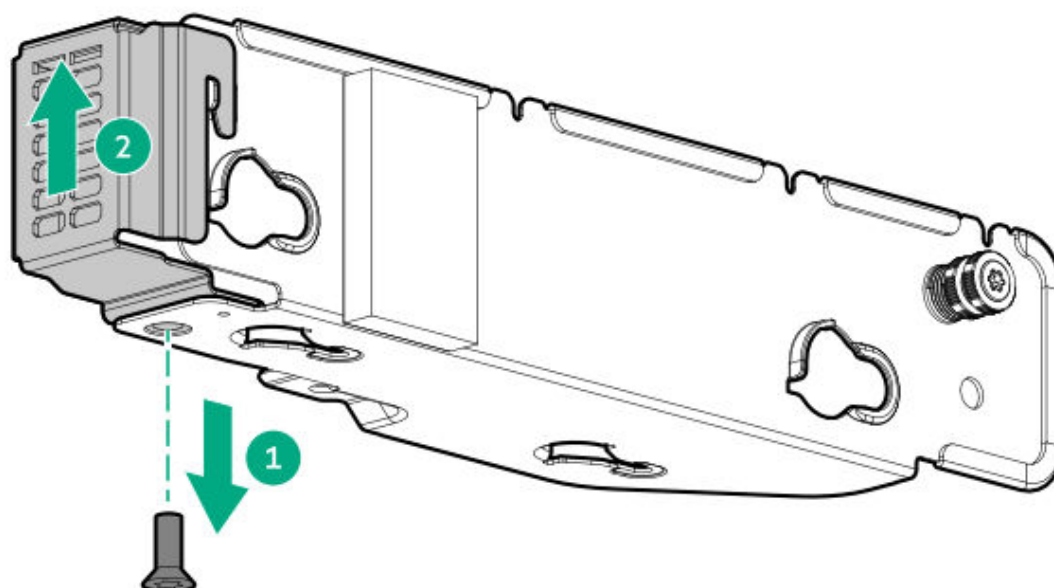
- 6. プロセッサエアバッフルを取り外します。



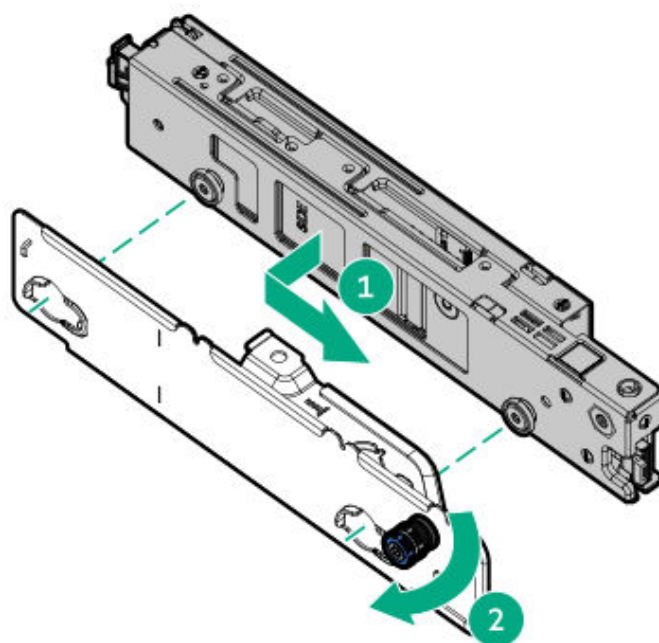
ブートデバイスブラケットをサーバーから取り外します。



1. ブートデバイスのブラケットブラックを取り外します。

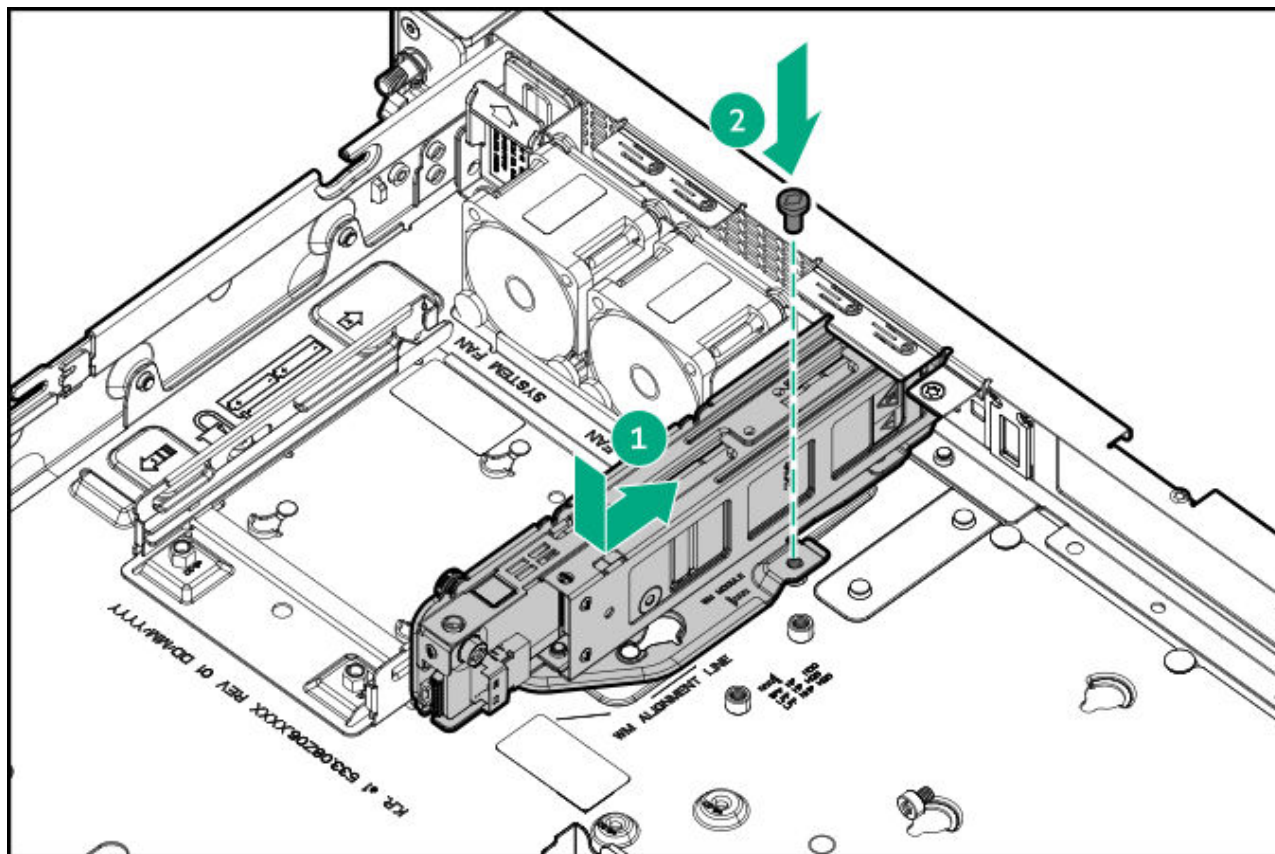


2. ブートデバイスブラケットを取り付けます。
 - a. ブラケットのノッチを使用してブートデバイスのスプールを挿入します。
 - b. ブラケットのつまみネジを締めます。

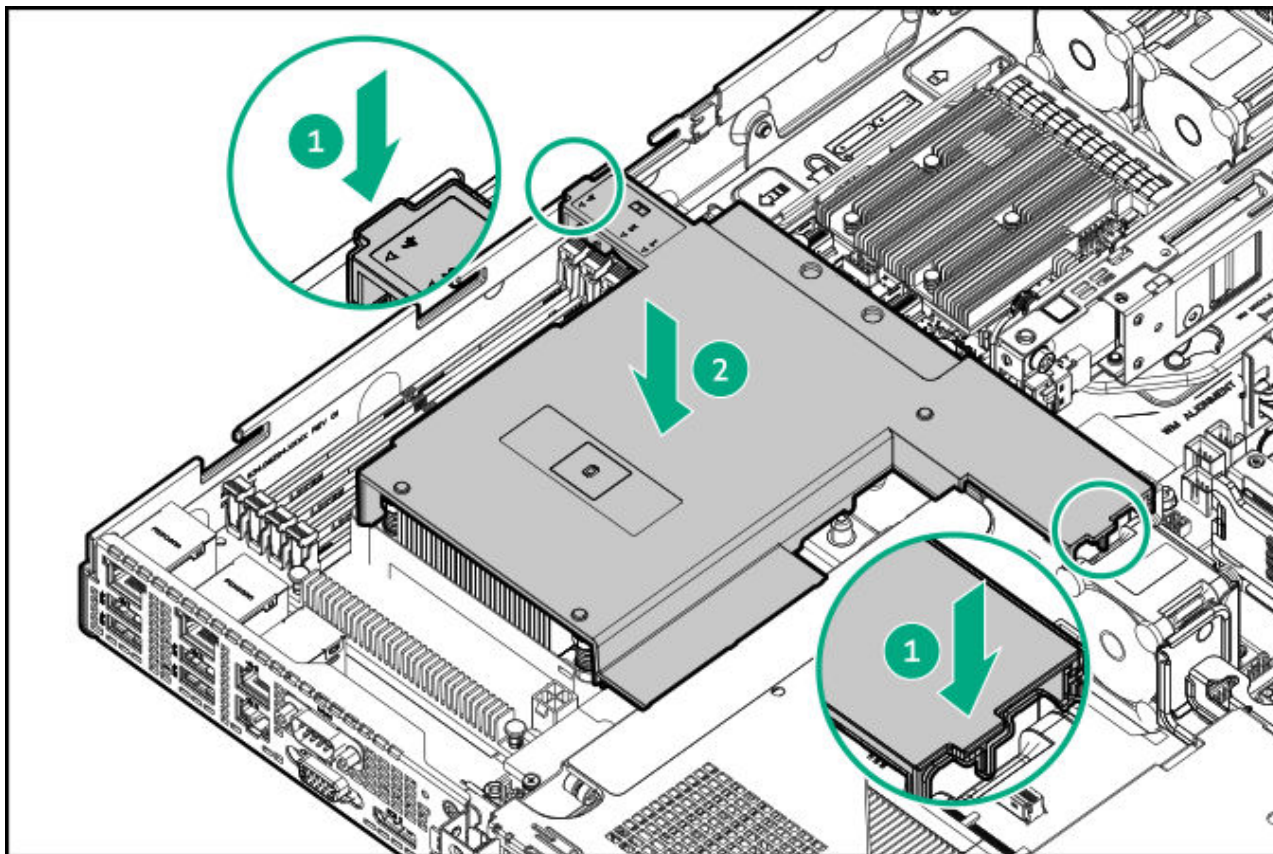


- 1. ブートデバイスに信号ケーブルと電源ケーブルを接続します。
- 2. ブートデバイスを取り付けます。

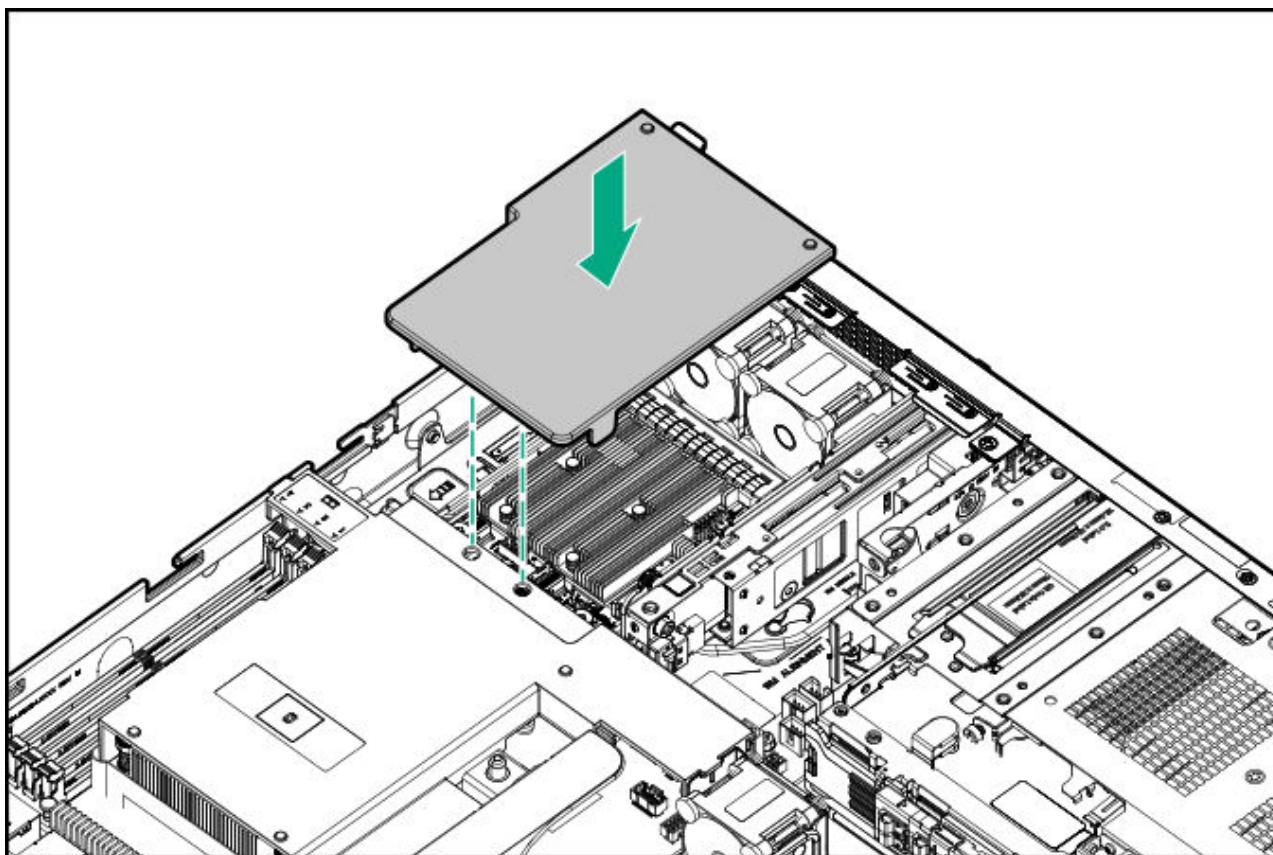
わかりやすくするために、次の図では接続されている電源ケーブルと信号ケーブルを示していません。



- 1. ブートデバイスの信号ケーブルと電源ケーブルを PDB とメインボードに接続します。
- 2. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



1 OCP エアバッフルを取り付けます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
 - ・ サーバーをラックに取り付けます。
 - ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
 - ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
 - ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
 - ・ サーバーの電源を入れます。
 - ・ ブートデバイス上のオンライン/アクティビティ LED が緑色で点灯していることを確認します。
 - ・ サポートされているオペレーティングシステムをブートデバイスに展開します。
 - ・ OS のインストールが完了すると、システムはオペレーティングシステムをブートデバイスの 2 番目のミラー化されたドライブに自動的にコピーします。
- 通常のシステムセットアップと操作を続行します。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

OCP NIC 3.0 オプション

サーバーは、高帯域幅アプリケーション向けのさまざまなインターフェイスと高度なインターコネクト機能を備えた SFF (2.5 型) デュアルポートおよび 4 ポート OCP NIC 3.0 オプションをサポートしています。

サブトピック

OCP NIC 3.0 アダプターの取り付け

OCP NIC 3.0 アダプターの取り付け

前提条件

- ・ OCP スロットの取り付けルールを確認します。

- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - T-10 トルクスドライバー
 - 外部 OCP 有効化ケーブルオプションキット (P65411-B21)

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



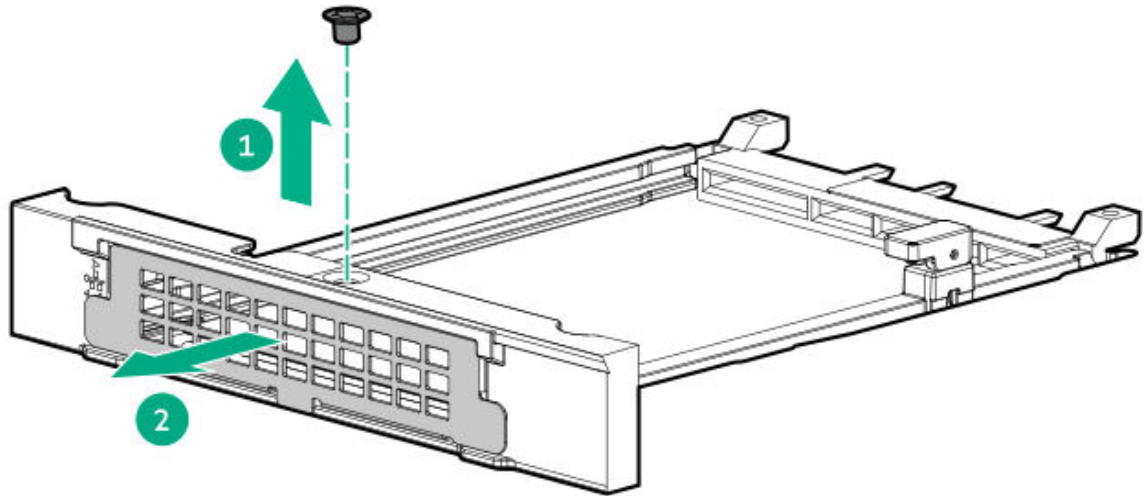
注意

ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

- ・ サーバーの電源を切ります。
- ・ すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- ・ サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
- ・ サーバーをラックから取り外します。
- ・ サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
- ・ アクセスパネルを取り外します。
- ・ ライザーケージを取り外します。
- ・ OCP スロットブランクを取り外します。
 - a. ブランクのネジを取り外します。
 - b. ブランクを取り外します。

ネジとブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

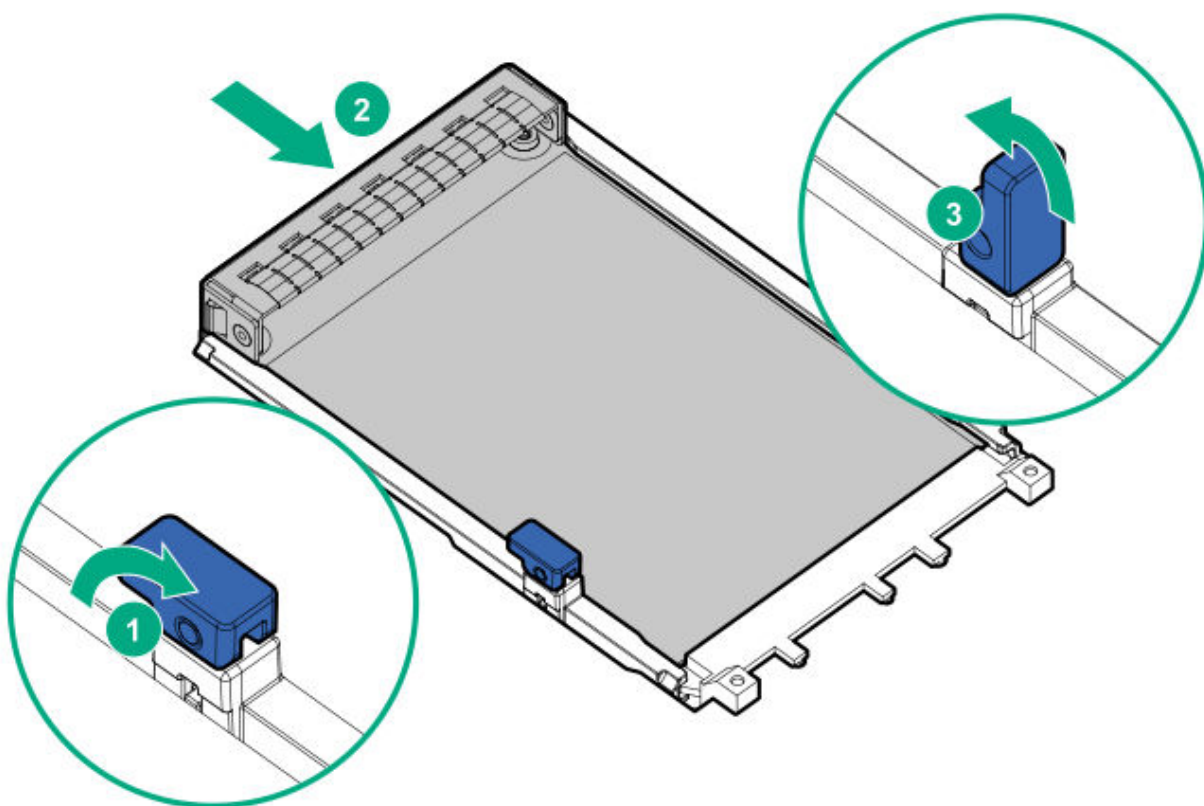


1. OCP NIC を取り付けます。

- a. 固定ピンをオープン（縦）位置まで回します。
- b. カチッとハマるまで、OCP NIC をベイにスライドさせます。

OCP NIC がスロットにしっかりと固定されていることを確認します。

- c. 固定ピンをクローズ（横）位置まで回します。



1. 外部 OCP 有効化ケーブルを接続します。
2. ライザーケーシングを取り付けます。
3. アクセスパネルを取り付けます。
4. サーバーをラックに取り付けます。
5. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
6. 各電源コードをサーバーに接続します。
7. 各電源コードを電源ソースに接続します。
8. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

iLO-M.2 シリアルモジュールオプション

以下をサポートするには、マルチファンクション iLO-M.2 シリアルモジュールを取り付けます。

- ・ 2280 または 22110 フォームファクターの NVMe SSD
- ・ シリアルポート
- ・ iLO 専用ネットワークポート

サブトピック

iLO-M.2 シリアルモジュールの取り付け

iLO-M.2 シリアルモジュールの取り付け

前提条件

- ・ iLO-M.2 シリアルモジュールコンポーネントを特定します。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - スパッジャーまたは小さな持ち上げ工具
 - T-15 トルクスドライバー
 - プラスドライバー (No. 1)
 - 4.775 mm 六角ドライバー：このツールはシリアルポートケーブルを取り付けるために必要です。
 - 4.5 mm 六角ナットドライバー：このツールは M.2 SSD を取り付けるときに必要です。

このタスクについて



注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

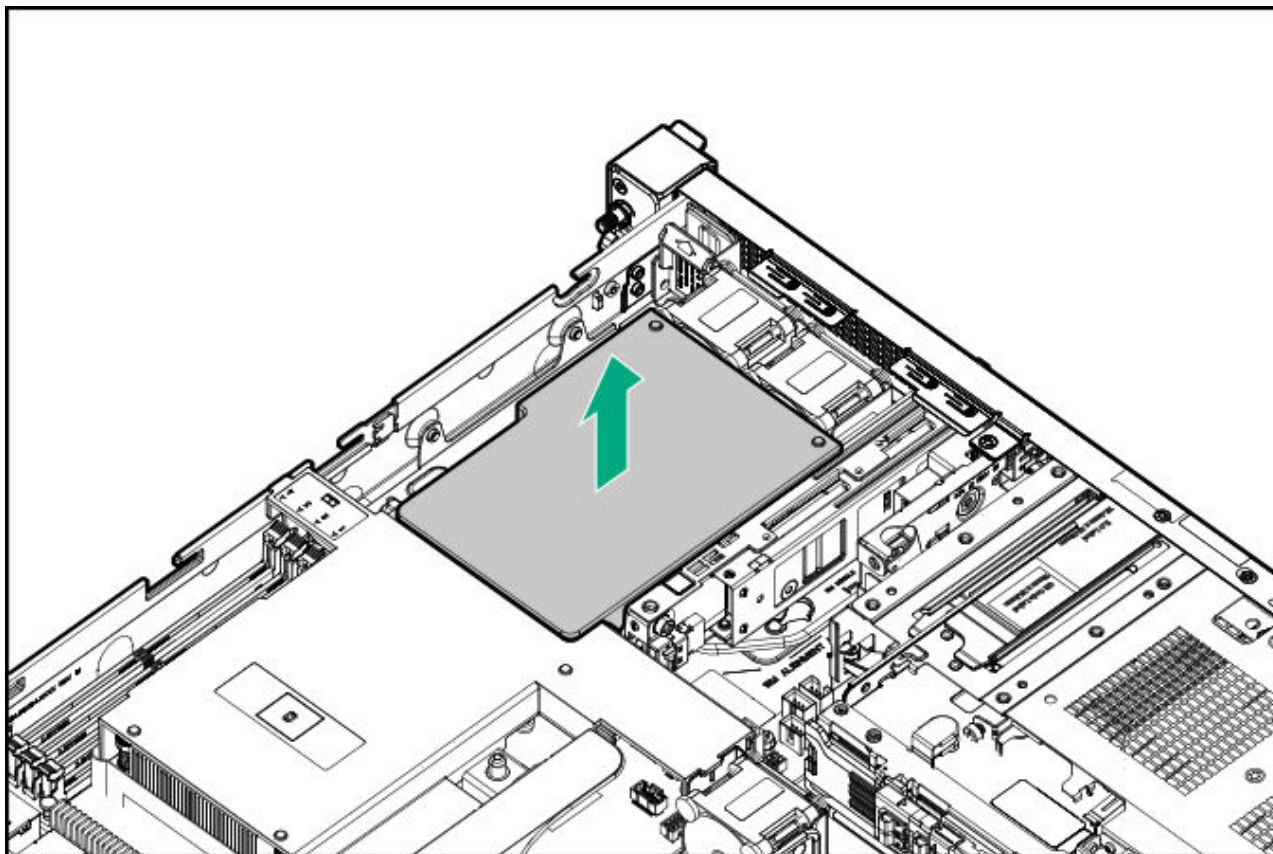


注意

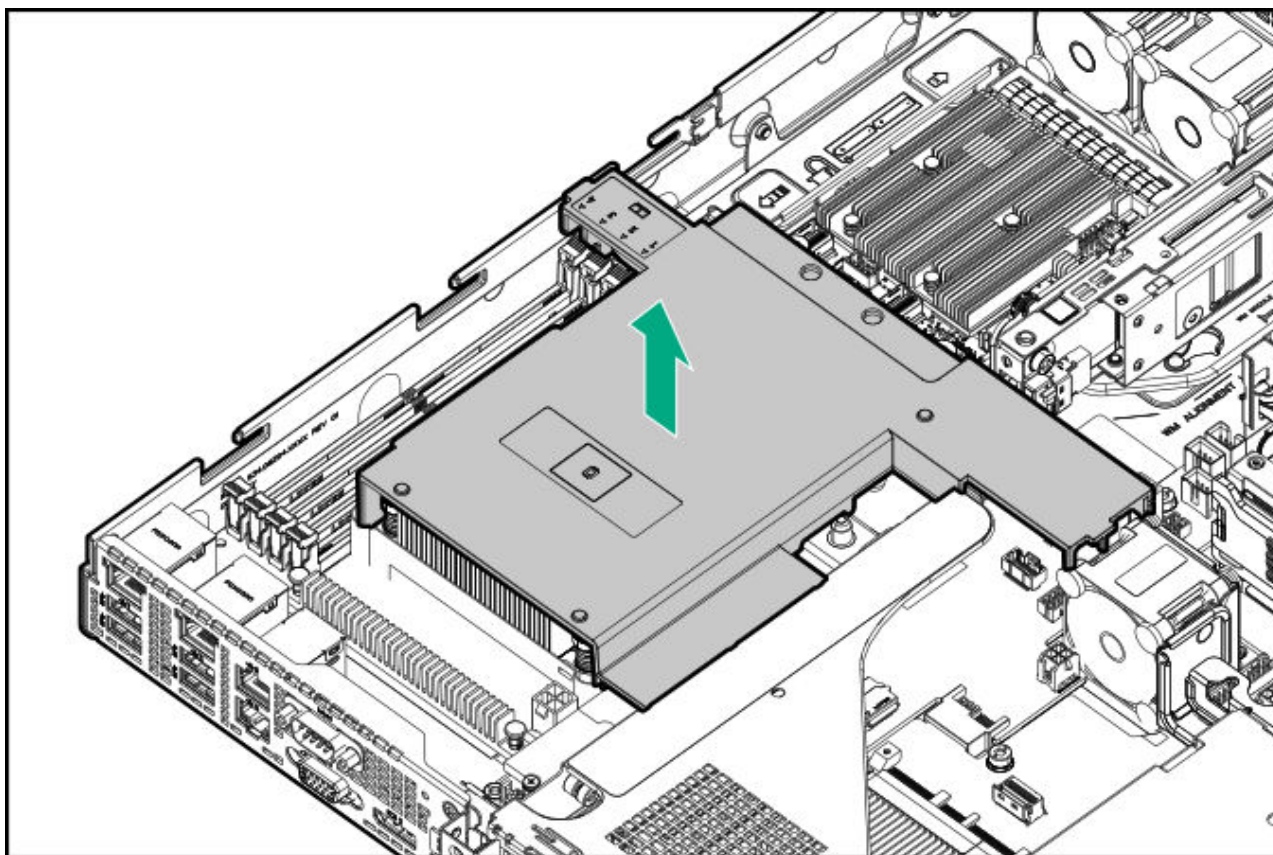
ポートブランクは EMI シールドを提供し、サーバー内の適切な熱状態を維持するのに役立ちます。対応する I/O ポートオプションが取り付けられていない状態でポートブランクが取り外されている場合は、サーバーを操作しないでください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. OCP エアバッフルを取り外します。

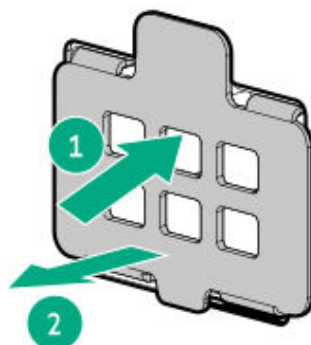


プロセッサエアバッフルを取り外します。

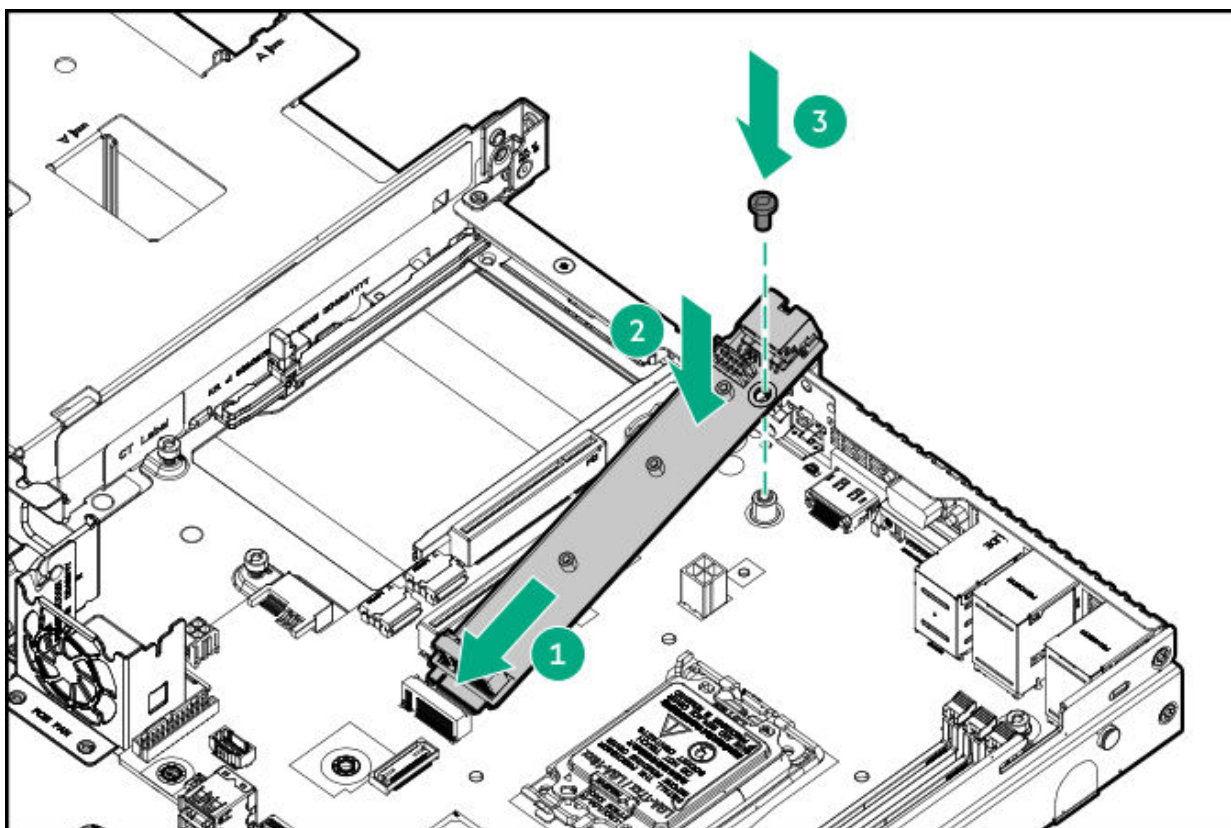


iLO-M.2 シリアルモジュールの取り付け

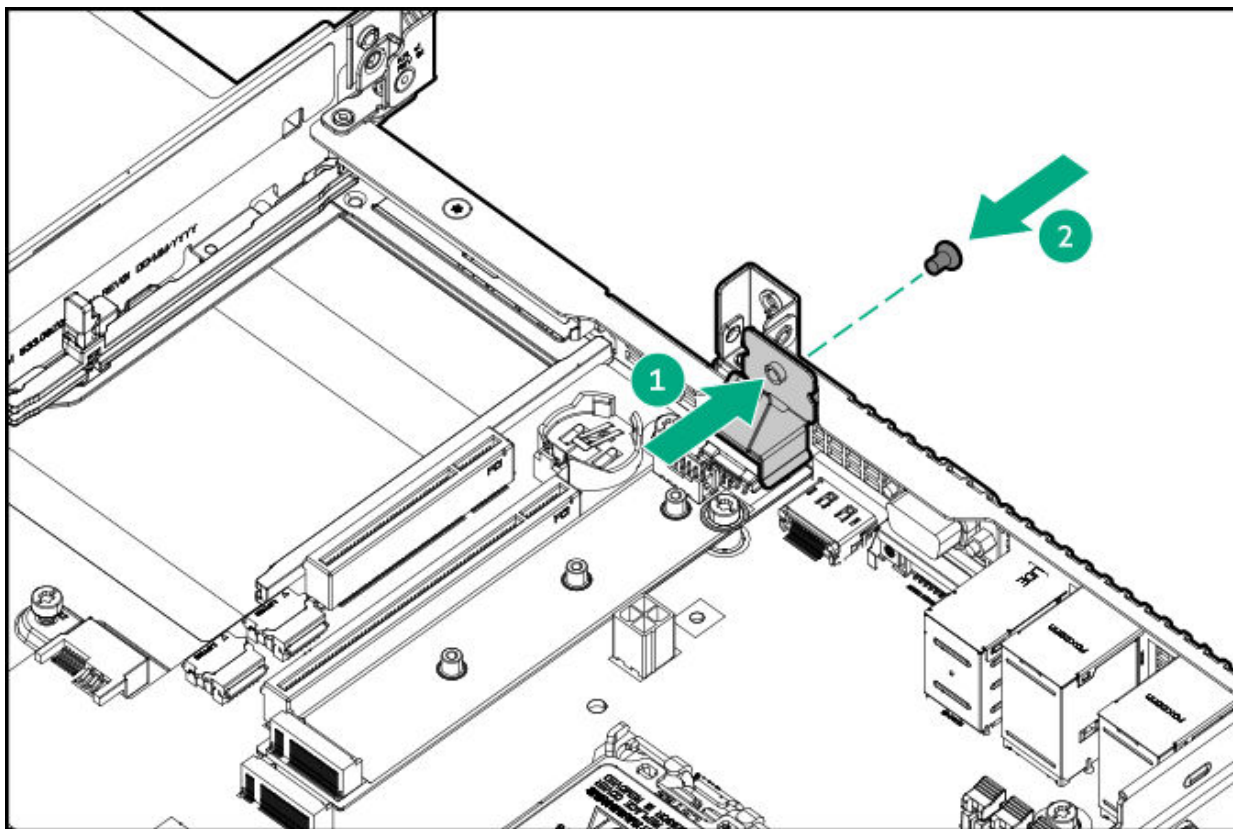
1. iLO 専用ネットワークポートブラックを取り外します。
 - a. スパッジャーを使用して、シャーシからブラックを持ち上げます。
 - b. ブラックを取り外します。



2. iLO-M.2 シリアルモジュールを取り付けます。
 - a. モジュールを 45 度の角度で M.2 スロットに挿入します。
 - b. モジュールを水平位置までゆっくりと押し下げます。
 - c. モジュールキットに付属しているモジュールのネジを取り付けます。



d. モジュール固定脚を取り付けます。

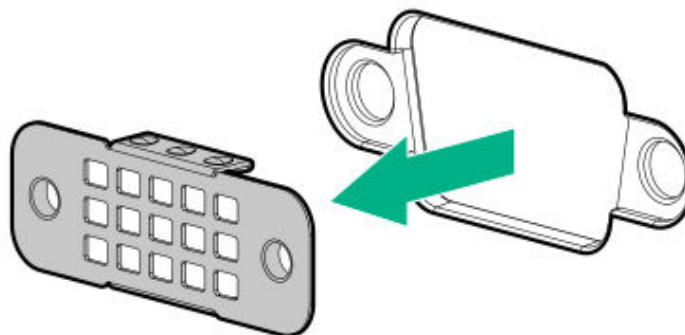


(オプション) M.2 SSD をモジュールに取り付けます。

シリアルポートの取り付け

シリアルポートブランクを取り外します。

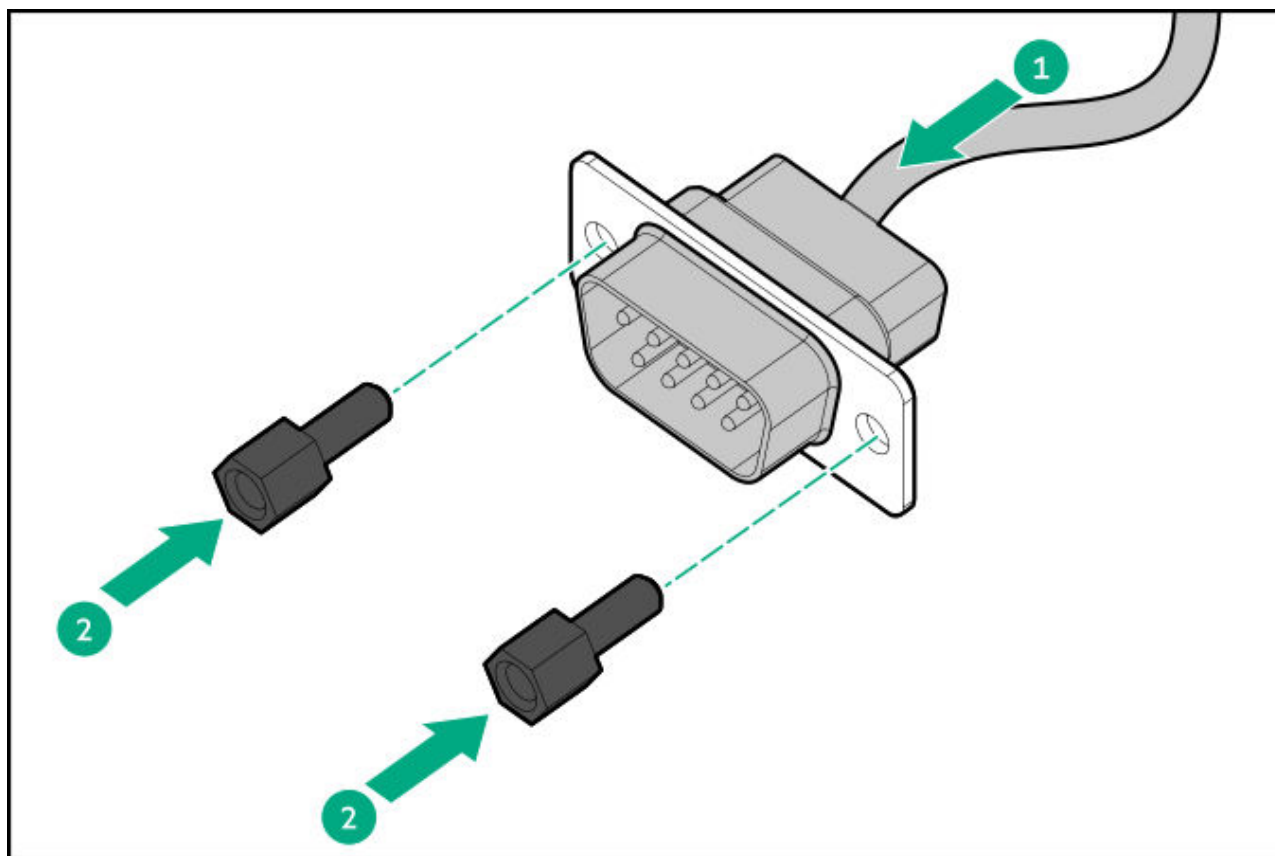
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



シリアルポートケーブルを取り付けます。

a. シリアルポートをリアパネルの開口部に挿入します。

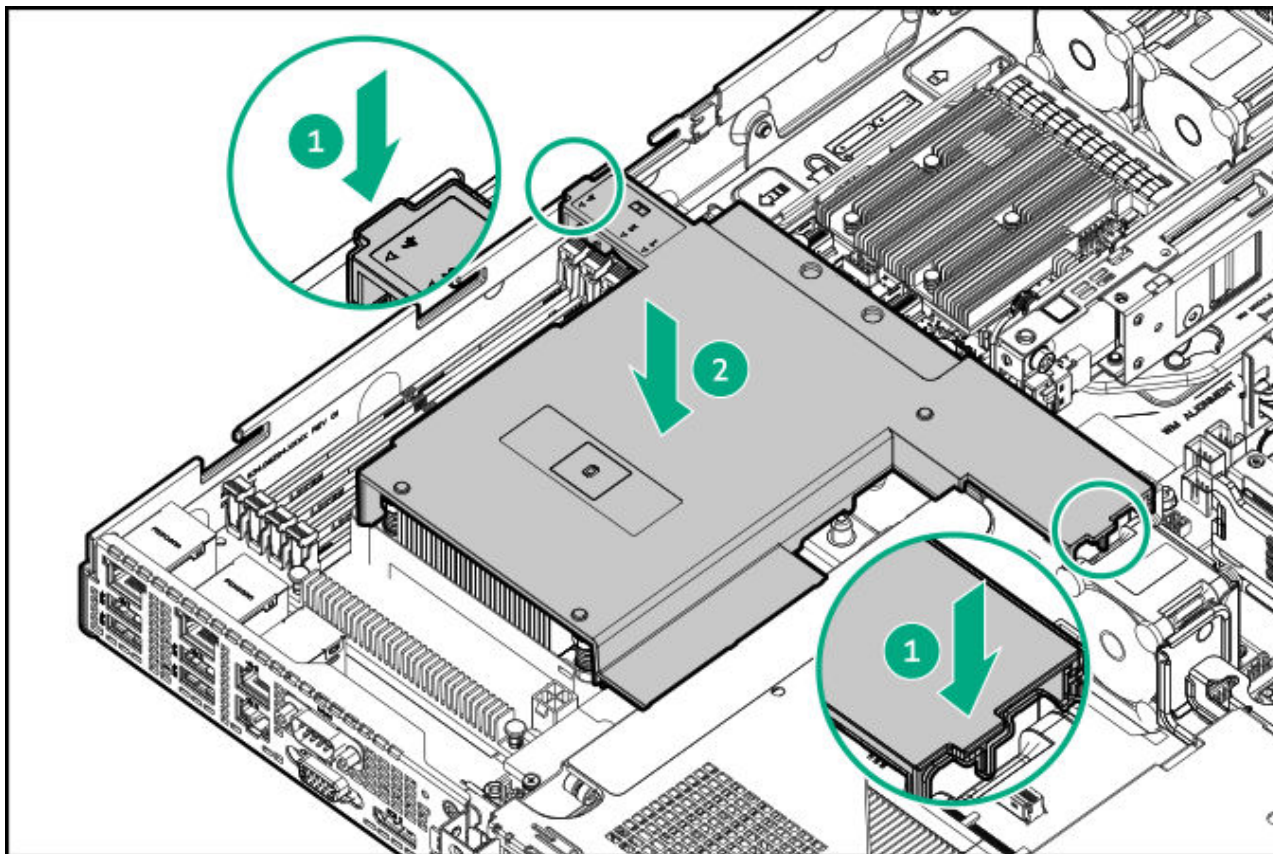
b. 六角ネジを取り付けます。



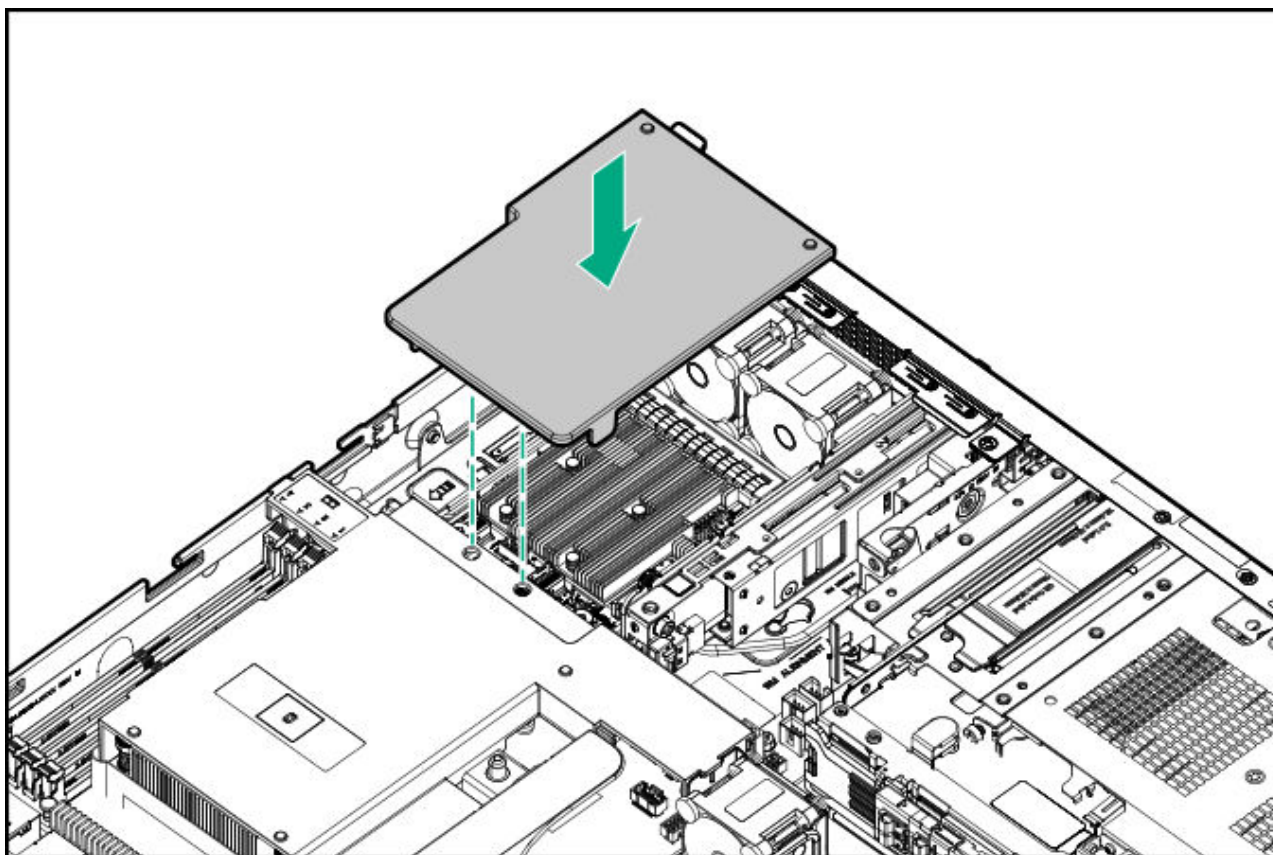
c. シリアルポートケーブルを iLO-M.2 シリアルモジュールに接続します。

取り付けの完了

d. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



1 OCP エアバッフルを取り付けます。



- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 4. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. サーバーの電源を入れます。

iLO 専用ネットワークポートの有効化



重要

iLO 構成設定がデフォルト値にリセットされると、そのマシンにリモートアクセスできなくなります。iLO 専用ネットワークポートを再度有効にするには、物理マシンにアクセスし、この項で説明する手順を繰り返します。

オンボード NIC 1/iLO 共有ポートがデフォルトのシステム iLO ポートです。

- a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。
- b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > iLO 6 構成ユーティリティ > ネットワークオプションを選択します。
- c. ネットワークインターフェイスアダプターフィールドをオンに設定し、Enter キーを押します。
- d. F10 キーを押して、変更を保存します。
- e. Enter キーを押して、iLO 設定を再起動します。
- f. メインメニューが表示されるまで Esc キーを押します。
- g. システムを再起動を選択して、ユーティリティを終了し、ブートプロセスを再開します。

iLO 専用ネットワークポートの IP アドレスが、後続の起動時に POST 画面に表示されます。後でこの IP アドレスを表示するには、もう一度ネットワークオプション画面にアクセスします。

シリアルポートを構成する

- 1. シリアルポート設定を構成するには、以下を行います。
 - a. ブート画面で、F9 キーを押して、UEFI システムユーティリティにアクセスします。

- b. システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > システムオプション > シリアルポートオプション > 内蔵シリアルポートを選択します。
- c. 設定を選択します。
- d. F12 キーを押して、選択内容を保存します。
- e. はい - 変更の保存をクリックします。
- f. 再起動をクリックします。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

M. 2 SSD オプション

メインボード上の M. 2 スロットでは、SSD を直接取り付けることはサポートしていません。このスロットは代わりに、iLO-M. 2 シリアルモジュールをサポートします。2280 または 22110 フォームファクターの NVMe SSD を取り付けるには、このモジュールを使用してください。

M. 2 SSD は以下の目的のために取り付けます。

- ・ フラッシュソリューションからの起動
- ・ データバックアップ/冗長性

サブトピック

iLO-M. 2 シリアルモジュールへの M. 2 SSD の取り付け

iLO-M. 2 シリアルモジュールへの M. 2 SSD の取り付け

前提条件

- ・ iLO-M. 2 シリアルモジュールがサーバーに取り付けられている。
- ・ この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。
 - プラスドライバー (No. 1)
 - 4.5 mm 六角ナットドライバー：このツールは M. 2 SSD を取り付けるときに必要です。

このタスクについて

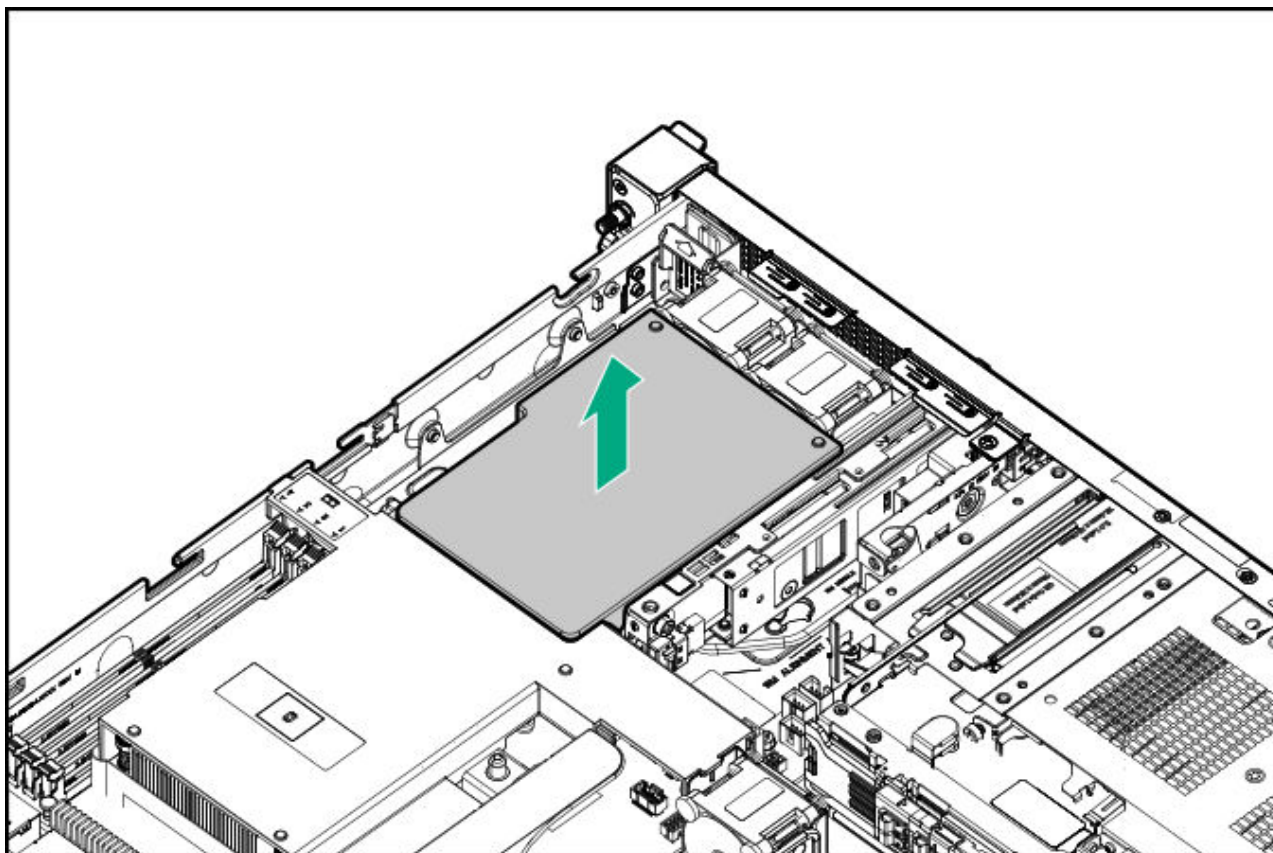


注意

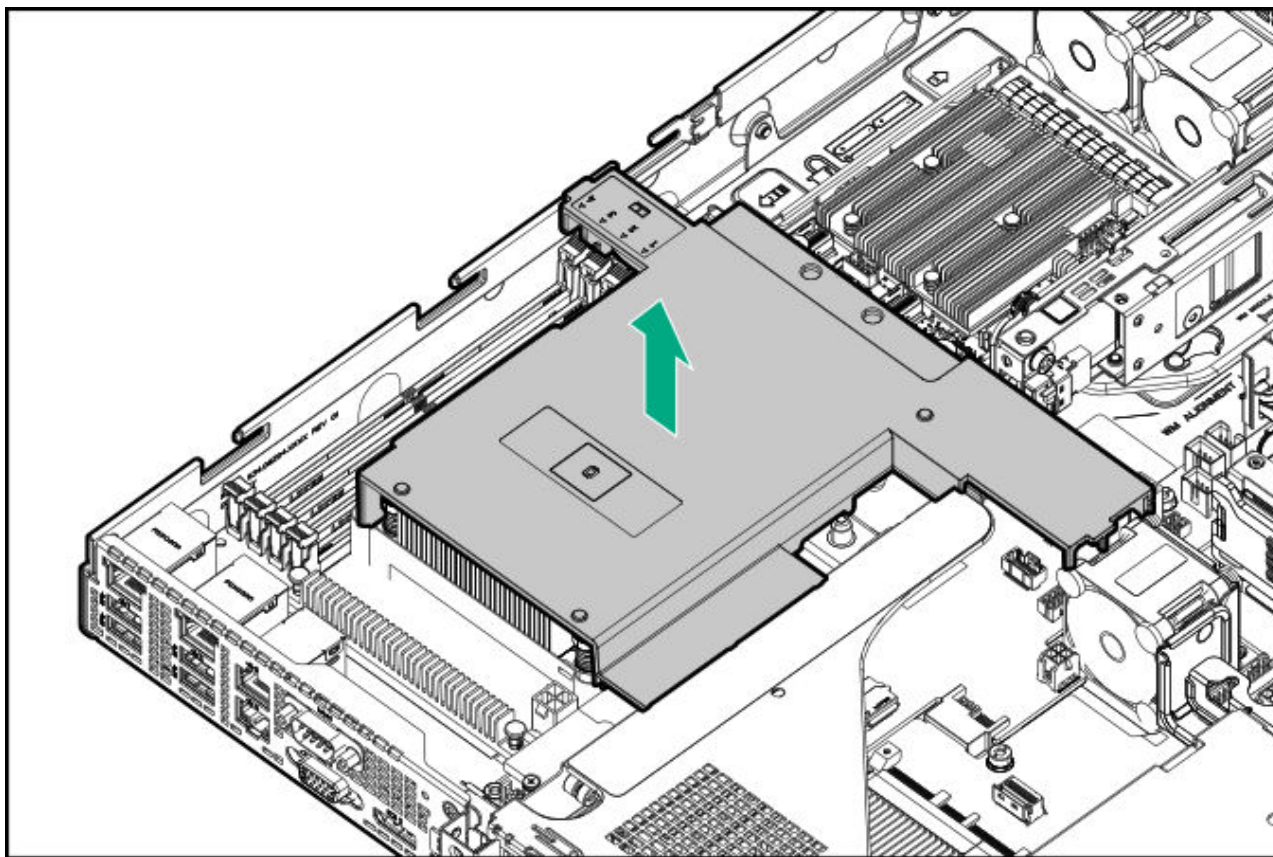
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. OCP エアバッフルを取り外します。

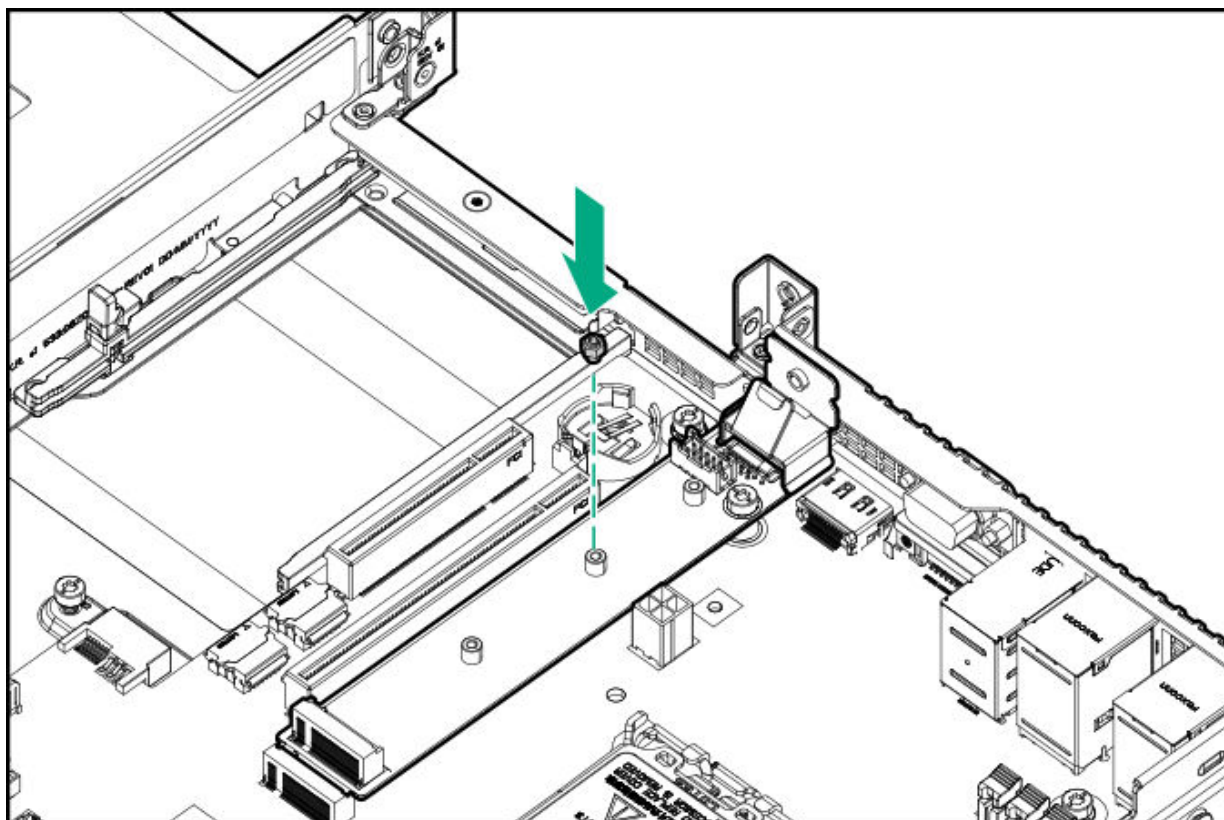


1. プロセッサエアバッフルを取り外します。

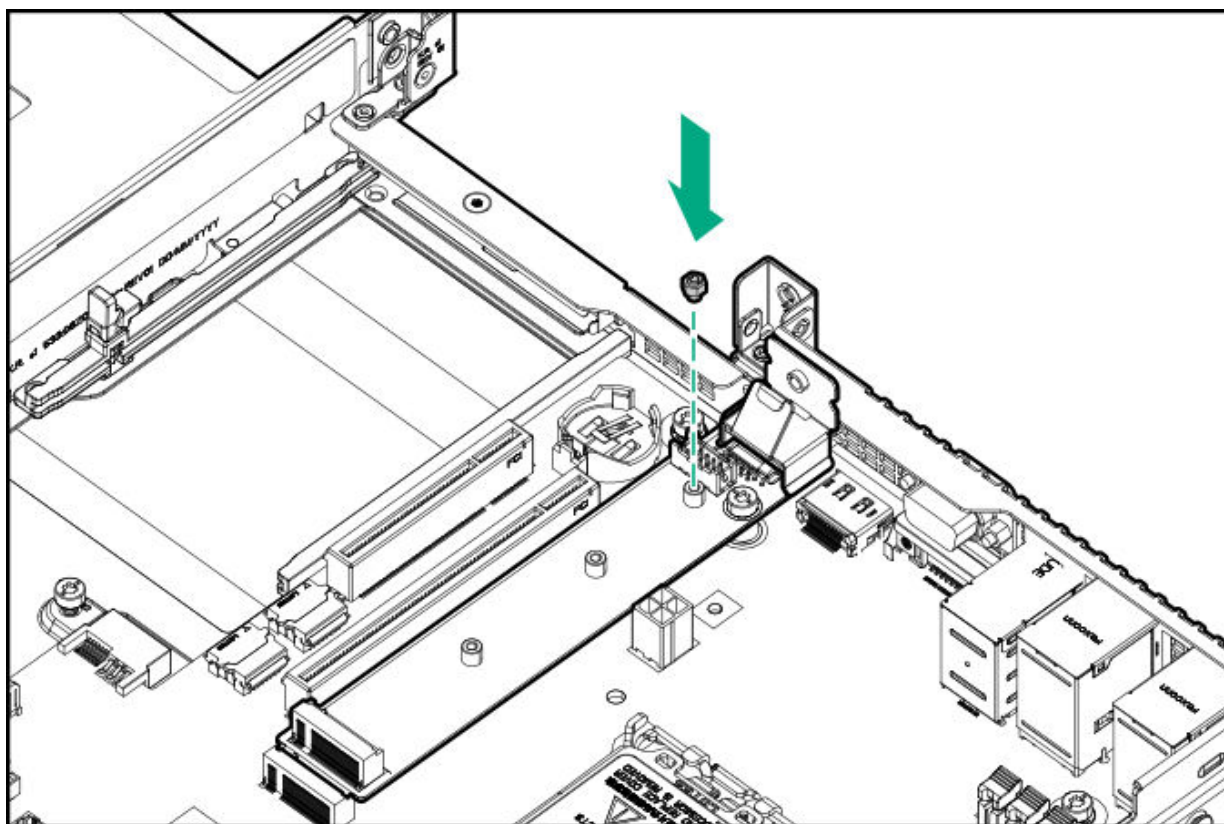


2. iLO-M.2 シリアルモジュールオプションキットの六角ナットを M.2 の突起位置に取り付けます。

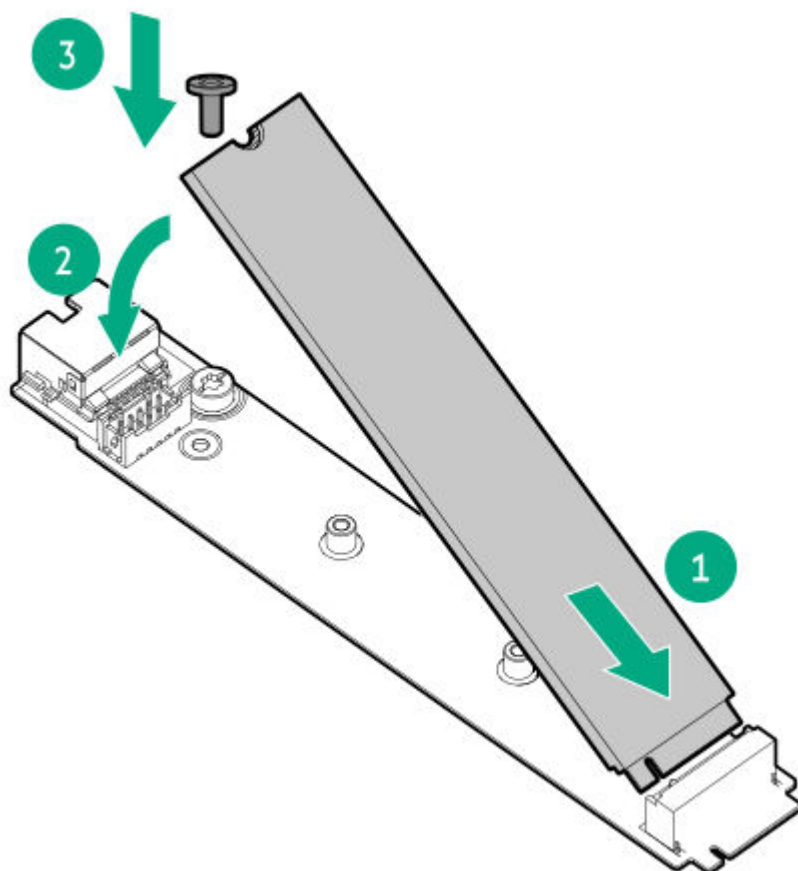
- ・ M.2 2280



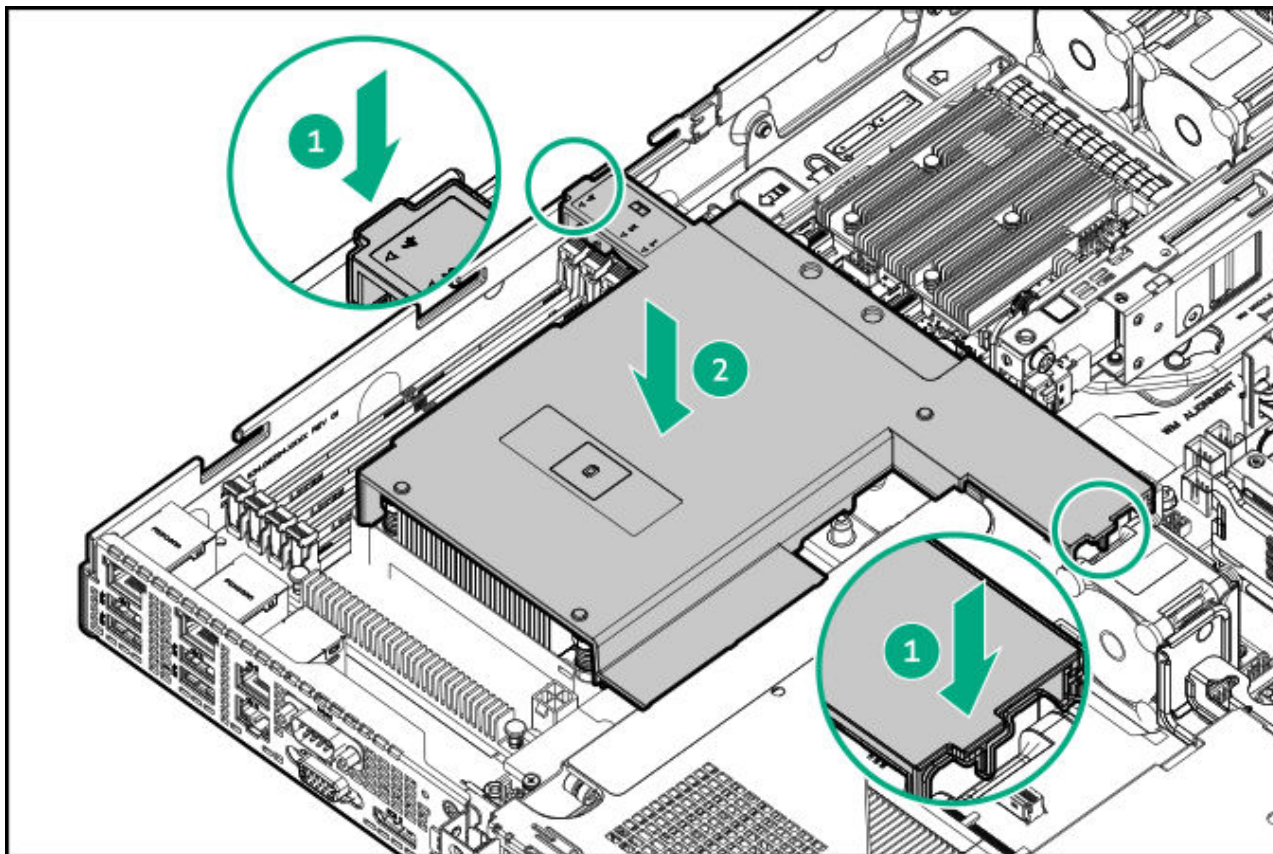
・ M.2 22110



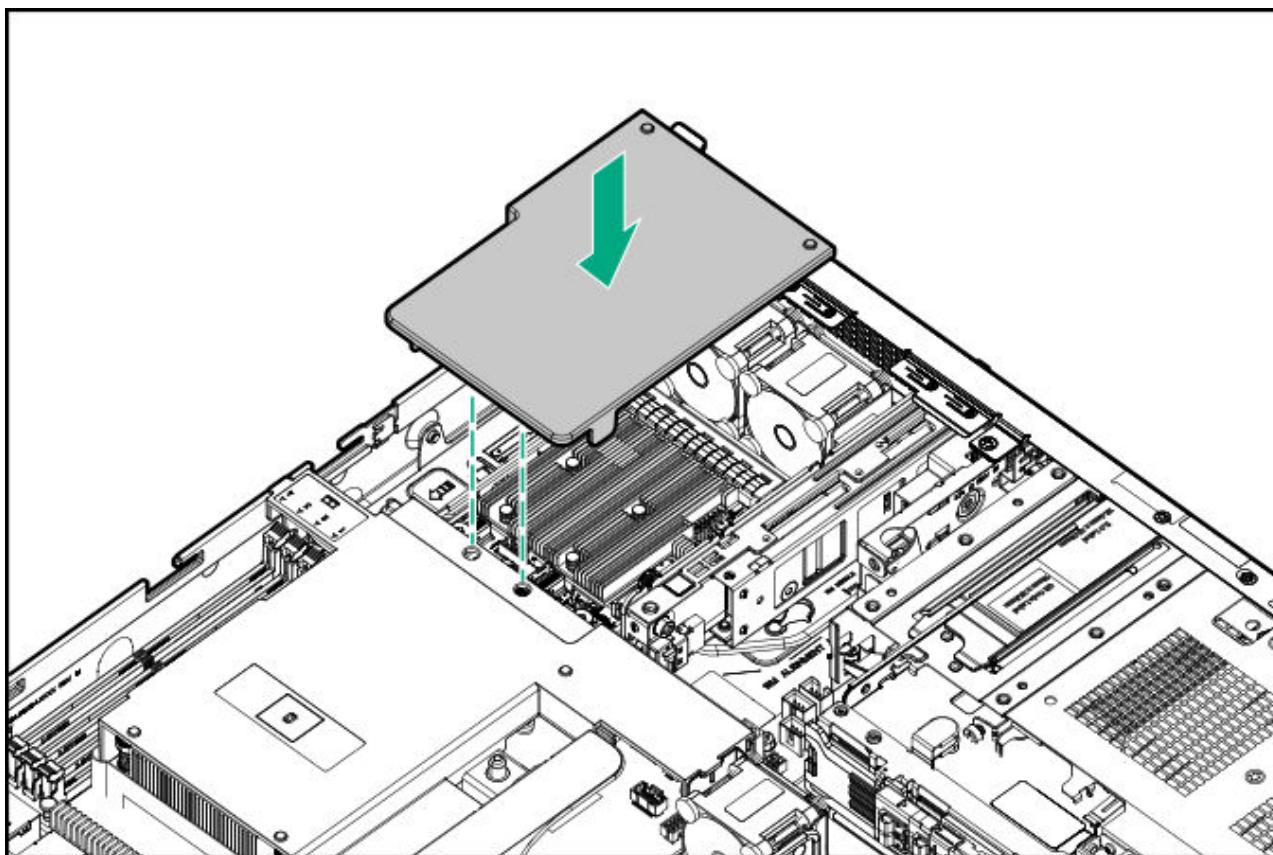
- l. SSD を取り付けます。
 - a. SSD を iLO-M.2 シリアルモジュールに 45° の角度で挿入します。
 - b. SSD を水平位置までゆっくりと押し下げます。
 - c. SSD の取り付けネジを取り付けます。



- l. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



OCP エアバッフルを取り付けます。



- 1. アクセスパネルを取り付けます。
- 2. サーバーをラックに取り付けます。
- 3. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- 4. 各電源コードをサーバーに接続します。
- 5. 各電源コードを電源ソースに接続します。
- 6. サーバーの電源を入れます。
- 7. M.2 SSD を構成するには、ネイティブ OS NVMe ドライバーを使用します。関連する OS ドキュメントを参照してください。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

シャーシ侵入検知スイッチのオプション

シャーシ侵入検知スイッチにより、アクセスパネルが物理的に開かれたり取り外されたりするたびに、iLO ではインテグレートッドマネジメントログ (IML) にイベントが記録されます。また、シャーシ侵入が検知されるたびに、BIOS にアラートが送信されます。シャーシ侵入検知は、サーバーが接続されている間は、サーバーの電源がオンであるかオフであるかに関係なく発生します。

サブトピック

シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

このタスクについて

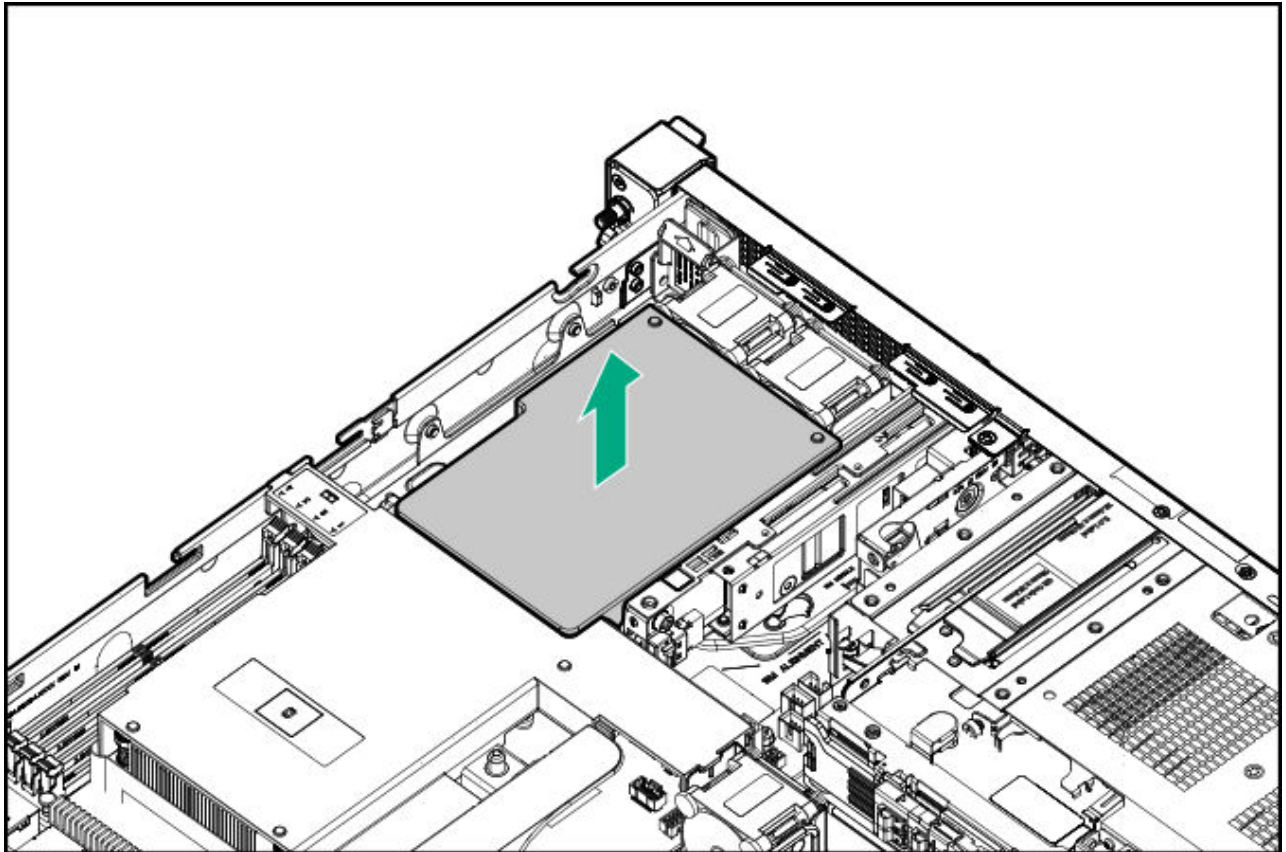


注意

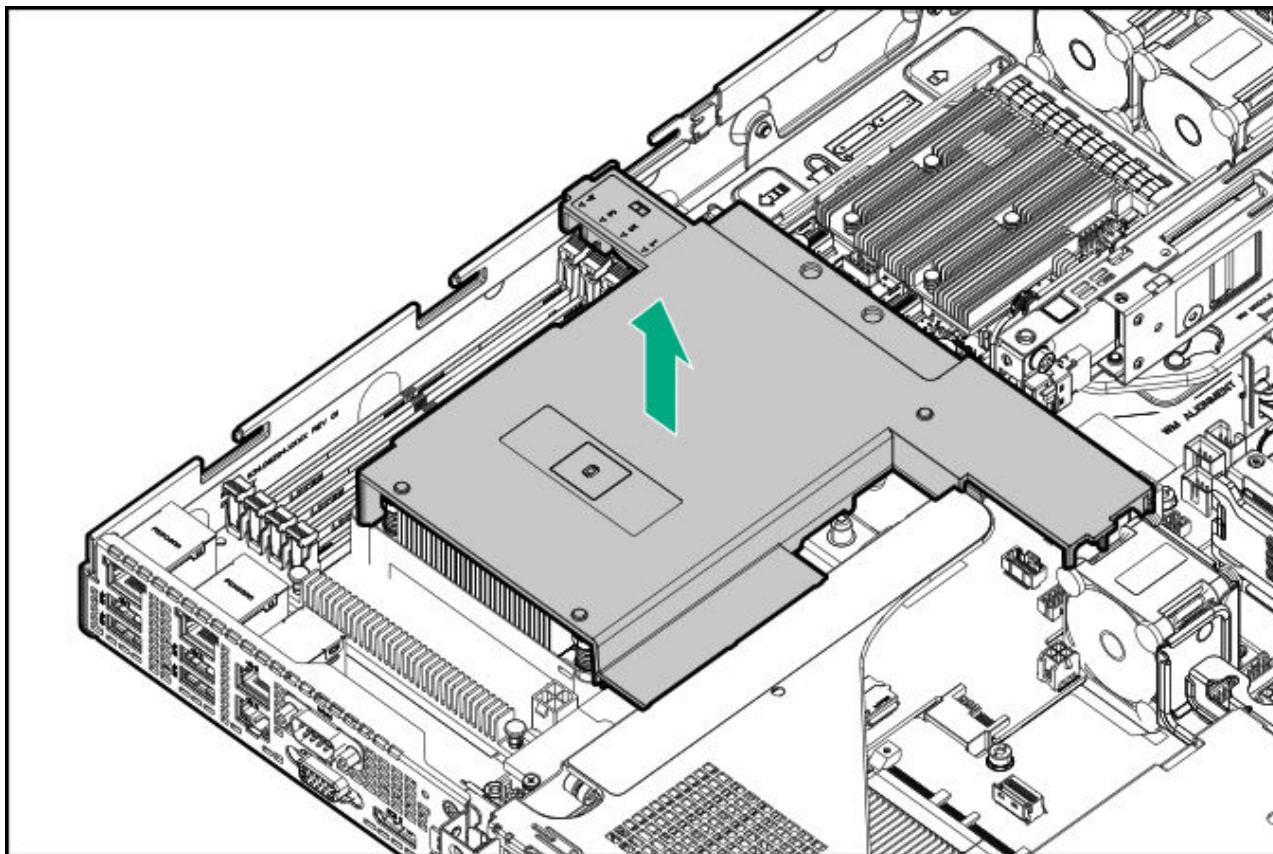
人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. OCP エアバッフルを取り外します。

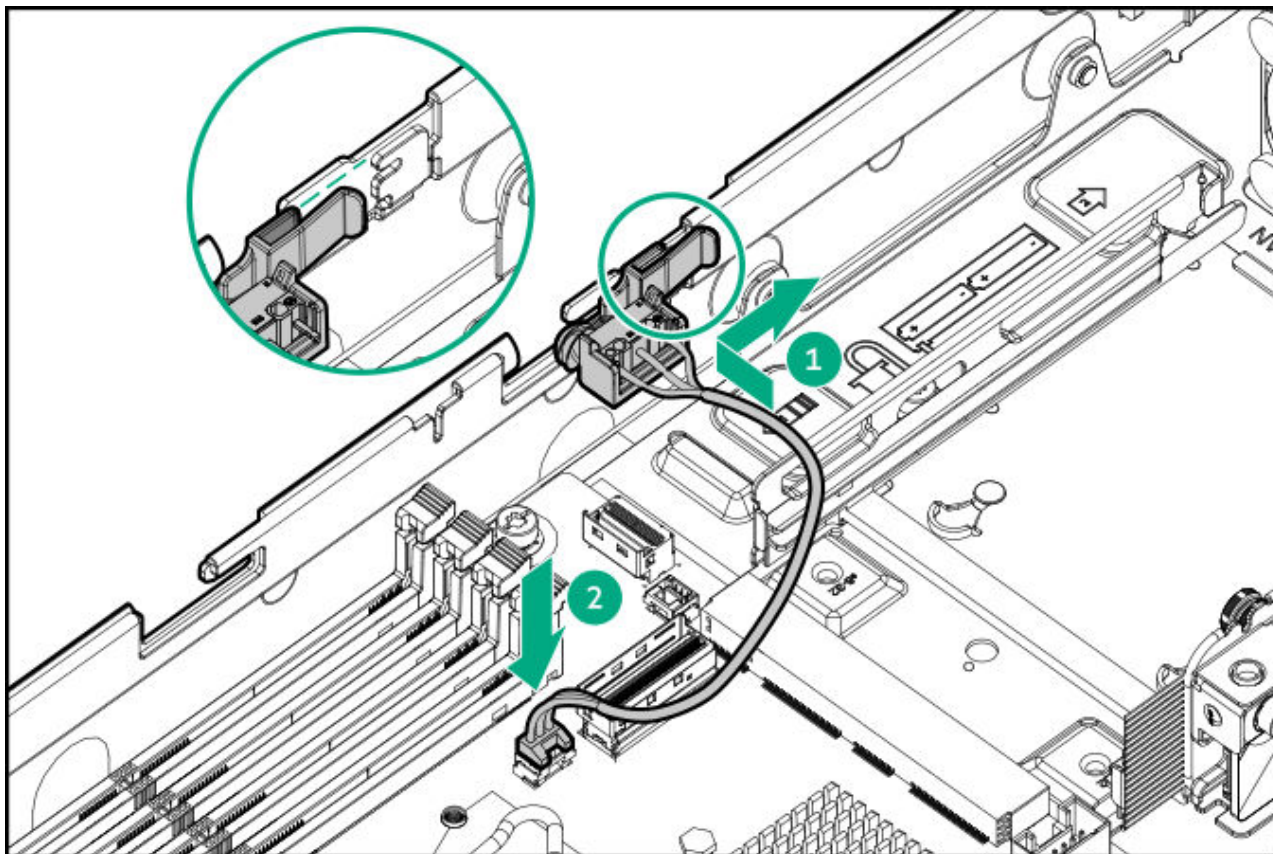


8. プロセッサエアバッフルを取り外します。

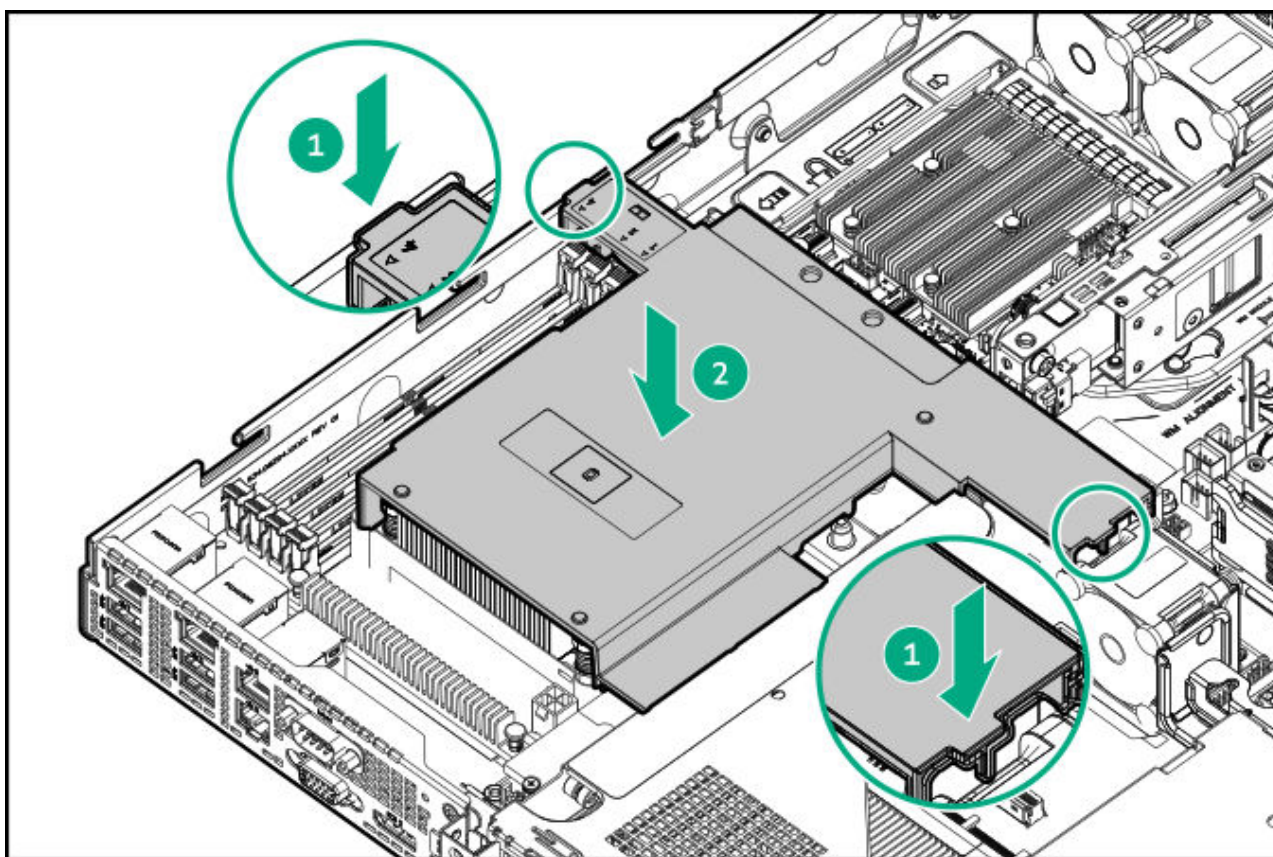


シャーシ侵入検知スイッチを取り付けます。

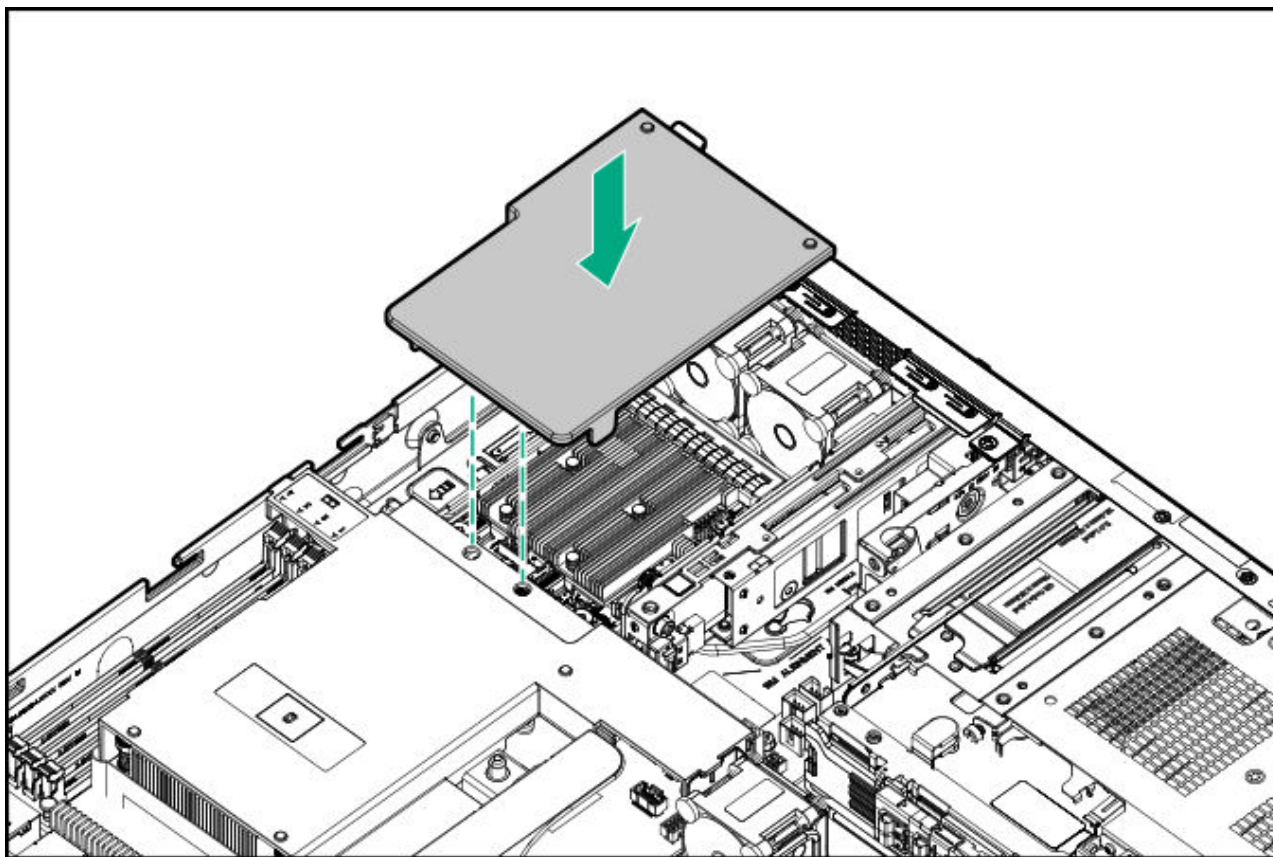
- a. カチッと音がしてスイッチが所定の位置に収まるまで、スイッチタブをシャーシスロットに挿入します。
- b. スイッチケーブルを接続し、残りのケーブルを配線します。



1. プロセッサエアバッフルを取り付けます。



。 OCP エアバッフルを取り付けます。



。 アクセスパネルを取り付けます。

。 サーバーをラックに取り付けます。

。 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

。 各電源コードをサーバーに接続します。

。 各電源コードを電源ソースに接続します。

。 サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

UEFI システムユーティリティのシステム侵入検知設定は、シャーシ侵入検知スイッチを取り付けると自動的に有効になります。侵入イベントのログを表示するには、iLO Web インターフェイスを使用して IML または iLO イベントログにアクセスします。詳しくは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト (<https://www.hpe.com/support/ilo-docs>) にある iLO ユーザーガイドを参照してください。

内部 USB デバイスのオプション

サーバーには、スタックされた内部デュアル USB 3.2 Gen 2 ポートが備わっており、次の目的で、内部 USB フラッシュメディアデバイスを取り付けるために使用できます。

- ・ フラッシュソリューションからの起動
- ・ データバックアップ/冗長性

サブトピック

内蔵 USB デバイスの取り付け

内蔵 USB デバイスの取り付け

このタスクについて



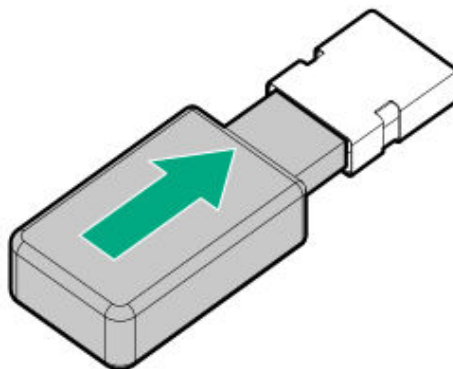
注意

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. サーバーからすべての周辺ケーブルを抜き取ります。
4. サーバーをラックから取り外します。
5. サーバーを平らで水平な作業台に置きます。
6. アクセスパネルを取り外します。
7. 内部 USB ポートの位置を確認します。
8. 内部 USB に十分なスペースを確保するには、結束バンドを使用して、内部 USB ポートの邪魔になる ファンとフロント I/O のケーブル を固定します。

- ・ USB ポートに USB デバイスを差し込みます。



- ・ アクセスパネルを取り付けます。
- ・ サーバーをラックに取り付けます。
- ・ 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードをサーバーに接続します。
- ・ 各電源コードを電源ソースに接続します。
- ・ サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

取り付け手順は完了です。

ケーブル接続

この章には、内部コンポーネントのケーブル接続に関するケーブル接続のガイドラインと図が含まれています。

サブトピック

ケーブル接続のガイドライン

ケーブル配線図

内部ケーブル管理

ストレージのケーブル接続

オプティカルドライブのケーブル接続

HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続

外部 OCP 有効化のケーブル接続

ファンのケーブル接続

シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。



注記

ケーブル配線図の色は、説明目的でのみ使用されます。



注意

コネクタの損傷を防ぐため、ケーブルの抜き差しを繰り返さないでください。過剰な取り扱いはケーブルの寿命を縮める可能性があります。

- ・ ケーブルオプションキットについては、製品の QuickSpecs を参照してください。
- ・ ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- ・ 一部の図では、A、B、C などのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクタ近くのラベルに対応しています。
- ・ Y ケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクタがありますが、すべてのコネクタが使用されるわけではありません。
- ・ サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

- ・ PCA コンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）

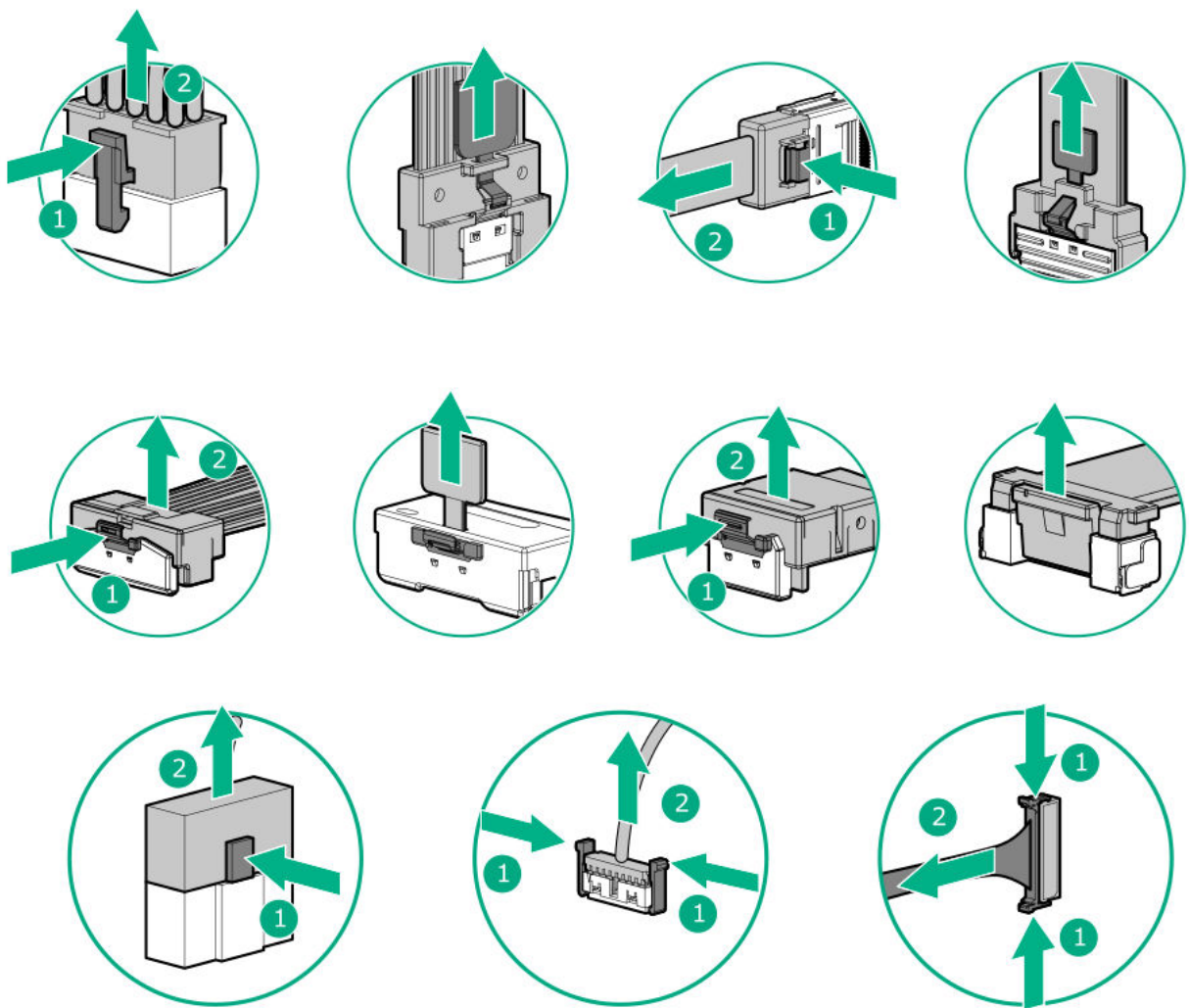
- ・ 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- ・ 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- ・ 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

- ・ ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- ・ 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ・ ケーブルは、ヒートシンクなどの冷却コンポーネントに接触したり、上に置いたりしないように配線してください。ケーブル配線がヒートシンクや通気用開口部の通気を妨げないようにしてください
- ・ ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- ・ 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- ・ 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- ・ 新しいコンポーネントを取り付ける前、またはサーバーを閉じる前に、すべてのケーブルが適切な配線位置にあることを確認してください。このケーブルチェックにより、コンポーネントの損傷や信号干渉の可能性を防ぎます。

ケーブルを取り外す場合

- ・ ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ・ ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- ・ 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合は、再利用できるようにラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

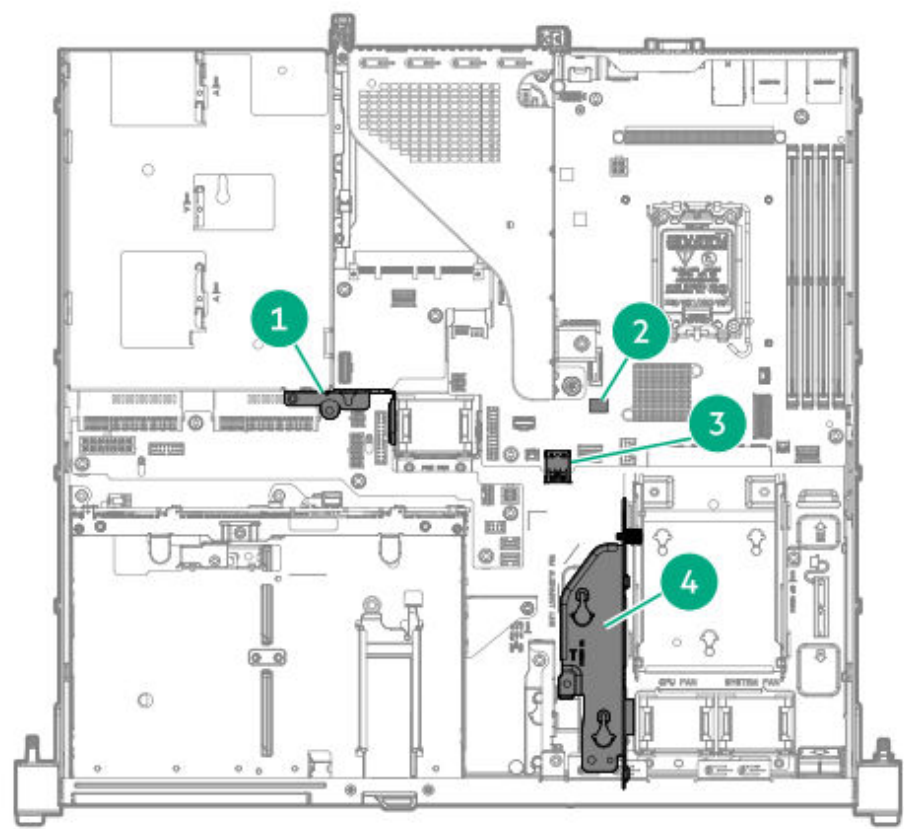
次の注意事項に従ってください。

- ・ コンポーネントを配線する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ・ ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
2 LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブのストレージコントローラーおよび電源ケーブル	P63686-001
2 LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブのストレージコントローラーケーブル	–
オンボード SATA ケーブル	P63692-001
タイプ o コントローラー	P63698-001
タイプ p コントローラー	P63695-001
4 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのストレージコントローラーケーブル	–
オンボード SATA ケーブル	P63074-001
タイプ o コントローラーケーブル	P63698-001
タイプ p コントローラーケーブル	P63695-001
4+2 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのストレージコントローラーケーブル	–
ボックス 1 ドライブのオンボード SATA ケーブル	P63074-001
ボックス 2 ドライブのオンボード SATA ケーブル	P63694-001
ボックス 1 および 2 からシングルポートタイプ o コントローラーへのケーブル	P63699-001
ボックス 1 からデュアルポートタイプ o コントローラーポート 1 へのケーブル	P63700-001
ボックス 2 からデュアルポートタイプ o コントローラーポート 2 へのケーブル	P63698-001
ボックス 1 からタイプ p コントローラーポート 1 へのケーブル	P63696-001
ボックス 2 からタイプ p コントローラーポート 2 へのケーブル	P63695-001
ドライブ電源ケーブル	–
2 LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ電源ケーブル	P63687-001
4 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ電源ケーブル	P63688-001
4+2 ドライブ電源ケーブル	–
ボックス 1	P06066-001
ボックス 2	P63688-001
ストレージコントローラーのバックアップケーブル	877850-001
オプティカルドライブケーブル : 2 LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブ構成	–

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
信号+電源ケーブル	P63686-001
オプティカルドライブケーブル : 2 LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成	–
ドライブのオンボードコントローラー : 信号+電源ケーブル	P63692-001
タイプ o またはタイプ p コントローラー : 信号ケーブル	P63702-001
タイプ o またはタイプ p コントローラー : 電源延長ケーブル	P63687-001
オプティカルドライブケーブル : 4 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成	–
ドライブのオンボードコントローラー : 信号ケーブル	P63701-001
ドライブのオンボードコントローラー : 電源延長ケーブル	P63688-001
タイプ o またはタイプ p コントローラー : 信号ケーブル	P63702-001
タイプ o またはタイプ p コントローラー : 電源延長ケーブル	P63688-001
HPE NS204i-u ブートデバイスカابل	–
電源ケーブル	P63685-001
信号ケーブル	P63684-001
外部 OCP ケーブル	–
外部 OCP PCIe ケーブル	P63683-001
外部 OCP サイドバンドケーブル	P63690-001
シャーシ侵入検知スイッチケーブル	P47751-001
シリアルポートケーブル	P63693-001
各種ケーブル	–
フロント I/O ケーブル	P63681-001
プロセッサの 4 ピン電源ケーブル	P63691-001
電源装置サイドバンドケーブル	P63689-001
PDB からシステムボードへの 4 ピン電源ケーブル	P63697-001

内部ケーブル管理



番号	説明
1	ケーブルガード
2	インダクター
3	スタックされた内部 USB ポート
4	HPE NS204i-u ブートデバイスブラケット

ストレージのケーブル接続

サブトピック

- [ストレージコントローラーのケーブル接続](#)
- [ドライブ電源のケーブル接続](#)
- [Energy Pack のケーブル接続](#)
- [ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続](#)

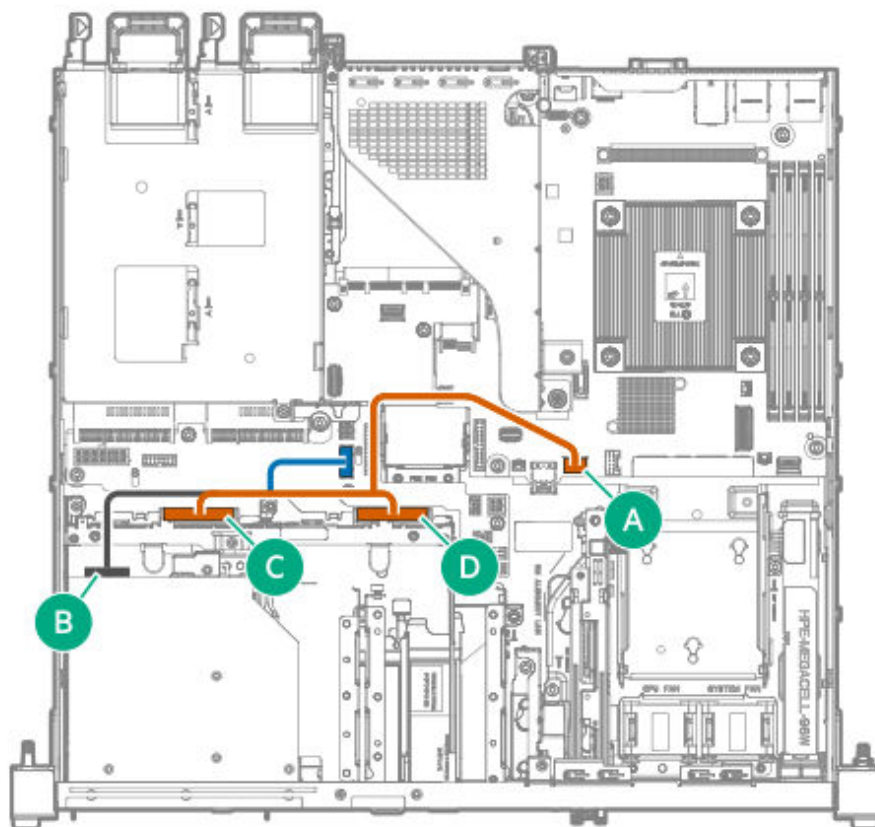
ストレージコントローラーのケーブル接続

サブトピック

- 2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブのケーブル接続
- 2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続
- 4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続
- 4+2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続

2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブのケーブル接続

2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブ構成では、ドライブのオプティカルドライブ信号とドライブ電源の接続に、あらかじめ取り付けられている 1 本のマルチコネクターケーブルを使用します。

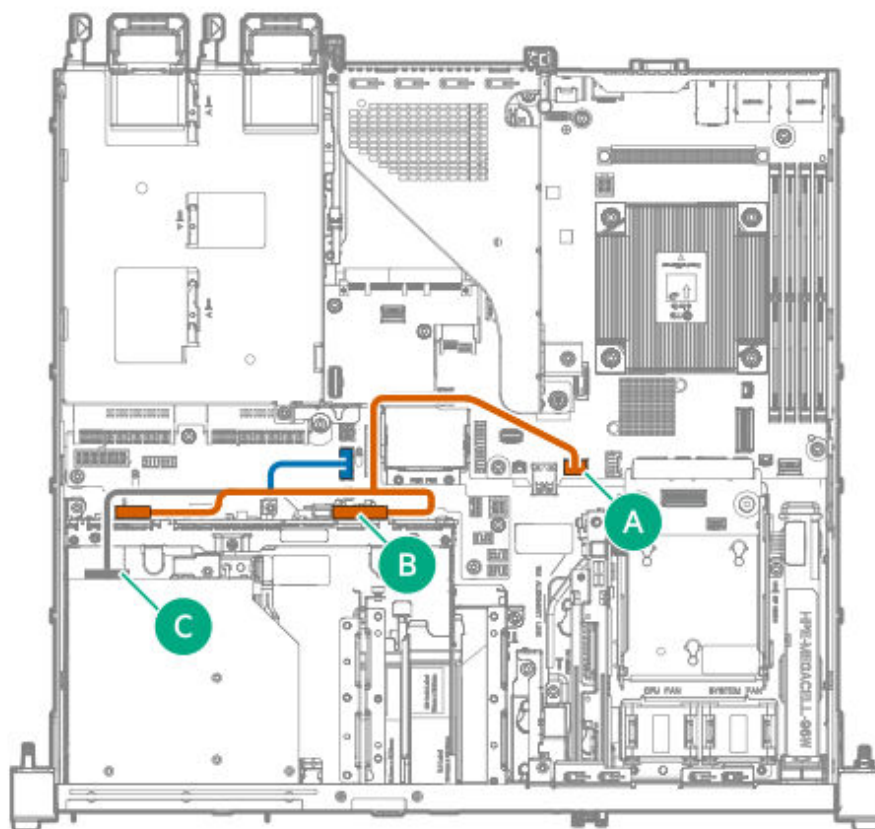


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63686-001	オレンジ色	・ ドライブ 1 ポート ・ ドライブ 2 ポート	SlimSAS x4 ポート 2
	青色	—	ドライブバックプレーン電源コネクタ

2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続

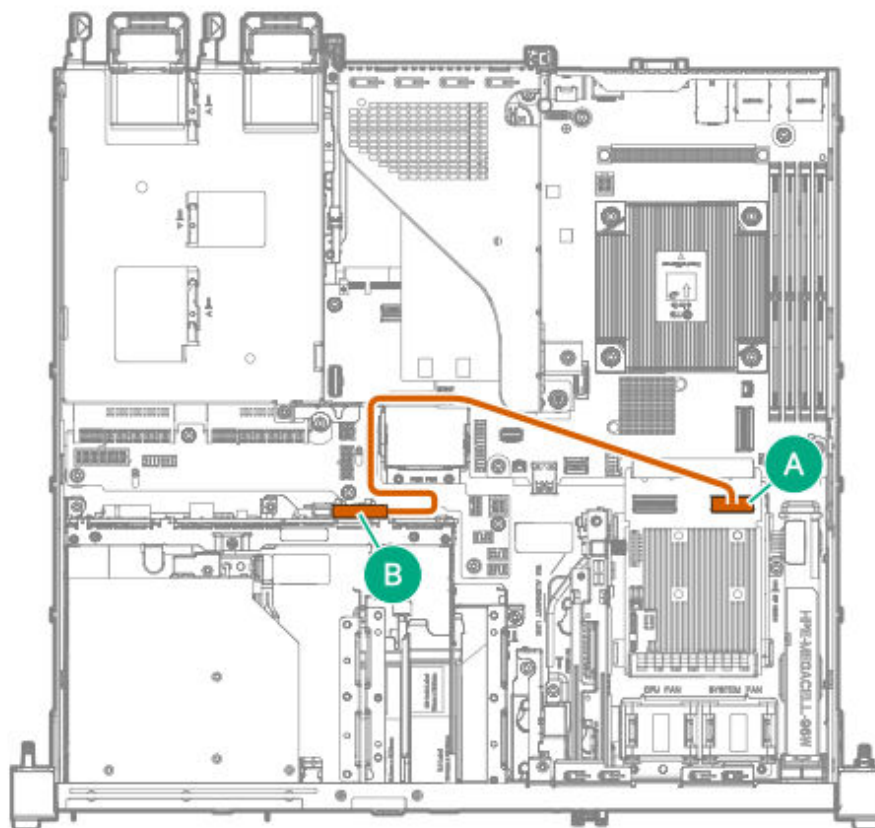
2 ベイ LFF (3.5 型) ドライブ : オンボード SATA のケーブル接続

2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成では、ドライブのオプティカルドライブ信号とドライブ電源の接続に、あらかじめ取り付けられている 1 本のマルチコネクターケーブルを使用します。



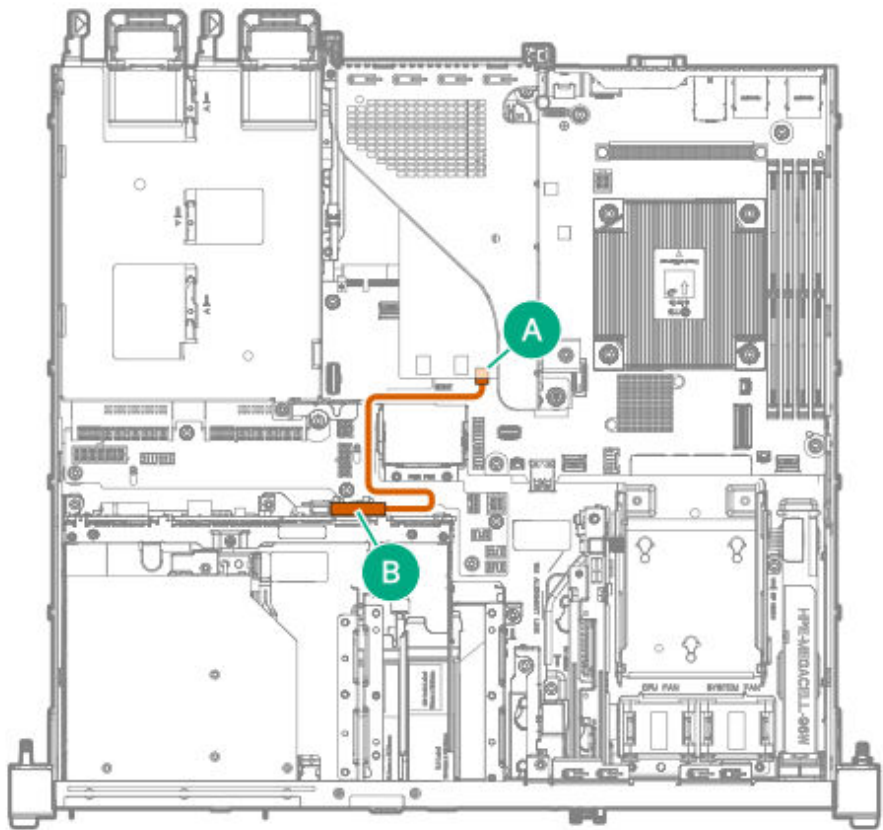
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63692-001	オレンジ色	- ドライブボックス 1 MiniSAS ポート - ドライブボックス 1 の電源コネクタ	SlimSAS x4 ポート 2
	青色	—	ドライブバックプレーン電源コネクタ

2 ベイ LFF (3.5 型) ドライブ : タイプ o コントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63698-001	オレンジ色	ドライブボックス 1 MiniSAS ポート	タイプ o コントローラーのポート 2

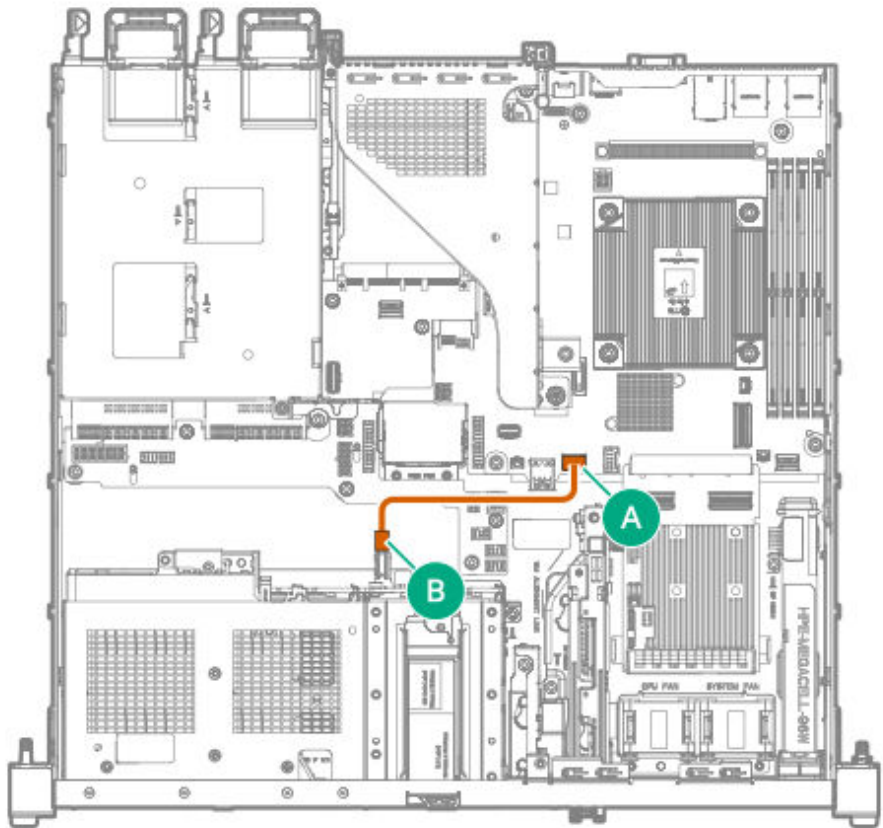
2 ベイ LFF (3.5 型) ドライブ : タイプ p コントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63695-001	オレンジ色	ドライブボックス 1 M iniSAS ポート	タイプ p コントローラーのポート 2

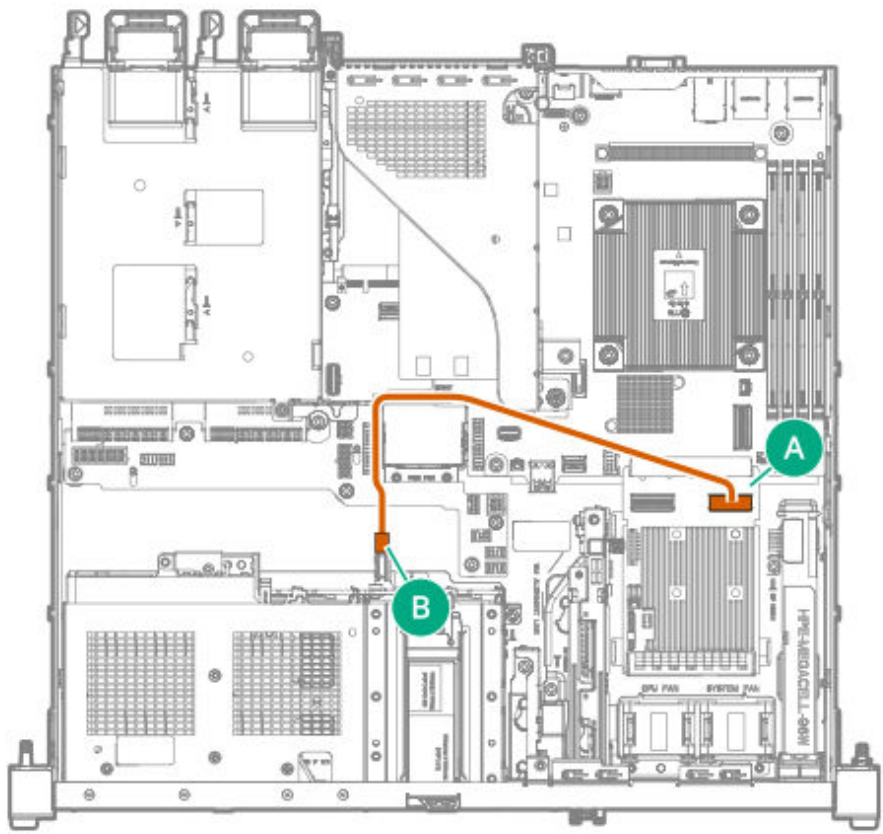
4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続

4 ベイ SFF (2.5 型) ドライブ : オンボード SATA のケーブル接続



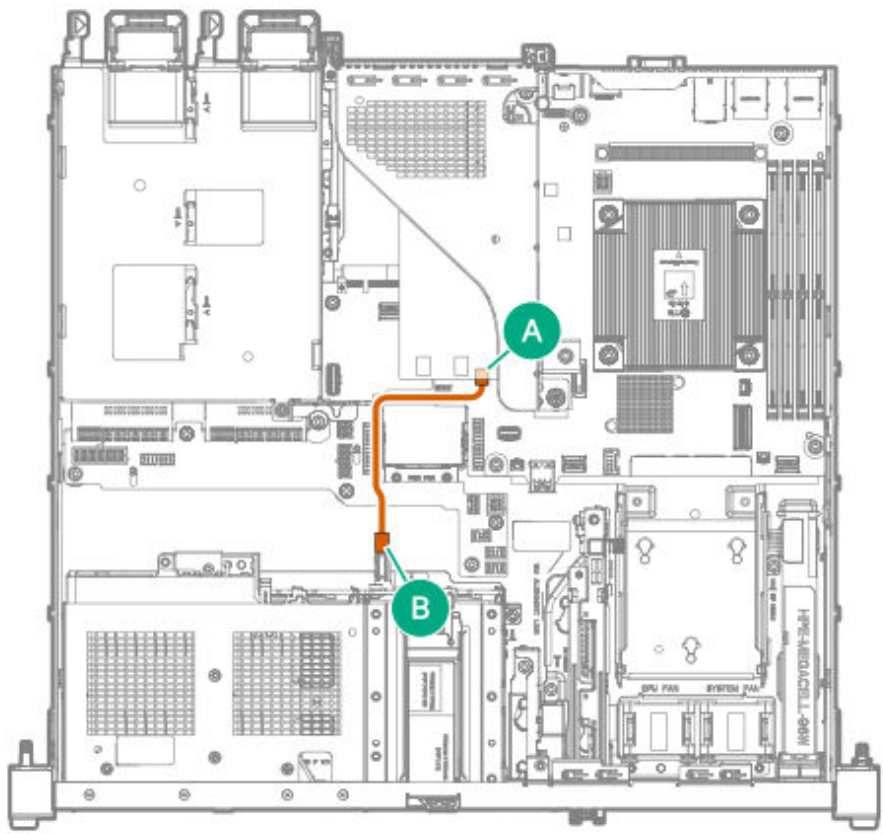
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63074-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 M SlimSAS x4 ポート 2 iniSAS ポート	

4 SFF (2.5 型) ドライブ : タイプ o コントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63698-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 M iniSAS ポート	タイプ o コントローラーのポート 2

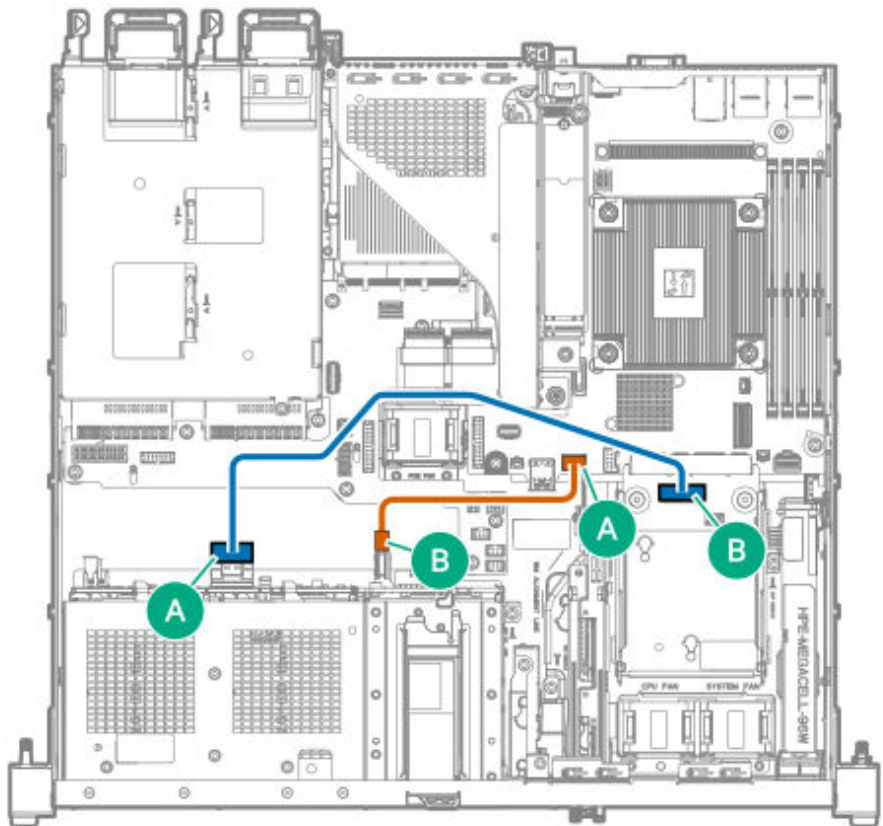
4 SFF (2.5 型) ドライブ : タイプ p コントローラーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63695-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 M iniSAS ポート	タイプ p コントローラーのポート 2

4+2 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブのケーブル接続

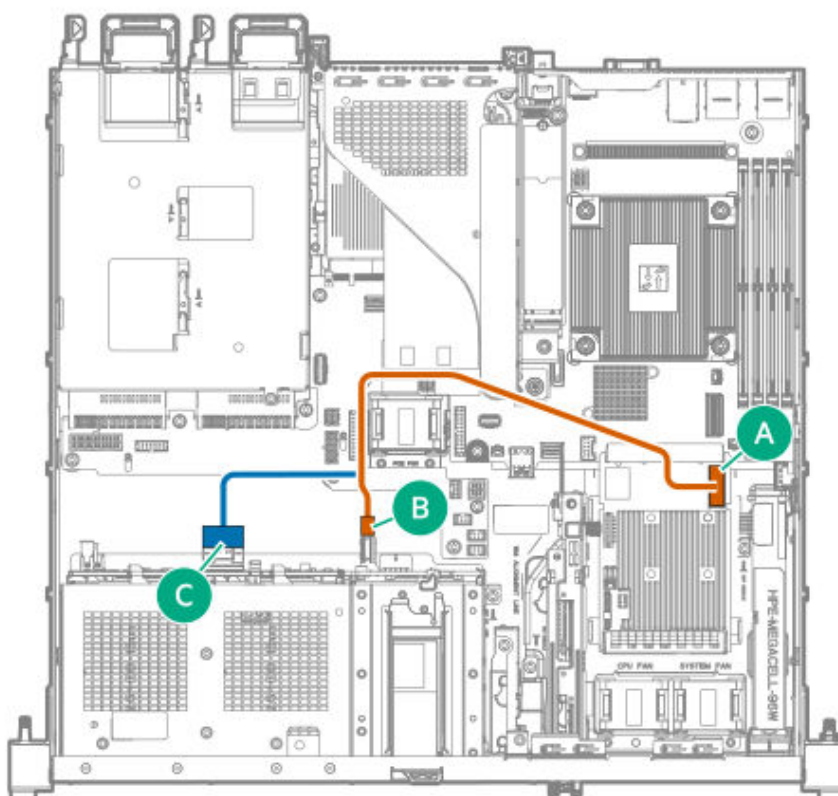
4+2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブ : オンボード SATA のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63074-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 M	SlimSAS x4 ポート 2 iniSAS ポート
P63694-001	青色	ドライブボックス 1	SlimSAS x8 ポート 3 ポート 1

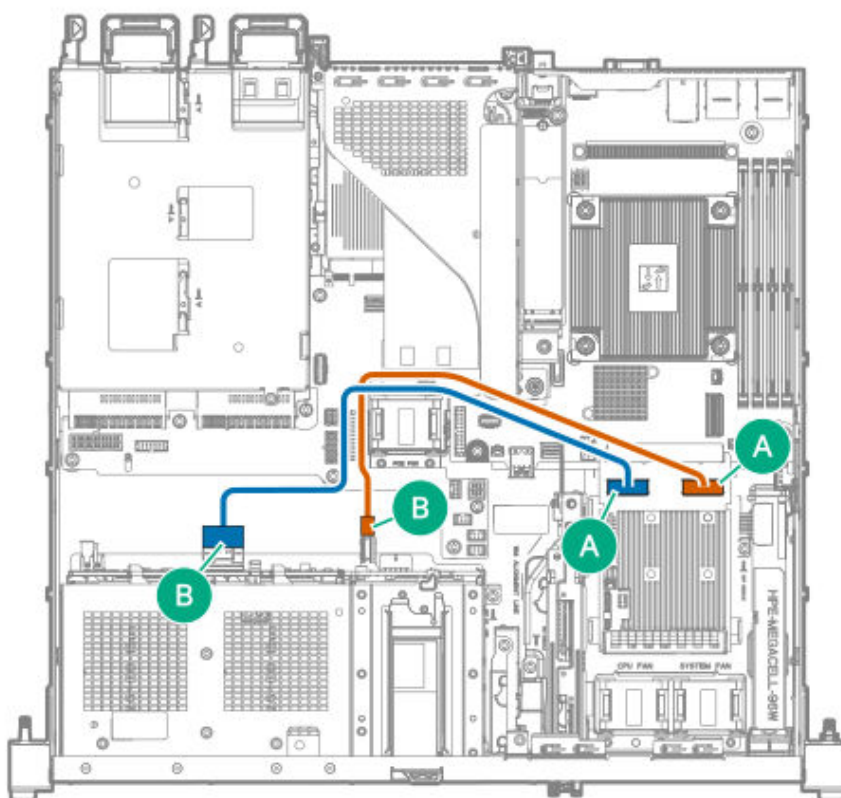
4+2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブ : タイプ o コントローラーのケーブル接続

- ・ シングルポートタイプ o コントローラー



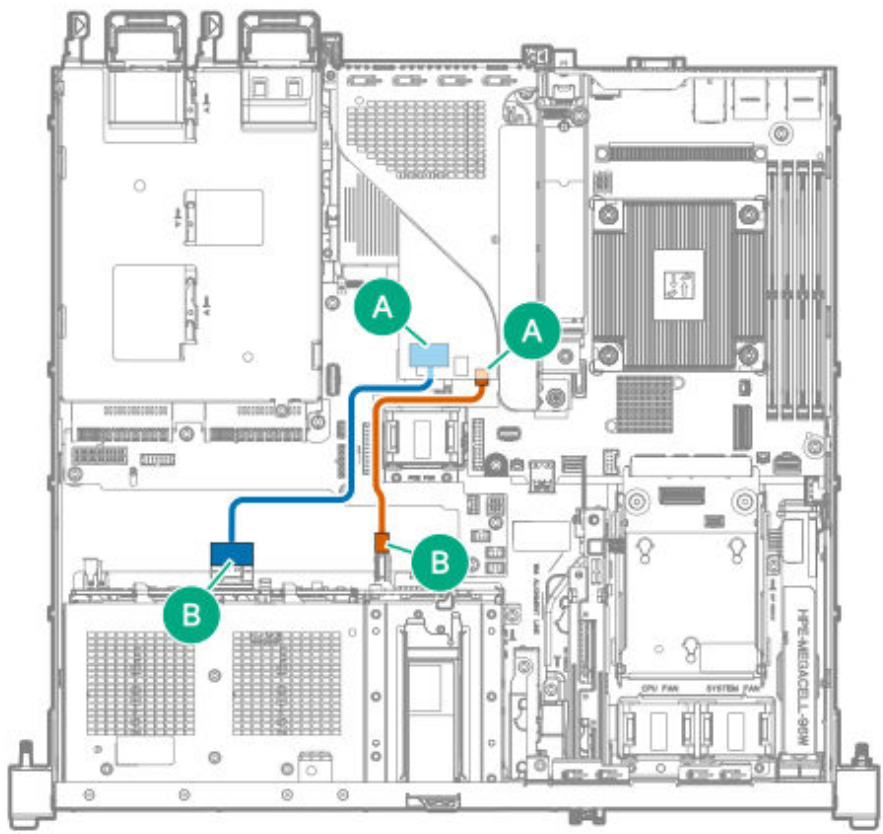
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63699-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 MiniSAS ポート	タイプ 0 コントロー ラーのポート 1
	青色	ドライブボックス 1 ポート 1	

- ・ デュアルポートタイプ 0 コントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63698-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 MiniSAS ポート	タイプ 0 コントローラーのポート 2
P63700-001	青色	ドライブボックス 1 ポート 1	タイプ 0 コントローラーのポート 1

4+2 ベイ SFF (2.5 型) ドライブ : タイプ p コントローラーのケーブル接続



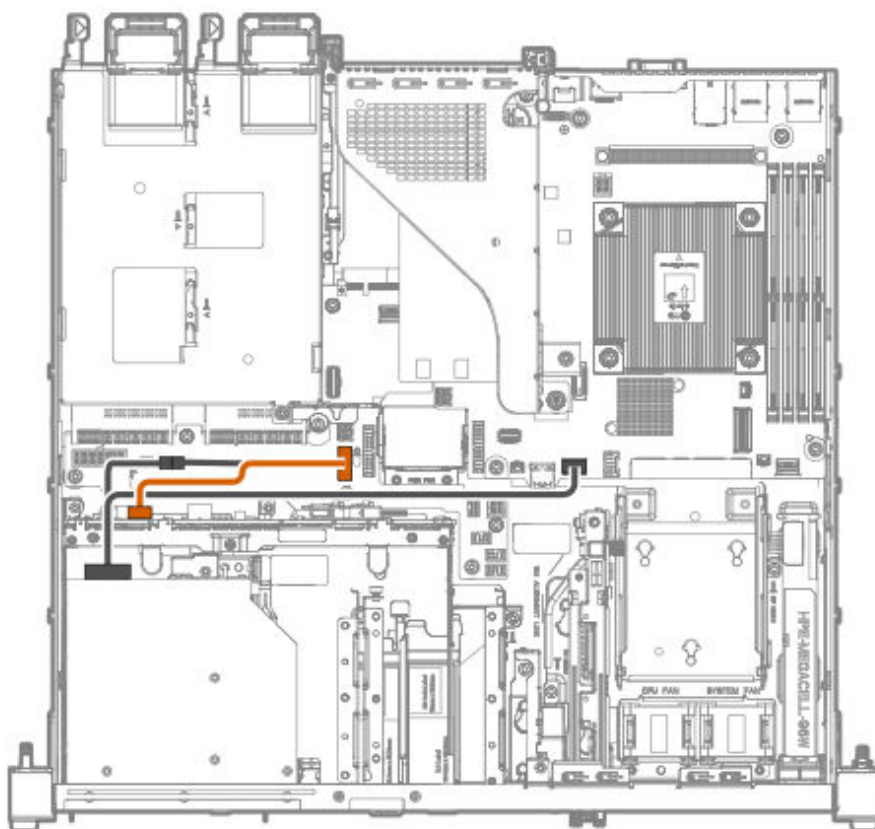
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63695-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 MiniSAS ポート	タイプ p コントローラーのポート 2
P63696-001	青色	ドライブボックス 1 MiniSAS ポート 1	タイプ p コントローラーのポート 1

ドライブ電源のケーブル接続

ドライブの電源ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられているか、該当するストレージコントローラーケーブルオプションキットに組み込まれている場合があります。

2 LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ

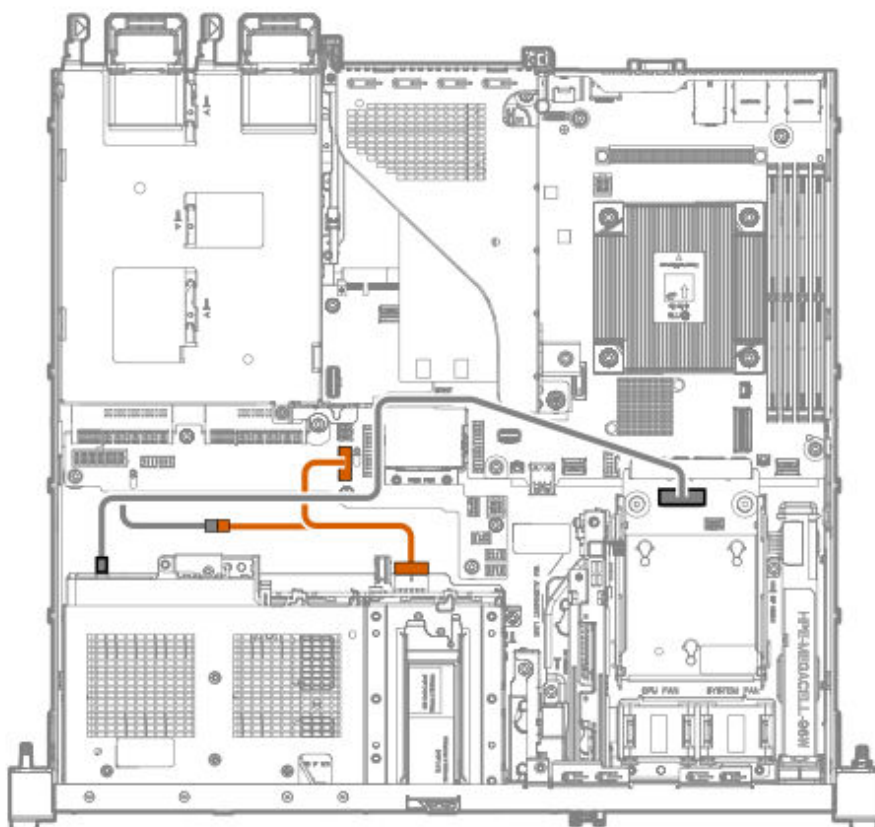
このスプリッターケーブルは、タイプ o またはタイプ p コントローラーが取り付けられている場合に、ドライブとオプティカルドライブの電源接続に使用されます。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63687-001	オレンジ色	ドライブボックス 1 の電源コネクタ	ドライブバックプレーン電源コネクタ

4 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ

この Y ケーブルは、ドライブとオプティカルドライブの電源接続に使用されます。

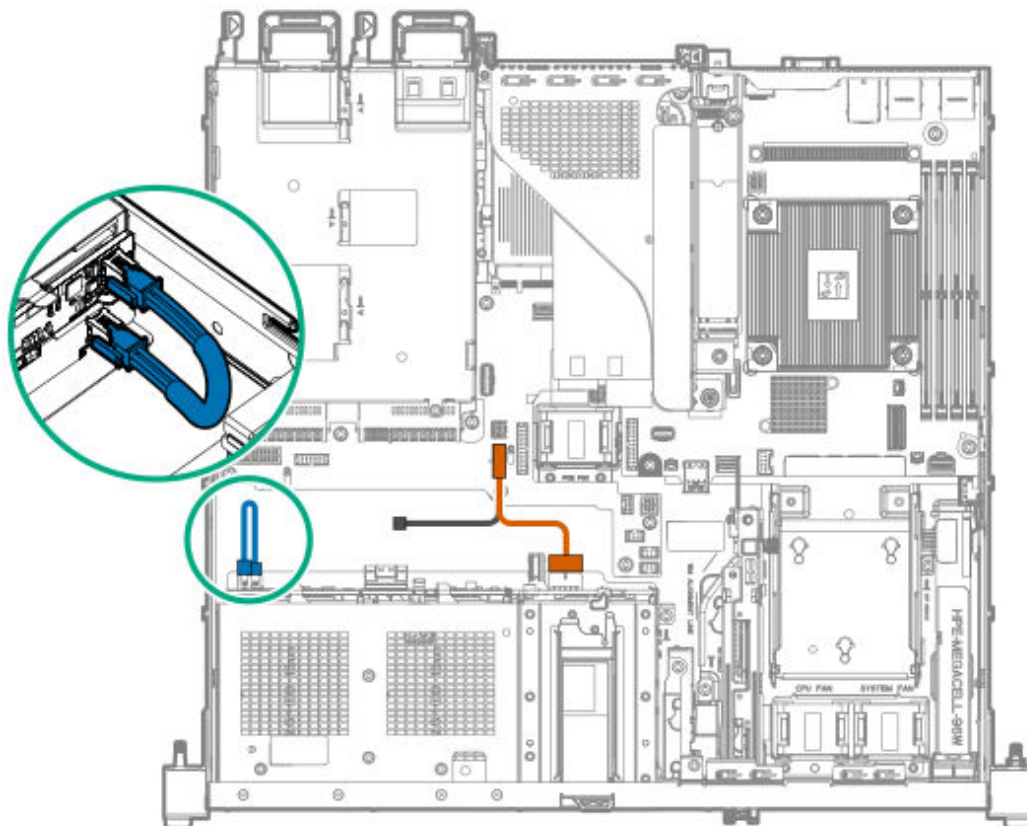


ケーブルの部 品番号	色	接続元	接続先
P63688-001	オレンジ色	- ドライブボックス 2 の 10 ピン電源コネクタ (BP PWR CONN ¹) - オプティカルドライブの ケーブル	ドライブバックプレーン電源 コネクタ (HDD PWR ²)

¹ カッコで囲まれたテキストは、ドライブバックプレーンへのドライブ電源ケーブルコネクタのラベルです。

² カッコで囲まれたテキストは、メインボードへのドライブ電源ケーブルコネクタのメーカーです。

4+2 SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ

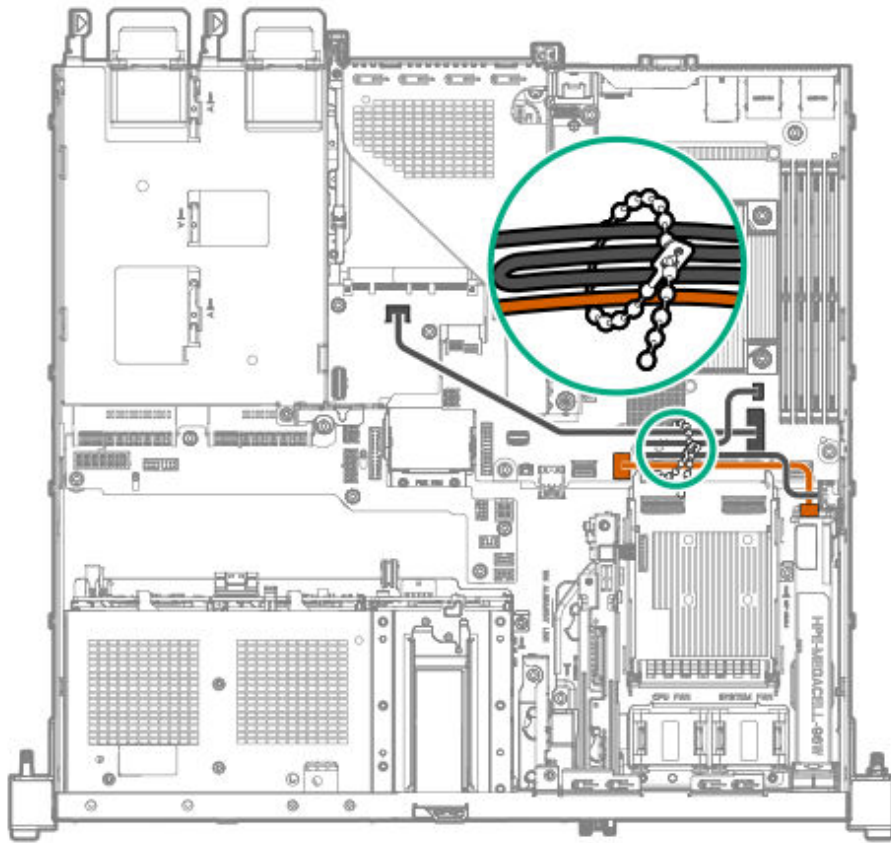


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63688-001	オレンジ色	ドライブボックス 2 の 10 ピン電源コネクタ (BP PWR C ONN ¹)	ドライブバックプレーン電源コネクタ (HDD PWR ²)
P06066-001	青色	ドライブボックス 2 の 4 ピン電源コネクタ	ドライブボックス 1 の電源コネクタ

¹ カッコで囲まれたテキストは、ドライブバックプレーンへのドライブ電源ケーブルコネクタのラベルです。

² カッコで囲まれたテキストは、メインボードへのドライブ電源ケーブルコネクタのメーカーです。

Energy Pack のケーブル接続



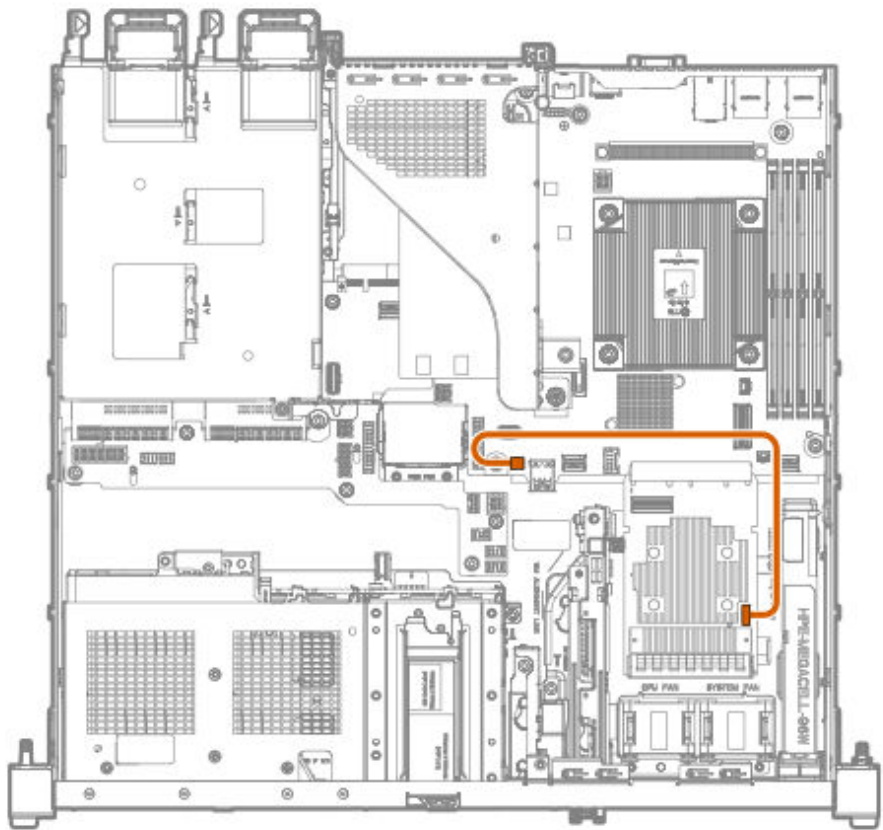
ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続

ストレージコントローラーのバックアップ電源ケーブル接続の正確なルートは、以下によって異なります。

- ・ コントローラーが取り付けられているライザーロット
- ・ コントローラー上のストレージコントローラーバックアップ電源コネクターの位置

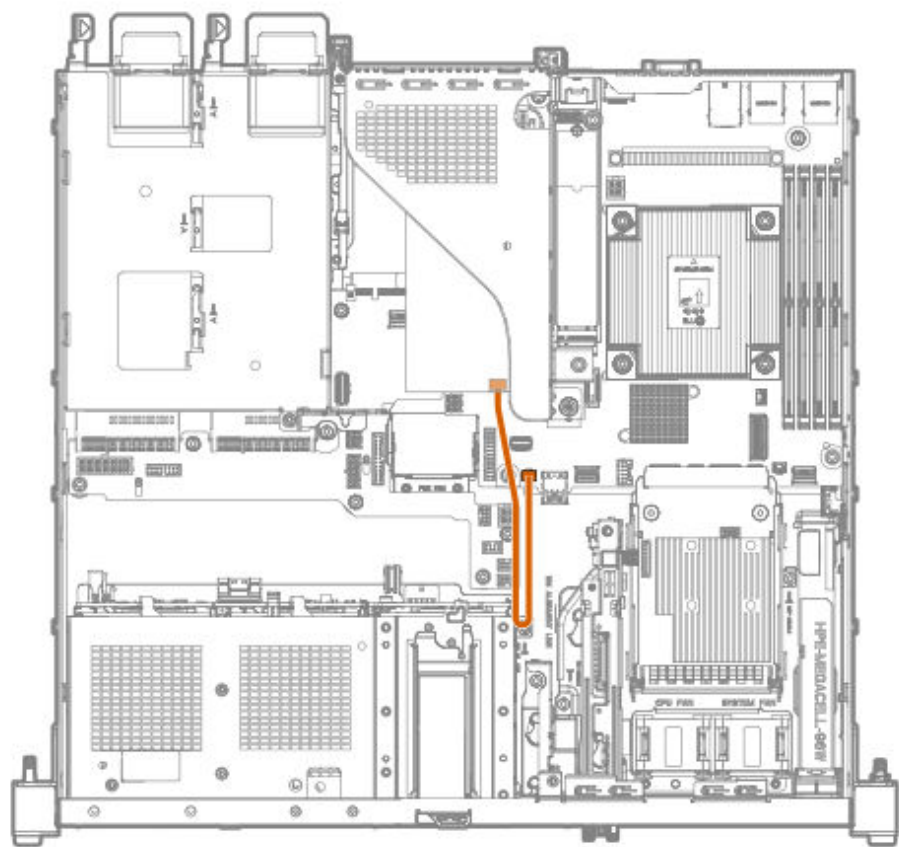
次の図は参照用にのみ使用してください。

タイプ0ストレージコントローラー



ケーブルの色	接続元	接続先
オレンジ色	タイプ0コントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター

タイプ p ストレージコントローラー

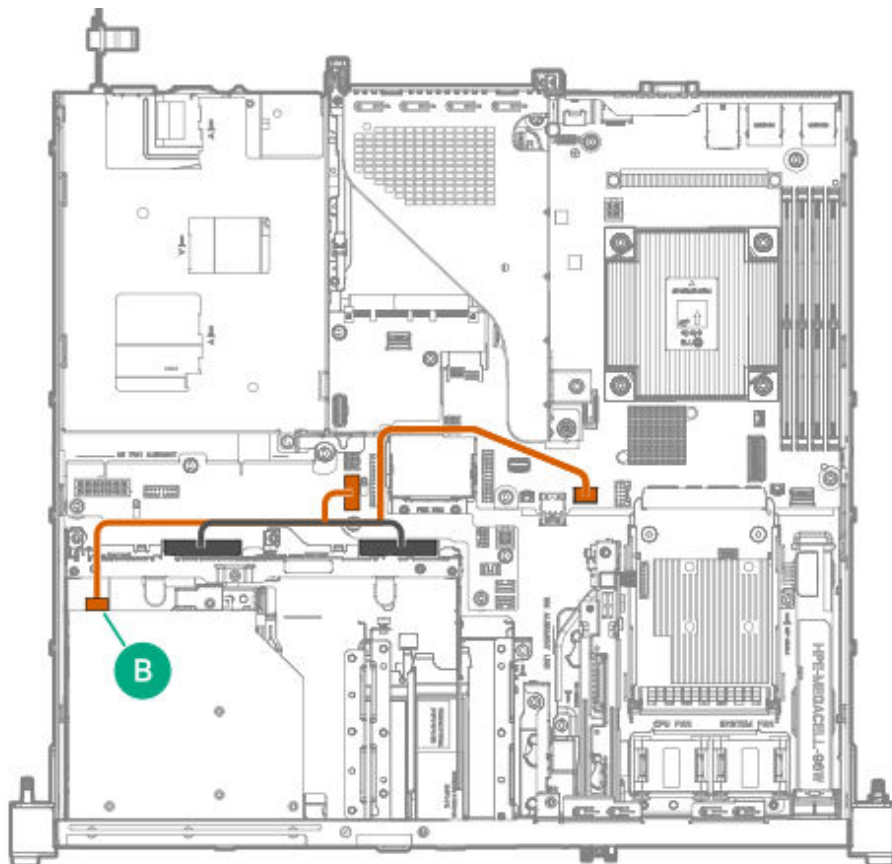


ケーブルの部品番号	ケーブルの色	接続元	接続先
877850-001	オレンジ色	タイプ p コントローラー	ストレージコントローラーのバックアップ電源コネクター

オプティカルドライブのケーブル接続

2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブ構成

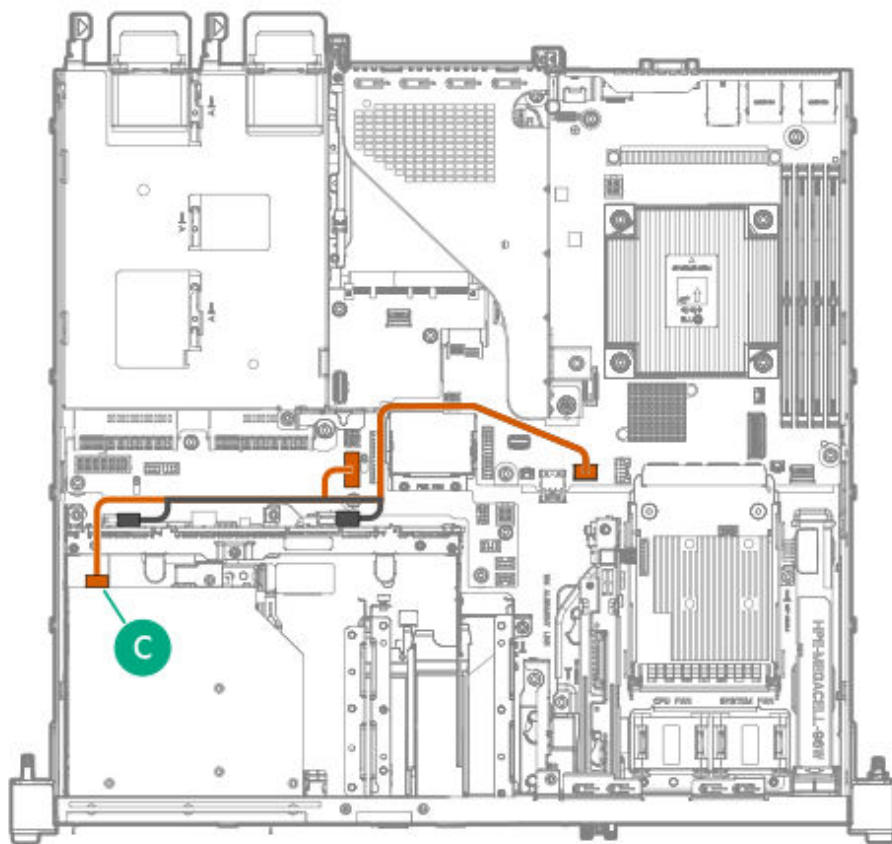
2 ベイ LFF (3.5 型) ノンホットプラグドライブ構成では、オプティカルドライブとノンホットプラグドライブは信号と電源の接続に、あらかじめ取り付けられている 1 本のマルチコネクターケーブルを使用します。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63686-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	- SlimSAS x4 ポート 2 - ドライブバックプレーン電源コネクタ

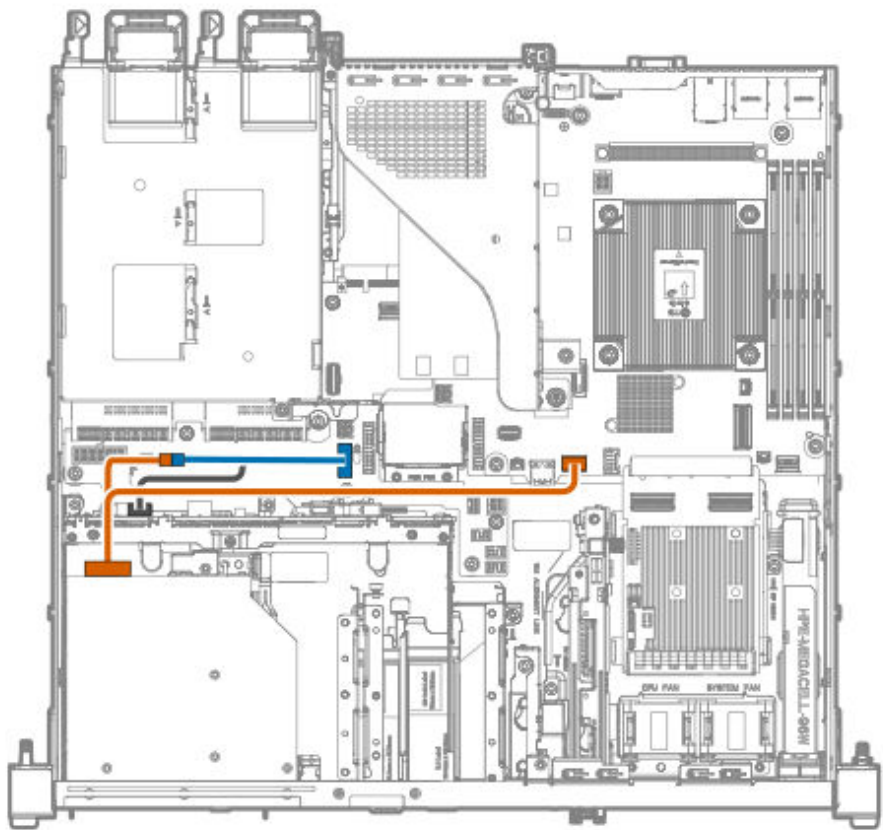
2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成：ドライブオンボードコントローラー

2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成では、オプティカルドライブとホットプラグドライブは信号と電源の接続に、あらかじめ取り付けられている 1 本のマルチコネクターケーブルを使用します。



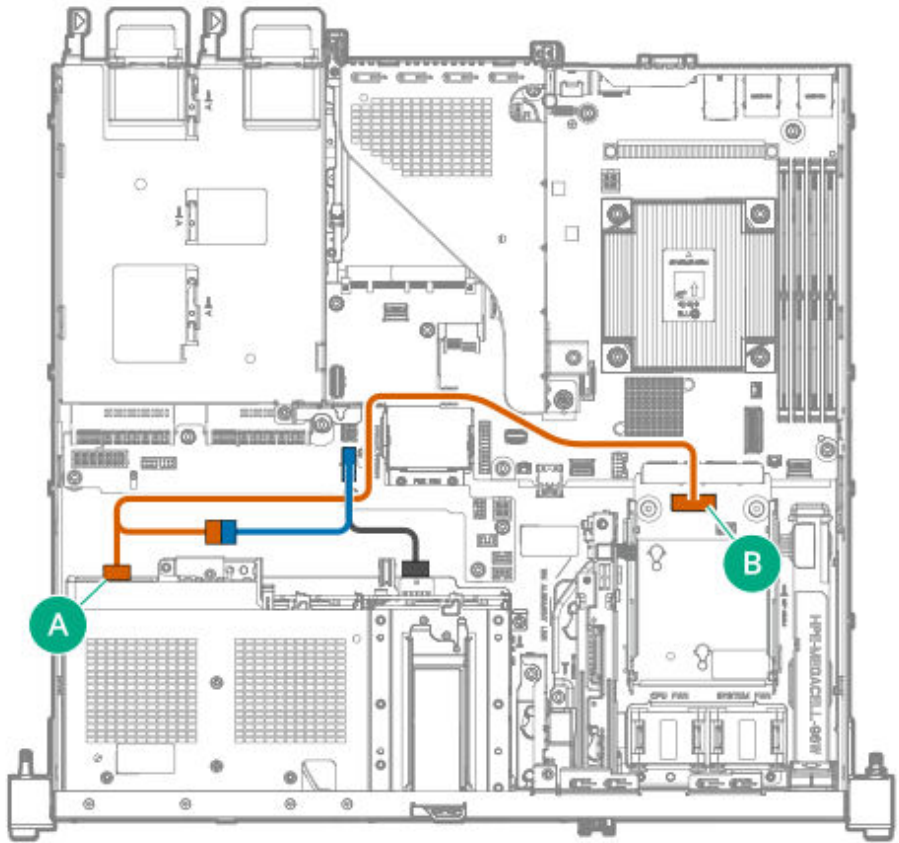
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63692-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	・ SlimSAS x4 ポート 2 ・ ドライブバックアップ電源コネクタ

2 ベイ LFF (3.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成：タイプ o またはタイプ p コントローラ



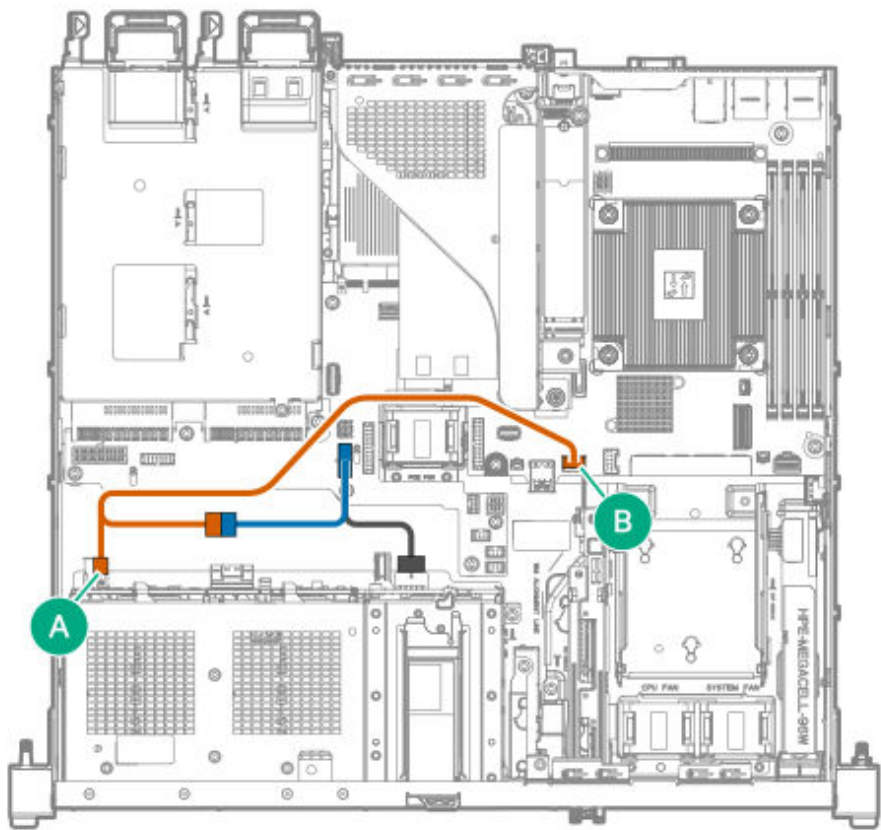
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63702-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	・ SlimSAS x4 ポート 2 ・ ドライブ電源ケーブル
P63687-001	青色	オプティカルケーブル	ドライブバックプレーン電源コネクタ

4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成：ドライブオンボードコントローラー



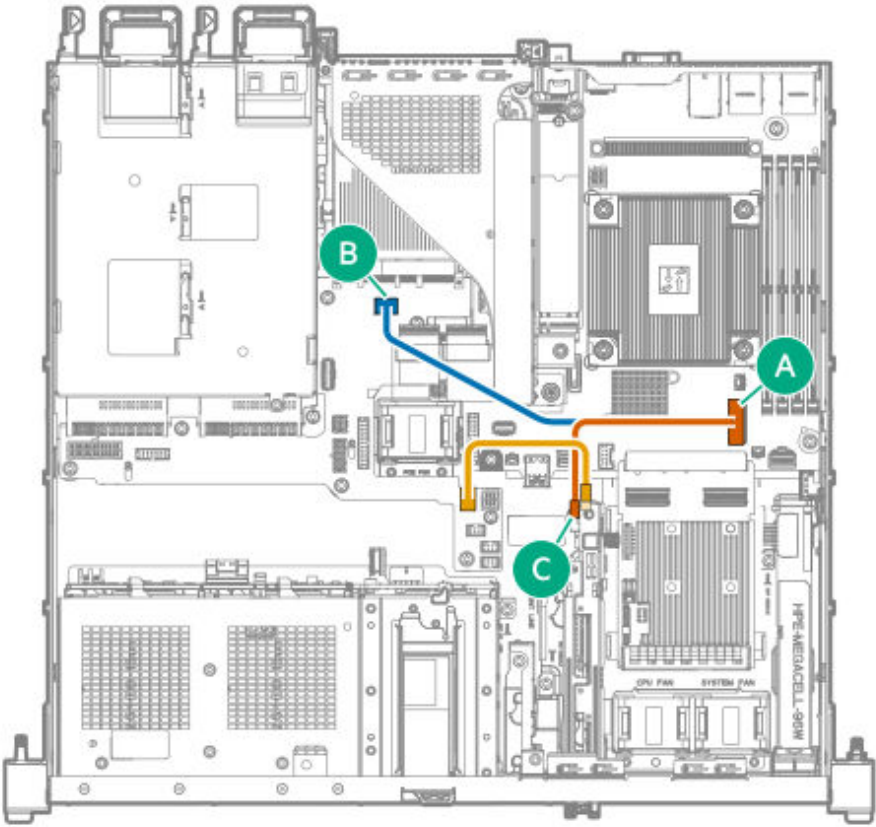
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63701-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	- SlimSAS x8 ポート 3 - ドライブ電源ケーブル
P63688-001	青色	ドライブボックス 2 の電源コネクター	- ドライブバックプレーン電源コネクター - オプティカルドライブのケーブル

4 ベイ SFF (2.5 型) ホットプラグ対応ドライブ構成：タイプ o またはタイプ p コントローラ



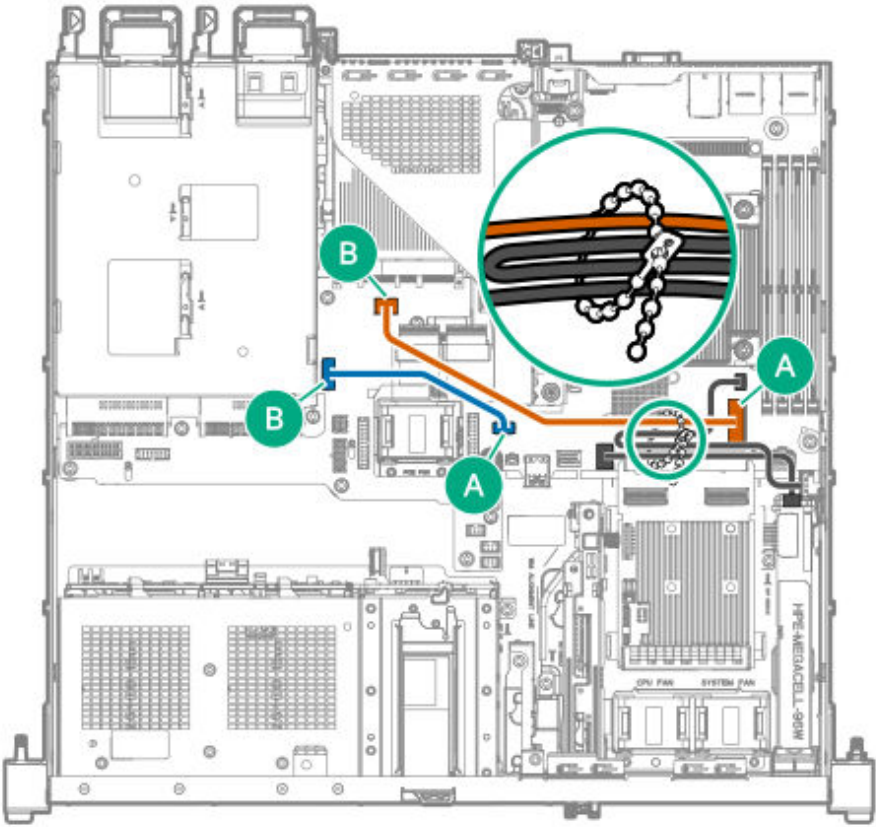
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63702-001	オレンジ色	オプティカルドライブ	・ SlimSAS x4 ポート 2 ・ ドライブ電源ケーブル
P63688-001	青色	オプティカルケーブル	ドライブバックプレーン電源コネクタ

HPE NS204i-u ブートデバイスのケーブル接続



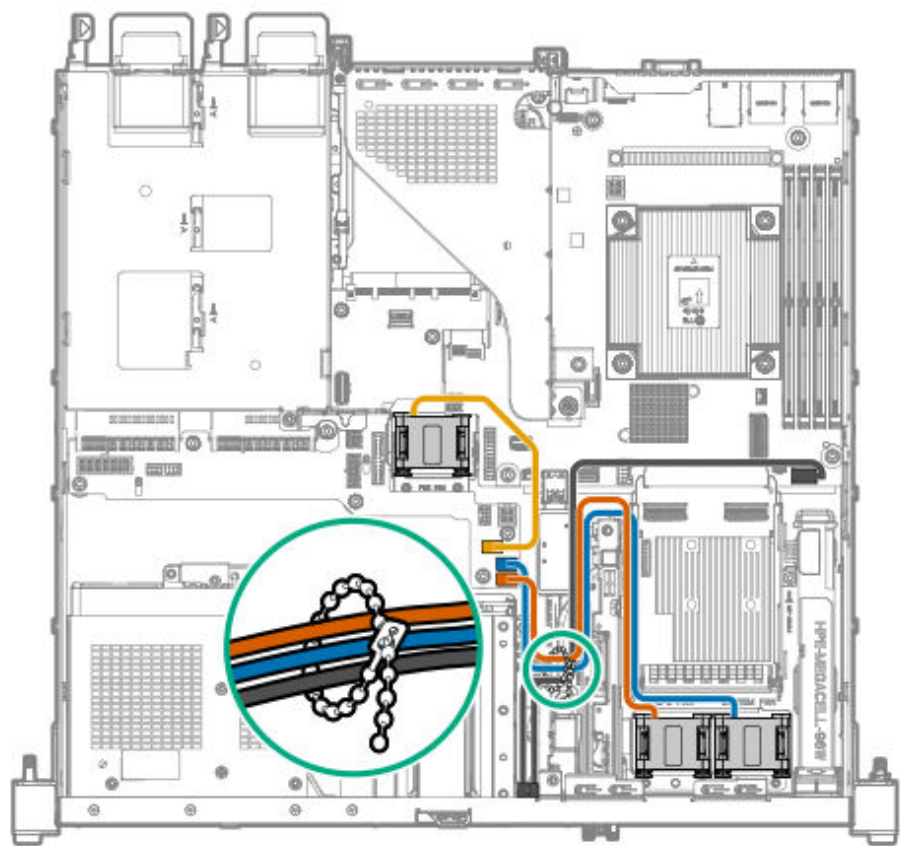
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63684-001	オレンジ色	ブートデバイス信号 コネクター	SlimSAS x8 ポート 1
	青色		SlimSAS x4 ポート
P63685-001	金色	ブートデバイス電源 コネクター	NS204i-u 電源コネク ター

外部 OCP 有効化のケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63683-001	オレンジ色	SlimSAS x8 ポート 1	SlimSAS x4 ポート
P63690-001	青色	PTB : スロット 15 外部 OCP 側波帯コネクタ	メインボード : スロット 15 外部 OCP 側波帯コネクタ

ファンのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63538-001	オレンジ色	プロセッサーファン	プロセッサーファンコネクター
	青色	システムファン	システムファンコネクター
	金色	PCIe ファン	PCIe ファンコネクター

サブトピック

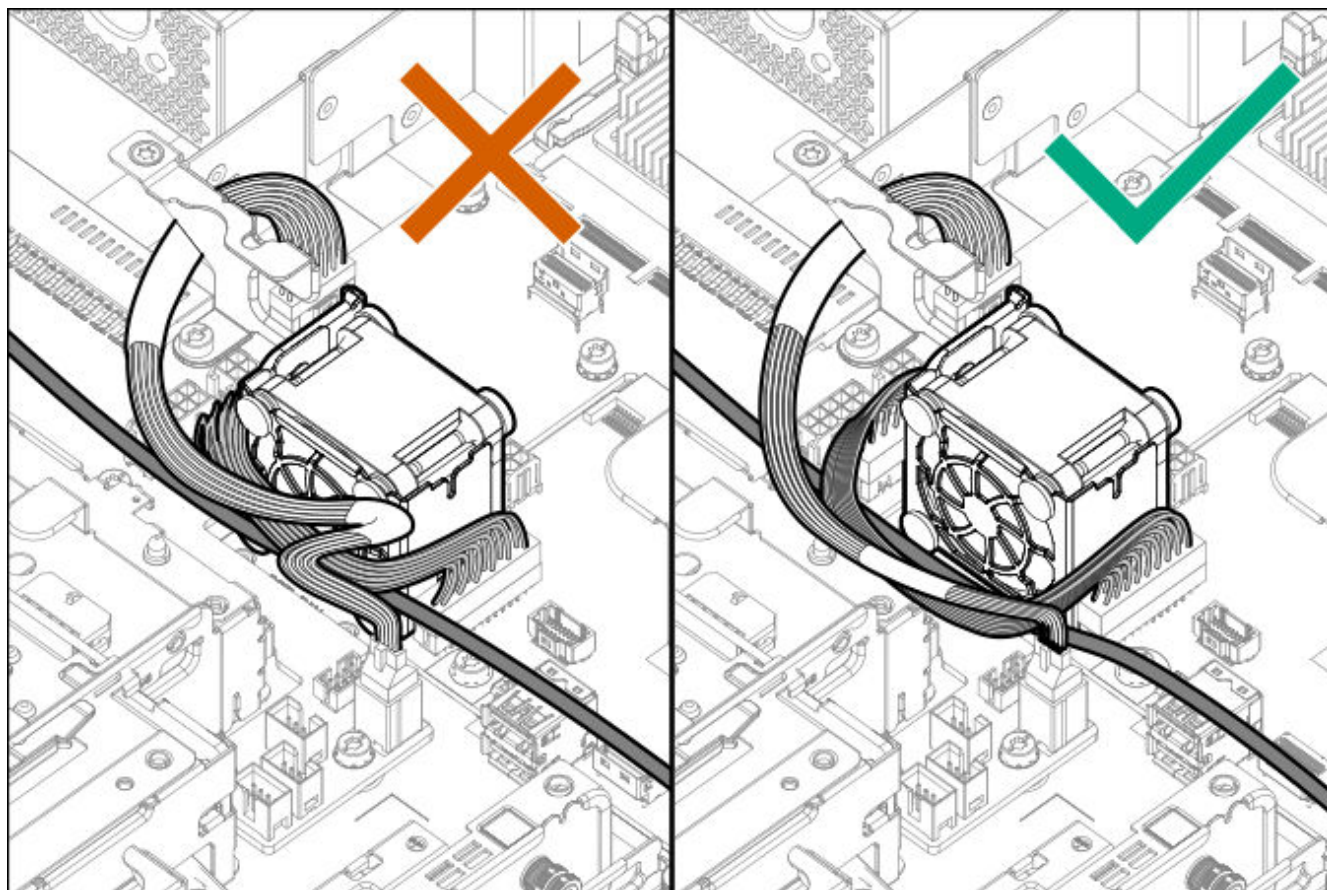
PCIe ファンの前でのケーブル配線

PCIe ファンの前でのケーブル配線

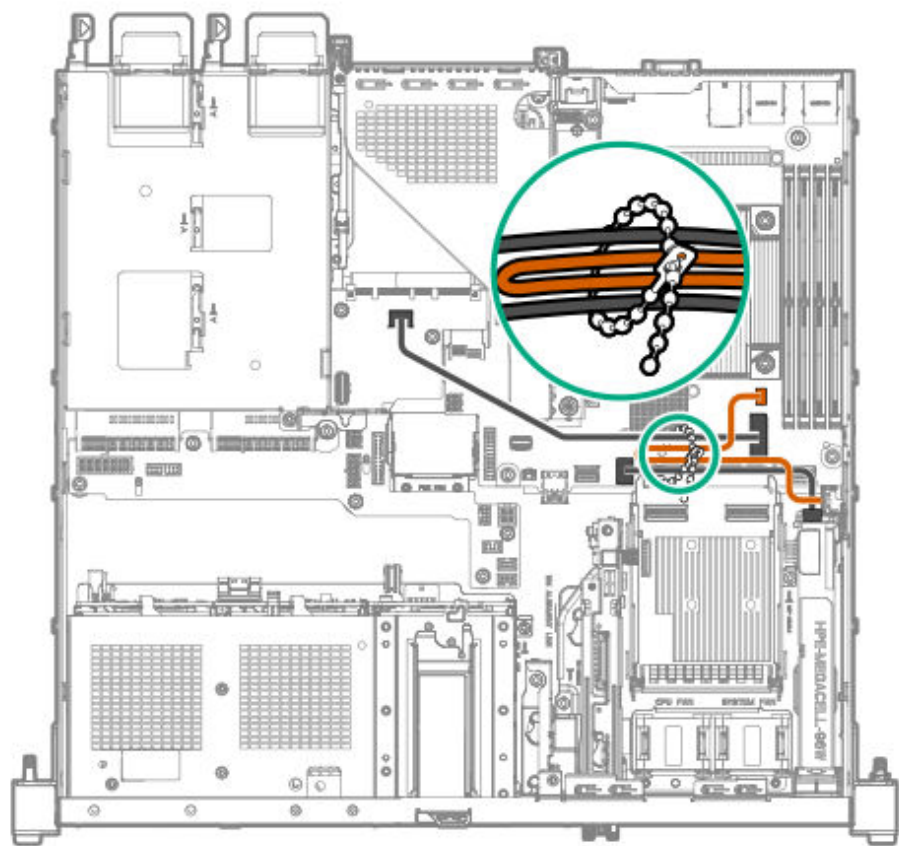


注意

PCIe ファンの前のケーブルがファンのエアフローを妨げないように、ケーブルを PCIe ファンの排気口の下に配線します。

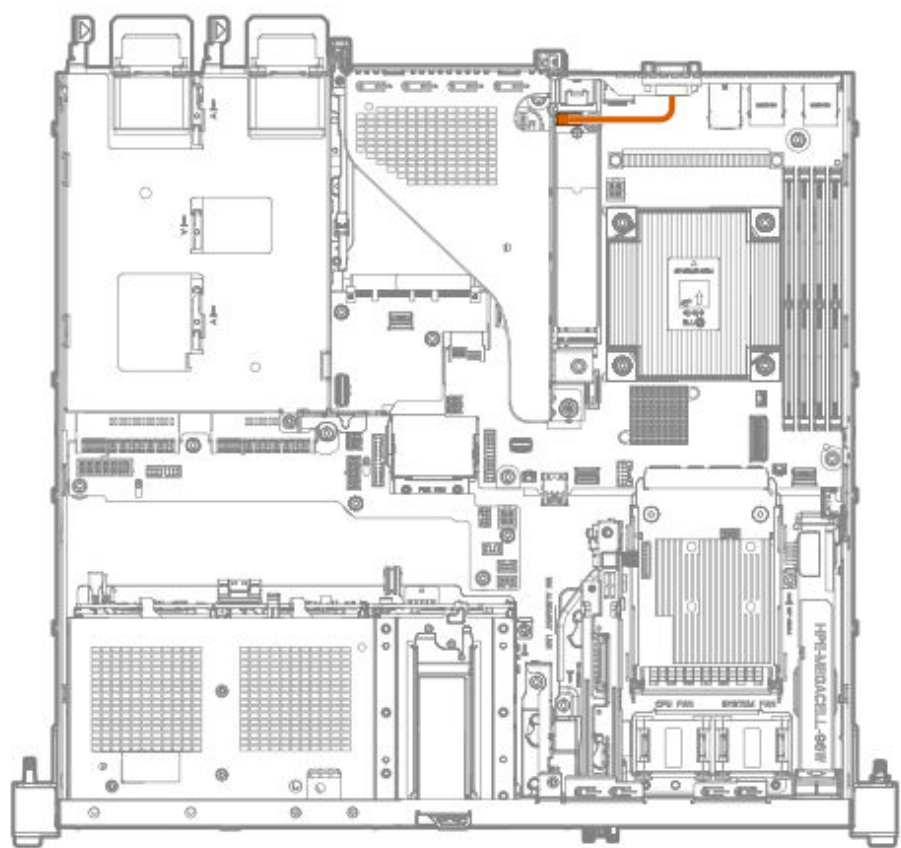


シャーシ侵入検知スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P47751-001	オレンジ色	シャーシ侵入検知スイッチ	シャーシ侵入検知スイッチコネクター

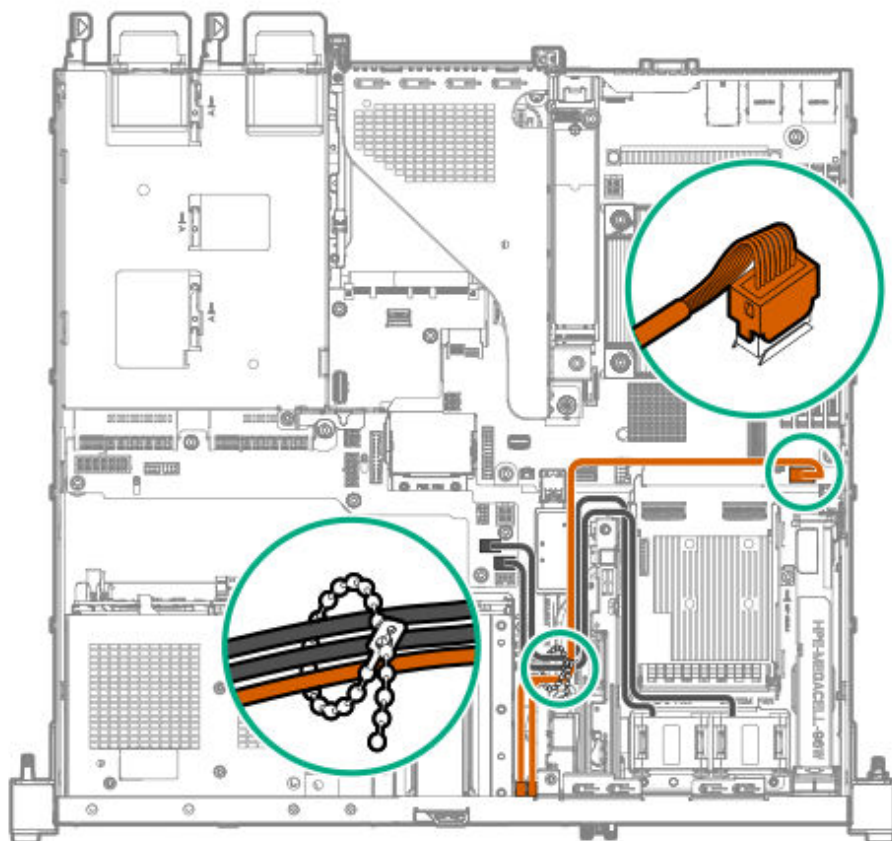
シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63693-001	オレンジ色	シリアルポート	iLO-M. 2 シリアルモジュールの D89 コネクター

フロント I/O のケーブル接続

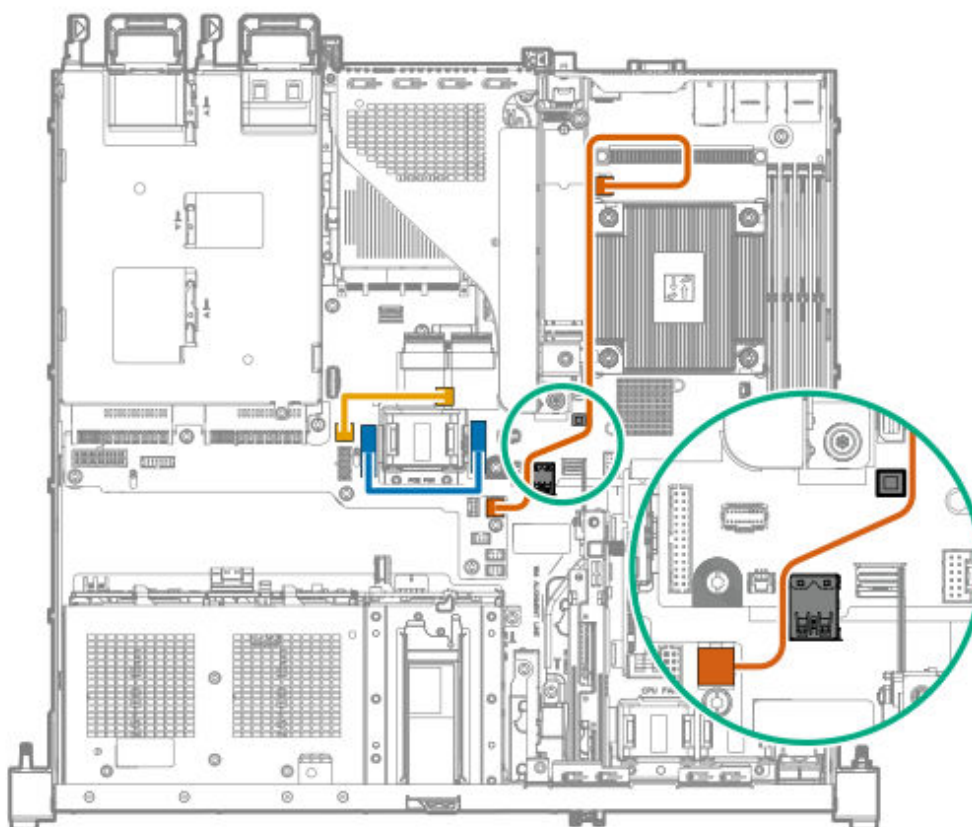
フロント I/O ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63681-001	オレンジ色	- iLO サービスポート - USB 3.2 Gen1 ポート	フロント I/O および USB 3.2 Gen 1 ならびに iLO サービスポートコネクタ

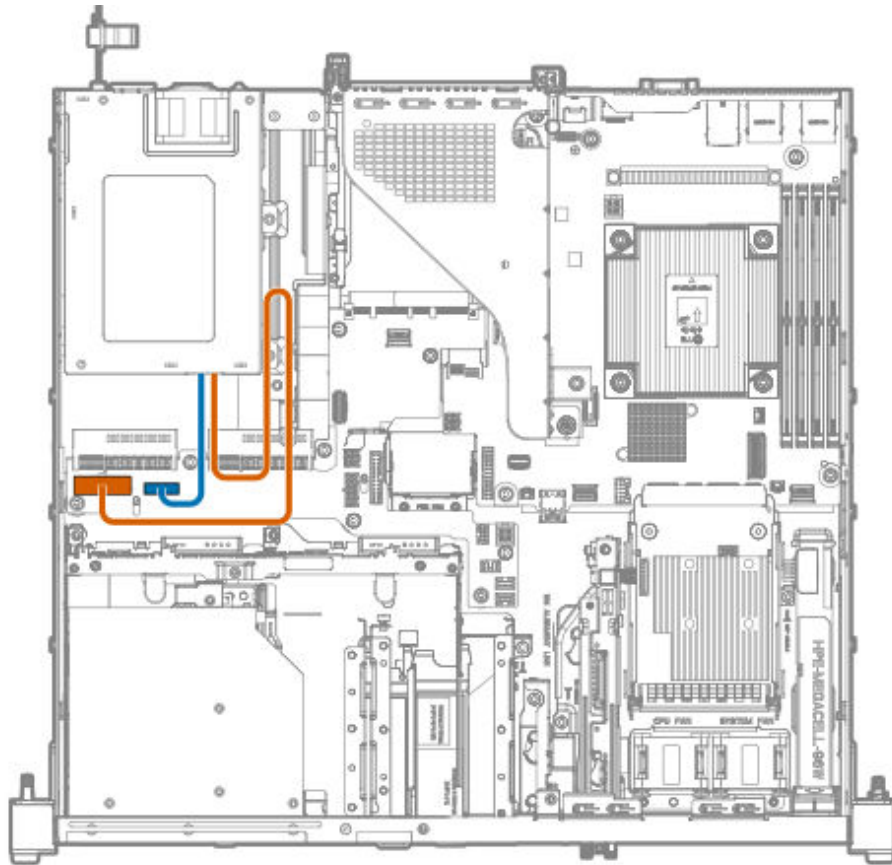
システム電源ケーブルの接続

PDB をメインボードに接続する電源ケーブルは、サーバーにあらかじめ取り付けられています。



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P63691-001	オレンジ色	プロセッサの 4 ピン電源コネクタ	プロセッサの 4 ピン電源コネクタ
P63689-001	青色	メインボード：電源装置側波帯コネクタ	PDB：電源装置側波帯コネクタ
P63697-001	金色	メインボード：システム電源コネクタ	PDB：システム電源コネクタ

ノンホットプラグ電源装置のケーブル接続



色	説明	接続元	接続先
オレンジ色	ATX 電源装置側波帯ケーブル	ノンホットプラグ電源装置	ATX 側波帯コネクター
青色	14 ピン電源装置ケーブル		14 ピン電源装置コネクター

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品の QuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を参照してください。

- ・ HPE Factory Express から注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPE Factory Express の注文を確認してください。
- ・ 最新の製品リリースノートを含む、バージョン固有のソフトウェアおよびファームウェアのドキュメントにワンストップでアクセスするには、次のクイックリンクページを参照してください。
<https://www.hpe.com/support/hpeproductdocs-quicklinks>

サブトピック

[ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート](#)
[サーバーの構成](#)
[ストレージコントローラーの構成](#)
[オペレーティングシステムの展開](#)
[セキュリティの構成](#)
[サーバー管理](#)
[Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステム ROM のアップデート

目的	使用
Service Pack のダウンロード	・ Service Pack for ProLiant (SPP) https://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl ・ SPP とそのエコシステムの概要を理解する https://www.hpe.com/support/SPP-overview-videos-en
Service Pack を 1 台のサーバーに展開する	Smart Update Manager (SUM) https://www.hpe.com/support/hpesmartupdatemanager-quicklinks
Service Pack を複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks

目的	使用
単一サーバーまたは複数サーバーでの iLO またはシステムファームウェアのアップデート	HPE iLO https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks
- 分散されたサーバーインフラストラクチャのサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベースの管理を可能にする - 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する - 自動 iLO ファームウェアアップデートを受け取る - ベースラインアップデートアラートを受け取る	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks

サーバーの構成

構成する対象	使用
単一サーバー (GUI)	- Intelligent Provisioning https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks - iLO リモートコンソールまたは Web インターフェイス https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks - UEFI システムユーティリティ https://www.hpe.com/support/hpeuefistemutilities-quicklinks - HPE Compute Ops Management

	https://www.hpe.com/info/com-quicklinks
単一サーバー（スクリプト）	- RESTful インターフェイスツール https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs - Python iLO Redfish ライブラリ (python-ilorest-library) https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library - Scripting Tools for Windows PowerShell https://www.hpe.com/info/powershell/docs - iLO RESTful API https://servermanagementportal.ext.hpe.com/ - HPE Compute Ops Management API https://developer.greenlake.hpe.com/
複数サーバー（UI またはスクリプトのいずれか）	- HPE OneView¹ https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks - HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks - サーバーの設定：ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。 - サーバーグループ：関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを

適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

- ¹ HPE OneView を実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLO などの別のツールを使用しないでください。HPE OneView と iLO を使用して、同じサーバーを管理する方法について詳しくは、iLO ユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ

ドキュメント

HPE SR Gen 10 コントローラー

- ・ HPE Smart アレイ SR Gen10 コントローラーユーザーガイド
<https://www.hpe.com/support/SR-Gen10-UG>
- ・ SR Gen10 コントローラー RAID の作成 :
<https://www.hpe.com/support/SR-RAID-creation>

HPE MR コントローラーユーザーガイド

- ・ HPE MR Gen11 コントローラーユーザーガイド
<https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG>
 - MR Gen11 コントローラー構成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-configuration>
 - MR Gen11 コントローラー RAID の作成 :
<https://www.hpe.com/support/MR-Gen11-RAID-creation>

HPE MR コントローラ構成ガイド

- ・ HPE MR Storage Administrator User Guide
<https://www.hpe.com/support/MRSA>
- ・ HPE StorCLI User Guide
<https://www.hpe.com/support/StorCLI>
- ・ HPE StorCLI2 User Guide
<https://www.hpe.com/support/StorCLI2>

Intel VROC for HPE Gen11

- ・ Intel Virtual RAID on CPU for HPE ユーザーガイド
https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=sd00002239_ja_ip&page=index.html
- ・ Intel VROC SATA RAID クイックインストール :
<https://www.hpe.com/support/VROC-SATA-RAID-installation>

OS 固有の構成ガイド :

- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Windows User Guide
https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094004_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Windows/
- ・ Intel Virtual RAID on CPU (Intel VROC) for Linux User Guide
https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094694_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_Linux/
- ・ Intel Volume Management Device Driver for VMware ESXi User Guide

https://docs.graidtech.com/vroc/User_Guides/000094787_Intel_Virtual_RAID_on_CPU_Intel_VROC_User_Guide_for_VMware_ESXi/

ストレージコントローラードキュメントライブラリ

<https://www.hpe.com/support/hpestoragecontrollerdocs-quicklinks>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次の HPE サーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

目的

参照

HPE Compute Ops Management を使用して OS を展開する

HPE Compute Ops Management ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/info/com-quicklinks>

Intelligent Provisioning を使用して OS を展開する

Intelligent Provisioning ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeintelligentprovisioning-quicklinks>

iLO 仮想メディアを使用して OS を展開する

iLO ユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

サーバーが PXE サーバーから起動するように構成する

HPE ProLiant Gen11 サーバーおよび HPE Synergy 用 UEFI システムユーティリティユーザーガイド

<https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en>

サーバーが SAN から起動するように構成する

HPE Boot from SAN Configuration Guide

目的

参照

<https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide>

セキュリティの構成

目的

参照

サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。

- ・ HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド

<https://www.hpe.com/support/gen10-security-ref-ja>

- ・ HPE iLO 6 セキュリティテクノロジーの概要

<https://www.hpe.com/support/ilo6-security-ja>

サーバー構成ロック機能が有効にされている HPE Trusted Supply Chain サーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。

Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy

<https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en>

サーバー管理

監視する対象

参照

単一サーバー

HPE iLO

<https://www.hpe.com/support/hpeilodocs-quicklinks>

複数のサーバー

HPE OneView

監視する対象

参照

	https://www.hpe.com/support/hpeoneview-quicklinks
単一または複数のサーバー	HPE Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-quicklinks

Linux ベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

目的

使用

クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI 機能

トラブルシューティングの資料

NMI 機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者は NMI クラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMI を使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者は iLO 生成 NMI 機能を使って、OS に強制的に NMI ハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングの資料は、以下のドキュメントの HPE Gen11 サーバー製品で使用できます。

- ・ HPE ProLiant Gen11 サーバー用のトラブルシューティングガイドは、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、ソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。

<https://www.hpe.com/info/gen11-troubleshooting>

- ・ HPE ProLiant Gen10 サーバー、Gen10 Plus サーバー、Gen11 サーバーおよび HPE Synergy 用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイドでは、クリティカルおよび警告 IML イベントを解決するための IML メッセージおよび関連するトラブルシューティング情報を提供します。

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00046957_ja_jp

システムバッテリーの情報

サーバーには、リアルタイムクロックに電力を供給する二酸化マンガンリチウム、五酸化バナジウム、またはアルカリバッテリーが内蔵されています。



警告

このバッテリーの取り扱いを誤ると火災が発生したり、やけどをしたりする危険性があります。けがを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・ バッテリーを再充電しないでください。
- ・ バッテリーを 60° C (140° F) 以上の高温にさらさないでください。
- ・ 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、バッテリーを低い空気圧にさらさないでください。
- ・ バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、外部接点をショートさせたり、水や火の中に捨てないでください。

安全、保証および規制に関する情報

サブトピック

規定に関する情報

保証情報

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客

様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

サブトピック

[Notices for Eurasian Economic Union \(ユーラシア経済連合\)](#)

[Turkey RoHS material content declaration](#)

[Ukraine RoHS material content declaration](#)

Notices for Eurasian Economic Union (ユーラシア経済連合)



Manufacturer and Local Representative Information

Manufacturer information:

Hewlett Packard Enterprise Company, 1701 E Mossy Oaks Road, Spring, TX 77389 U.S.

Local representative information Russian:

- **Russia**

ООО "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз",
Российская Федерация, 125171, г. Москва,
Ленинградское шоссе, 16А, стр.3, Телефон: +7 499
403 4248 Факс: +7 499 403 4677

- **Kazakhstan**

ТОО «Хьюлетт-Паккард (К)», Республика
Казахстан, 050040, г. Алматы, Бостандыкский
район, проспект Аль-Фараби, 77/7, Телефон/
факс: +7 727 355 35 50

Local representative information Kazakh:

- **Russia**

ЖШС "Хьюлетт Паккард Энтерпрайз", Ресей
Федерациясы, 125171, Мәскеу, Ленинград тас
жолы, 16А блок 3, Телефон: +7 499 403 4248 Факс: +7 499 403
4677

- **Kazakhstan**

ЖШС «Хьюлетт-Паккард (К)», Қазақстан
Республикасы, 050040, Алматы қ., Бостандық
ауданы, Өл-Фараби даңғылы, 77/7, Телефон/факс: +7
727 355 35 50

Manufacturing date:

The manufacturing date is defined by the serial number.

CCSYWWZZZZ (product serial number format)

CCSYWWZZZZ
| |
| | WW = Week of manufacture (calendar week)
| Y = Year of manufacture (decade, year)

If you need help identifying the manufacturing date, contact tre@hpe.com.

Turkey RoHS material content declaration

Türkiye Cumhuriyeti: AEEE Yönetmeliğine Uygundur

Ukraine RoHS material content declaration

Обладнання відповідає вимогам Технічного регламенту щодо
обмеження використання деяких небезпечних речовин в
електричному та електронному обладнанні, затвердженого
постановою Кабінету Міністрів України від 3 грудня 2008 № 1057

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

仕様

サーバーの環境、機械、電源装置の仕様について説明します。

サブトピック

[環境仕様](#)
[機械仕様](#)
[電源装置の仕様](#)

環境仕様

仕様	値
温度範囲	—
動作時	10° C～35° C (50° F～95° F)
非動作時	–30° C～60° C (–22° F～140° F)
相対湿度（ただし結露しないこと）	—
動作時	8%～90% 28° C (82.4° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
非動作時	5%～95% 38.7° C (101.7° F)、最高湿球温度（結露しないこと）
高度	—
動作時	3,050 m (10,000 フィート) この値は、取り付けられているオプションのタイプや数によって制限される場合があります。高度の許容最大変化率は457 m/分です。

仕様	値
非動作時	9,144 m (30,000 フィート) 高度の許容最大変化率は 457m/分 (1,500 フィート/分) です。

サポートされる標準動作温度

海拔 0 m で 10° ~ 35° C。海拔 3,050 m までは、高度が 305 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は 20° C/時 (36° F/時) です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

気温が 30° C を超えている場合は、標準動作のサポート中にシステムパフォーマンスが低下することがあります。

サポートされる拡張時の動作周囲温度

承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気範囲が次のように拡大されます。

- ・ 海拔 0 m で 5~10° C および 35~40° C。この温度は、900 m~3050 m までは、高度が 175 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。
- ・ 海拔 0 m で 40° C~45° C。この温度は、900 m~3,050 m までは、高度が 125 m 上昇するごとに 1.0° C 低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、Extended Ambient Temperature Guidelines for Gen11 HPE ProLiant servers を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ASHRAEGen11>

機械仕様

仕様	値
寸法	—
高さ	4.28 cm (1.69 インチ)
奥行	38.74 cm (15.25 インチ)
幅	43.46 cm (17.11 インチ)
重量 (概算値)	—
最小	9.00 kg (19.84 ポンド)
最大	12.00 kg (26.46 ポンド)

電源装置の仕様

取り付けられたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、[Hewlett Packard Enterprise の Web サイト](#)にある QuickSpecs を参照してください。

サブトピック

[ATX 290W ノンホットプラグパワーサプライ \(ATX 290W Non-hot-plug Power Supply\) \(92%の変換効率\)](#)

[ATX 290W Platinum ノンホットプラグパワーサプライ \(ATX 290W Platinum Non-hot-plug Power Supply\) \(94%の変換効率\)](#)

[HPE 500 W FS Platinum LH パワーサプライ \(HPE 500 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

[HPE 800 W FS Titanium LH パワーサプライ \(HPE 800 W Flex Slot Titanium Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

[HPE 800 W FS DC-48V LH パワーサプライ \(HPE 800 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Low Halogen Power Supply\)](#)

[HPE 1000 W FS Titanium パワーサプライ \(HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply\)](#)

ATX 290W ノンホットプラグパワーサプライ (ATX 290W Non-hot-plug Power Supply) (92%の変換効率)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100~240VAC
定格入力周波数	50~60 Hz
定格入力電流	5.5A
最大定格入力電力	331 W (115 VAC 時) 330 W (230 VAC 時)
効率	88%以上 (100%負荷時) 92%以上 (50%負荷時) 88%以上 (20%負荷時)

仕様	値
電源装置出力	—
安定時定格電力	290 W
最大時の電力	366 W
定格出力電力	290 W

ATX 290W Platinum ノンホットプラグパワーサプライ (ATX 290W Platinum Non-hot-plug Power Supply) (94%の変換効率)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～240VAC
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	5.5A
定格入力電力	331 W (115 VAC 時) 319 W (230 VAC 時)
効率	230 VAC、50 Hz 時 : 91%以上 (100%負荷時) 94%以上 (50%負荷時) 90%以上 (20%負荷時) 80%以上 (10%負荷時) 115 VAC、60 Hz 時 : 87.6%以上 (100%負荷時) 89.7%以上 (50%負荷時) 87.2%以上 (20%負荷時) 80.8%以上 (10%負荷時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	290 W
最大時の電力	366 W
定格出力電力	290 W

HPE 500 W FS Platinum LH パワーサプライ (HPE 500 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50～60 Hz 240 VDC 時には該当しません
定格入力電流	5.8 A (100 VAC 時) 2.8 A (200 VAC 時) 2.4 A (240 VDC 時 (中国))
最大定格入力電力	580 W (100 VAC 時) 560 W (200 VAC 時) 558 W (240 VDC 時 (中国))
BTU/時	1999 (100 VAC 時) 1912 (200 VAC 時) 1904 (240 VDC 時 (中国))
電源装置出力	—
安定時定格電力	500 W (100～127 VAC 入力時) 500 W (100～240 VAC 入力時) 500 W (240 VDC 入力時 (中国))
最大ピーク電力	500 W (100～127 VAC 入力時) 500 W (100～240 VAC 入力時) 500 W (240 VDC 入力時 (中国))

HPE 800 W FS Titanium LH パワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Titanium Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	200～240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50～60 Hz 240 VDC 時には該当しません
定格入力電流	4.35 A (200 VAC 時) 3.62 A (240 VAC 時) 3.62 A (240 VDC 時 (中国))
最大定格入力電力	867 W (200 VAC 時) 848 W (240 VAC 時) 848 W (240 VDC 時 (中国))
BTU/時	2905 (200 VAC 時) 2893 (240 VAC 時) 2893 (240 VDC 時 (中国))
電源装置出力	—
安定時定格電力	800 W (200～240 VAC 入力時) 800 W (240 VDC 入力時 (中国))
最大ピーク電力	800 W (200～240 VAC 入力時) 800 W (240 VDC 入力時 (中国))

HPE 800 W FS DC-48V LH パワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot -48 VDC Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	-40 VDC～-72 VDC -48 VDC (定格入力)
定格入力電流	24.0 A (-40 VDC 入力時) 18.2 A (-48 VDC 入力時、定格入力) 12.0 A (-72 VDC 入力時)
定格入力電力	874 W (-40 VDC 入力時) 865 W (-48 VDC 入力時、定格入力) 854 W (-72 VDC 入力時)
定格入力電力 (BTU/時)	2983 (-40 VDC 入力時) 2951 (-48 VDC 入力時、定格入力) 2912 (-72 VDC 入力時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	800 W (-40 VDC～-72 VDC 時)
最大時の電力	800 W (-40 VDC～-72 VDC 時)

**警告**

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- ・ この装置の設置は、必ずトレーニングを受けた専門の担当者が行ってください。
- ・ 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路と直接の接続はなく、変圧器、コンバータ、または同等の隔離装置から電力を得ます。
- ・ 分岐回路の過電流保護は 27 A にする必要があります。

**注意**

この装置は、DC 供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。

上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- ・ この装置は、DC 供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- ・ この装置は、同じ DC 供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、および DC システムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DC システムは、別の場所でアースされている必要があります。
- ・ DC 供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- ・ スイッチや電源切断用のデバイスは、DC 供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

HPE 1000 W FS Titanium パワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC (中国)
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	11.3 A (100 VAC 時) 6.1A (200 VAC 時)
最大定格入力電力	1130 W (100 VAC 時) 1090 W (200 VAC 時)
BTU/時	3764 (100 VAC 時) 3629 (200 VAC 時)
電源装置出力	—
安定時定格電力	1000 W (100～127 VAC 時) 1000 W (200～240 VAC 入力時)
最大ピーク電力	1000 W (100～127 VAC 時) 1000 W (200～240 VAC 時)

Web サイト

Web サイトでは HPE のツール、リソース、および製品ドキュメントへのリンクが提供されています。

一般的な Web サイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) ストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

製品のホワイトペーパーとアナリストレポート

<https://www.hpe.com/us/en/resource-library>

その他の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

製品の Web サイト

HPE ProLiant DL20 Gen11 ユーザードキュメント

<https://www.hpe.com/info/dl20gen11-docs>

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス](#)

[HPE 製品登録](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[カスタマーセルフリペア \(CSR\)](#)

[リモートサポート](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン

- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

HPE 製品登録

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターおよび購入したサポートサービスのメリットを最大限に活用するため、契約と製品を HPESC のアカウントに追加してください。

- ・ 契約と製品を追加すると、パーソナライゼーションの強化、ワークスペースのアラート機能、ダッシュボードを通じた有益な情報が提供され、環境の管理が容易になります。
- ・ また、問題を自己解決するための推奨事項やカスタマイズされた製品知識も提供されるほか、ケースを作成する必要がある場合は、最適化されたケース作成によって解決までの時間が短縮されます。

契約と製品を追加する方法については、<https://www.hpe.com/info/add-products-contracts> を参照してください。

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイ HPE ソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様の資格情報を表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンター **More Information on Access to Support Materials** ページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要

Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品資格情報が必要な場合があります。関連する資格情報で HPE アカウントをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。ただし、一部の部品は、CSR が適用されません。

CSR について詳しくは、お近くの正規保守代理店にお問い合わせください。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。Hewlett Packard Enterprise では、ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くお勧めします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

HPE リモート IT サポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care Service

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) で、開いているドキュメントのページにあるフィードバックボタンをクリックしてください。この機能を使用して、誤り、提案、コメントなどをお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。